

いわき市高齢者保健福祉計画 策定に関するアンケート調査

－調査結果報告書－

令和8年3月

いわき市 保健福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係

<目 次>

I	調査概要	1
II	調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	3
1	対象者の属性	3
1-1	調査票の記入者	3
1-2	圏域	3
1-3	対象者の性別	4
1-4	対象者の年齢	4
1-5	介護認定の状況	4
2	対象者の家族や生活状況について	5
2-1	家族構成	5
2-2	普段の生活における介護・介助の必要度	6
2-3	現在の暮らしの経済的状況	7
3	からだを動かすことについて	8
3-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	8
3-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	9
3-3	15分くらい続けて歩いているか	10
3-4	過去1年間の転倒の経験	11
3-5	転倒に対する不安	12
3-6	外出の頻度	13
3-7	昨年と比べた外出回数	14
3-8	外出を控えているか	15
3-9	外出を控える理由	16
3-10	外出する際の移動手段	17
3-11	健康維持のために心がけていること	19
4	食べることについて	20
4-1	身長・体重・BMI	20
4-2	半年前と比べて固いものが食べにくくなったか	22
4-3	お茶や汁物等でむせることがあるか	23
4-4	口の渇きが気になるか	24
4-5	歯磨きを毎日しているか	25
4-6	歯の数と入れ歯の利用状況	26
4-7	誰かと食事をともにする機会があるか	27
5	毎日の生活について	28
5-1	物忘れが多いと感じるか	28
5-2	バスや電車を使って1人で外出しているか	29
5-3	自分で食品・日用品の買物をしているか	30
5-4	自分で食事の用意をしているか	31

5-5	自分で請求書の支払いをしているか	32
5-6	自分で預貯金の出し入れをしているか	33
5-7	自分でゴミ出しができるか	34
5-8	趣味について	35
5-9	生きがいについて	35
5-10	就労状況	36
5-11	機会があれば働きたいか	37
6	地域での活動について	38
6-1	地域での活動の参加頻度	38
6-2	地域づくりの場への参加意向（参加者として）	47
6-3	地域づくりの場への参加意向（企画・運営として）	48
7	たすけあいについて	49
7-1	心配事や愚痴を聞いてくれる人	49
7-2	心配事や愚痴を聞いてあげる人	50
7-3	病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人	51
7-4	病気で寝込んだ時に世話をしてあげる人	52
7-5	何かあったときの相談相手	53
7-6	友人・知人と会う頻度	54
7-7	この1か月間、何人の友人・知人と会ったか	55
7-8	よく会う友人・知人との関係	56
8	対象者の健康状態について	57
8-1	健康状態	57
8-2	現在の幸福度	58
8-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったか	59
8-4	この1か月間、物事に対して興味がわかない等の感じがあったか	60
8-5	飲酒の状況	61
8-6	喫煙の状況	62
8-7	治療中、または後遺症のある病気	63
9	認知症について	65
9-1	認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか	65
9-2	認知症に関する相談窓口の認知度	65
9-3	認知症になった際、どのように暮らしたいか	66
9-4	認知症になった場合に、地域で暮らし続けるために必要だと思うこと	67
9-5	地域で暮らす認知症の方にできる支援	69
10	人生のしめくくりについて	70
10-1	ACP(人生会議)の認知度	70
10-2	ACP(人生会議)の実施経験	71
10-3	エンディングノートの準備	72
10-4	終末期、どこで生活したいか	73
10-5	終末期の過ごし方	73

11	耳の間こえについて.....	74
11-1	耳の間こえの状態.....	74
11-2	補聴器所有の有無.....	75
11-3	補聴器の購入方法.....	75
11-4	補聴器を購入しない理由.....	76
12	いわき市の敬老事業について.....	77
12-1	地区敬老会への参加経験の有無.....	77
12-2	地区敬老会への参加意向.....	78
12-3	地区敬老会に参加したくない理由.....	79
13	要介護リスクについて.....	80
13-1	運動器機能の低下.....	81
13-2	低栄養の傾向.....	83
13-3	口腔機能の低下.....	84
13-4	閉じこもり傾向.....	86
13-5	認知機能の低下.....	88
13-6	うつ傾向.....	90
13-7	転倒リスク.....	92
13-8	IADL（手段的自立度）.....	94
Ⅲ	調査結果（在宅介護実態調査）.....	97
1	対象者の属性.....	97
1-1	対象者の性別.....	97
1-2	対象者の年齢.....	97
1-3	要介護度.....	98
1-4	調査票の回答者.....	98
2	基本調査項目（A票）.....	99
2-1	世帯類型.....	99
2-2	家族等による介護の頻度.....	99
2-3	主な介護者の本人との関係.....	100
2-4	主な介護者の性別.....	100
2-5	主な介護者の年齢.....	101
2-6	主な介護者の同居、別居.....	101
2-7	主な介護者が行っている介護.....	102
2-8	介護のための離職の有無.....	103
2-9	保険外の支援・サービスの利用状況.....	104
2-10	在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス.....	105
2-11	施設等検討の状況.....	106
2-12	本人が抱えている傷病.....	107
2-13	訪問診療の利用の有無.....	107
2-14	介護保険サービスの利用の有無.....	108

2-15	介護保険サービス未利用の理由	109
3	主な介護者について（B票）	110
3-1	主な介護者の勤務形態	110
3-2	主な介護者の働き方の調整の状況	111
3-3	就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援	112
3-4	主な介護者の就労継続の可否に係る意識	113
3-5	主な介護者が不安に感じる介護	114
3-6	住環境面で不安なこと	115
3-7	介護の負担や悩み	116
3-8	介護による自身への影響	117
3-9	介護に関して学びたいこと	118
3-10	周囲や地域に求めること	119
IV	調査結果（介護支援専門員アンケート）	120
1	回答者の属性	120
1-1	回答者の性別	120
1-2	回答者の年齢	120
1-3	勤務形態	121
1-4	兼務している業種	121
1-5	実務経験年数	122
1-6	担当ケアプラン件数	123
2	業務負担・不安等について	124
2-1	業務上、困難に感じるケース	124
2-2	担当する高齢者の対応で困難に感じるケース	125
2-3	業務上のストレス	126
2-4	本人・家族からの不当な要求経験	127
3	職場環境・給与について	128
3-1	職場の人間関係	128
3-2	職場で改善してほしいこと	129
3-3	現在の手取り月額給与額	130
3-4	現在の給与額に満足しているか	131
3-5	妥当だと思う手取り月額給与額	132
4	介護保険サービスについて	133
4-1	介護保険サービスの需要供給状況について	133
4-2	訪問介護のサービス調整で、困っていること及びその現在の対応状況	141
5	ケアプラン作成について	142
5-1	「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプラン作成の意識度	142
5-2	「自立支援」「重度化防止」に向けて意識していること	143
6	一般高齢者福祉事業について	144
6-1	一般高齢者福祉事業の認知度	144

7	担当した高齢者や家族について	147
7-1	高齢者虐待の疑いのあるケースの経験有無	147
7-2	成年後見制度を活用していくために必要なこと	148
7-3	担当したケースでのヤングケアラーの有無	149
7-4	終末期の準備についての話し合い（高齢者本人と）	149
7-5	終末期の準備についての話し合い（高齢者家族と）	150
8	ケアマネージャーとして感じること	151
8-1	地域の福祉資源と医療資源の連携状況	151
8-2	地域の福祉資源と医療資源の連携に必要なこと	152
8-3	地域包括支援センターの活動において充実すべきこと	153
8-4	他分野（障がい等）との連携に必要なこと	154
8-5	ケアマネージャーとして学びたい知識やスキル	155
8-6	作成して欲しいマニュアル等	157
8-7	ケアマネージャーを目指したきっかけ	158
8-8	ケアマネージャーを増やすために必要なこと	159
8-9	介護職を増やすために必要なこと	160
8-10	いわき市の保健・福祉施策等に対する意見・要望	161
V	資料編	168
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票	168
2	在宅介護実態調査 調査票	176
3	介護支援専門員アンケート 調査票	179

I 調査概要

1 調査の目的

老人福祉法及び介護保険法に基づき、市が策定する3ヵ年計画である「いわき市高齢者保健福祉計画」について、第10次計画が令和8年度に計画期間の最終年度となることから、次期計画の策定を行うにあたり、高齢者福祉及び介護保険事業に関する市民の意識やニーズ等の把握、分析を行うものとして実施しました。

2 調査期間

介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 : 令和8年1月16日(金)～令和8年2月20日(金)
 在宅介護実態調査 : 令和8年1月13日(火)～令和8年2月20日(金)
 介護支援専門員アンケート : 令和8年1月8日(木)～令和8年2月20日(金)
 ※集計には、2月26日(木)までの回収票を有効としました

3 調査対象

介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 : いわき市に在住する65歳以上の方のうち、介護認定を受けていない方及び要支援1・2の方 9,800人
 在宅介護実態調査 : 在宅にて介護を受けている65歳以上の方 700人
 介護支援専門員アンケート : いわき市内の居宅介護支援事業所に勤務する介護支援専門員 470人

4 調査方法

介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 : 郵送配布・回収(回答についてはインターネット回答を併用)
 在宅介護実態調査 : 認定調査員による訪問での聞き取り
 介護支援専門員アンケート : 郵送配布・回収(回答についてはインターネット回答を併用)

5 回答状況

調査種別	配布数①	総回答数	有効回答数②	有効回答率 ②/①
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	9,800	6,153	6,138	62.6%
在宅介護実態調査	700	442	434	62.0%
介護支援専門員アンケート	470	317	317	67.4%

6 調査結果の見方

- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- 回答割合は百分率で表し、小数第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合があります。
また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 回答が皆無（0件）であった選択肢の回答割合は、図表中では「-」と表記しています。なお、一部、視認性を考慮して「-」を非掲載としている場合があります。
- 調査数（n）が少数のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合があります。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合があります。

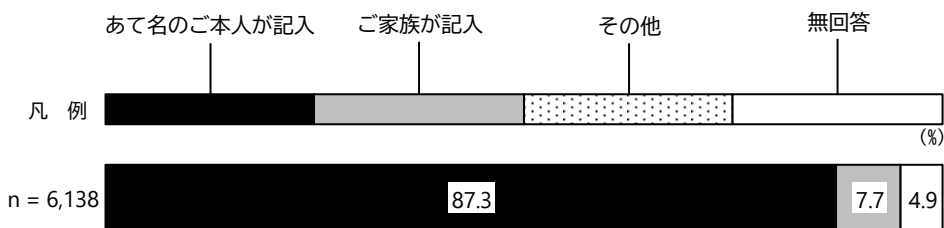
Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

1 対象者の属性

1-1 調査票の記入者

- ▶ 調査票の記入者については、「あて名のご本人が記入」が 87.3%、「ご家族が記入」が 7.7%となっています。

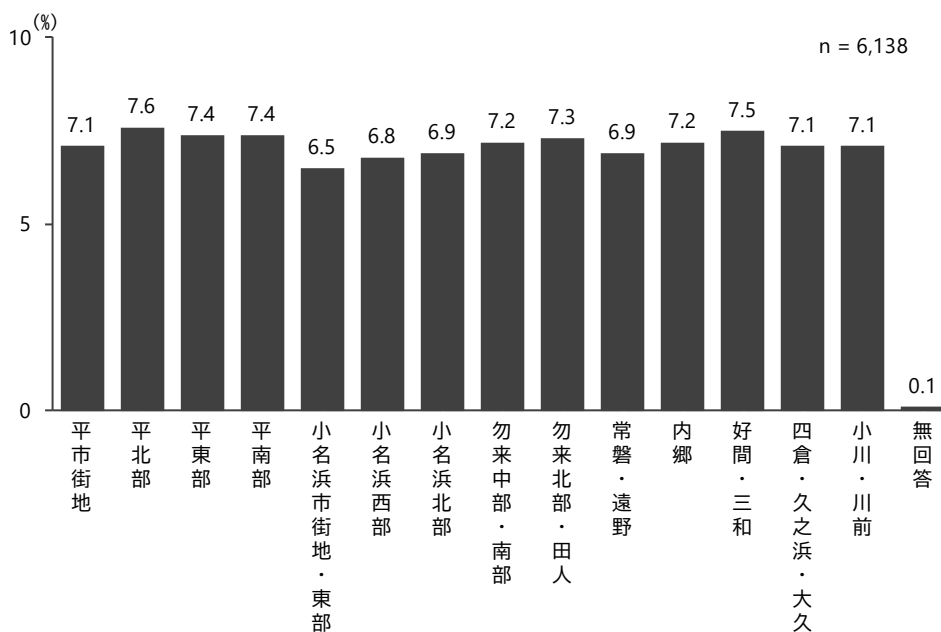
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。



1-2 圏域

- ▶ 圏域については、「平北部」が 7.6%と最も高く、次いで「好岡・三和」(7.5%)、「平東部」「平南部」(ともに 7.4%) となっています。

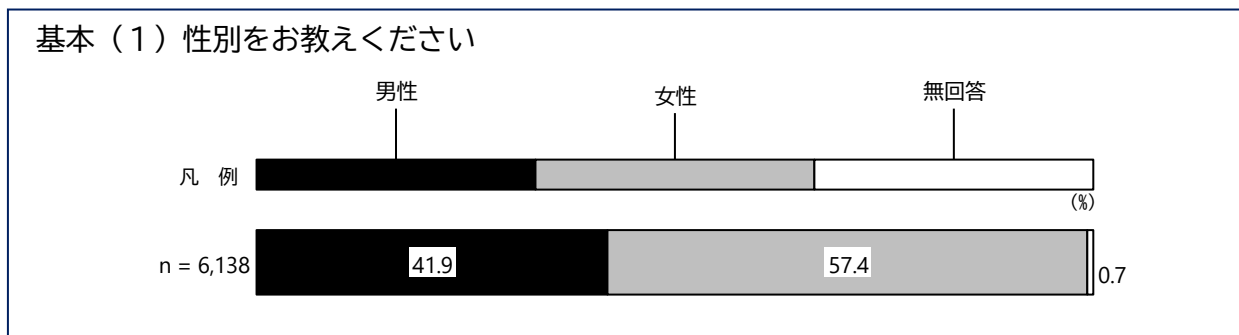
圏域



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

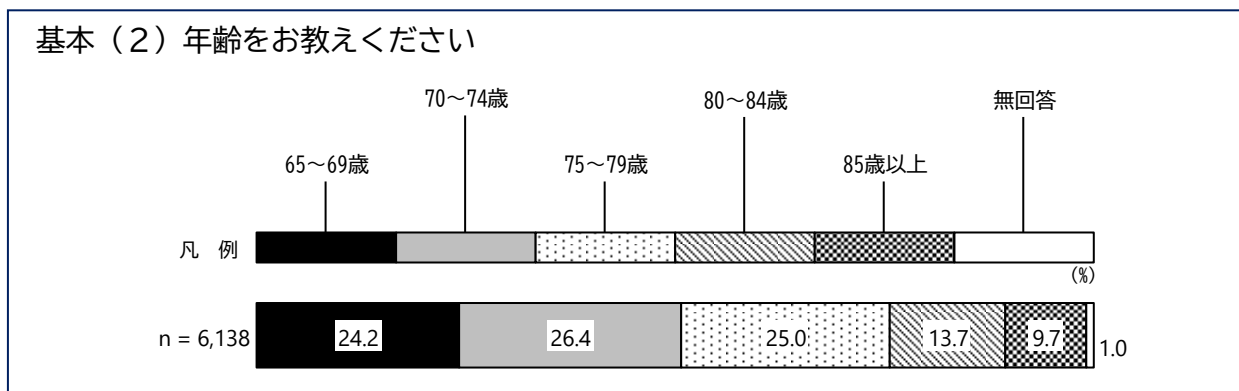
1-3 対象者の性別

▶ 対象者の性別については、「女性」が57.4%、「男性」が41.9%となっています。



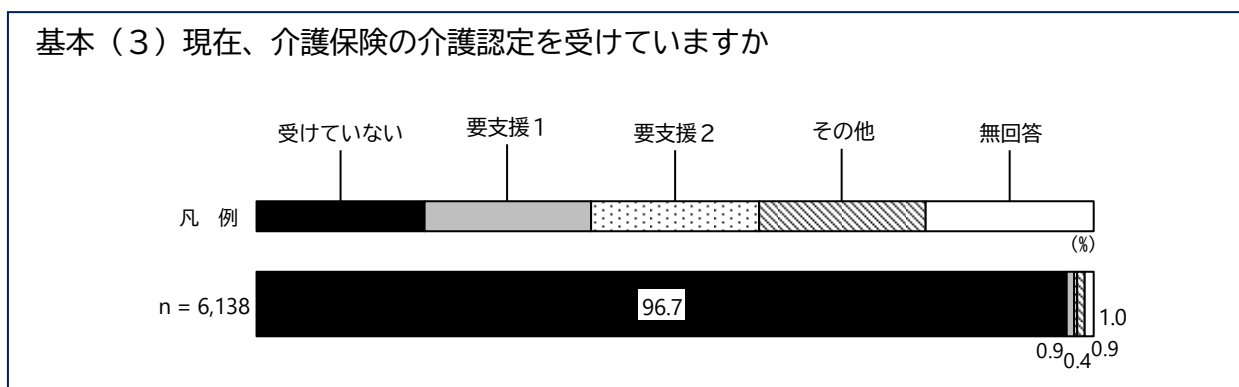
1-4 対象者の年齢

▶ 対象者の年齢については、「70～74歳」が26.4%と最も高く、次いで「75～79歳」（25.0%）、「65～69歳」（24.2%）となっています。



1-5 介護認定の状況

▶ 対象者の介護認定の状況については、「受けていない」が96.7%と最も高く、次いで「要支援1」（0.9%）、「要支援2」（0.4%）となっています。

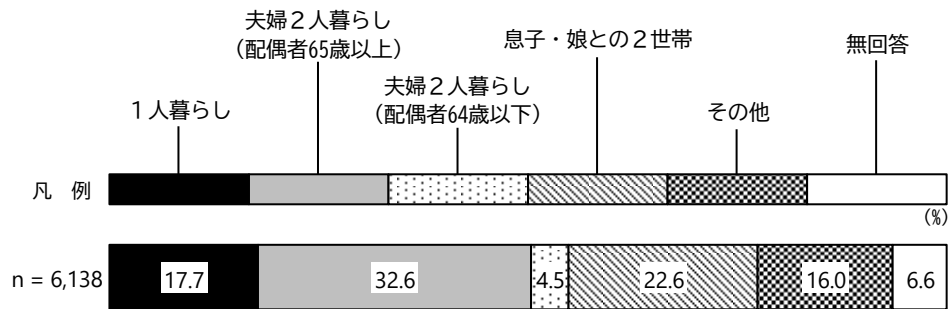


2 対象者の家族や生活状況について

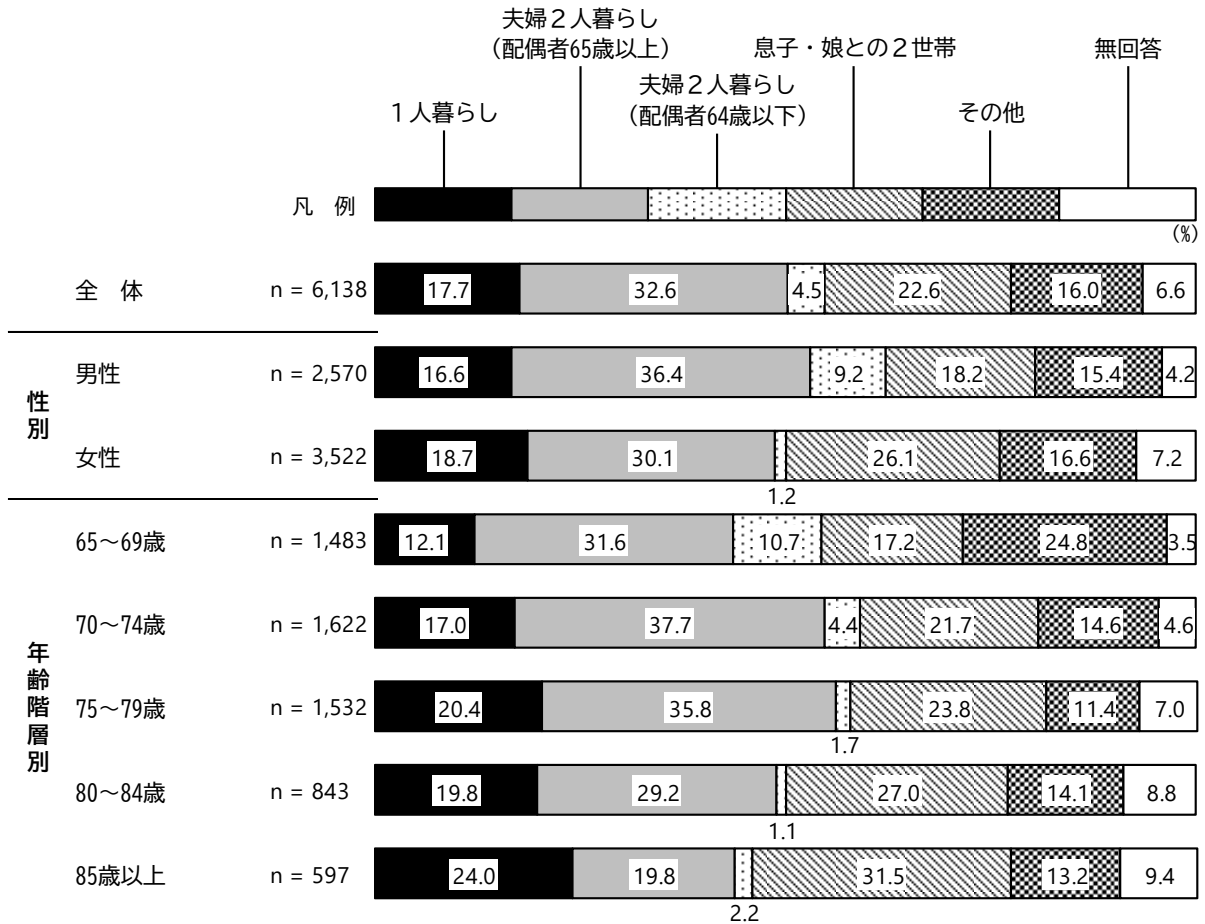
2-1 家族構成

- ▶ 家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が32.6%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（22.6%）、「1人暮らし」（17.7%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「1人暮らし」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では24.0%となっています。

問1（1）家族構成をお教えてください



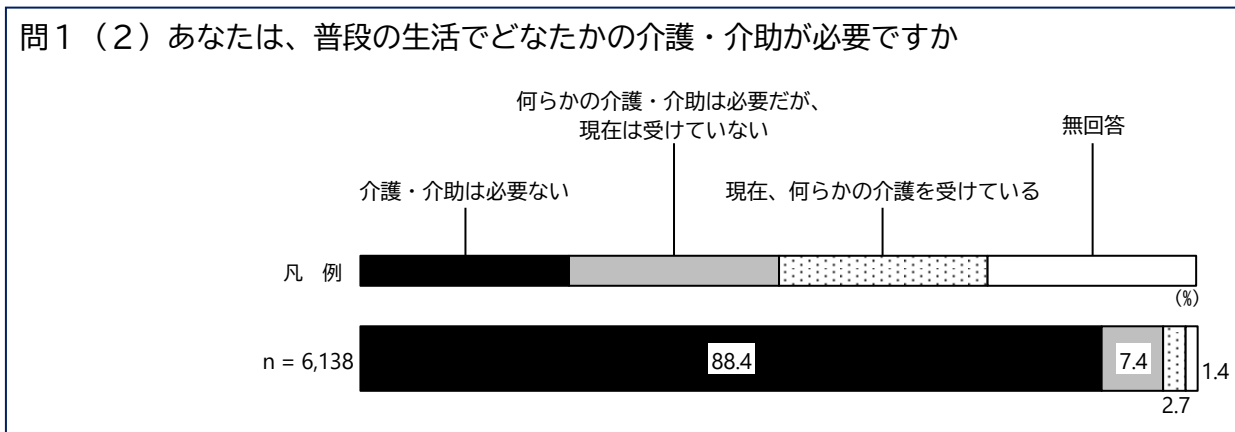
【性別・年齢階層別／家族構成】



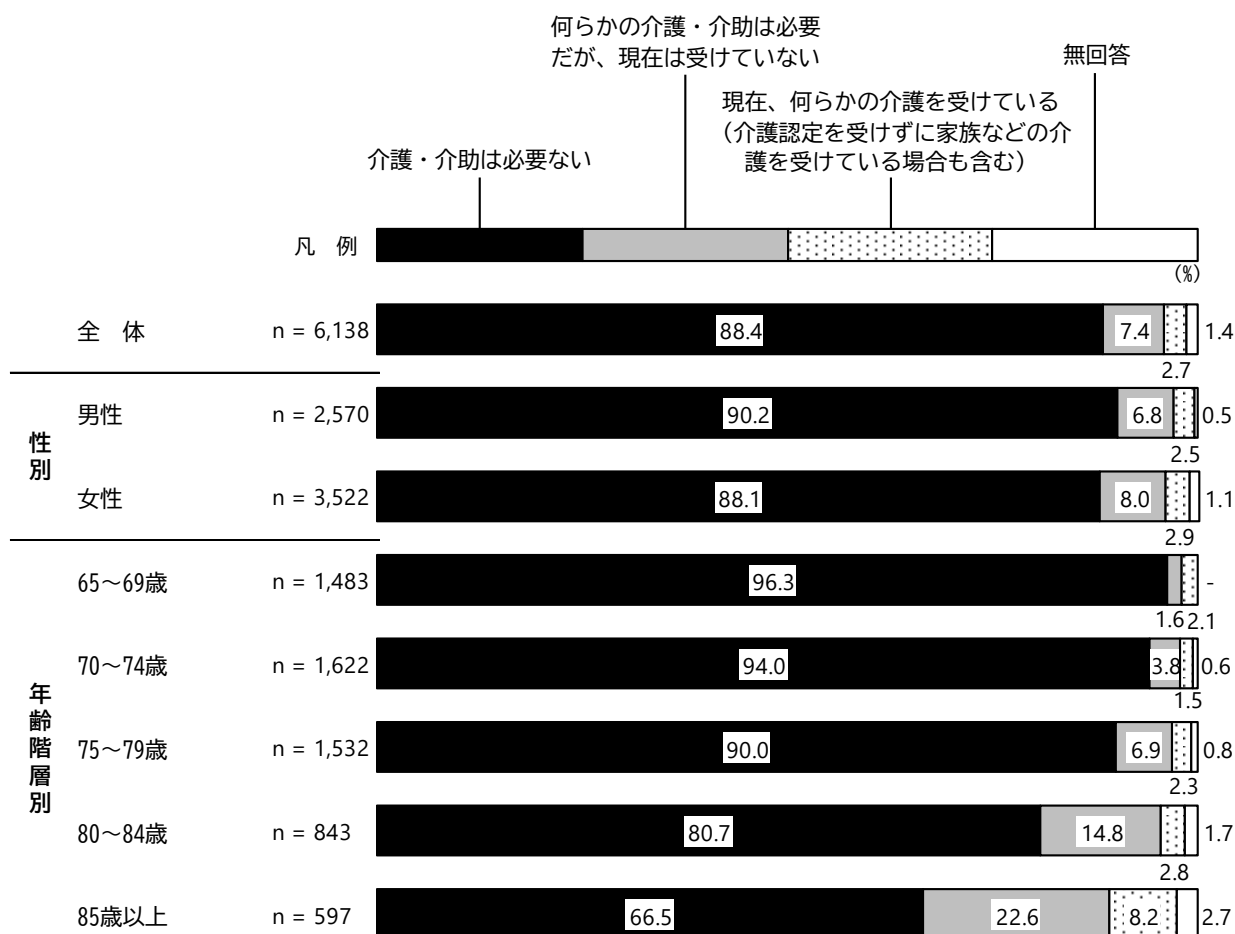
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

2-2 普段の生活における介護・介助の必要度

- ▶ 普段の生活における介護・介助の必要度については、「介護・介助は必要ない」が88.4%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（7.4%）、「現在、何らかの介護を受けている」（2.7%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、85歳以上では「介護・介助は必要ない」が66.5%と、他の年代と比べ10ポイント以上低く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合は年齢が上がるほど高くなっています。



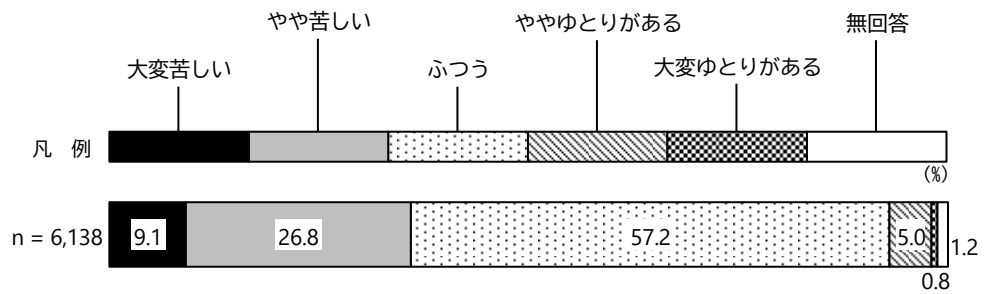
【性別・年齢階層別／普段の生活における介護・介助の必要度】



2-3 現在の暮らしの経済的状況

- ▶ 現在の暮らしの経済的状況については、「ふつう」が57.2%と最も高く、次いで「やや苦しい」(26.8%)、「大変苦しい」(9.1%)となっています。
- ▶ 「大変苦しい」(9.1%)と「やや苦しい」(26.8%)を合わせた《経済的状況が苦しい》は35.9%となっており、「大変ゆとりがある」(0.8%)と「ややゆとりがある」(5.0%)を合わせた《経済的状況にゆとりがある》は5.8%となっています。

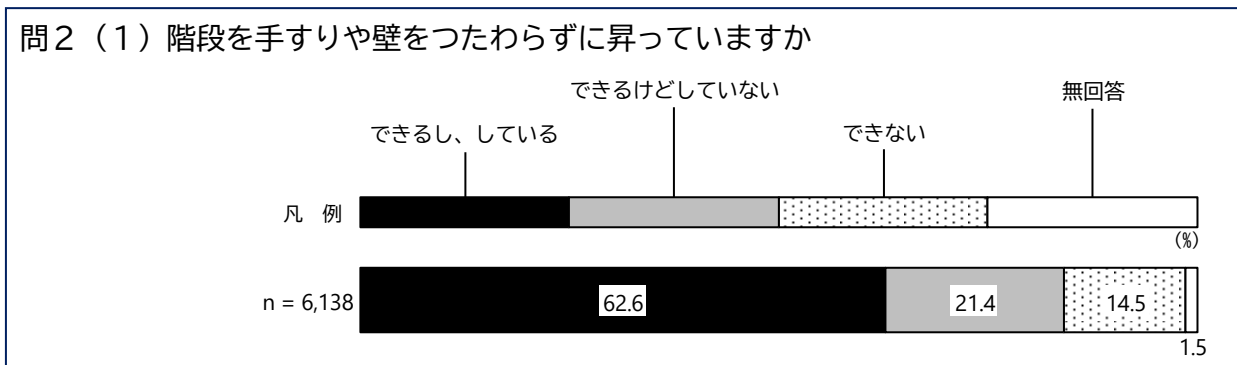
問1（3）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



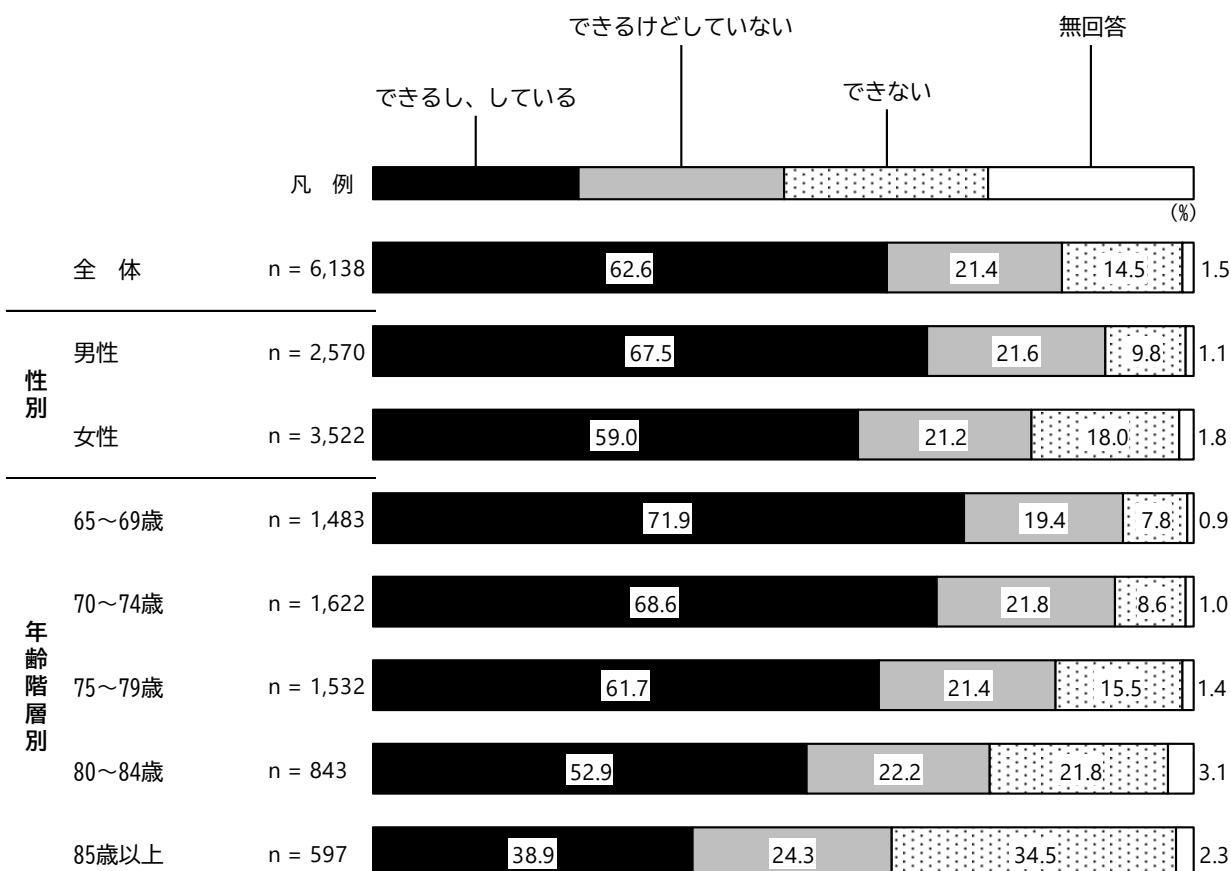
3 からだを動かすことについて

3-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

- ▶ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が62.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」（21.4%）、「できない」（14.5%）となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「できない」は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では34.5%となっています。



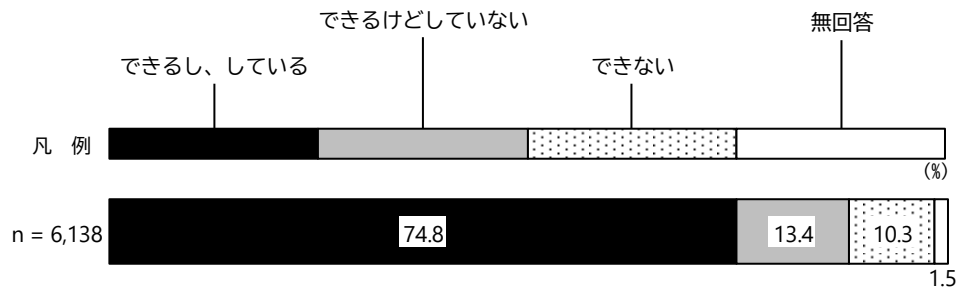
【性別・年齢階層別／階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】



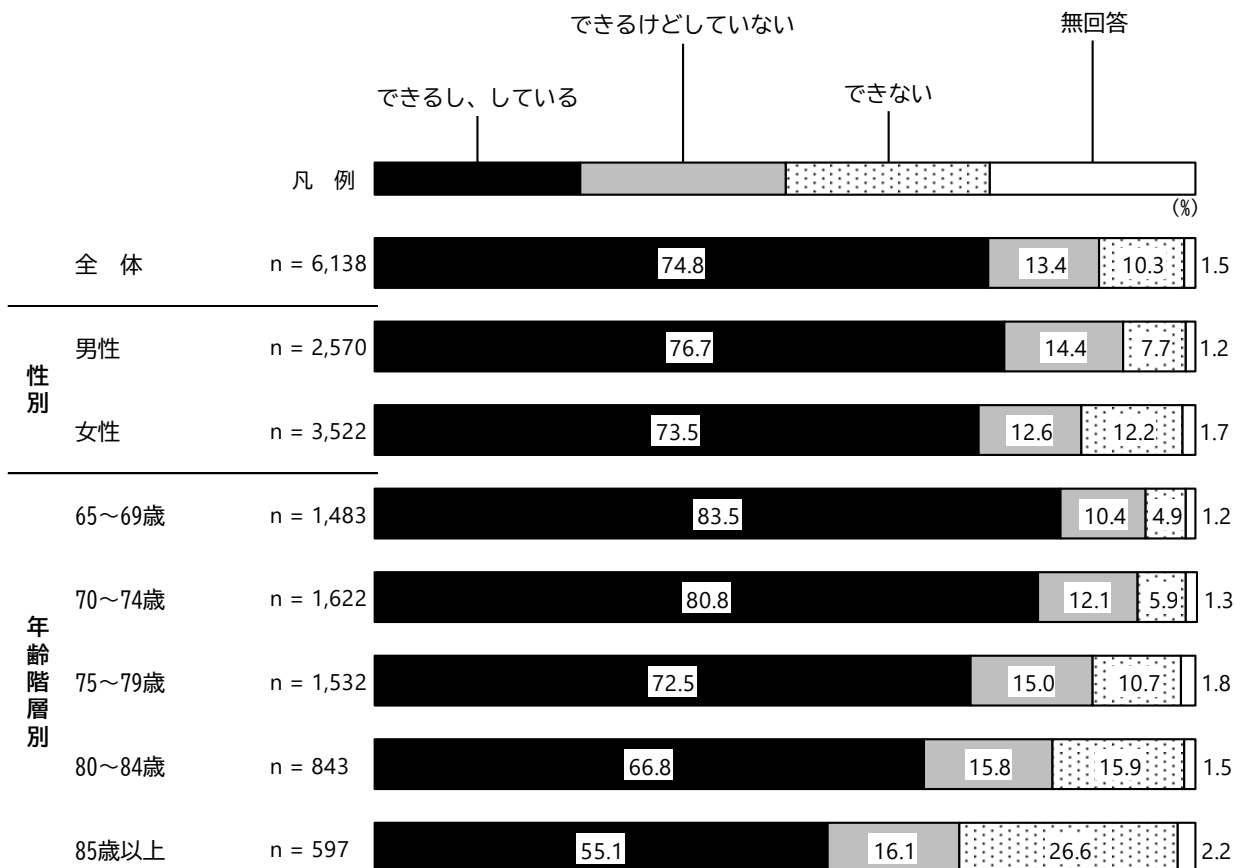
3-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

- ▶ 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が74.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」（13.4%）、「できない」（10.3%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「できない」は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では26.6%となっています。

問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか



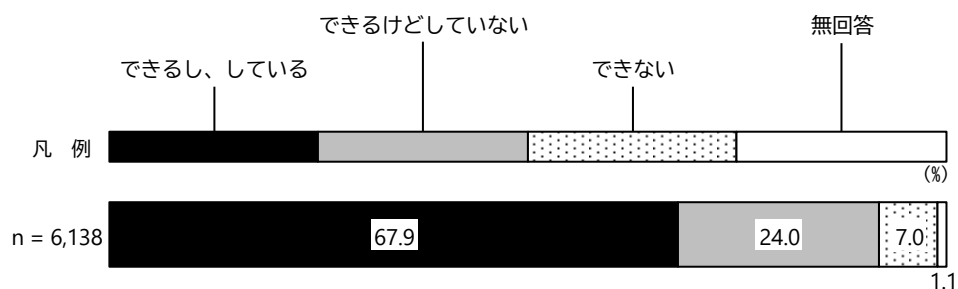
【性別・年齢階層別／椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか】



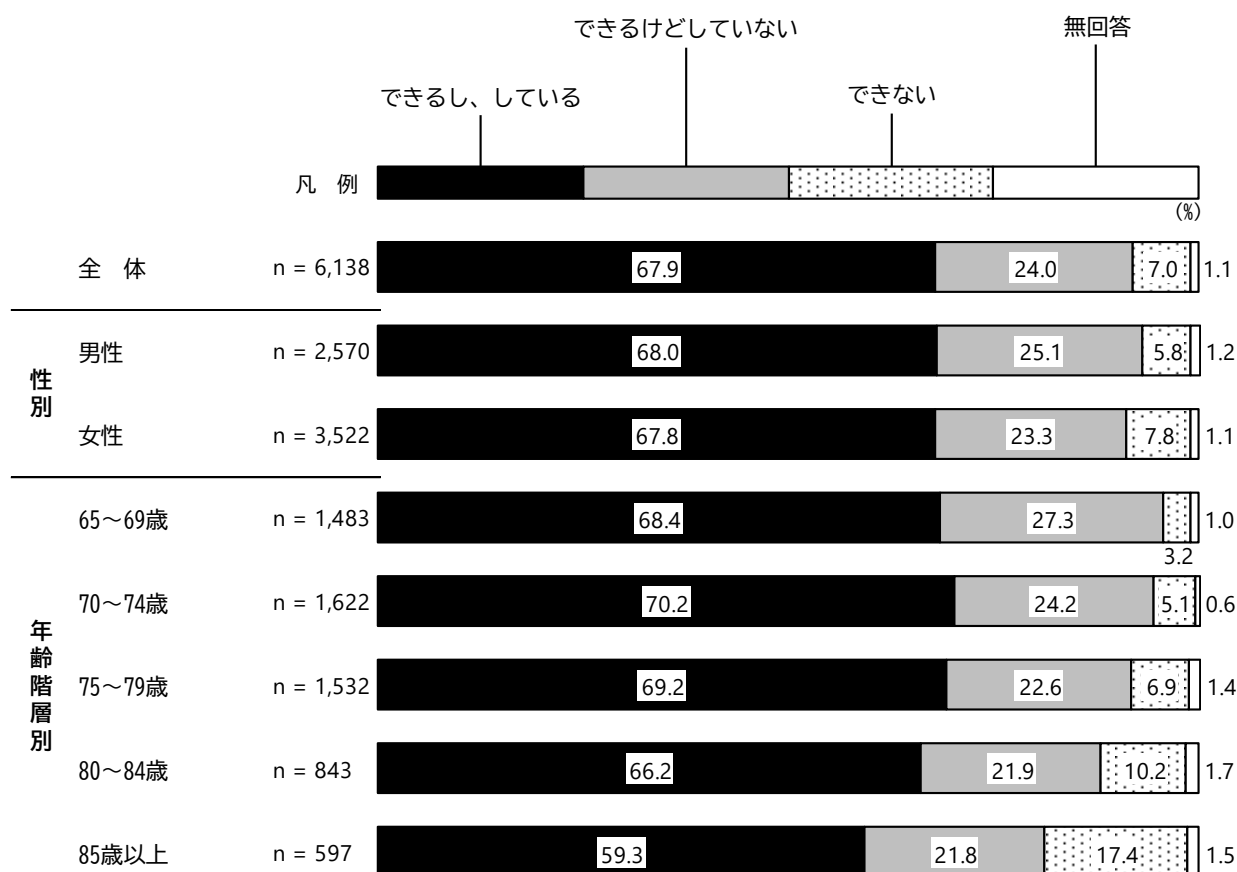
3-3 15分くらい続けて歩いているか

- ▶ 15分くらい続けて歩いているかについては、「できるし、している」が67.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(24.0%)、「できない」(7.0%)となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「できない」は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では17.4%となっています。

問2（3）15分くらい続けて歩いていますか



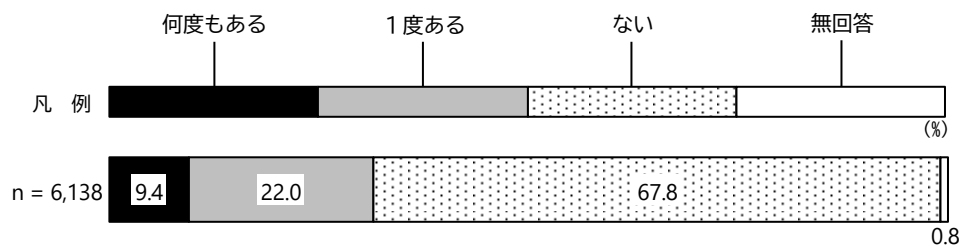
【性別・年齢階層別／15分くらい続けて歩いているか】



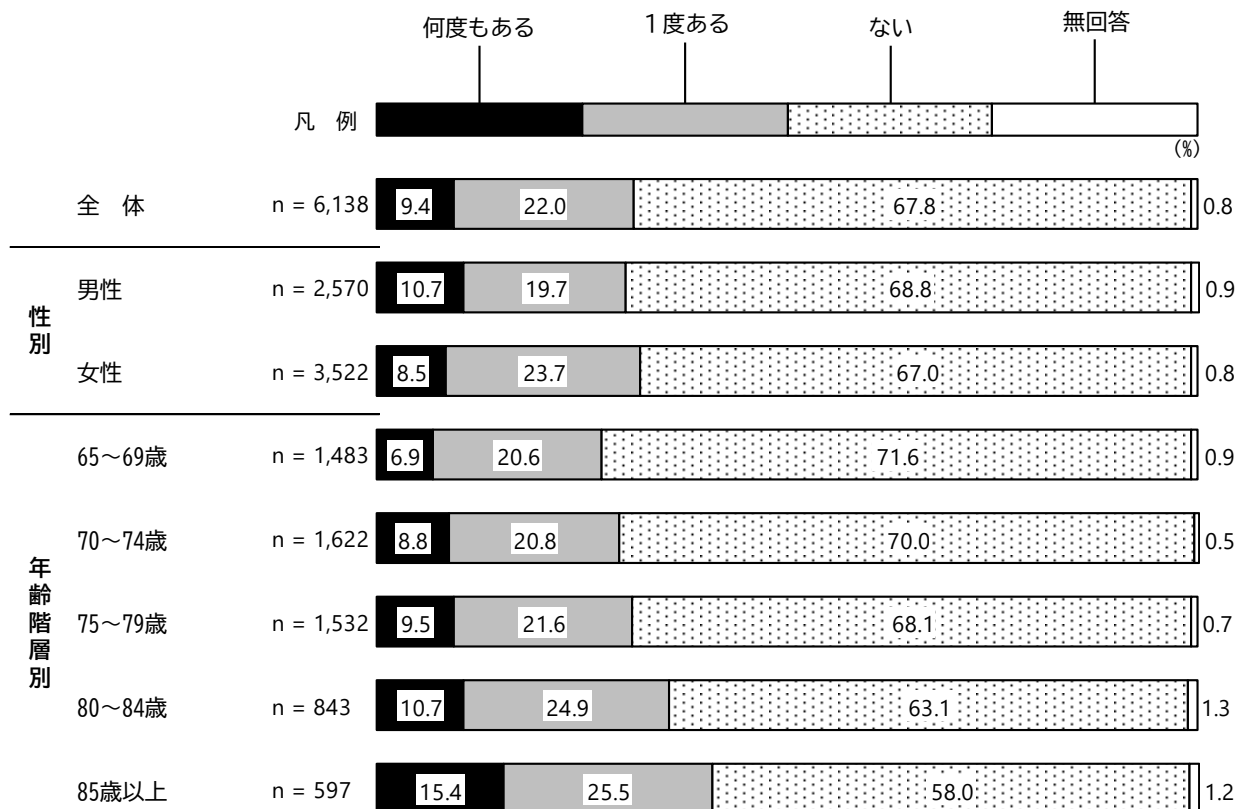
3-4 過去1年間の転倒の経験

- ▶ 過去1年間の転倒の経験については、「ない」が67.8%と最も高く、次いで「1度ある」（22.0%）、「何度もある」（9.4%）となっています。
- ▶ 「何度もある」（9.4%）と「1度ある」（22.0%）を合わせた《転倒経験がある》は31.4%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《転倒経験がある》は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では40.9%となっています。

問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか

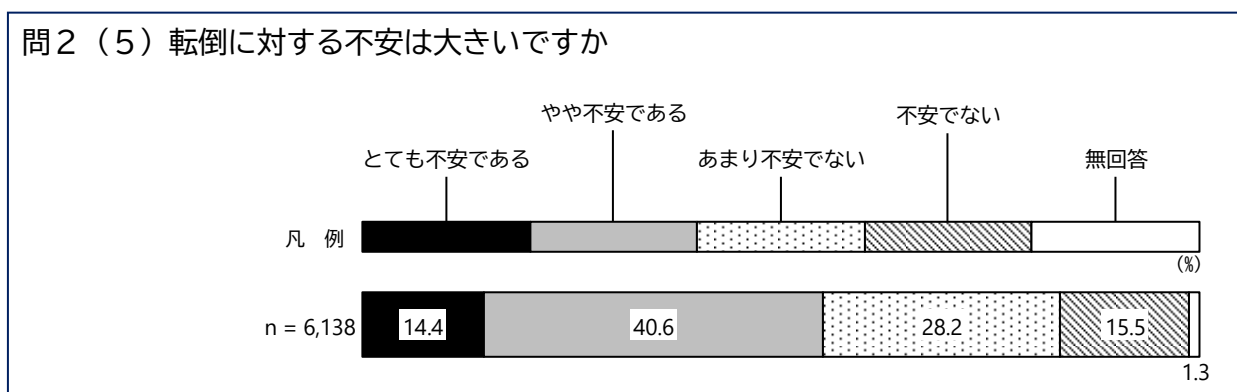


【性別・年齢階層別／過去1年間の転倒の経験】

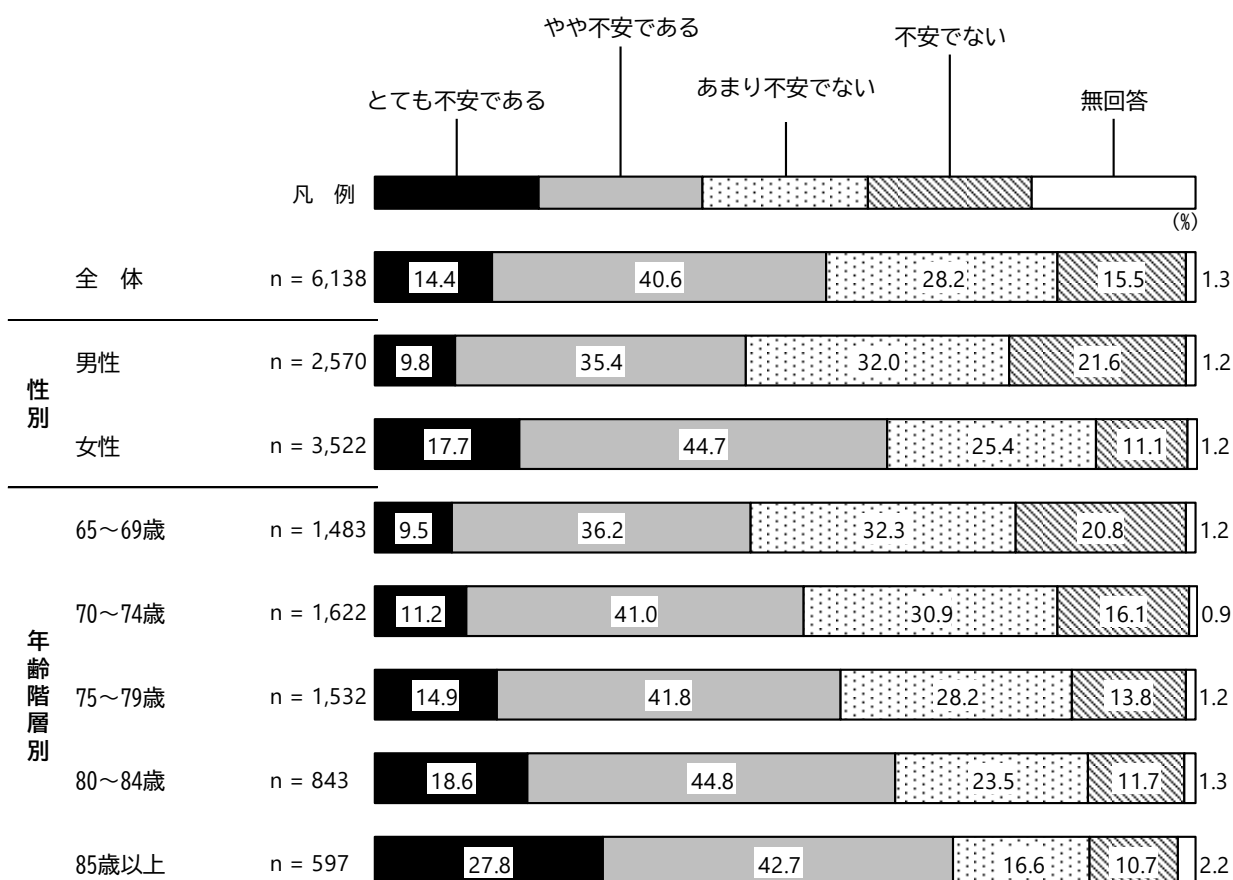


3-5 転倒に対する不安

- ▶ 転倒に対する不安については、「やや不安である」が40.6%と最も高く、次いで「あまり不安でない」(28.2%)、「不安でない」(15.5%)となっています。
- ▶ 「とても不安である」(14.4%)と「やや不安である」(40.6%)を合わせた《不安である》は55.0%となっており、「不安でない」(15.5%)と「あまり不安でない」(28.2%)を合わせた《不安でない》は43.7%となっています。
- ▶ 女性では、《不安である》が62.4%と、男性に比べ15ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《不安である》は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では70.5%となっています。



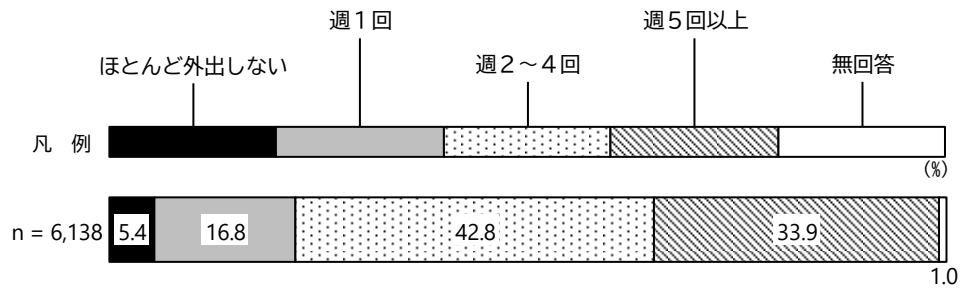
【性別・年齢階層別／転倒に対する不安】



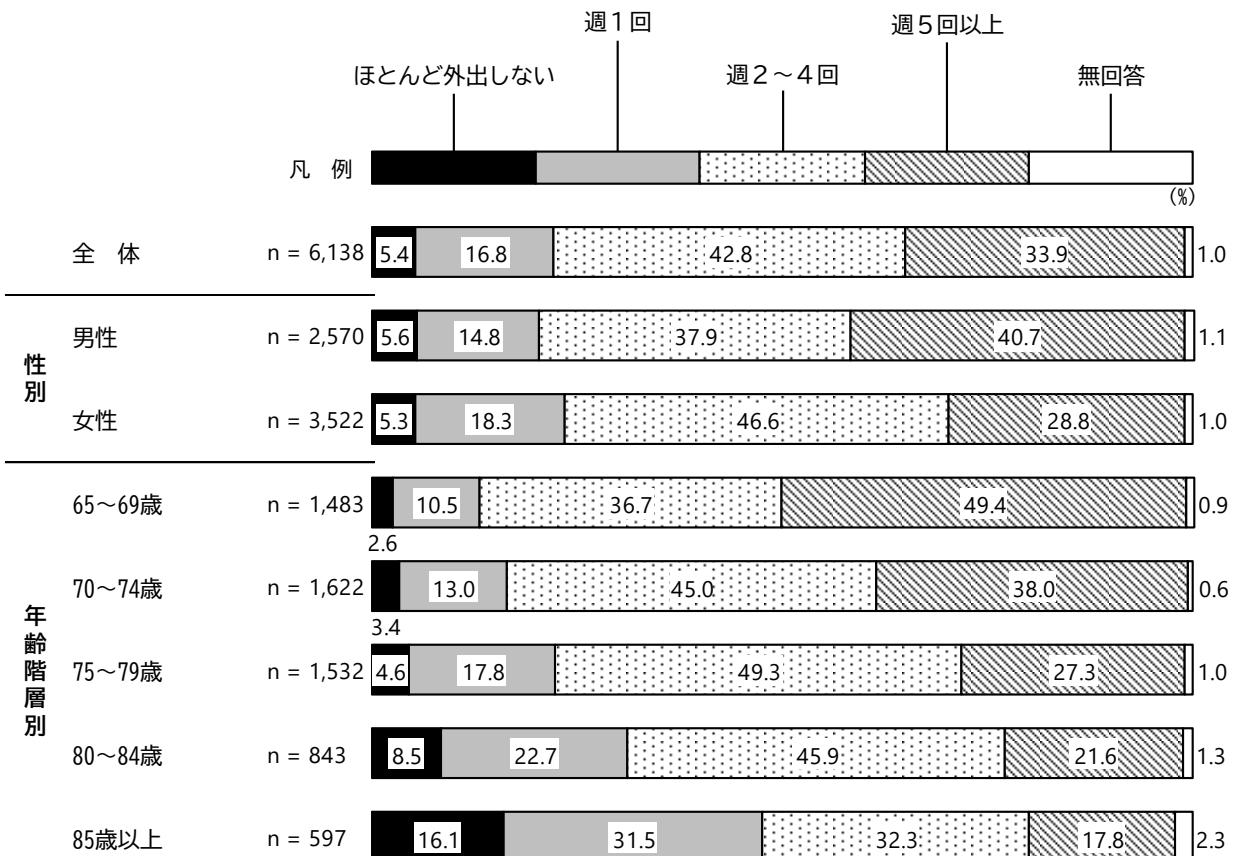
3-6 外出の頻度

- ▶ 外出の頻度については、「週2～4回」が42.8%と最も高く、次いで「週5回以上」（33.9%）、「週1回」（16.8%）となっています。
- ▶ 男性では、「週5回以上」が40.7%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「ほとんど外出しない」は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では16.1%となっています。

問2（6）週に1回以上は外出していますか



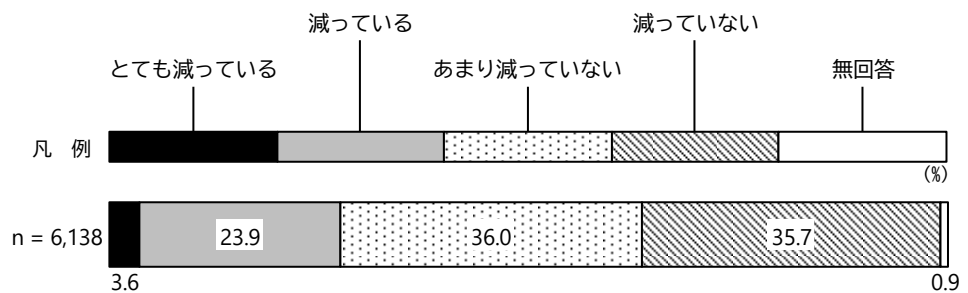
【性別・年齢階層別／外出の頻度】



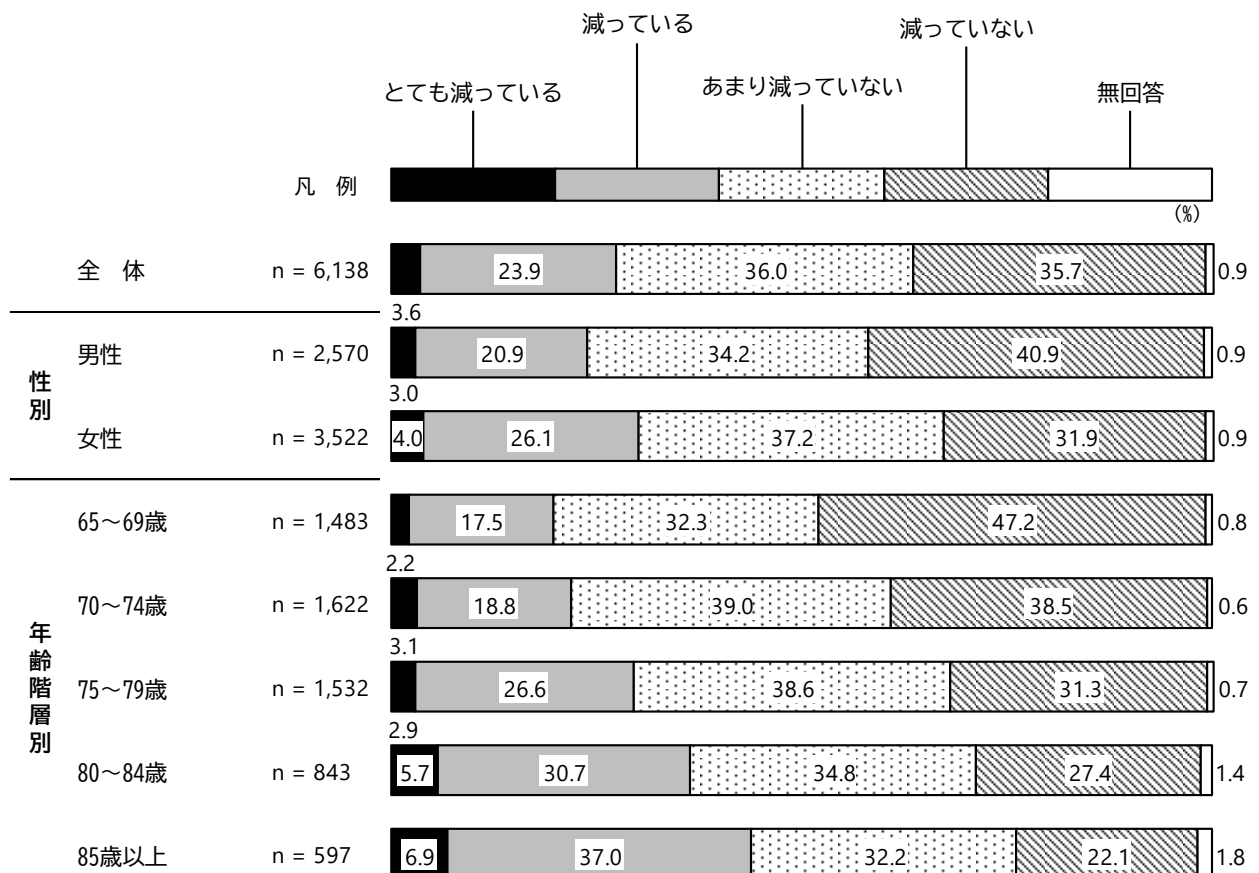
3-7 昨年と比べた外出回数

- ▶ 昨年と比べた外出回数については、「あまり減っていない」が36.0%と最も高く、次いで「減っていない」(35.7%)、「減っていない」(35.7%)、**「減っている」**(23.9%)となっています。
- ▶ **「とても減っている」**(3.6%)と**「減っている」**(23.9%)を合わせた《減っている》が27.5%、「減っていない」(35.7%)と**「あまり減っていない」**(36.0%)を合わせた《減っていない》は71.7%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《減っている》は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では43.9%となっています。

問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか

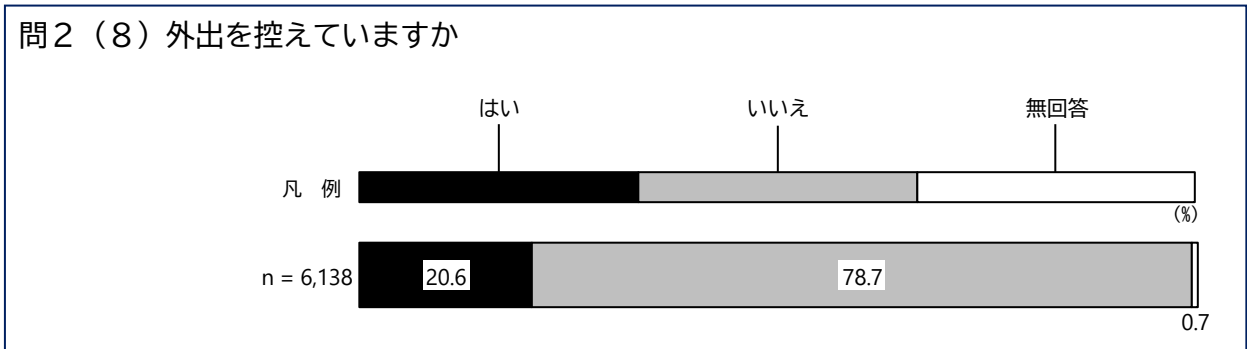


【性別・年齢階層別／昨年と比べた外出回数】

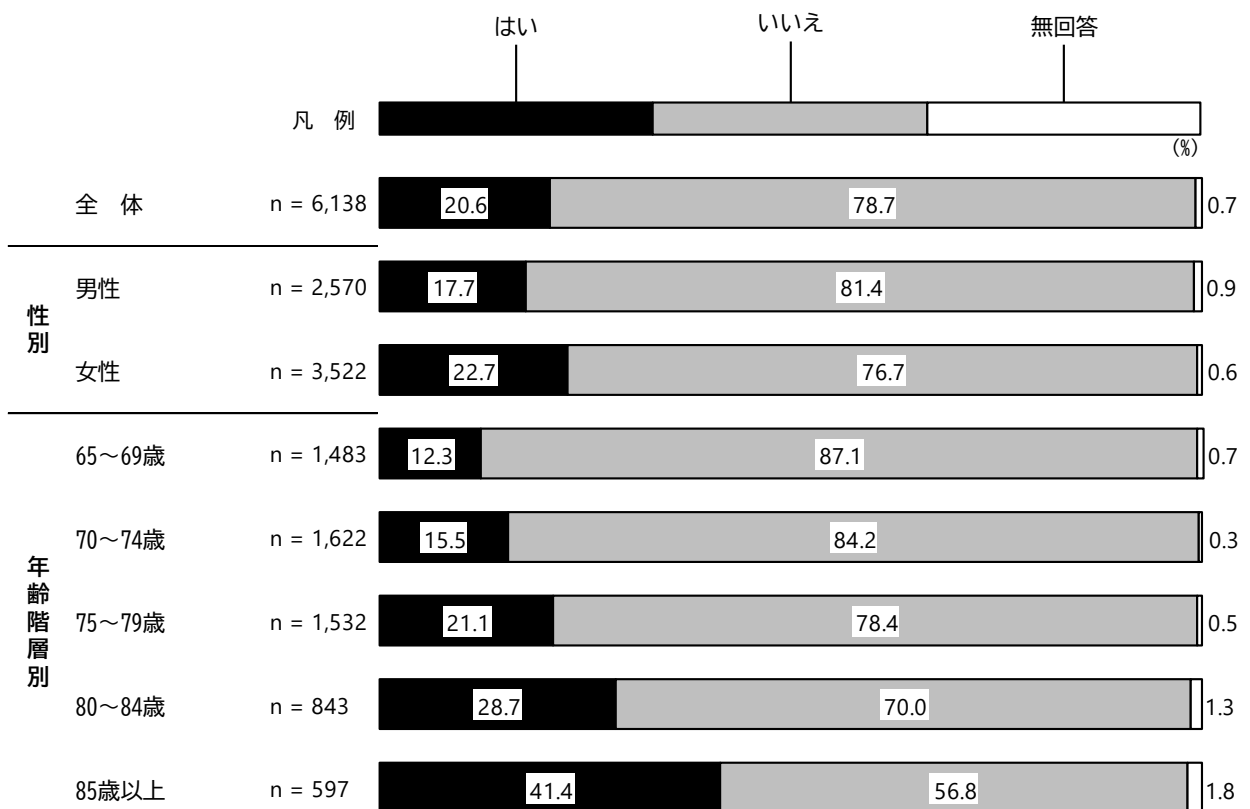


3-8 外出を控えているか

- ▶ 外出を控えているかについては、「いいえ」が78.7%、「はい」が20.6%となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では41.4%と、他の年代と比べ10ポイント以上高くなっています。



【性別・年齢階層別／外出を控えているか】



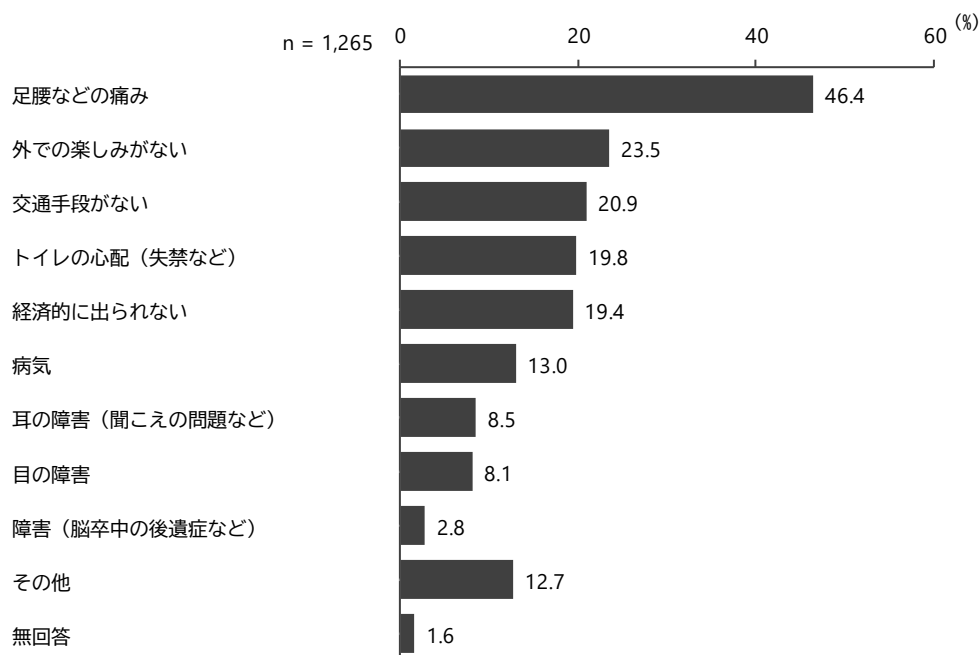
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

3-9 外出を控える理由

- ▶ 外出を控える理由については、「足腰などの痛み」が46.4%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」(23.5%)、「交通手段がない」(20.9%)となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「足腰などの痛み」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では60.3%となっています。

【(8)で「はい」(外出を控えている)と回答した方】

①外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）



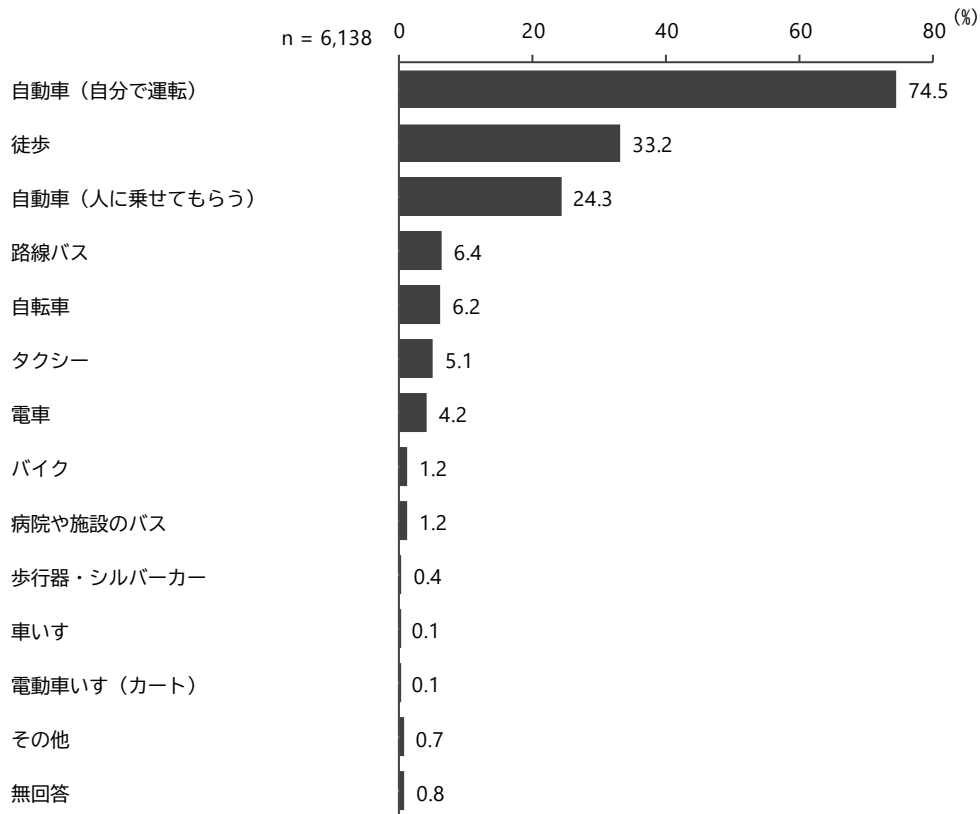
【性別・年齢階層別／外出を控える理由】

		n	足腰などの痛み	外での楽しみがない	交通手段がない	（トイレの心配 （失禁など）	経済的に出られない	病気	耳の障害 （聞こえの問題など）	目の障害	障害 （脳卒中の後遺症など）	その他	無回答
全体		1,265	46.4	23.5	20.9	19.8	19.4	13.0	8.5	8.1	2.8	12.7	1.6
性別	男性	454	44.3	28.6	13.4	21.6	25.1	17.4	10.4	7.9	5.1	9.5	2.0
	女性	799	47.7	20.7	25.2	18.9	16.1	10.6	7.3	7.9	1.4	14.8	1.3
年齢階層別	65～69歳	182	31.3	31.9	8.2	11.0	30.2	19.8	2.2	3.8	1.6	20.3	0.5
	70～74歳	251	39.4	26.3	12.7	14.3	31.9	14.7	3.6	8.8	1.6	19.1	1.2
	75～79歳	323	44.0	26.9	19.5	21.7	18.0	12.7	6.2	7.7	4.3	10.2	2.5
	80～84歳	242	54.1	19.4	24.8	25.2	14.0	9.9	12.0	8.7	2.9	7.9	2.5
	85歳以上	247	60.3	14.2	36.8	24.3	5.7	10.1	17.4	9.3	2.8	8.9	0.8

3-10 外出する際の移動手段

- ▶ 外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が74.5%と最も高く、次いで「徒歩」（33.2%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（24.3%）となっています。
- ▶ 女性では、「自動車（人に乗せてもらう）」が34.6%と、男性に比べ20ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、85歳未満は「自動車（自分で運転）」が最も高く、85歳以上は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も高くなっています。

問2（9）外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【性別・年齢階層別／外出する際の移動手段】

(%)

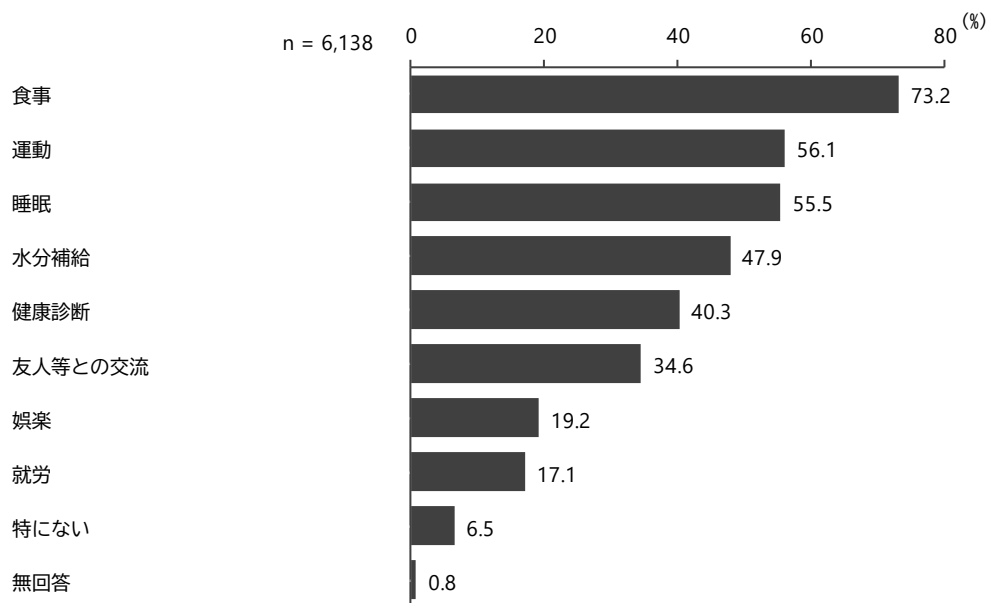
		n	自動車 (自分で運転)	徒歩	自動車 (人に 乗せてもらう)	路線バス	自転車	タクシー	電車	バイク	病院や施設のバス
全 体		6,138	74.5	33.2	24.3	6.4	6.2	5.1	4.2	1.2	1.2
性別	男性	2,570	87.5	31.8	10.1	2.9	8.5	2.2	3.3	2.3	0.7
	女性	3,522	65.1	34.3	34.6	9.0	4.5	7.3	4.9	0.3	1.5
年齢階層別	65～69歳	1,483	90.3	32.0	15.0	4.5	5.5	1.7	5.2	1.5	0.2
	70～74歳	1,622	85.4	31.6	17.8	4.7	5.7	3.1	4.3	1.6	0.6
	75～79歳	1,532	74.8	33.4	22.7	7.4	6.7	5.0	3.7	1.0	1.0
	80～84歳	843	57.8	34.6	34.5	8.2	7.1	9.0	3.7	0.7	2.7
	85歳以上	597	30.0	38.4	53.9	10.4	6.7	14.1	3.5	0.2	3.9

※全体の回答数上位9項目を抜粋

3-11 健康維持のために心がけていること

- ▶ 健康維持のために心がけていることについては、「食事」が73.2%と最も高く、次いで「運動」（56.1%）、「睡眠」（55.5%）となっています。
- ▶ 男性では、「食事」が65.3%と、女性に比べ10ポイント以上低くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「健康診断」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があり、85歳以上では31.7%となっています。

問2（10）健康維持のために心がけていることはありますか（いくつでも）



【性別・年齢階層別／健康維持のために心がけていること】

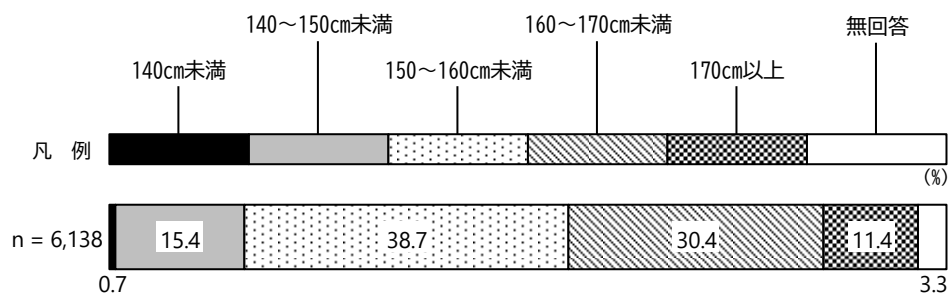
		n	食事	運動	睡眠	水分補給	健康診断	友人等との交流	娯楽	就労	特にない	無回答
全体		6,138	73.2	56.1	55.5	47.9	40.3	34.6	19.2	17.1	6.5	0.8
性別	男性	2,570	65.3	55.0	55.3	37.5	37.8	21.9	19.5	21.8	8.3	1.0
	女性	3,522	78.9	56.9	55.8	55.2	42.3	44.1	19.1	13.6	5.0	0.6
年齢階層別	65～69歳	1,483	70.8	52.6	58.6	42.3	42.9	28.7	19.2	28.3	6.3	0.8
	70～74歳	1,622	72.4	57.9	55.9	48.4	42.6	36.9	21.5	20.3	5.4	0.4
	75～79歳	1,532	73.6	59.5	52.9	49.5	39.8	39.4	19.4	11.2	6.9	0.5
	80～84歳	843	76.0	57.9	53.3	50.9	39.4	36.9	18.9	8.9	6.5	1.2
	85歳以上	597	76.4	48.9	57.8	51.3	31.7	29.3	14.1	7.4	8.0	2.0

4 食べることについて

4-1 身長・体重・BMI

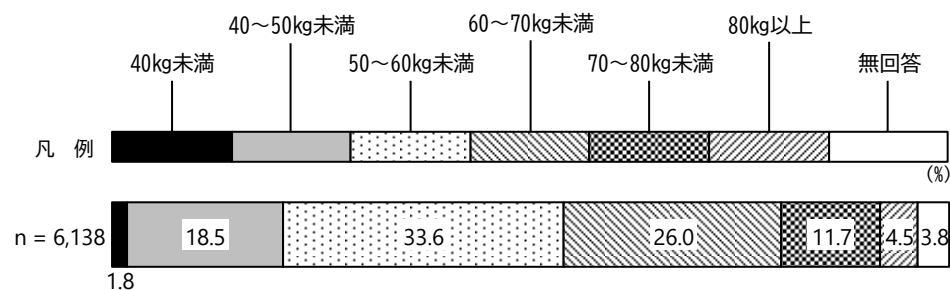
- ▶ 身長については、「150～160cm未満」が38.7%と最も高く、次いで「160～170cm未満」（30.4%）、「140～150cm未満」（15.4%）となっています。

問3（1）身長



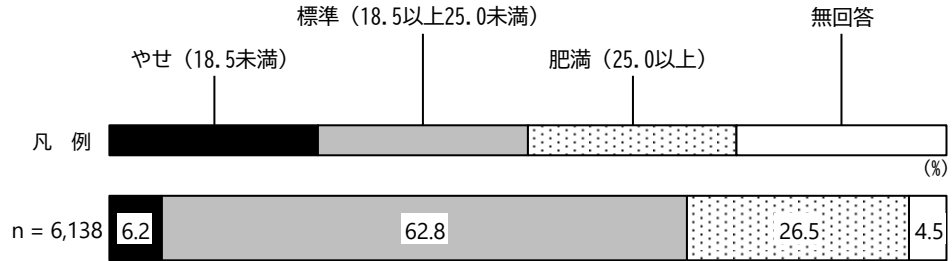
- ▶ 体重については、「50～60 kg未満」が33.6%と最も高く、次いで「60～70 kg未満」（26.0%）、「40～50 kg未満」（18.5%）となっています。

問3（1）体重

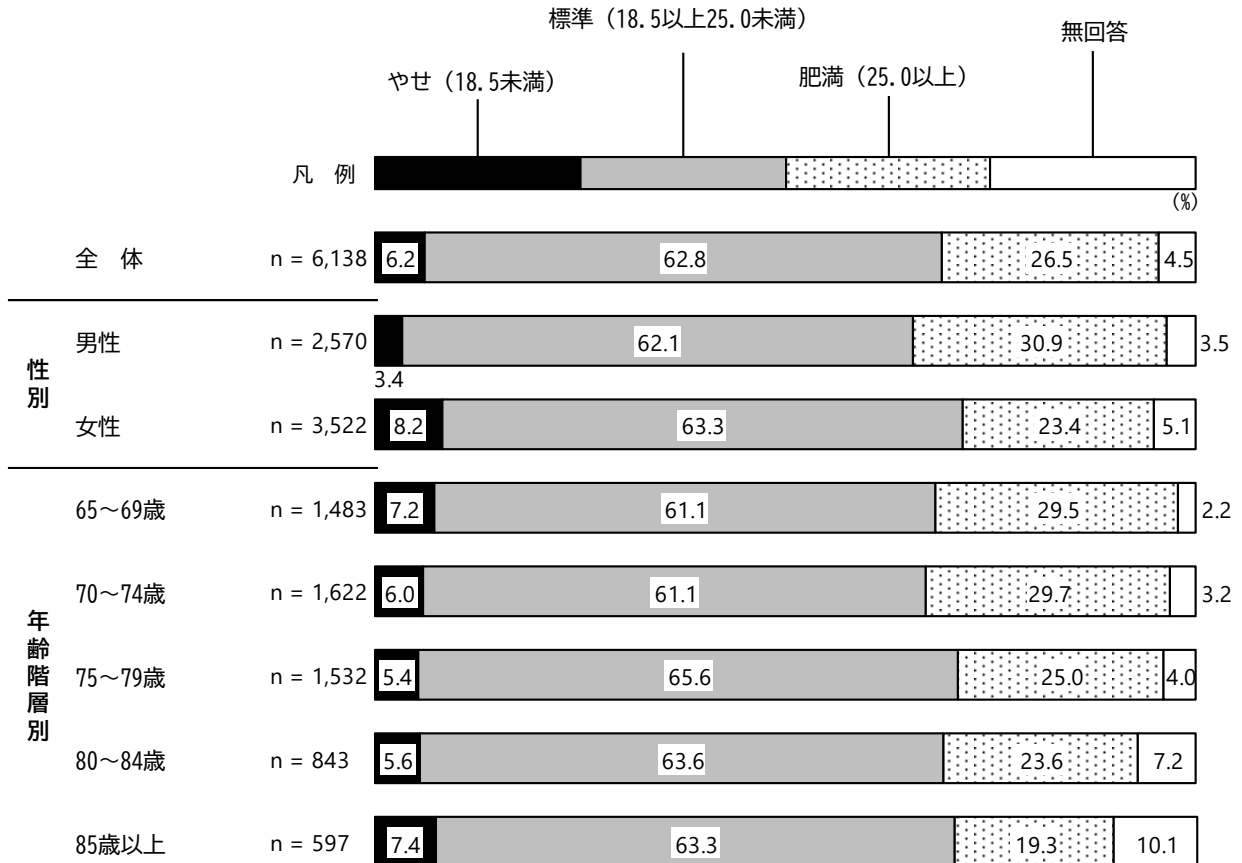


- ▶ BMIについては、「標準（18.5以上25.0未満）」が62.8%と最も高く、次いで「肥満（25.0以上）」（26.5%）、「やせ（18.5未満）」（6.2%）となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「肥満（25.0以上）」の割合は年齢が下がるにつれ高くなる傾向があります。

問3（1）BMI



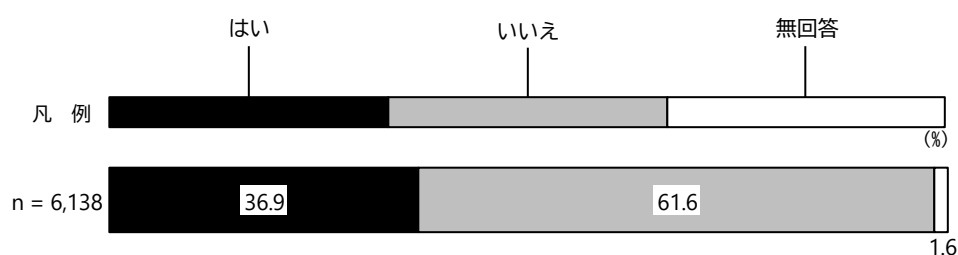
【性別・年齢階層別／BMI】



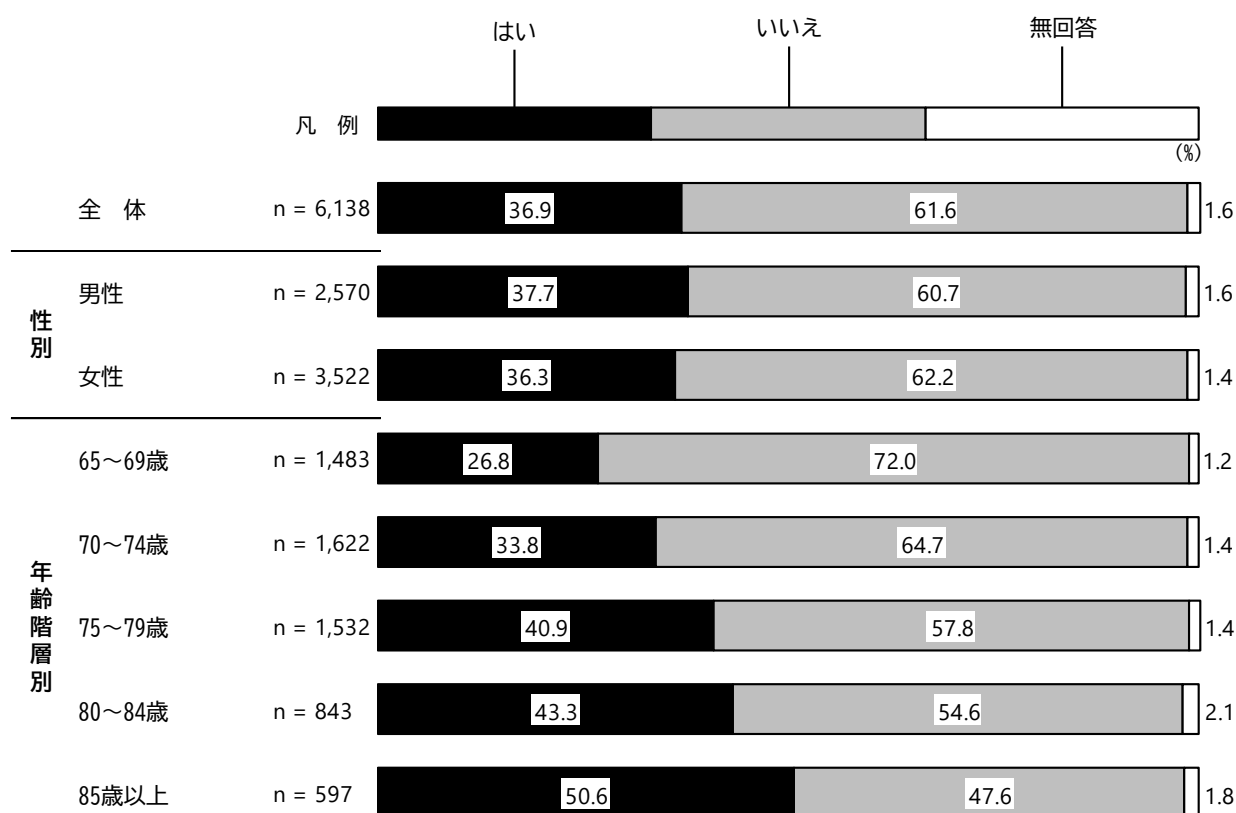
4-2 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか

- ▶ 半年前と比べて固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が 61.6%、「はい」が 36.9%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では 50.6%となっています。

問3（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか



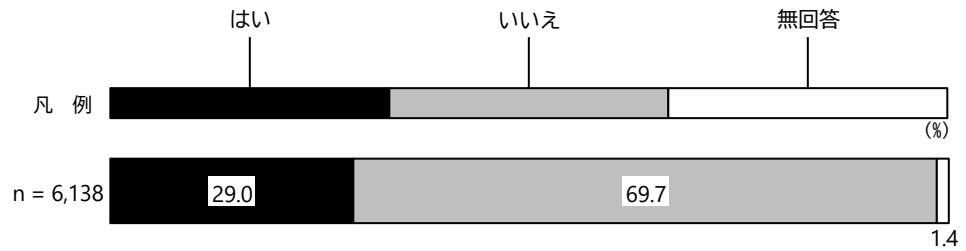
【性別・年齢階層別／半年前と比べて固いものが食べにくくなったか】



4-3 お茶や汁物等でむせることがあるか

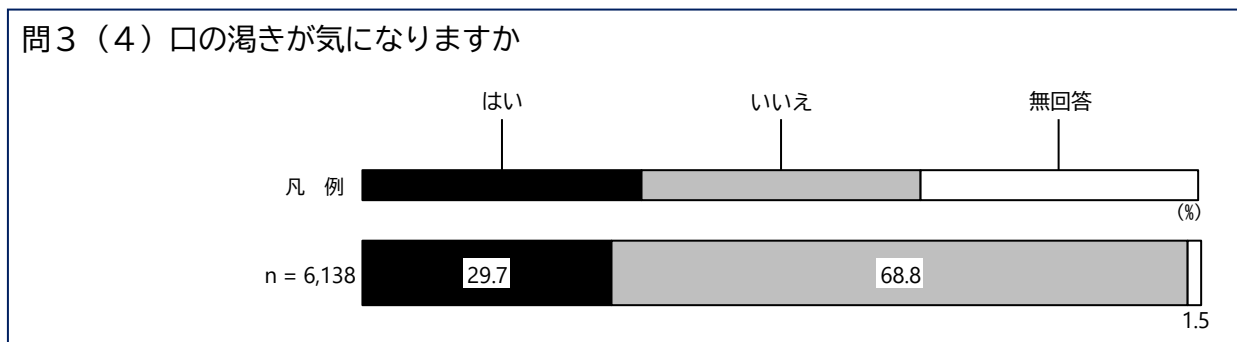
- ▶ お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「いいえ」が69.7%、「はい」が29.0%となっています。

問3（3）お茶や汁物等でむせることがありますか

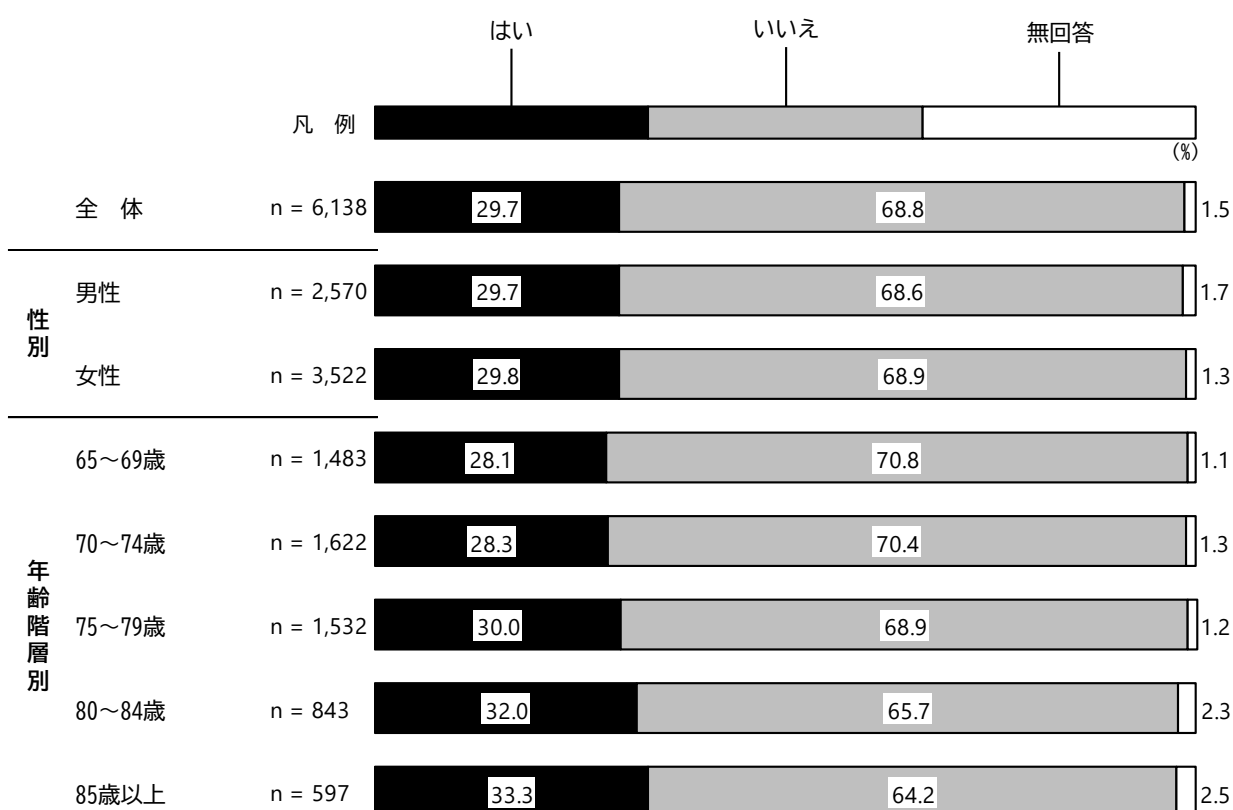


4-4 口の渇きが気になるか

- ▶ 口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が 68.8%、「はい」が 29.7%となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は 33.3%となっています。



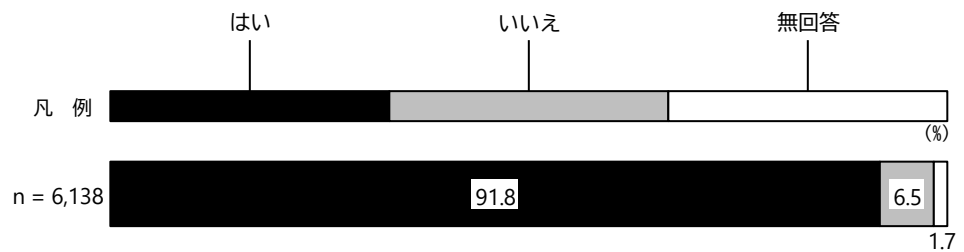
【性別・年齢階層別／口の渇きが気になるか】



4-5 歯磨きを毎日しているか

- ▶ 歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が91.8%、「いいえ」が6.5%となっています。

問3（5）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか



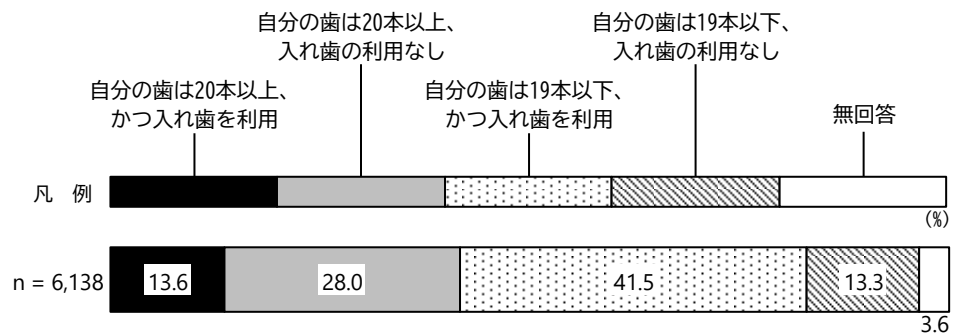
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

4-6 歯の数と入れ歯の利用状況

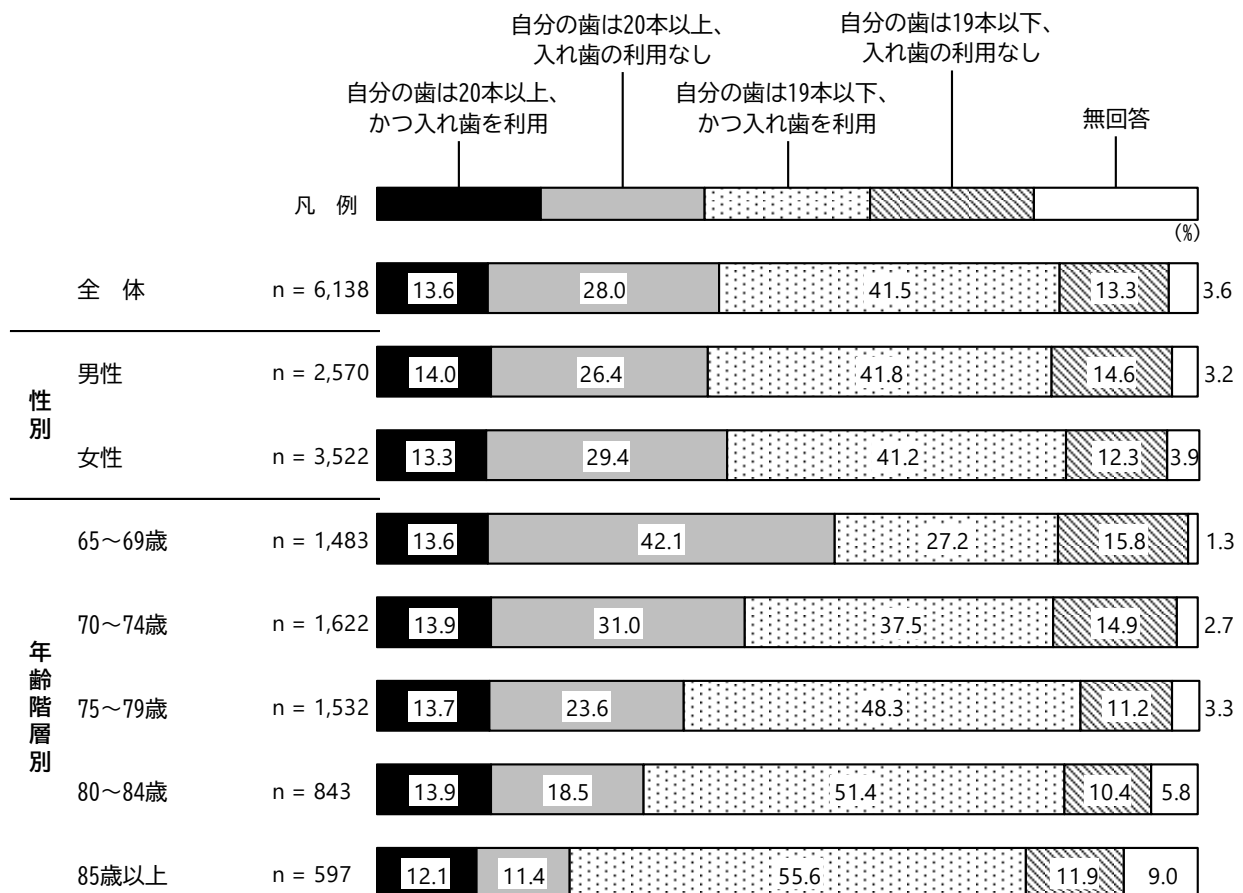
- ▶ 歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.5%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(28.0%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(13.6%)となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は55.6%となっています。

問3（6）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）



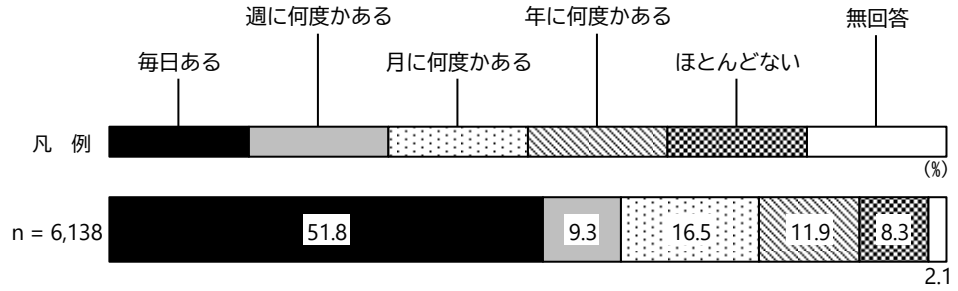
【性別・年齢階層別／歯の数と入れ歯の利用状況】



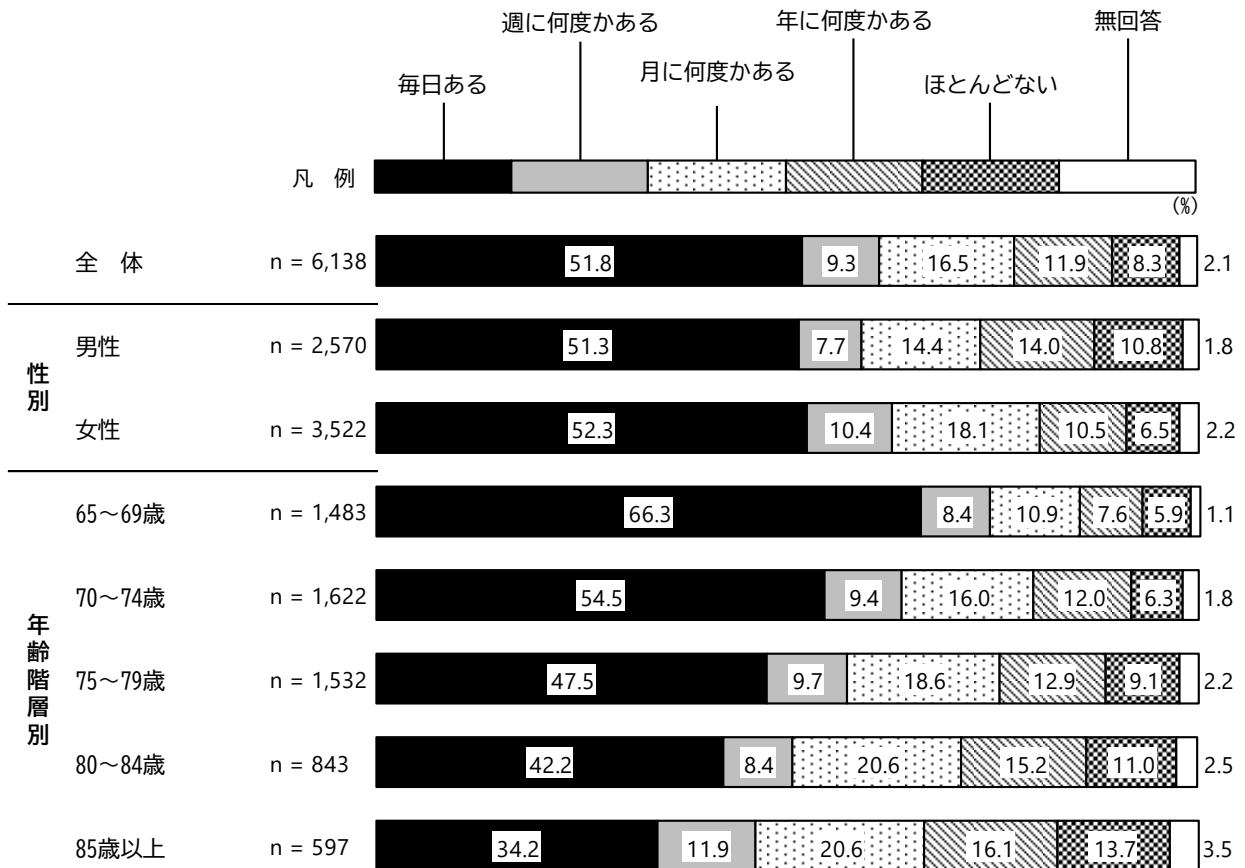
4-7 誰かと食事をともしる機会があるか

- ▶ 誰かと食事をともしる機会があるかについては、「毎日ある」が51.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」（16.5%）、「年に何度かある」（11.9%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「毎日ある」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があり、85歳以上は34.2%となっています。

問3（7）どなたかと食事をともしる機会がありますか



【性別・年齢階層別／誰かと食事をともしる機会があるか】

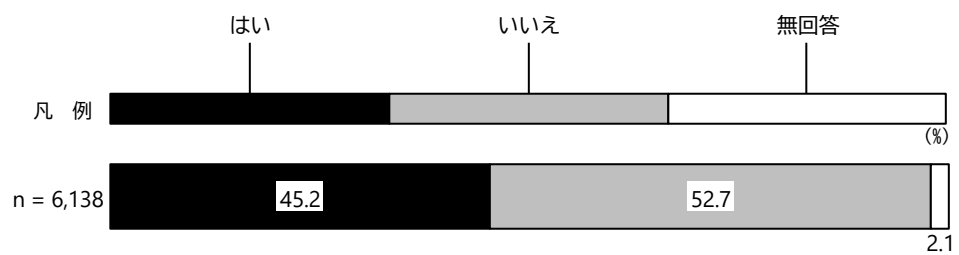


5 毎日の生活について

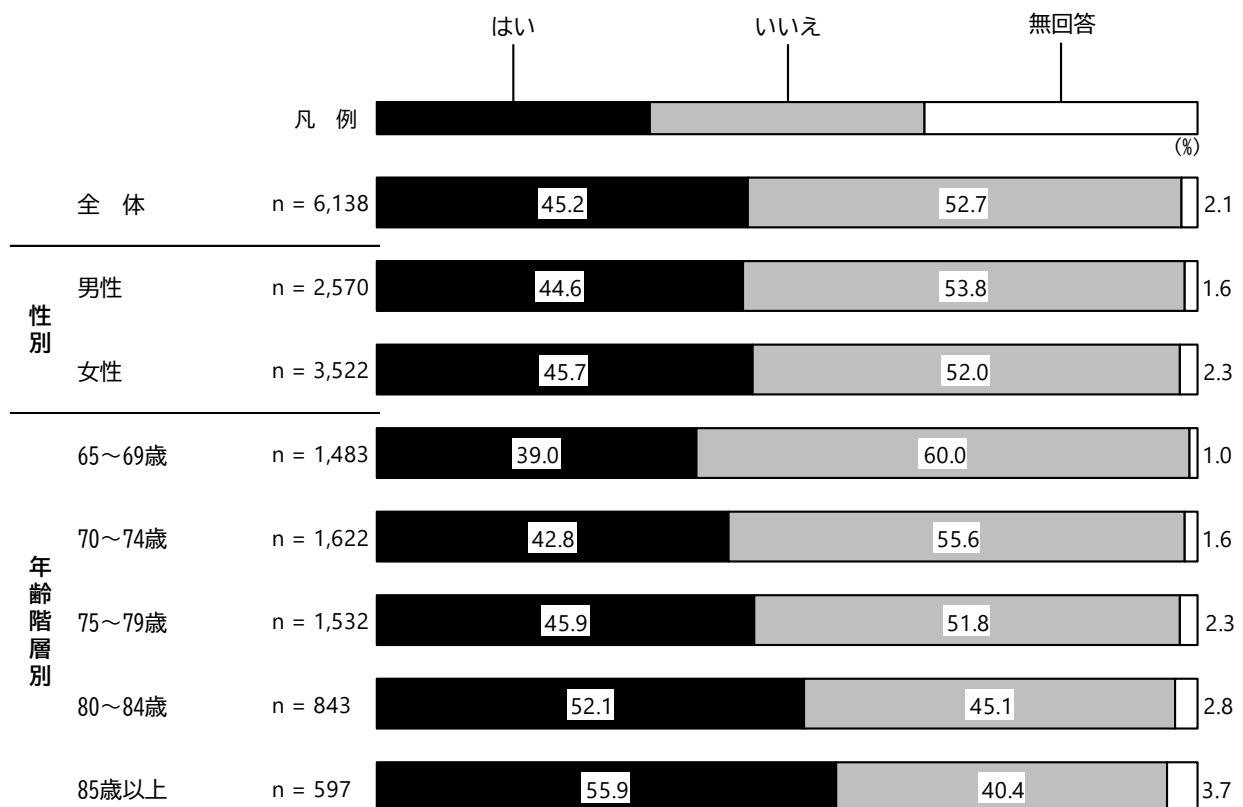
5-1 物忘れが多いと感じるか

- ▶ 物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が 52.7%、「はい」が 45.2%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は 55.9%となっています。

問4（1）物忘れが多いと感じますか

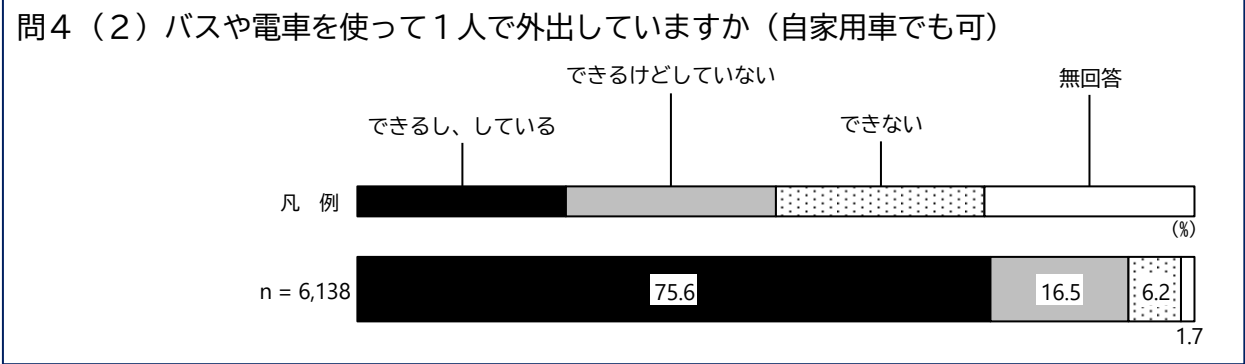


【性別・年齢階層別／物忘れが多いと感じるか】

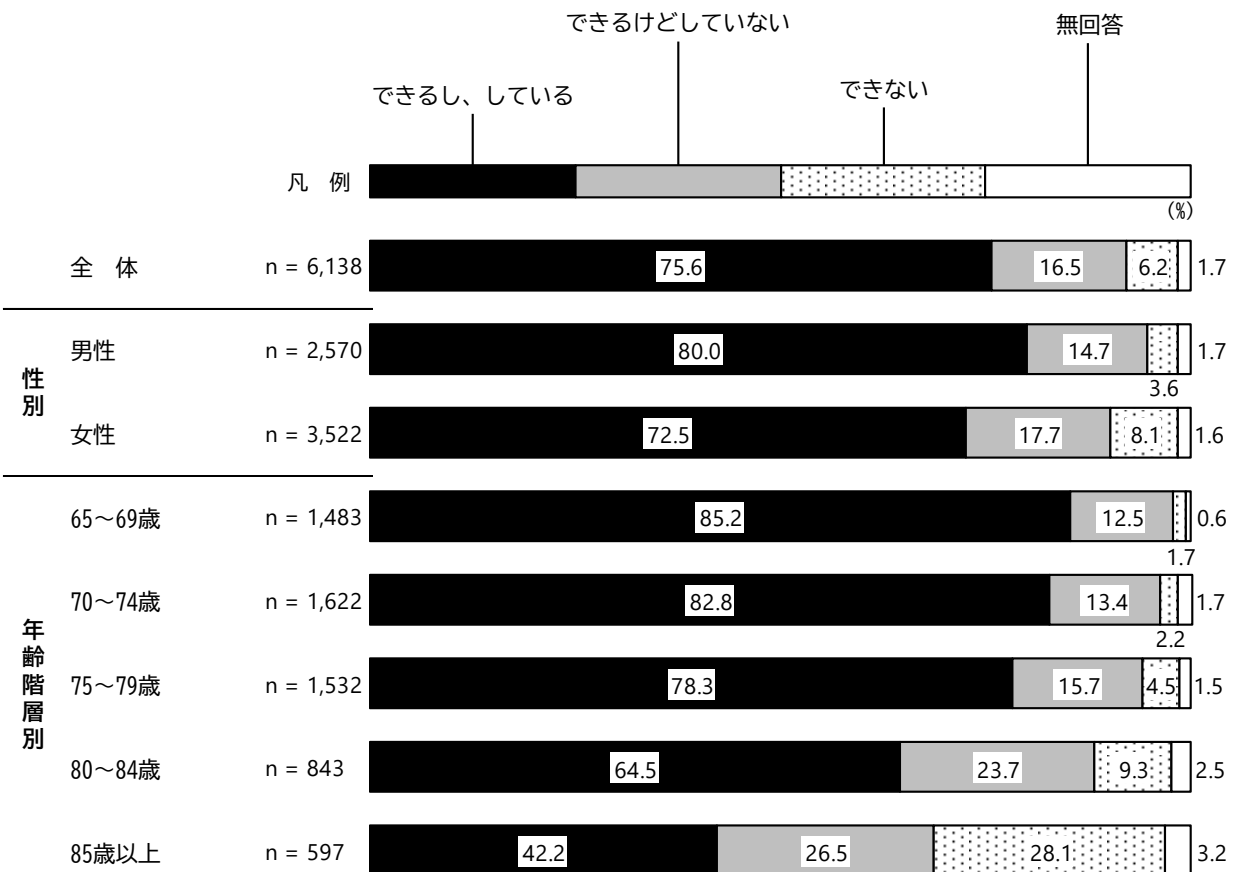


5-2 バスや電車を使って1人で外出しているか

- ▶ バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が75.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」（16.5%）、「できない」（6.2%）となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、85歳以上では「できない」が28.1%と、他の年代と比べ15ポイント以上高くなっています。

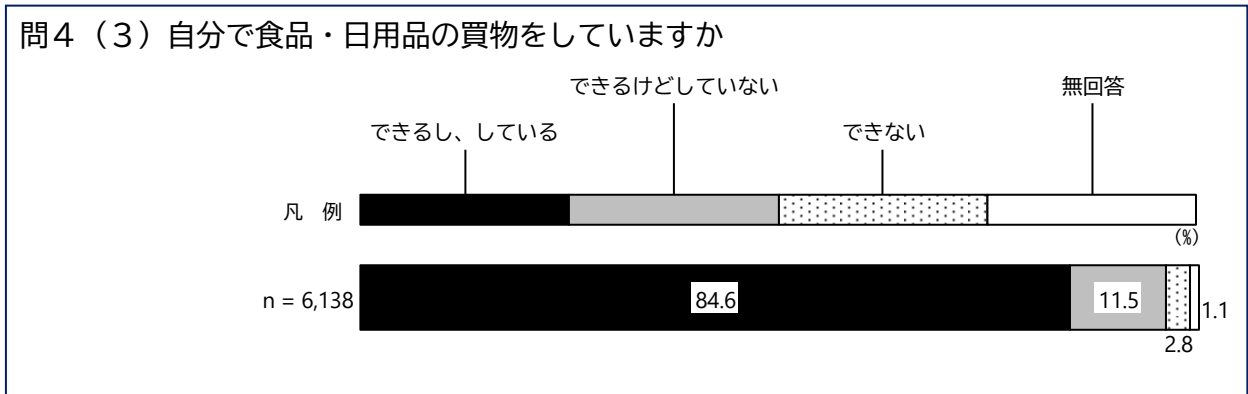


【性別・年齢階層別／バスや電車を使って1人で外出しているか】

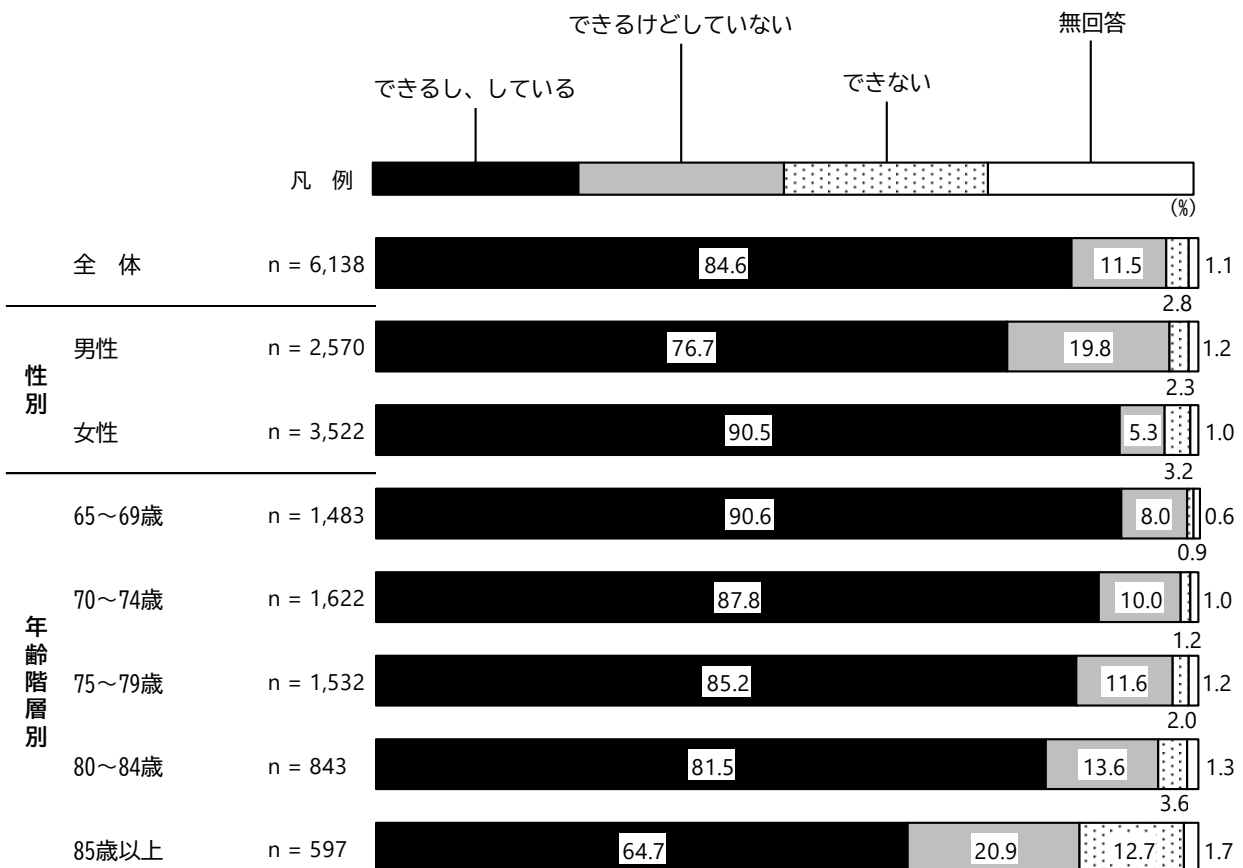


5-3 自分で食品・日用品の買物をしているか

- ▶ 自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が84.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(11.5%)、「できない」(2.8%)となっています。
- ▶ 男性では、「できるけどしていない」が19.8%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、85歳以上では「できるし、している」が64.7%と他の年代と比べ15ポイント以上低くなっています。



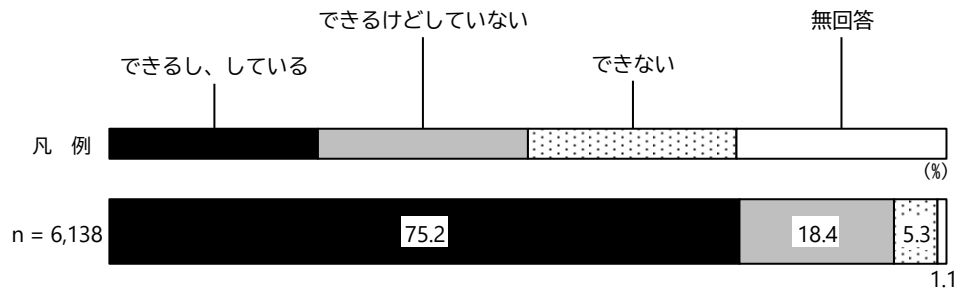
【性別・年齢階層別／自分で食品・日用品の買物をしているか】



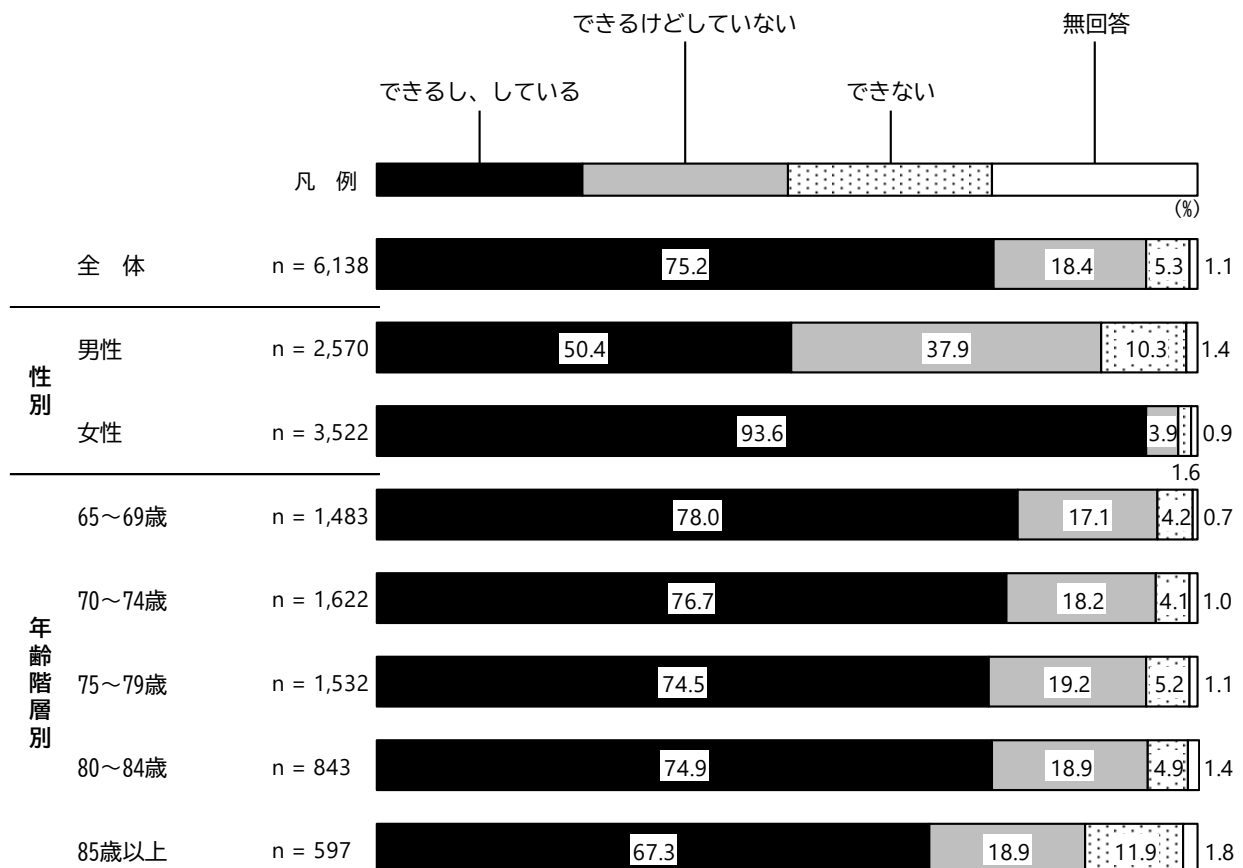
5-4 自分で食事の用意をしているか

- ▶ 自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が75.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(18.4%)、「できない」(5.3%)となっています。
- ▶ 男性では、「できるし、している」が50.4%と、女性に比べ40ポイント以上低くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「できるし、している」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があり、85歳以上は67.3%となっています。

問4（4）自分で食事の用意をしていますか

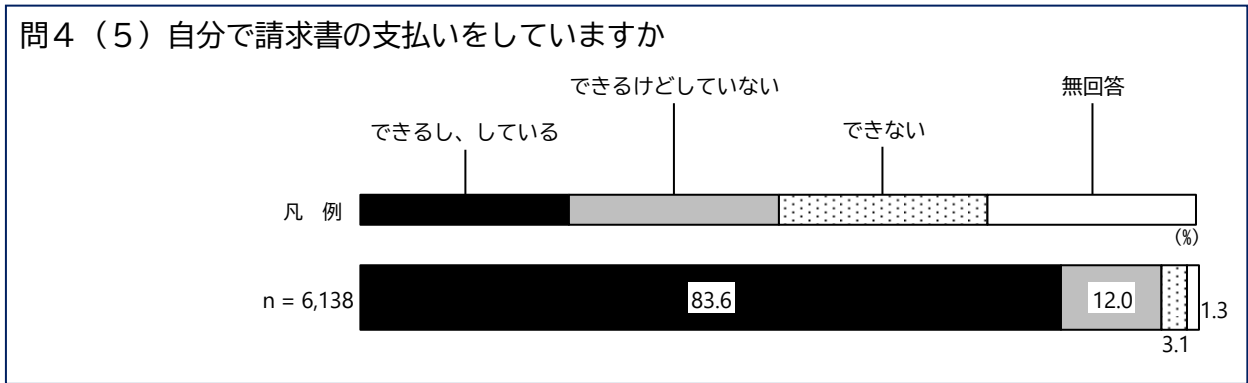


【性別・年齢階層別／自分で食事の用意をしているか】

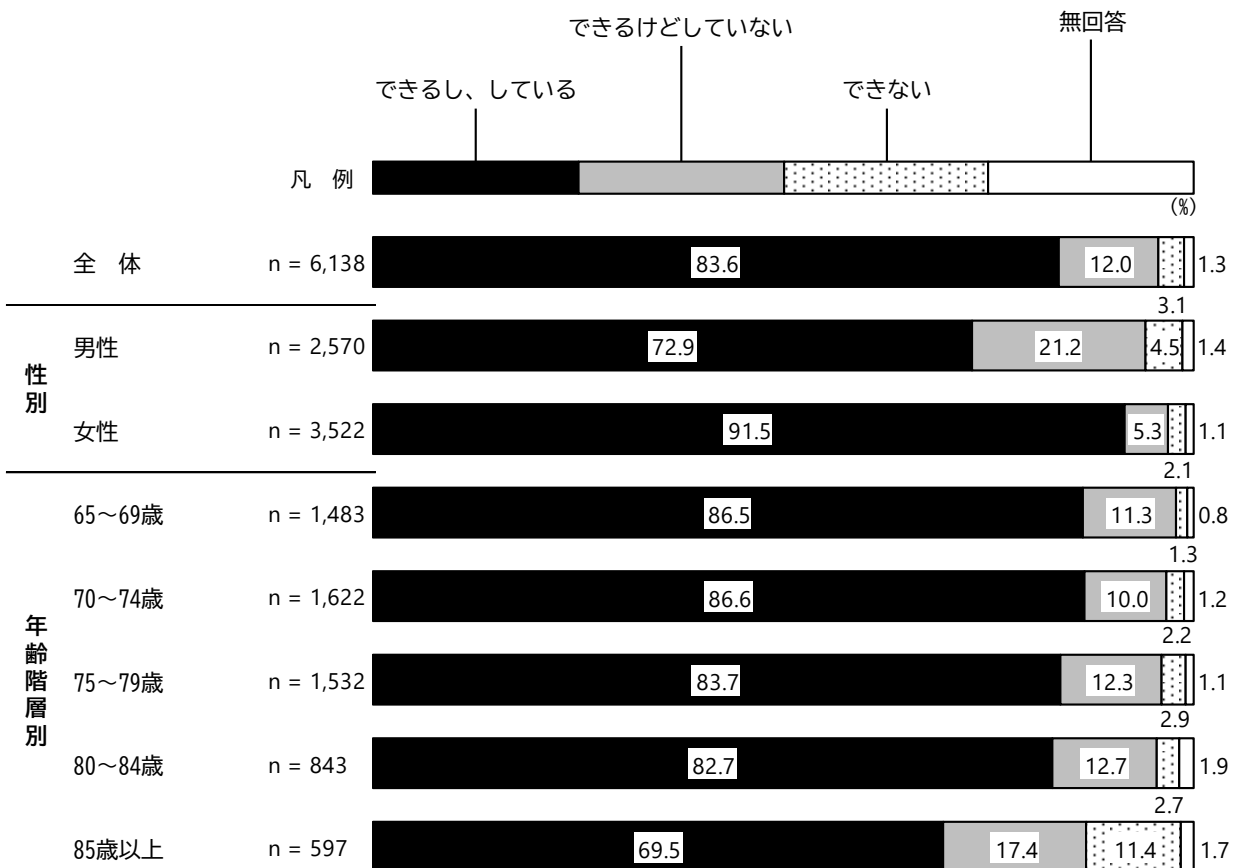


5-5 自分で請求書の支払いをしているか

- ▶ 自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が83.6%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.0%)、「できない」(3.1%)となっています。
- ▶ 男性では、「できるし、している」が72.9%と、女性に比べ15ポイント以上低くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「できるし、している」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があり、85歳以上は69.5%となっています。

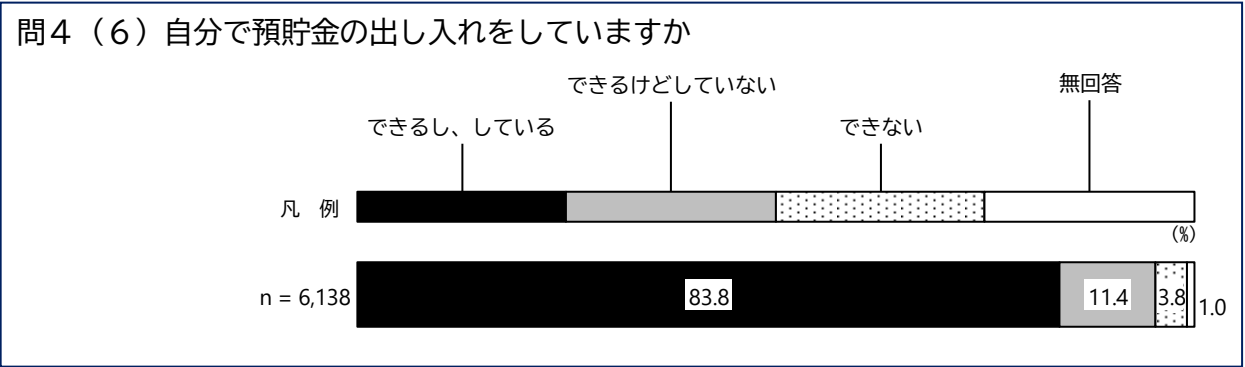


【性別・年齢階層別／自分で請求書の支払いをしているか】

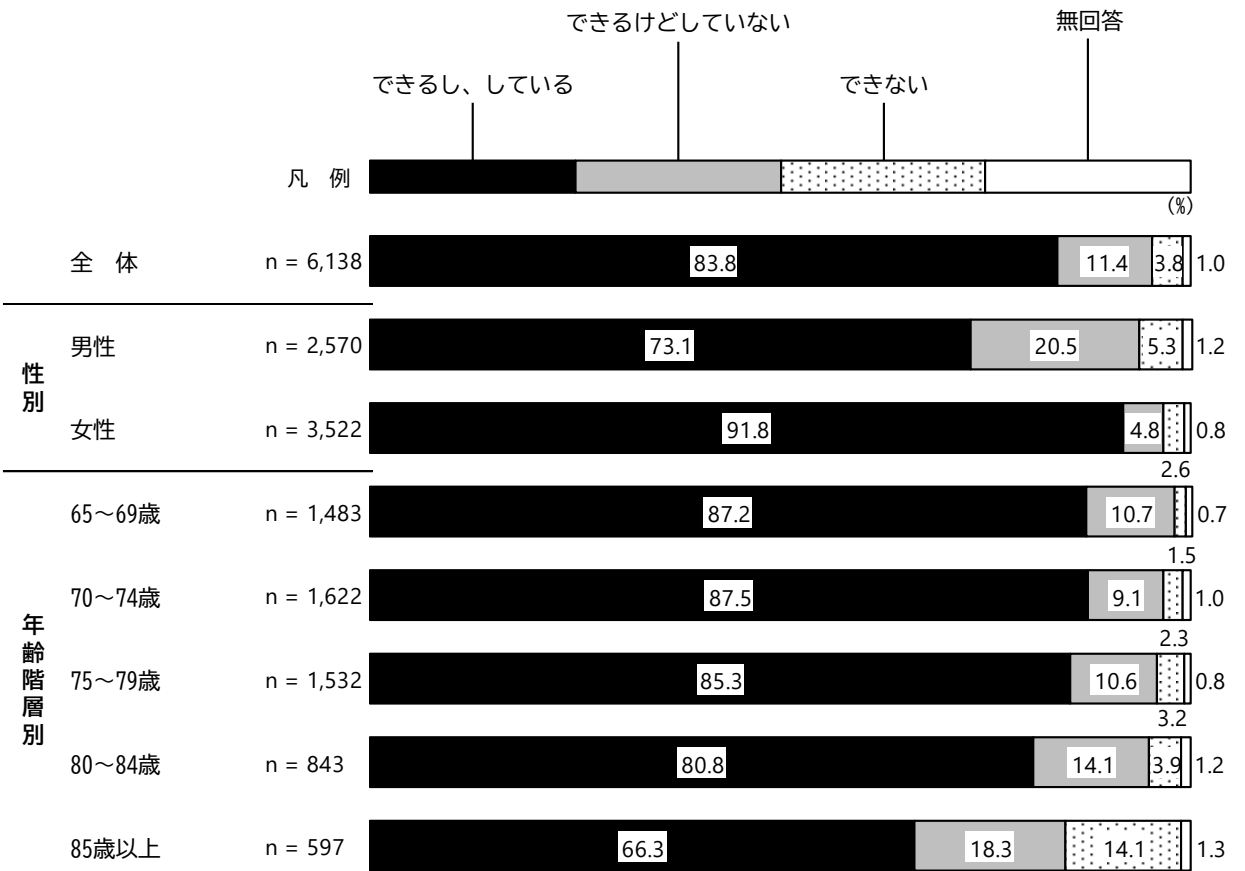


5-6 自分で預貯金の出し入れをしているか

- ▶ 自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が83.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(11.4%)、「できない」(3.8%)となっています。
- ▶ 男性では、「できるし、している」が73.1%と、女性に比べ15ポイント以上低くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、85歳以上では「できない」が14.1%と他の年代と比べ10ポイント以上高くなっています。

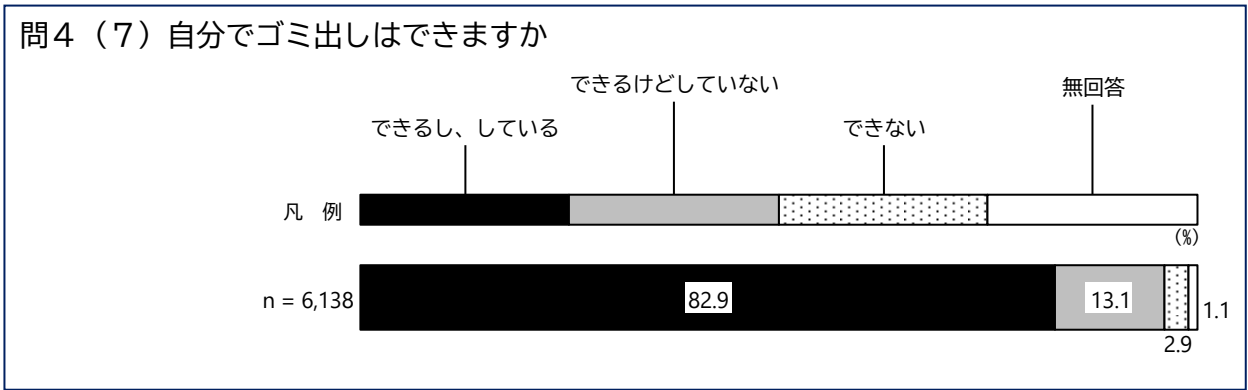


【性別・年齢階層別／自分で預貯金の出し入れをしているか】

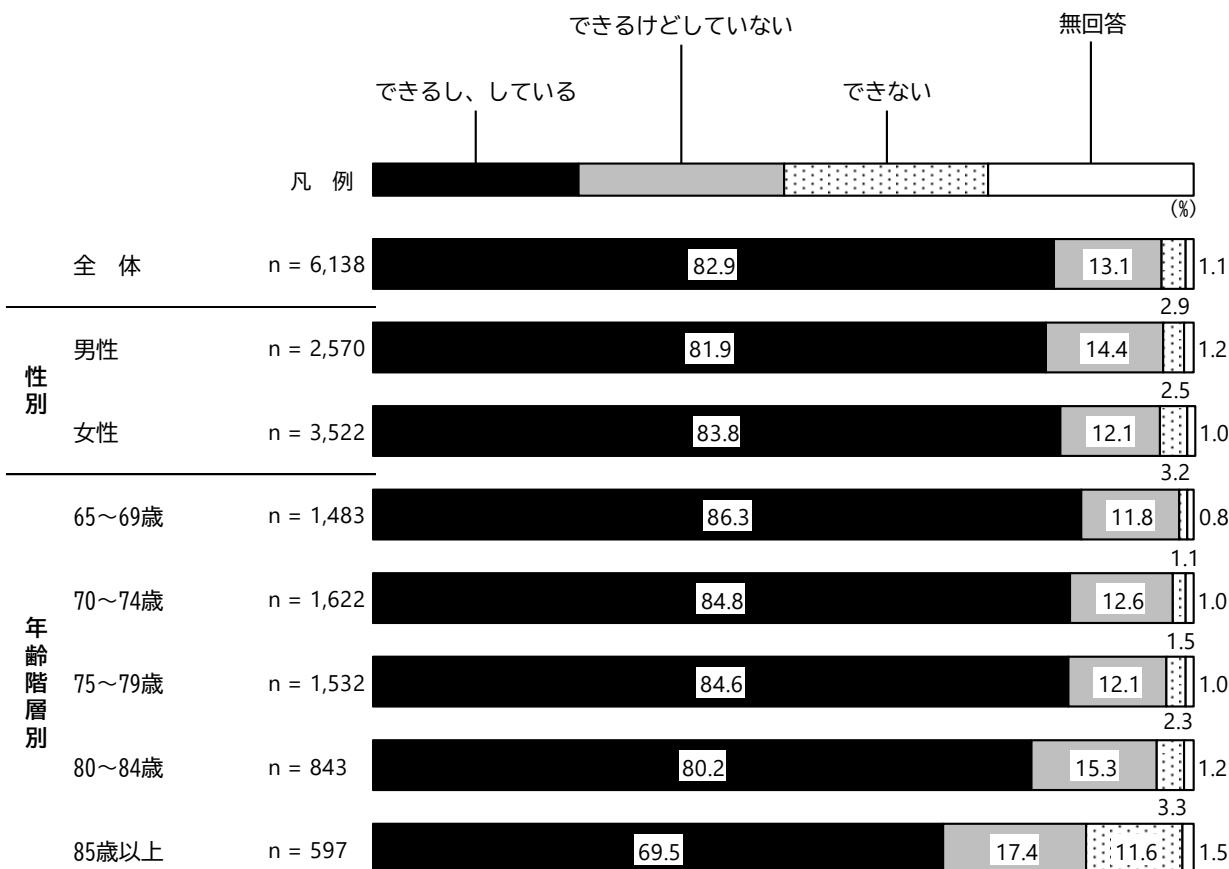


5-7 自分でゴミ出しができるか

- ▶ 自分でゴミ出しができるかについては、「できるし、している」が82.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」(13.1%)、「できない」(2.9%)となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「できるし、している」の割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があり、85歳以上では69.5%となっています。



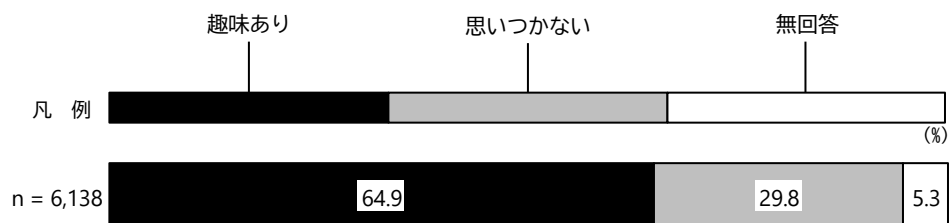
【性別・年齢階層別／自分でゴミ出しができるか】



5-8 趣味について

▶ 趣味については、「趣味あり」が64.9%、「思いつかない」が29.8%となっています。

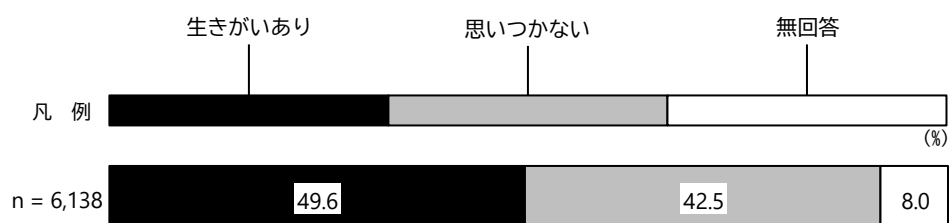
問4（8）趣味はありますか



5-9 生きがいについて

▶ 生きがいについては、「生きがいあり」が49.6%、「思いつかない」が42.5%となっています。

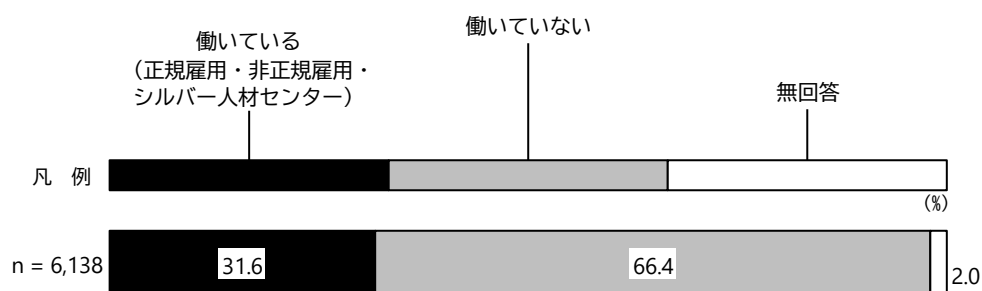
問4（9）生きがいはありますか



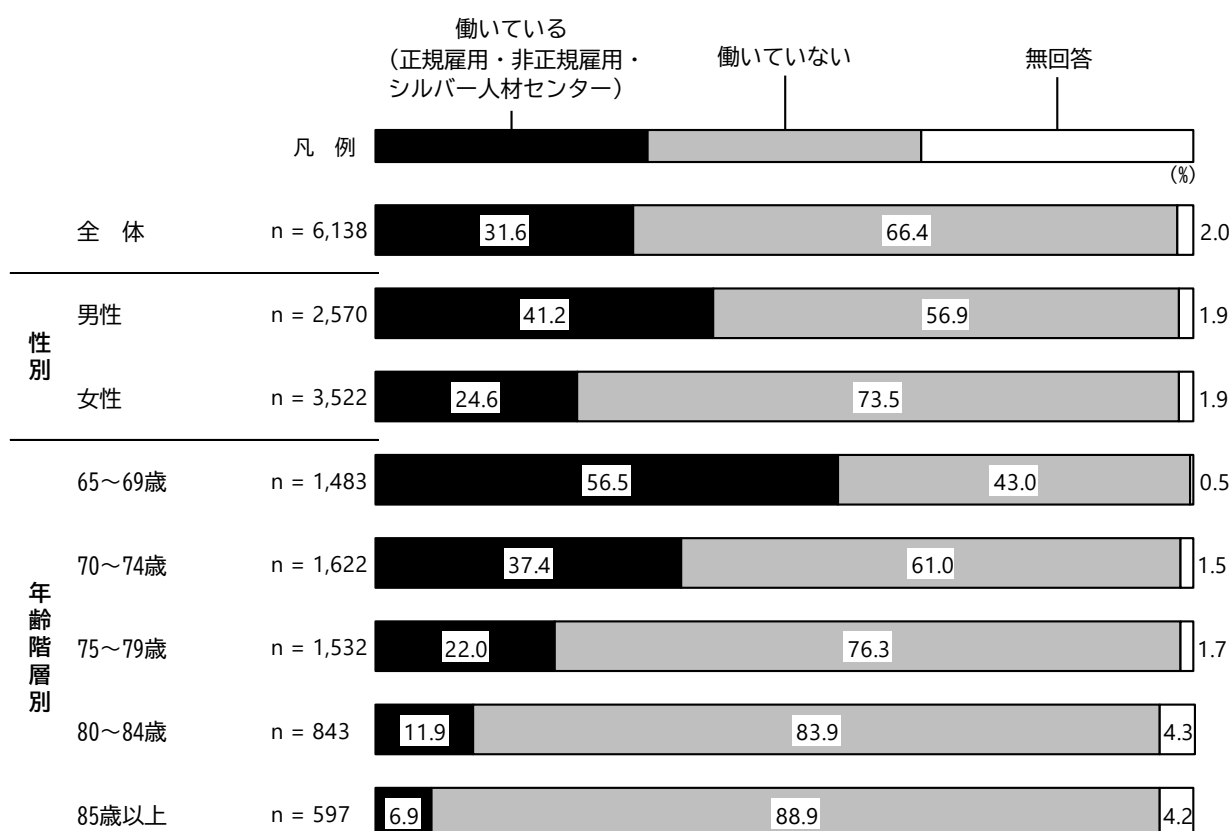
5-10 就労状況

- ▶ 就労状況については、「働いていない」が66.4%、「働いている（正規雇用・非正規雇用・シルバー人材センター）」が31.6%となっています。
- ▶ 男性では、「働いている（正規雇用・非正規雇用・シルバー人材センター）」が41.2%と、女性に比べ15ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、65～69歳の方は半数以上が就労していますが、「働いていない」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。

問4（10）現在、働いていますか



【性別・年齢階層別／就労状況】

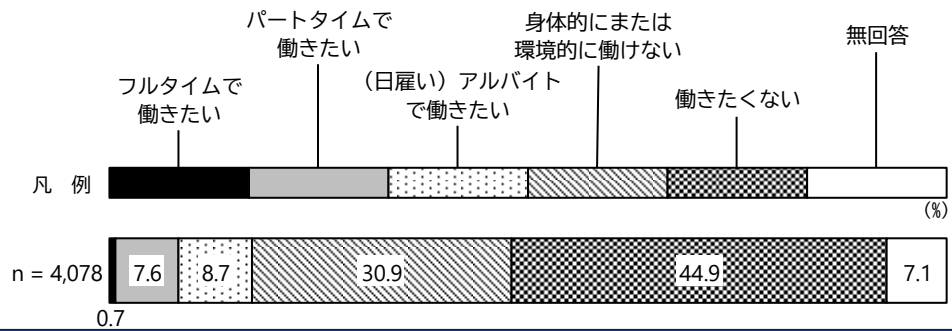


5-11 機会があれば働きたいか

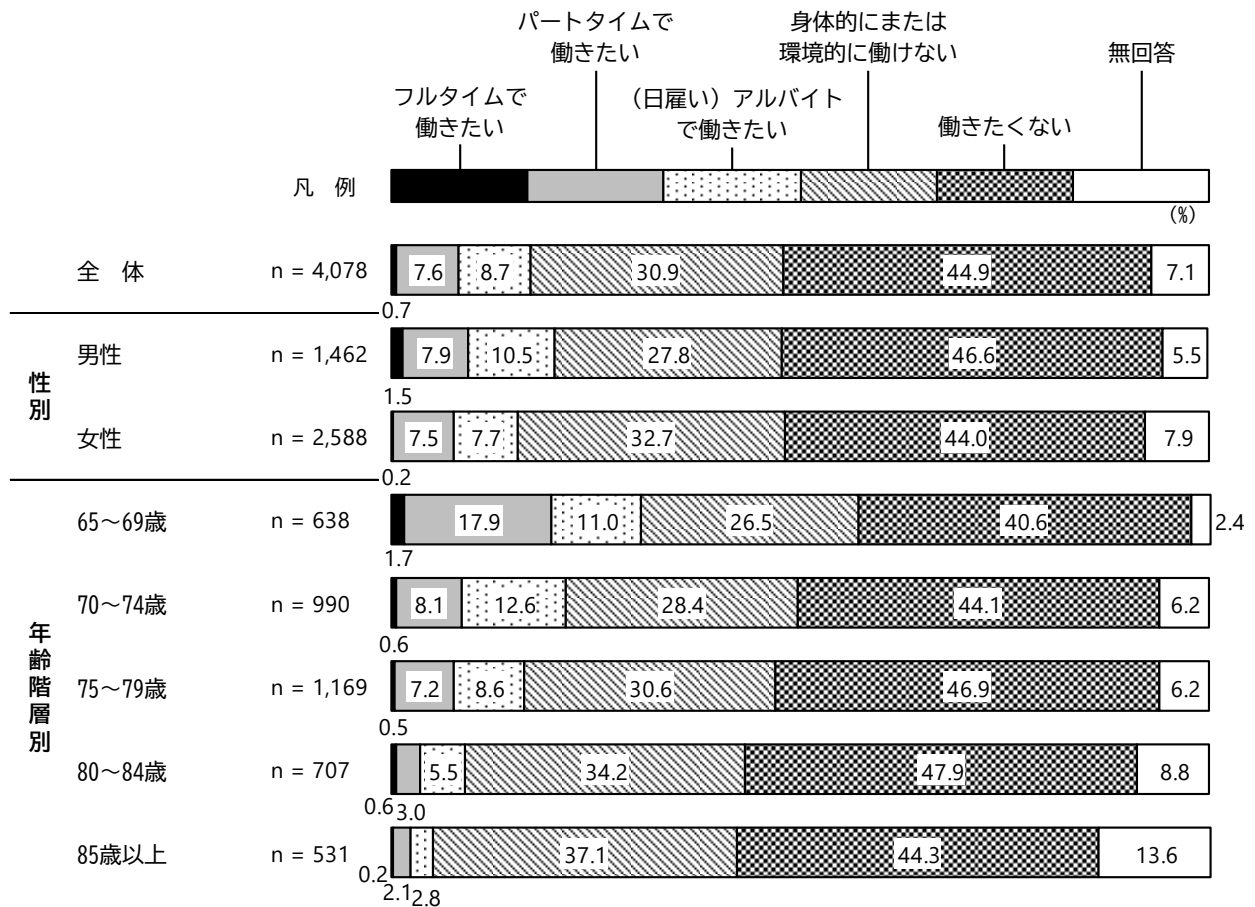
- ▶ 機会があれば働きたいかについては、「働きたくない」が44.9%と最も高く、次いで「身体的にまたは環境的に働けない」（30.9%）、「（日雇い）アルバイトで働きたい」（8.7%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「フルタイムで働きたい」～「（日雇い）アルバイトで働きたい」を合わせた《働きたい》割合は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

【(10) で「働いていない」と回答した方】

問4 (11) 仕事をする機会があったら、働きたいと思いますか



【性別・年齢階層別／機会があれば働きたいか】



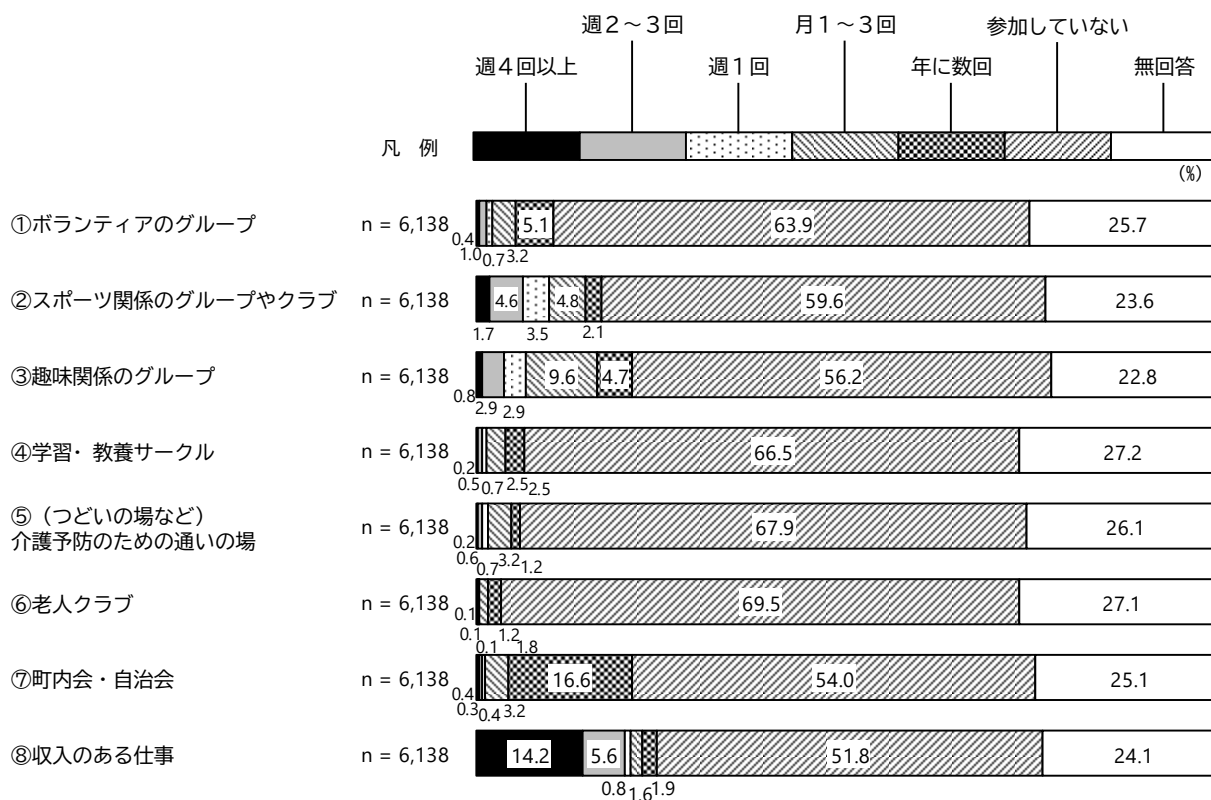
6 地域での活動について

6-1 地域での活動の参加頻度

- ▶ 会・グループ等の参加状況については、「参加していない」がそれぞれ最も多くなっています。
- ▶ 「週4回以上」～「年に数回」を合わせた《参加している》割合では、『⑧収入のある仕事』が24.1%と最も高く、次いで、『③趣味関係のグループ』『⑦町内会・自治会』（ともに20.9%）、『②スポーツ関係のグループやクラブ』（16.7%）となっています。
- ▶ 「週4回以上」～「週1回」を合わせた《週1回以上》参加している割合では、『⑧収入のある仕事』が20.6%と最も高く、次いで『②スポーツ関係のグループやクラブ』（9.8%）、『③趣味関係のグループ』（6.6%）となっています。
- ▶ 圏域別でみると、会・グループ等の参加状況は「参加していない」がそれぞれ最も多くなっています。

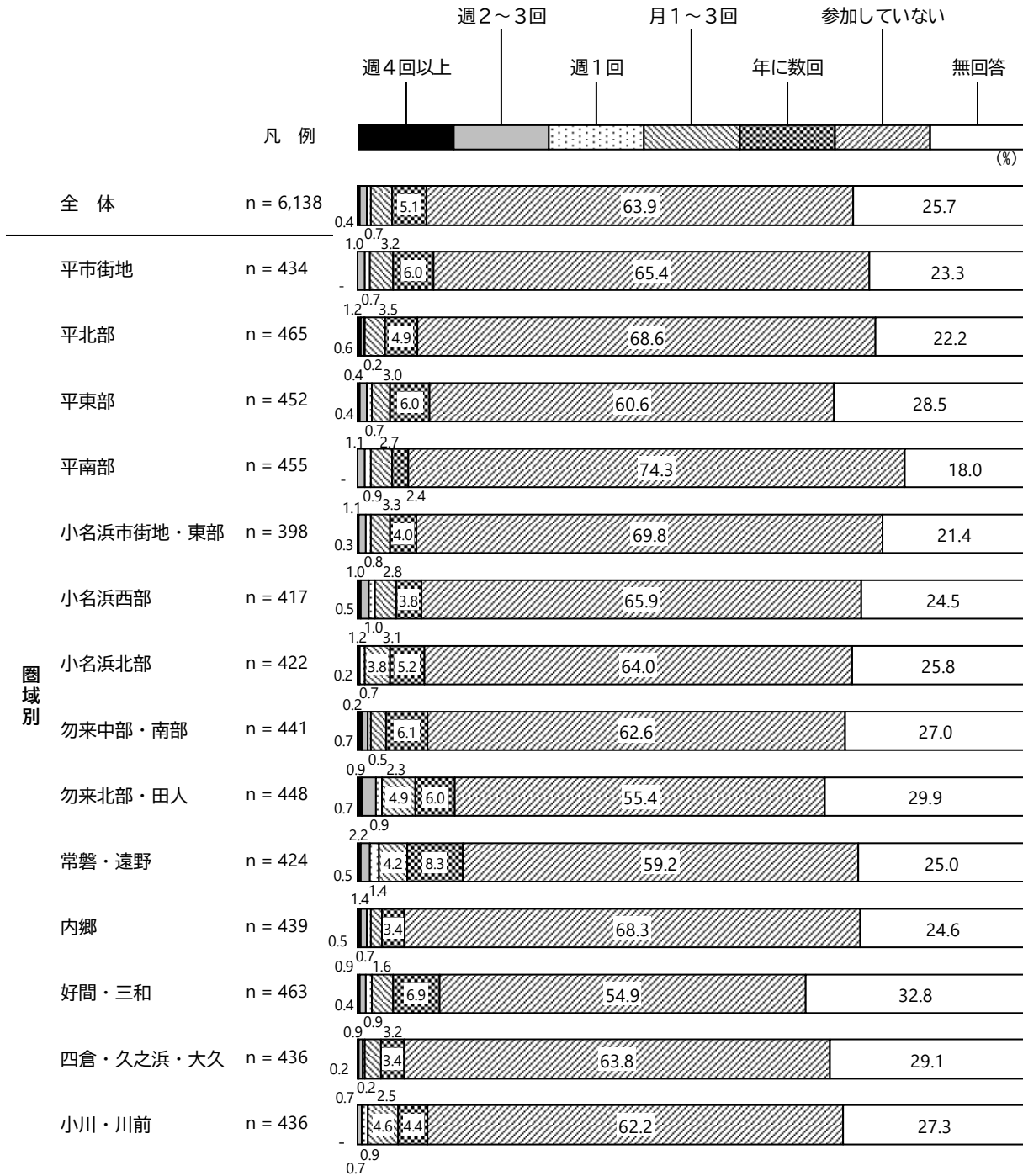
問5（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください



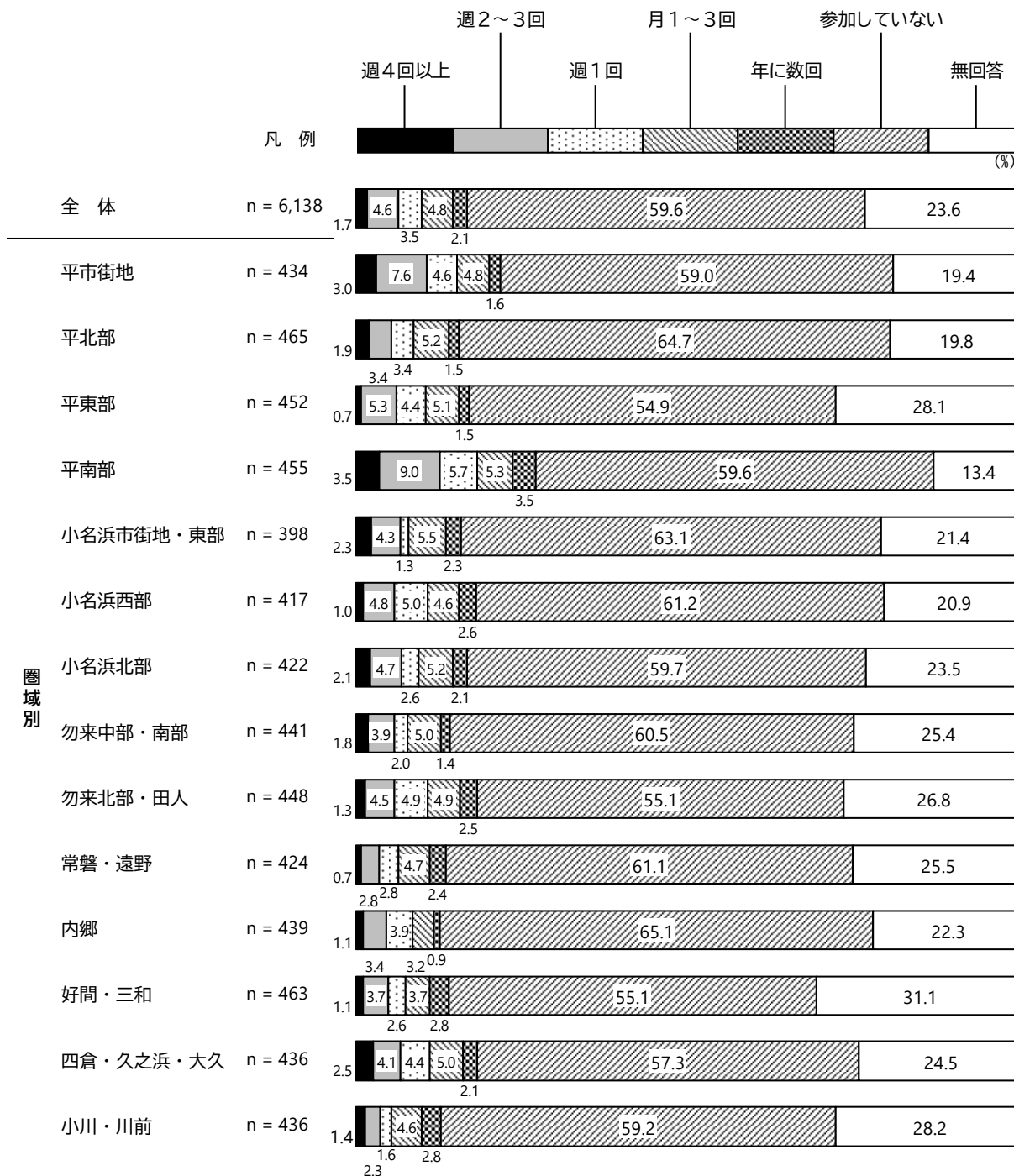
【圏域別／地域での活動の参加頻度】

①ボランティアのグループ

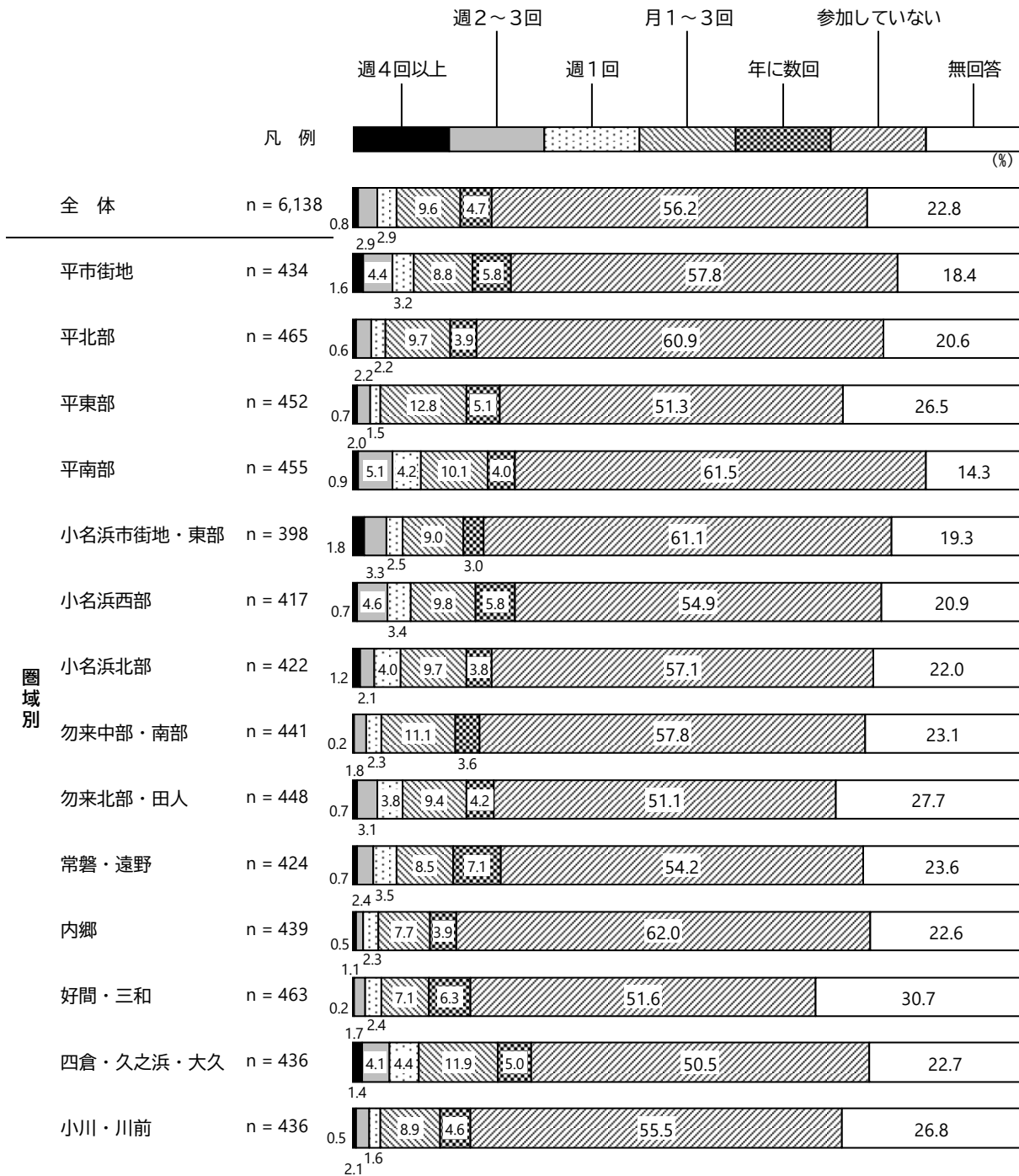


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

②スポーツ関係のグループやクラブ

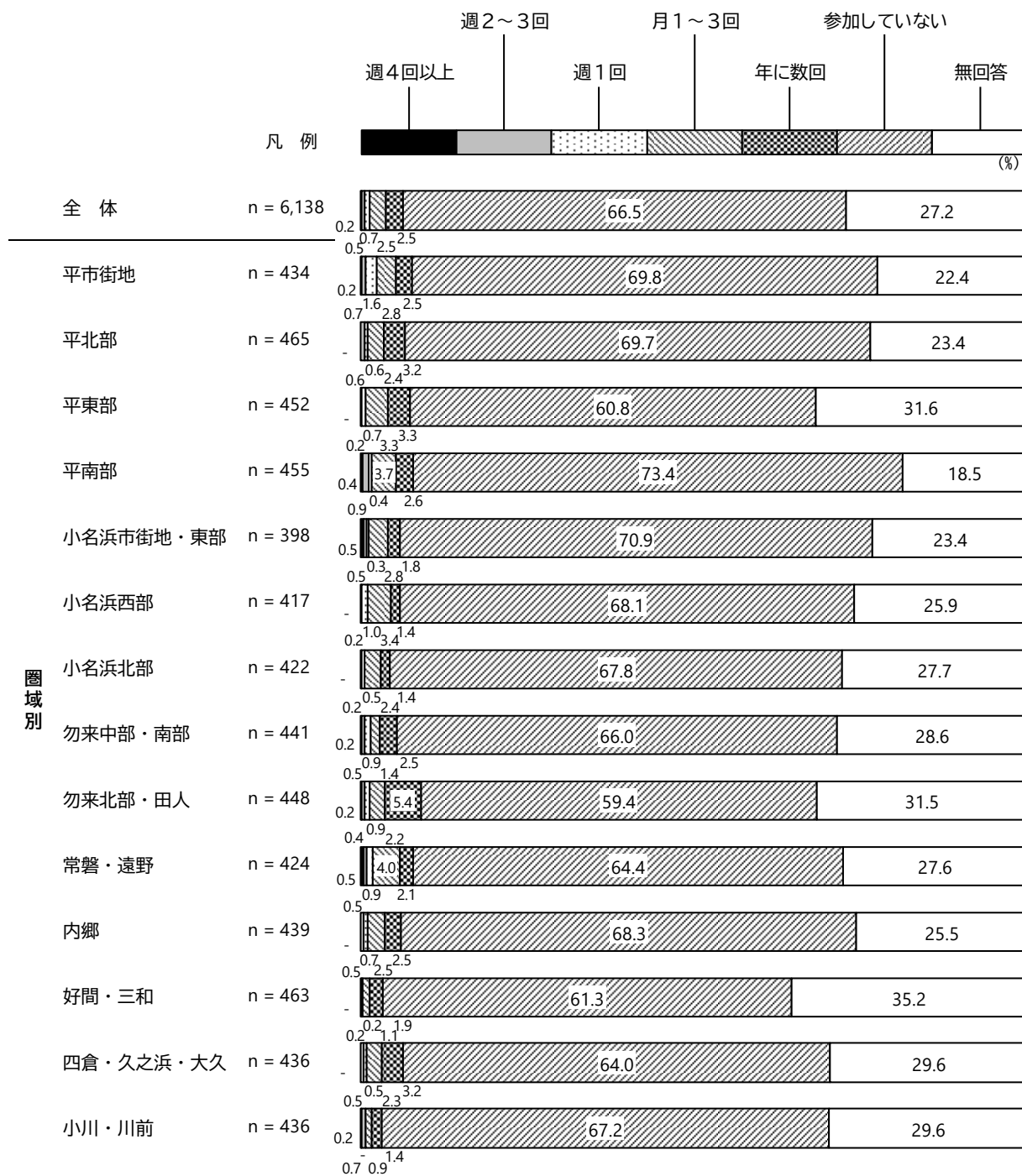


③趣味関係のグループ

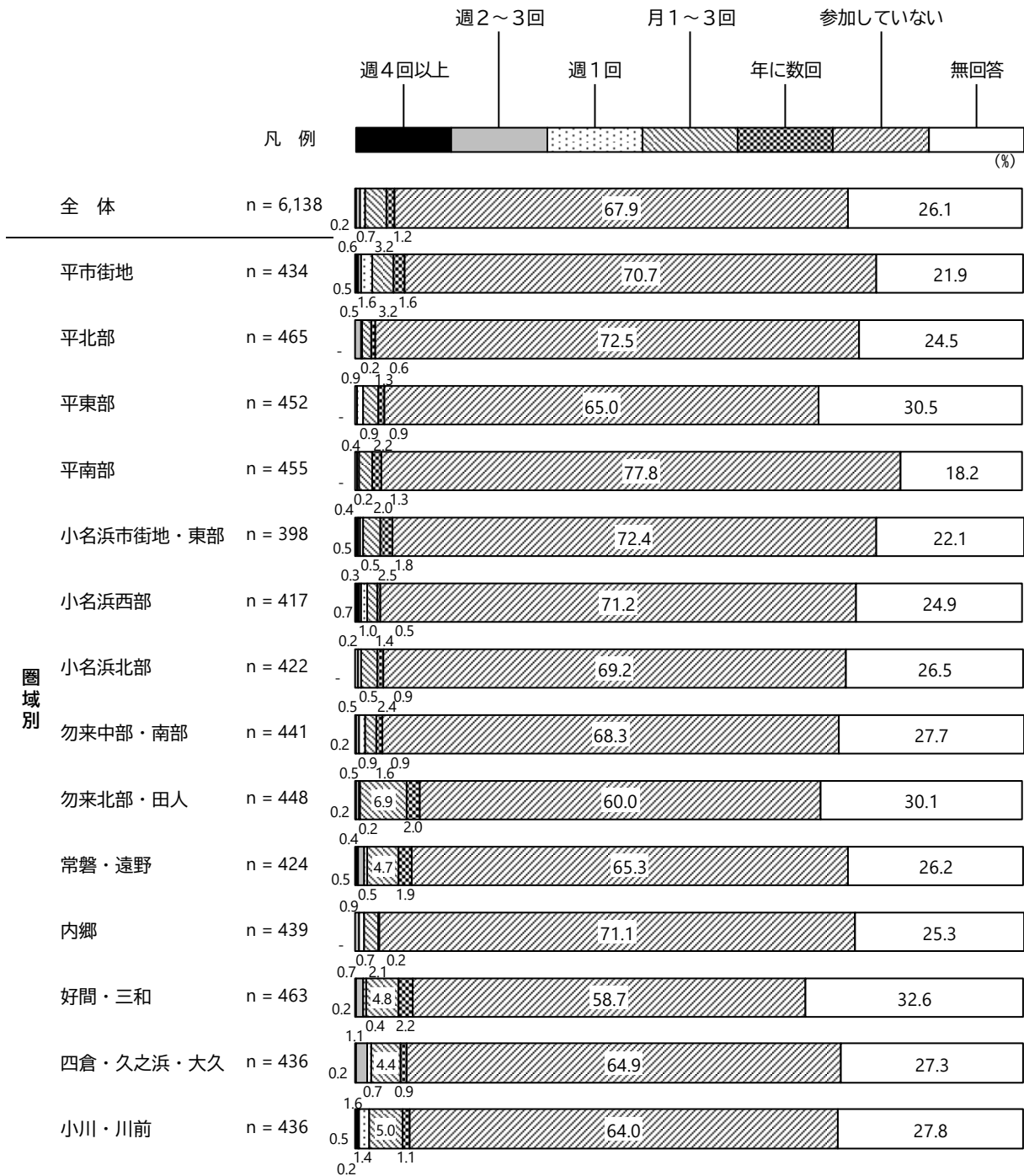


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

④学習・教養サークル

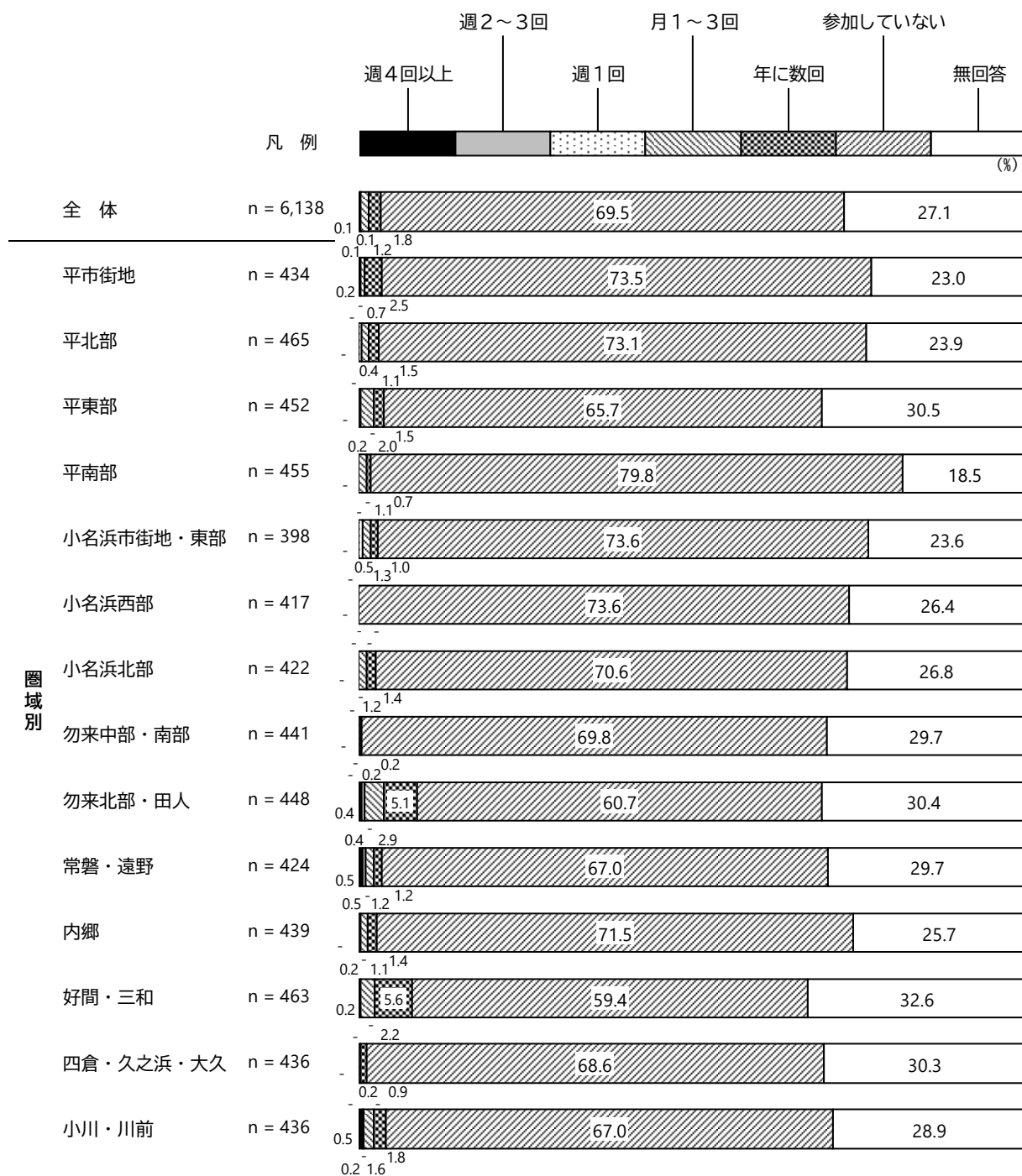


⑤（つどいの場など）介護予防のための通いの場

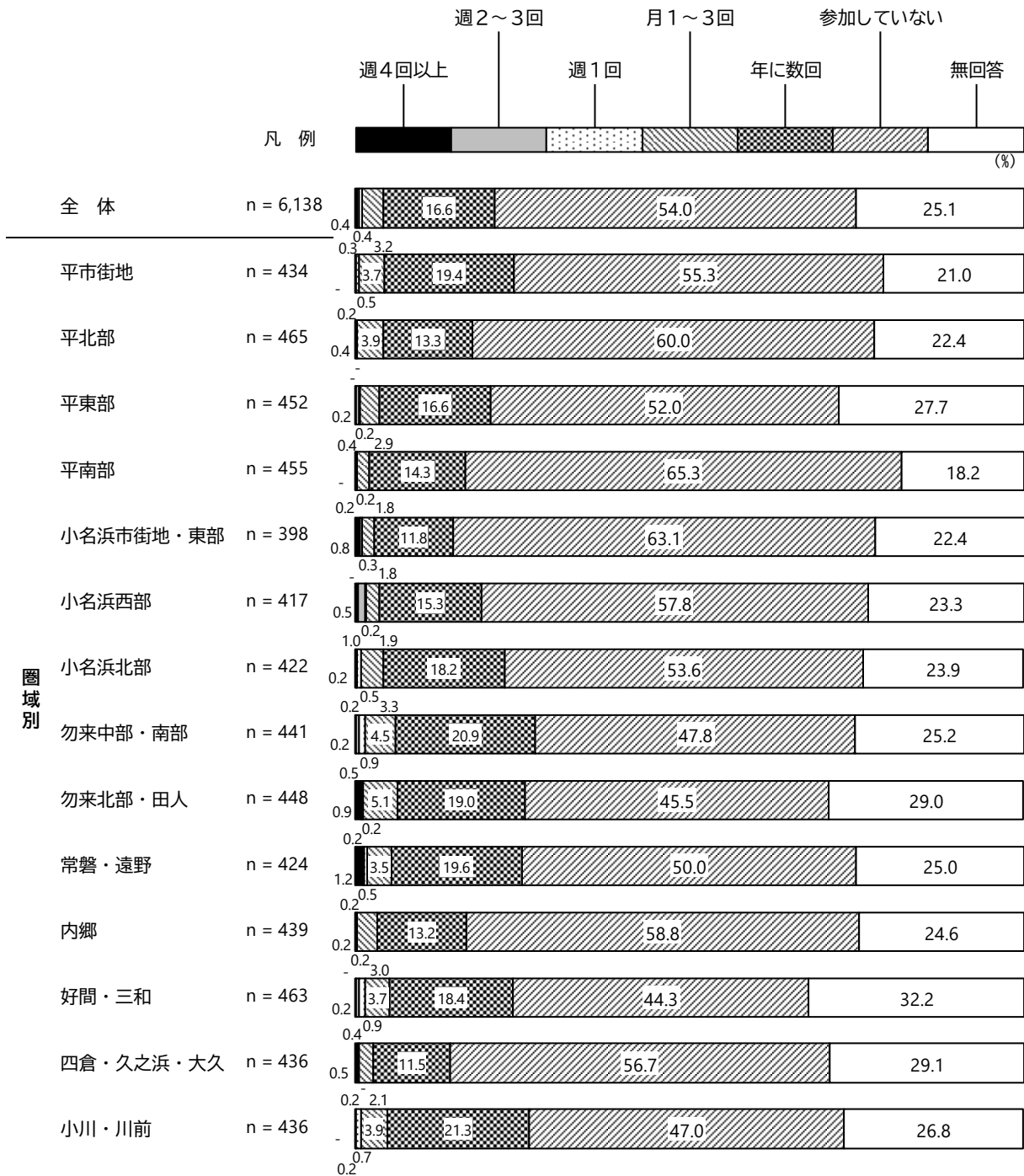


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

⑥老人クラブ

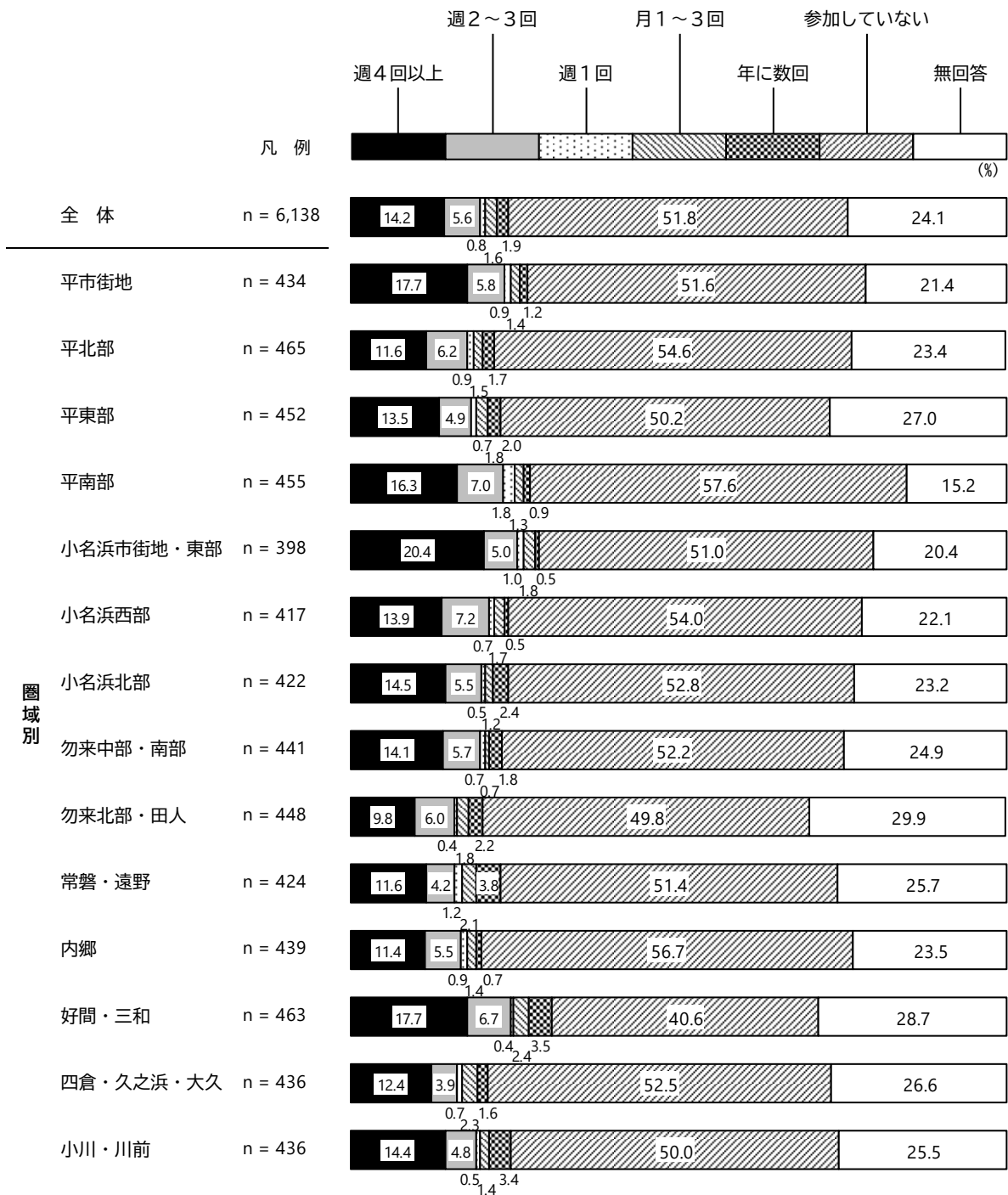


⑦町内会・自治会



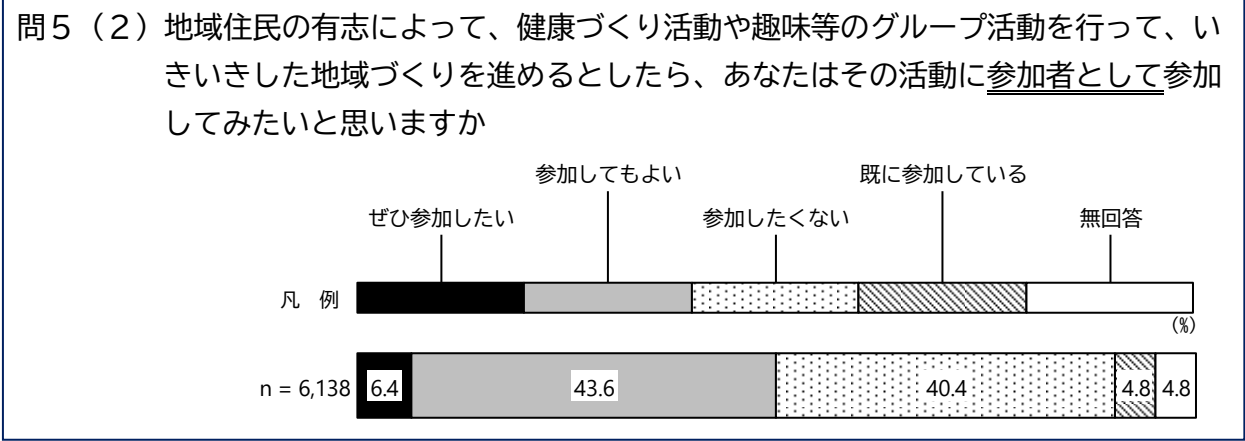
II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

⑧収入のある仕事

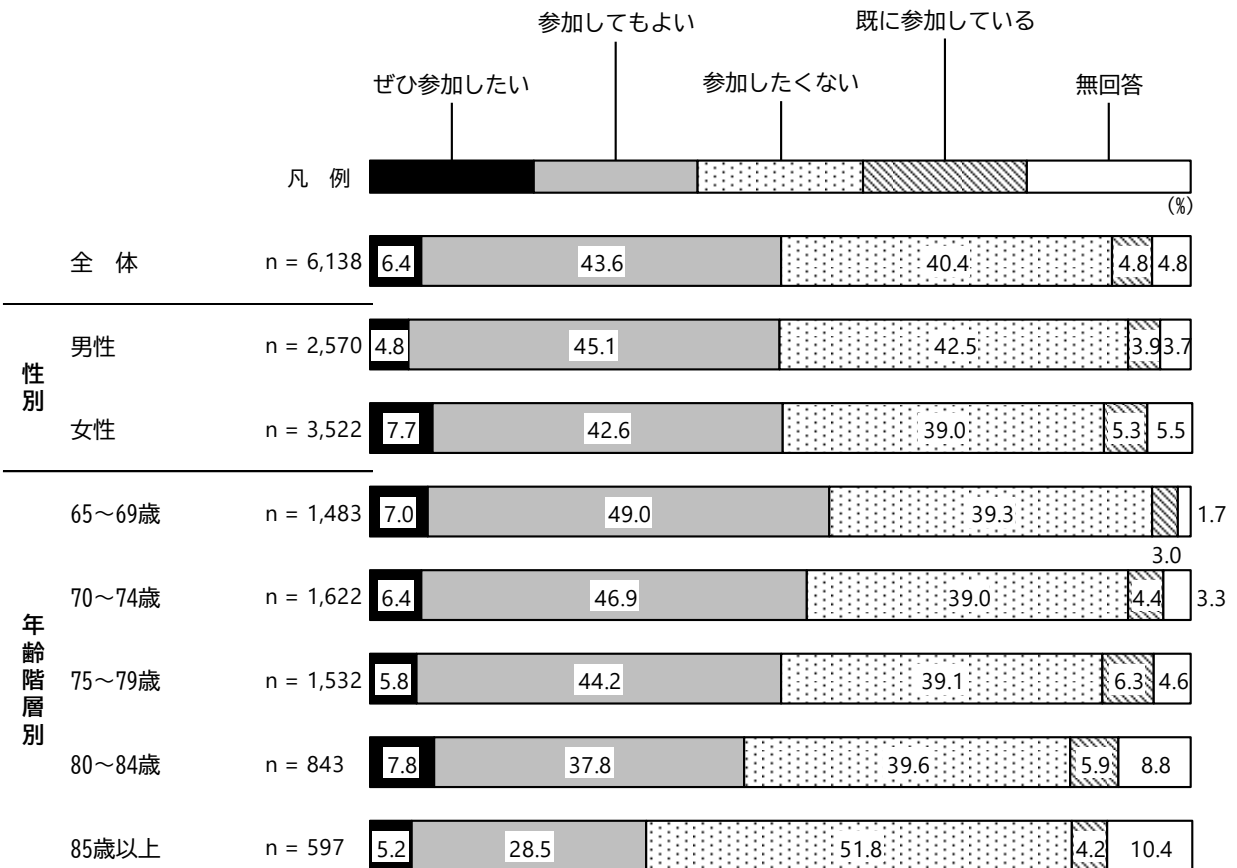


6-2 地域づくりの場への参加意向（参加者として）

- ▶ 地域づくりの場への参加意向（参加者として）については、「ぜひ参加したい」（6.4%）と「参加してもよい」（43.6%）を合わせた《参加意向あり》は50.0%となっています。一方、「参加したくない」は40.4%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《参加意向あり》は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

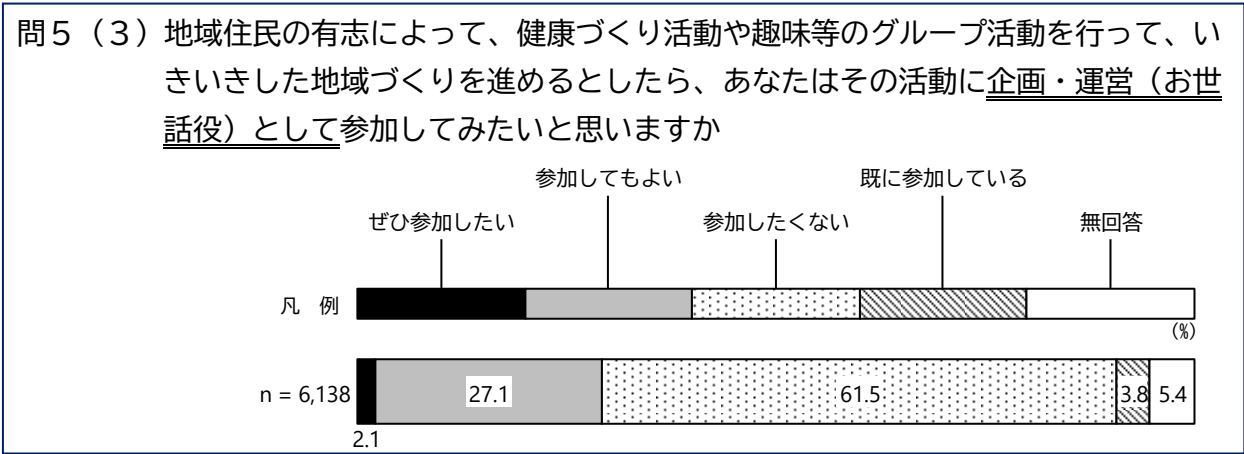


【性別・年齢階層別／地域づくりの場への参加意向（参加者として）】

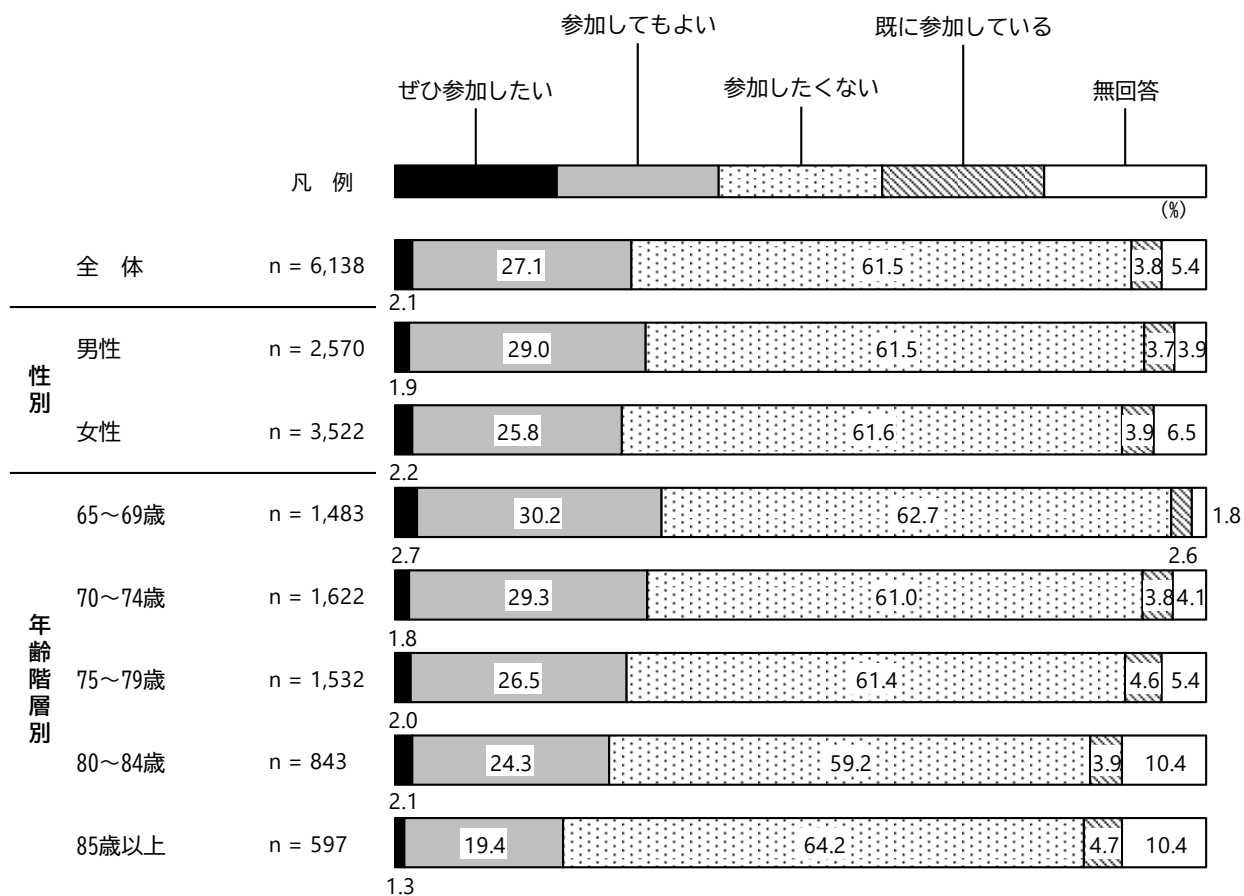


6-3 地域づくりの場への参加意向（企画・運営として）

- ▶ 地域づくりの場への参加意向(企画・運営として)については、「ぜひ参加したい」(2.1%)と「参加してもよい」(27.1%)を合わせた《参加意向あり》は29.2%となっています。一方、「参加したくない」は61.5%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《参加意向あり》は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。



【性別・年齢階層別／地域づくりの場への参加意向（企画・運営として）】

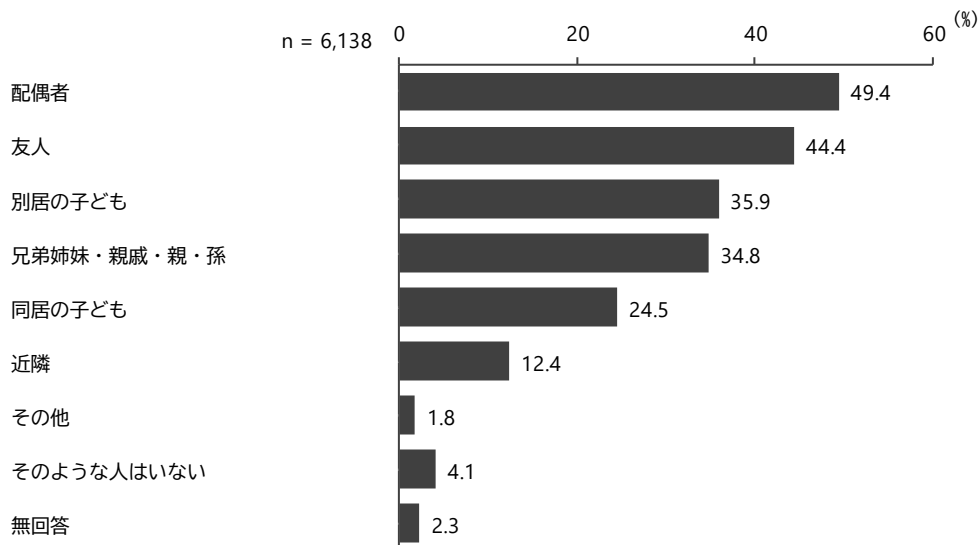


7 たすけあいについて

7-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人

- ▶ 心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が49.4%と最も高く、次いで「友人」（44.4%）、「別居の子ども」（35.9%）となっています。
- ▶ 男性では、「配偶者」が63.7%と、女性に比べ20ポイント以上高くなっており、女性では「友人」が55.9%と、男性に比べ25ポイント以上高くなっています。

問6（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）



【性別・年齢階層別／心配事や愚痴を聞いてくれる人】

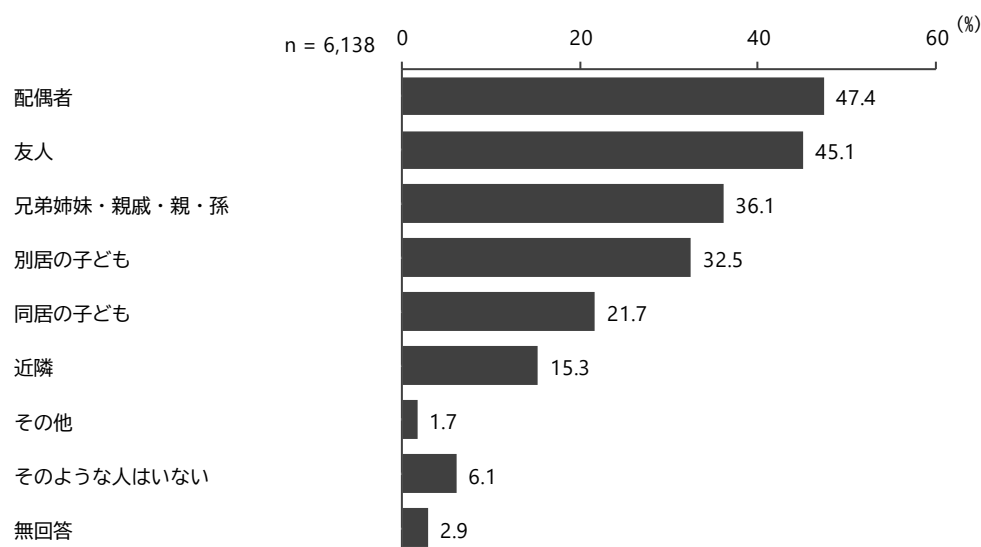
		n	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		6,138	49.4	44.4	35.9	34.8	24.5	12.4	1.8	4.1	2.3
性別	男性	2,570	63.7	28.9	22.7	24.1	17.4	7.7	2.0	7.0	2.4
	女性	3,522	39.0	55.9	45.5	42.6	29.7	15.9	1.6	1.8	2.1
年齢階層別	65～69歳	1,483	63.3	48.6	34.5	38.9	21.8	8.8	2.8	4.0	0.9
	70～74歳	1,622	53.6	48.6	33.7	35.5	21.7	11.2	1.8	4.0	2.0
	75～79歳	1,532	47.5	46.0	35.7	34.3	23.0	14.8	1.1	4.4	2.3
	80～84歳	843	38.0	38.7	38.3	30.4	30.2	14.8	1.5	3.2	3.4
	85歳以上	597	25.6	27.3	41.7	30.3	35.2	14.7	1.2	4.7	3.9

II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

7-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人

- ▶ 心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が47.4%と最も高く、次いで「友人」(45.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(36.1%)となっています。
- ▶ 男性では、「配偶者」が62.6%と、女性に比べ25ポイント以上高くなっており、女性では「友人」が56.1%と、男性に比べ25ポイント以上高くなっています。

問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

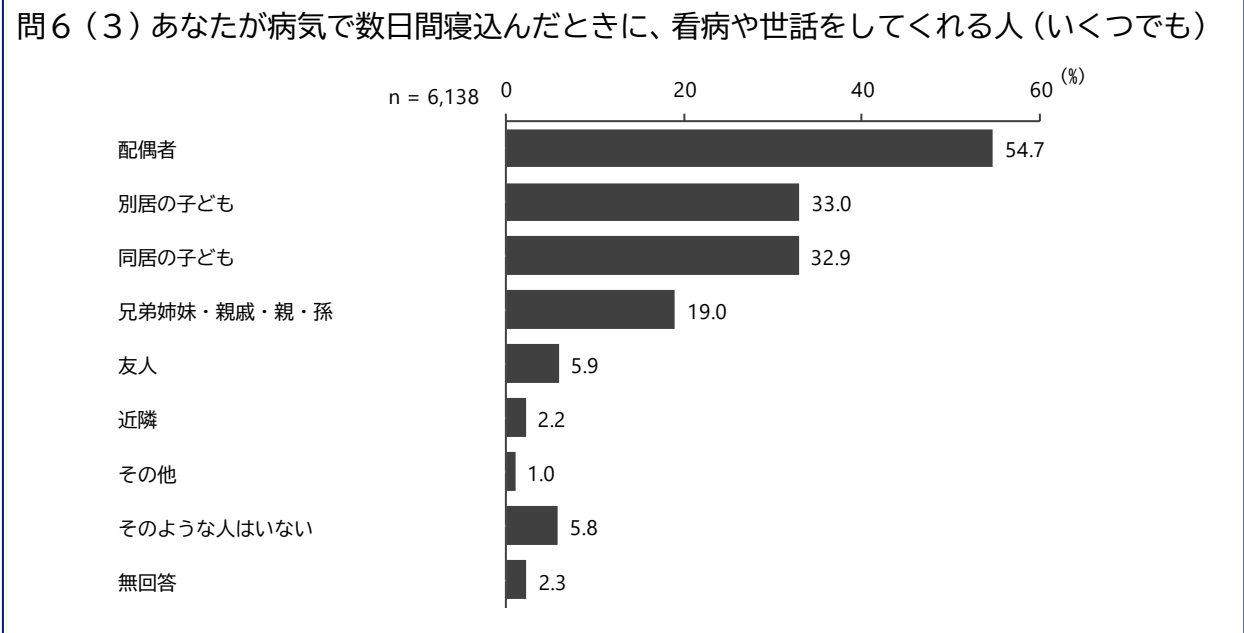


【性別・年齢階層別／心配事や愚痴を聞いてあげる人】

		n	配偶者	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		6,138	47.4	45.1	36.1	32.5	21.7	15.3	1.7	6.1	2.9
性別	男性	2,570	62.6	30.2	26.2	22.5	16.9	10.4	1.7	8.7	3.3
	女性	3,522	36.3	56.1	43.5	39.8	25.3	18.9	1.8	4.2	2.5
年齢階層別	65～69歳	1,483	61.2	49.8	40.9	35.9	22.1	10.8	3.2	4.1	0.9
	70～74歳	1,622	51.4	48.8	37.2	32.2	21.0	14.5	1.4	5.4	2.3
	75～79歳	1,532	45.9	46.7	35.8	31.1	20.4	19.1	1.0	5.9	2.9
	80～84歳	843	35.1	39.3	32.4	30.5	22.9	17.8	1.4	7.6	5.3
	85歳以上	597	24.3	28.6	27.5	31.0	25.1	15.2	1.2	11.4	5.9

7-3 病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人

- ▶ 病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人については、「配偶者」が 54.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」(33.0%)、「同居の子ども」(32.9%)となっています。
- ▶ 男性では、「配偶者」が 68.9%と、女性に比べ 20 ポイント以上高くなっています。



【性別・年齢階層別／病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人】

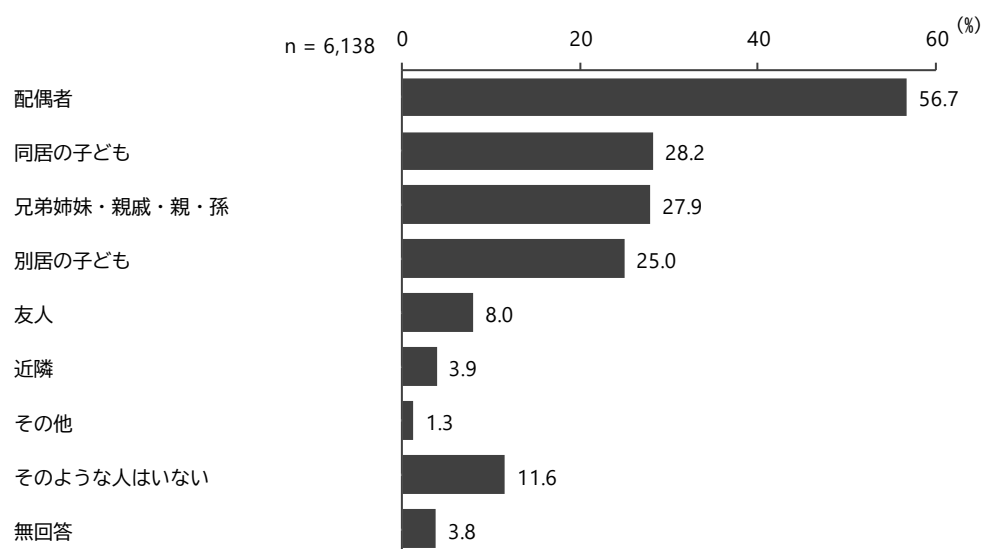
		n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		6,138	54.7	33.0	32.9	19.0	5.9	2.2	1.0	5.8	2.3
性別	男性	2,570	68.9	23.6	24.0	16.0	3.1	1.1	0.7	7.0	2.2
	女性	3,522	44.5	39.8	39.3	21.3	7.9	2.9	1.2	4.9	2.2
年齢階層別	65～69歳	1,483	70.3	27.5	28.1	19.2	5.3	1.5	0.5	6.1	0.7
	70～74歳	1,622	61.0	29.2	29.5	19.1	6.1	1.7	0.7	6.4	1.7
	75～79歳	1,532	52.7	35.4	31.7	20.2	7.0	2.5	1.0	5.9	2.5
	80～84歳	843	39.7	38.6	40.9	17.7	5.7	2.8	1.5	4.7	4.0
	85歳以上	597	26.3	42.5	46.2	17.3	4.0	3.4	1.7	4.0	4.0

II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

7-4 病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人

- ▶ 病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人については、「配偶者」が56.7%と最も高く、次いで「同居の子ども」(28.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.9%)となっています。
- ▶ 男性では、「配偶者」が66.7%と、女性に比べ15ポイント以上高くなっています。

問6（4）反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）



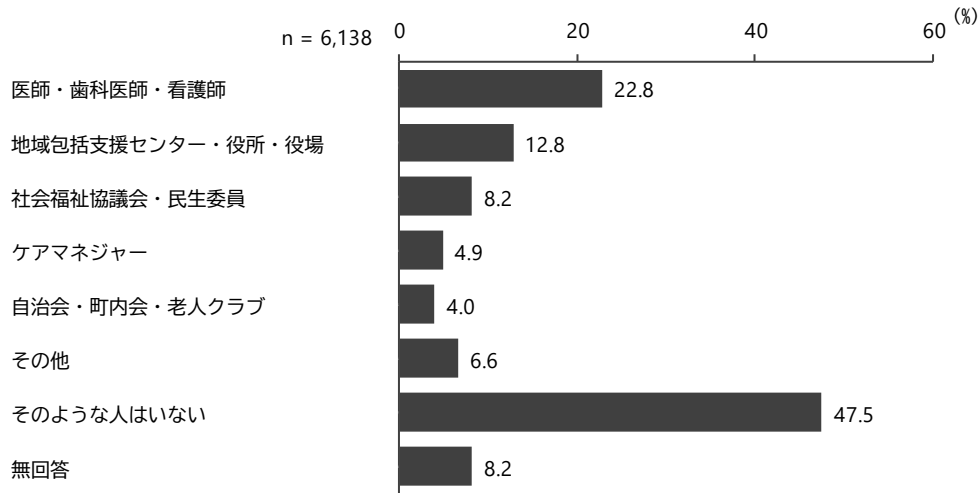
【性別・年齢階層別／病気で寝込んだ時に世話をしてくれる人】

		n	配偶者	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体		6,138	56.7	28.2	27.9	25.0	8.0	3.9	1.3	11.6	3.8
性別	男性	2,570	66.7	21.1	18.8	16.3	3.9	1.9	1.1	13.1	3.6
	女性	3,522	49.6	33.3	34.5	31.4	11.1	5.3	1.5	10.4	3.8
年齢階層別	65～69歳	1,483	70.7	28.5	35.5	29.1	7.1	2.4	1.4	7.6	1.4
	70～74歳	1,622	62.8	27.7	30.1	26.9	8.9	3.9	0.7	9.6	2.4
	75～79歳	1,532	55.5	27.9	25.9	24.7	8.8	5.2	1.2	10.8	3.9
	80～84歳	843	44.6	29.2	21.7	20.2	7.9	4.9	1.5	13.5	7.0
	85歳以上	597	27.6	28.1	16.1	16.8	5.9	3.0	2.8	25.3	7.9

7-5 何かあったときの相談相手

- ▶ 何かあったときの相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」が22.8%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」（12.8%）、「社会福祉協議会・民生委員」（8.2%）となっています。一方、「そのような人はいない」は47.5%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「医師・歯科医師・看護師」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。

問6（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
（いくつでも）

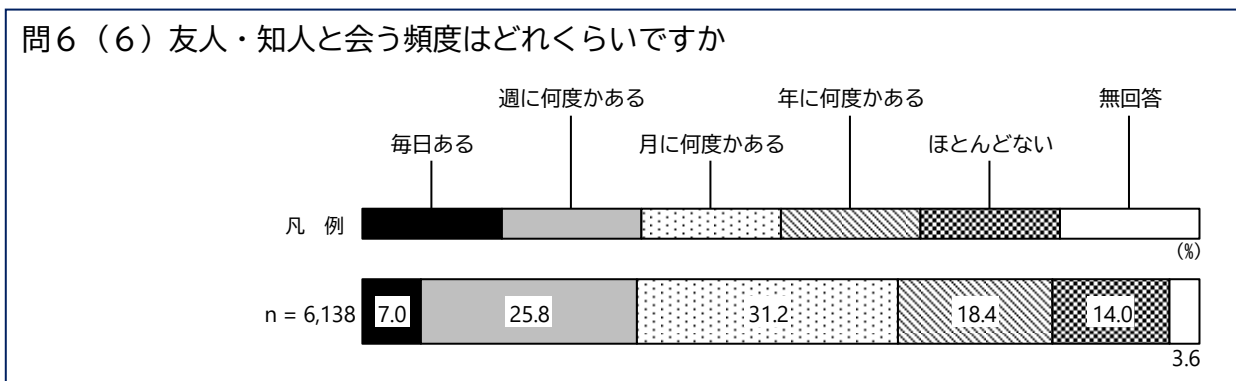


【性別・年齢階層別／何かあったときの相談相手】

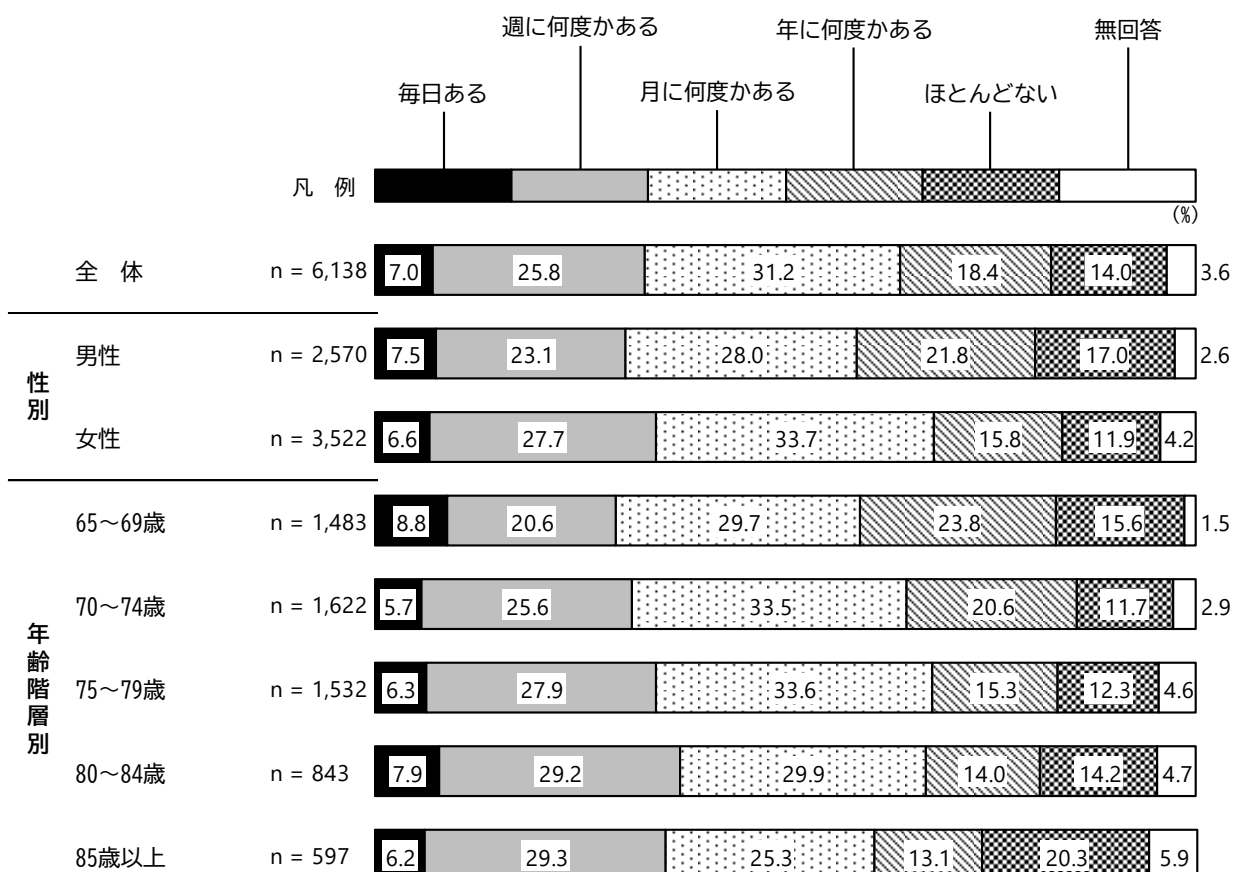
		n	医師・ 歯科医師・ 看護師	所・ 地域 包括 支援 セン ター・ 役 場	社会 福祉 協 議 会・ 民 生 委 員	ケ ア マ ネ ジ ャー	ブ 自 治 会 ・ 町 内 会 ・ 老 人 ク ラ ブ	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
全 体		6,138	22.8	12.8	8.2	4.9	4.0	6.6	47.5	8.2
性 別	男性	2,570	22.5	10.6	7.7	4.2	5.4	8.2	50.2	5.6
	女性	3,522	23.0	14.4	8.7	5.4	3.0	5.5	45.7	9.8
年 齢 階 層 別	65～69歳	1,483	22.1	11.3	4.5	5.0	4.2	9.3	52.6	3.6
	70～74歳	1,622	21.6	12.9	6.8	4.5	3.1	7.0	51.2	6.5
	75～79歳	1,532	21.7	14.3	9.9	4.3	4.1	5.7	46.7	8.6
	80～84歳	843	24.6	13.6	11.3	5.8	4.9	4.0	39.0	16.4
	85歳以上	597	28.3	11.2	12.9	5.7	4.5	5.4	39.7	10.4

7-6 友人・知人と会う頻度

- ▶ 友人・知人と会う頻度については「月に何度かある」が31.2%と最も高く、次いで「週に何度かある」(25.8%)、「年に何度かある」(18.4%)となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「ほとんどない」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。



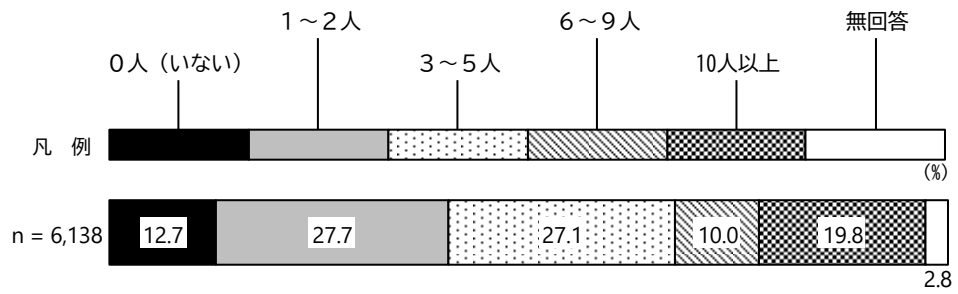
【性別・年齢階層別／友人・知人と会う頻度】



7-7 この1か月間、何人の友人・知人と会ったか

- ▶ この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、「1～2人」が27.7%と最も高く、次いで「3～5人」（27.1%）、「10人以上」（19.8%）となっています。

問6（7）この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
（同じ人には何度会っても1人と数えることとします）

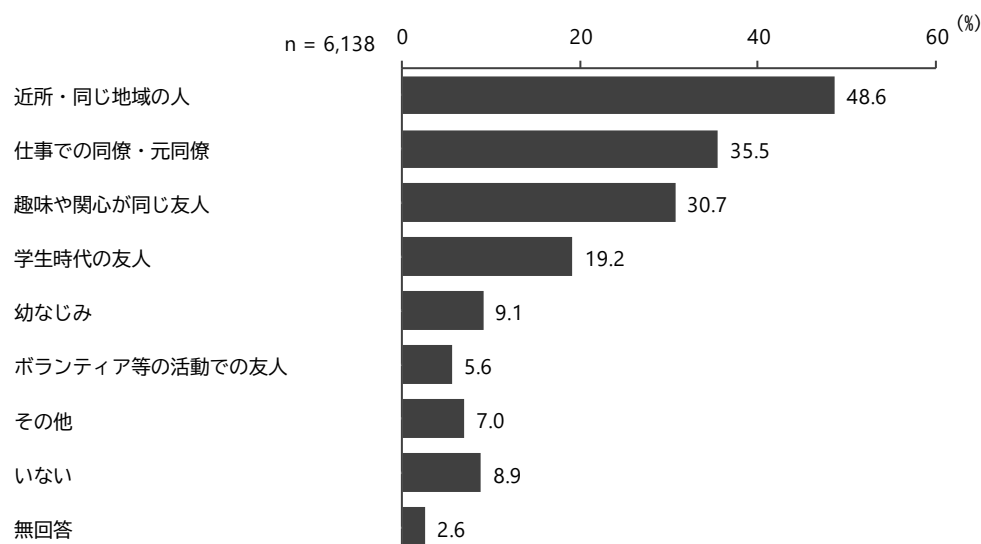


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

7-8 よく会う友人・知人との関係

- ▶ よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が48.6%と最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」（35.5%）、「趣味や関心が同じ友人」（30.7%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「近所・同じ地域の人」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では58.5%となっています。

問6（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）



【性別・年齢階層別／よく会う友人・知人との関係】

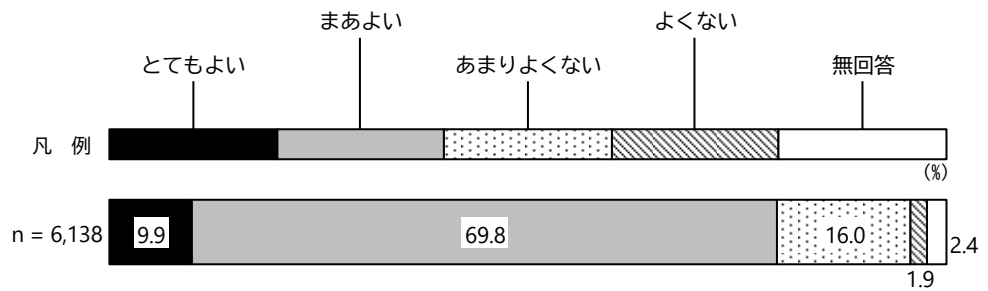
		n	近所・同じ地域の人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		6,138	48.6	35.5	30.7	19.2	9.1	5.6	7.0	8.9	2.6
性別	男性	2,570	43.6	36.9	28.2	17.7	10.0	5.6	6.7	10.9	2.5
	女性	3,522	52.3	34.5	32.6	20.5	8.4	5.6	7.2	7.6	2.5
年齢階層別	65～69歳	1,483	35.5	49.1	26.2	24.7	9.1	4.7	6.9	9.8	1.0
	70～74歳	1,622	45.7	39.9	33.8	23.8	9.8	6.1	7.2	7.6	2.3
	75～79歳	1,532	55.3	31.5	33.9	17.5	9.7	7.0	6.9	8.0	2.3
	80～84歳	843	57.9	23.8	31.3	13.2	8.7	5.9	6.6	8.8	4.0
	85歳以上	597	58.5	16.1	25.5	6.9	6.4	2.5	7.5	13.1	5.2

8 対象者の健康状態について

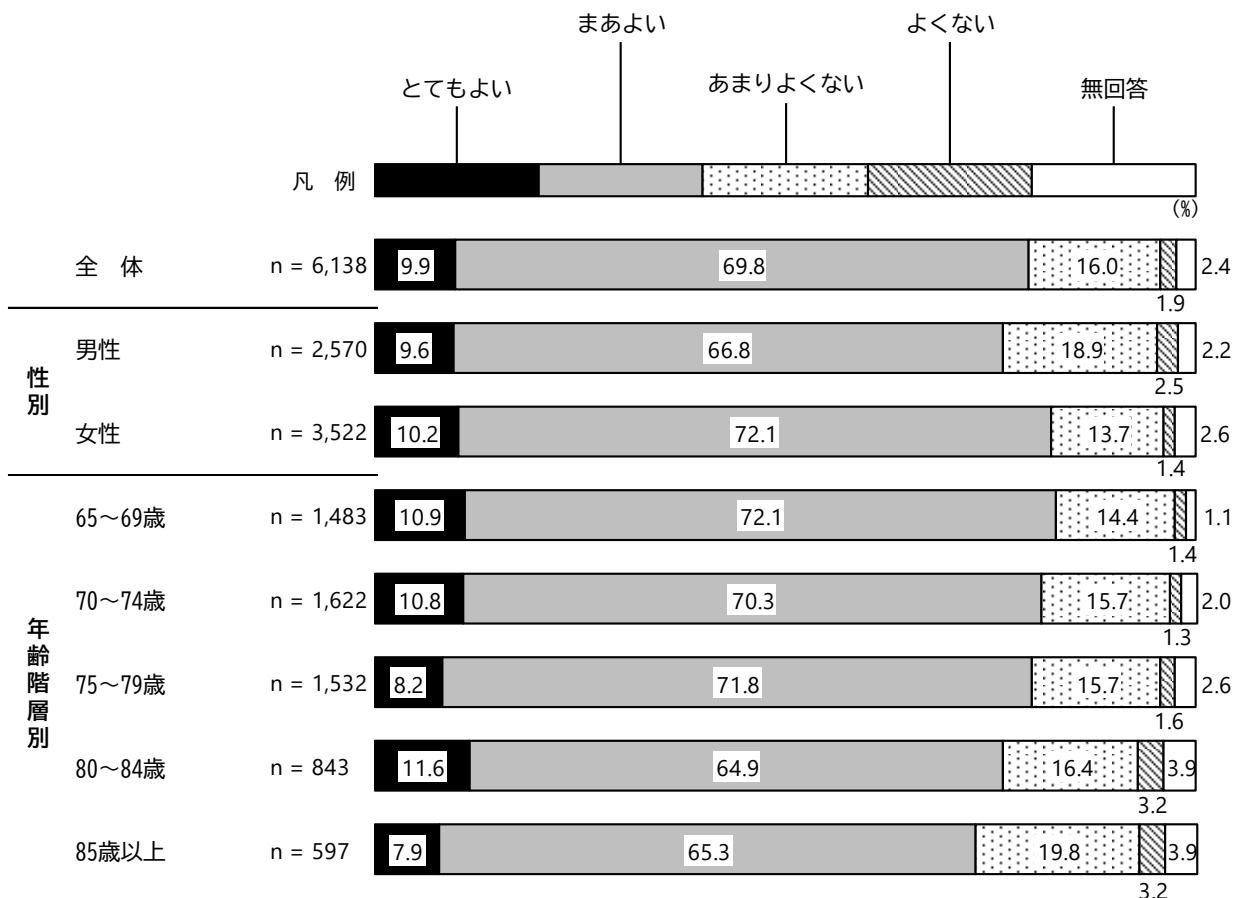
8-1 健康状態

- ▶ 健康状態については、「とてもよい」(9.9%)と「まあよい」(69.8%)を合わせた《よい》は79.7%となっており、「よくない」(1.9%)と「あまりよくない」(16.0%)を合わせた《よくない》は17.9%となっています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、《よくない》は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は23.0%となっています。

問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか



【性別・年齢階層別／健康状態】

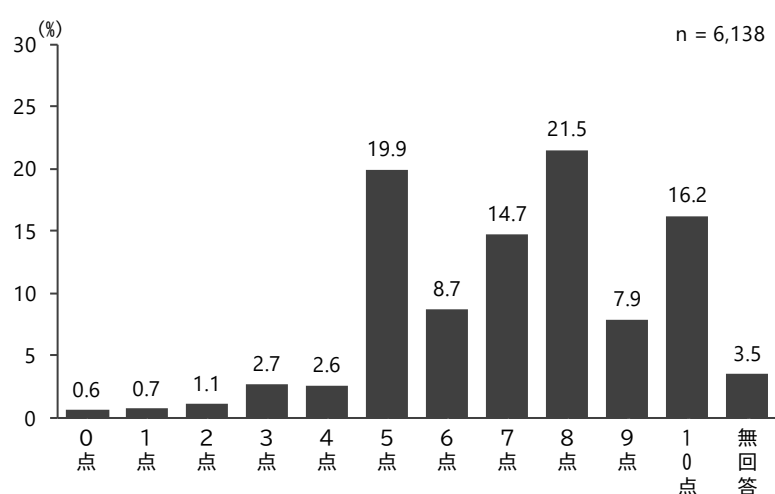


8-2 現在の幸福度

- ▶ 現在の幸福度については、「8点」が21.5%と最も高く、次いで「5点」（19.9%）、「10点」（16.2%）となっています。
- ▶ 回答結果より平均点を算出したところ、市全体での幸福度の平均点は7.05点という結果となっています。
- ▶ 性別で平均点をみると、男性では6.75点、女性では7.28点となっています。
- ▶ 年齢階層別で平均点をみると、年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上は7.33点となっています。

問7（2）あなたは、現在どの程度幸せですか

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）



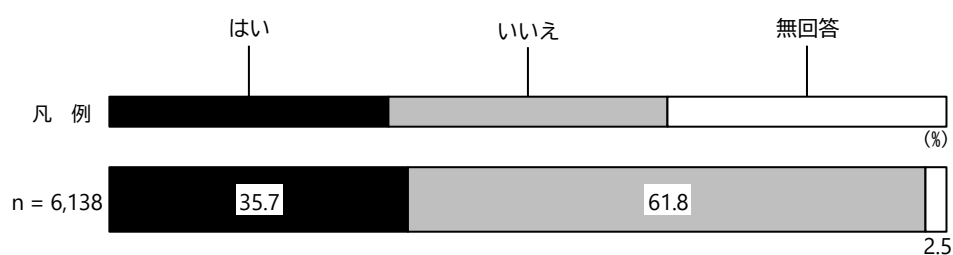
【性別・年齢階層別／現在の幸福度】

		n	(%)											平均点	
			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
全体		6,138	0.6	0.7	1.1	2.7	2.6	19.9	8.7	14.7	21.5	7.9	16.2	3.5	7.05
性別	男性	2,570	0.8	0.8	1.2	3.7	3.7	22.2	10.1	15.5	19.3	6.0	13.5	3.2	6.75
	女性	3,522	0.5	0.6	0.9	2.0	1.8	18.3	7.7	14.1	23.1	9.2	18.2	3.6	7.28
年齢階層別	65～69歳	1,483	0.7	0.7	1.3	3.1	3.7	16.4	8.9	17.7	24.6	6.9	14.2	1.8	7.00
	70～74歳	1,622	0.6	0.9	0.9	2.5	2.6	19.9	10.0	16.0	22.0	8.2	13.6	3.0	6.98
	75～79歳	1,532	0.5	0.6	0.8	2.8	2.4	22.1	8.4	14.2	20.2	8.2	15.9	3.8	7.02
	80～84歳	843	0.6	0.5	1.2	2.4	1.5	20.5	8.4	12.1	19.1	7.8	20.2	5.7	7.20
	85歳以上	597	0.5	0.7	1.0	2.3	1.7	22.3	5.5	8.9	19.4	8.4	24.1	5.2	7.33

8-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったか

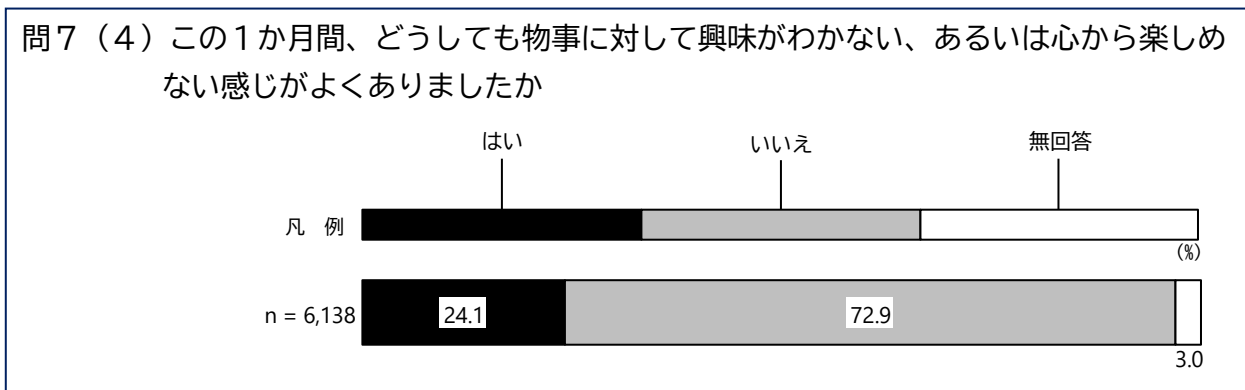
- ▶ この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったかについては、「いいえ」が61.8%、「はい」が35.7%となっています。

問7（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

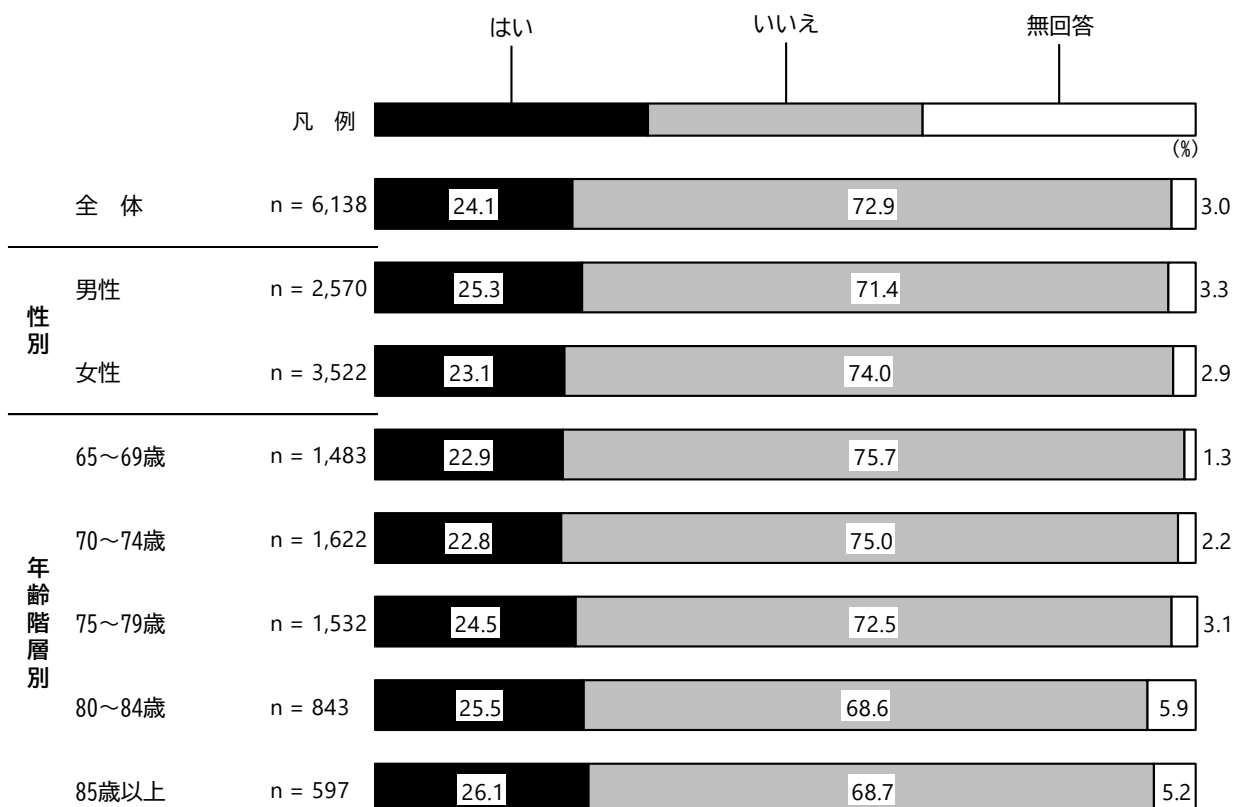


8-4 この1か月間、物事に対して興味がわかない等の感じがあったか

- ▶ この1か月間、物事に対して興味がわかない等の感じがあったかについては、「いいえ」が72.9%、「はい」が24.1%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があります。

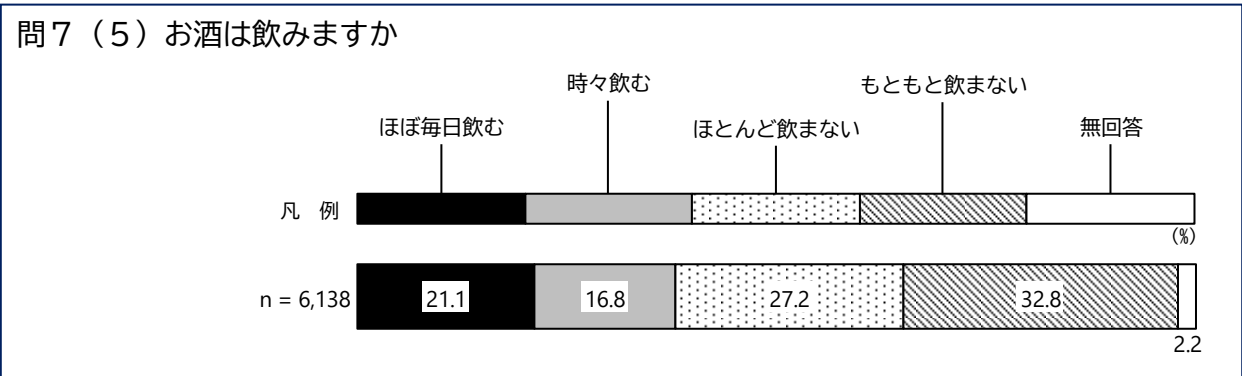


【性別・年齢階層別／この1か月間、物事に対して興味がわかない等の感じがあったか】

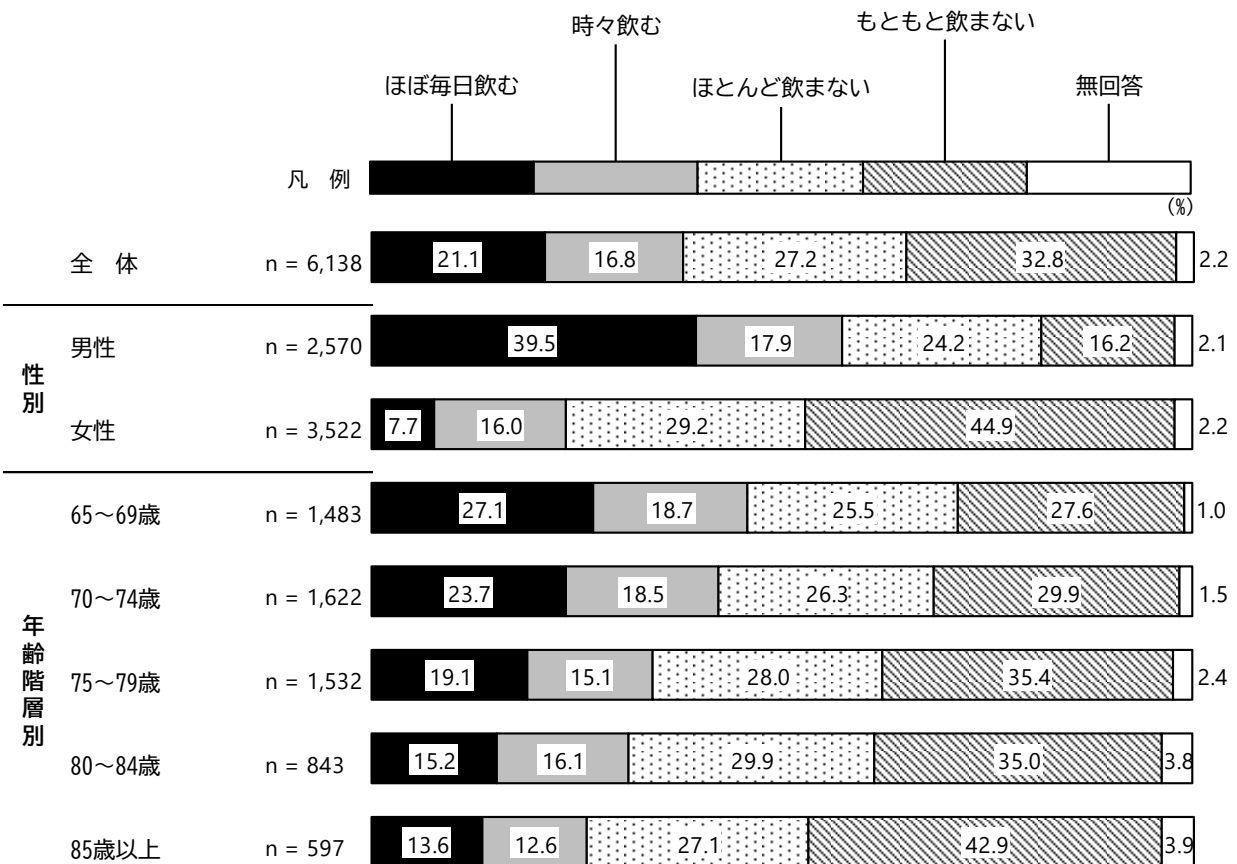


8-5 飲酒の状況

- ▶ 飲酒の状況については、「もともと飲まない」が32.8%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(27.2%)、「ほぼ毎日飲む」(21.1%)となっています。「ほぼ毎日飲む」(21.1%)と「時々飲む」(16.8%)を合わせた《飲酒する人》は37.9%となっています。
- ▶ 男性では、「ほぼ毎日飲む」が39.5%と、女性に比べ30ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《飲酒する人》は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。

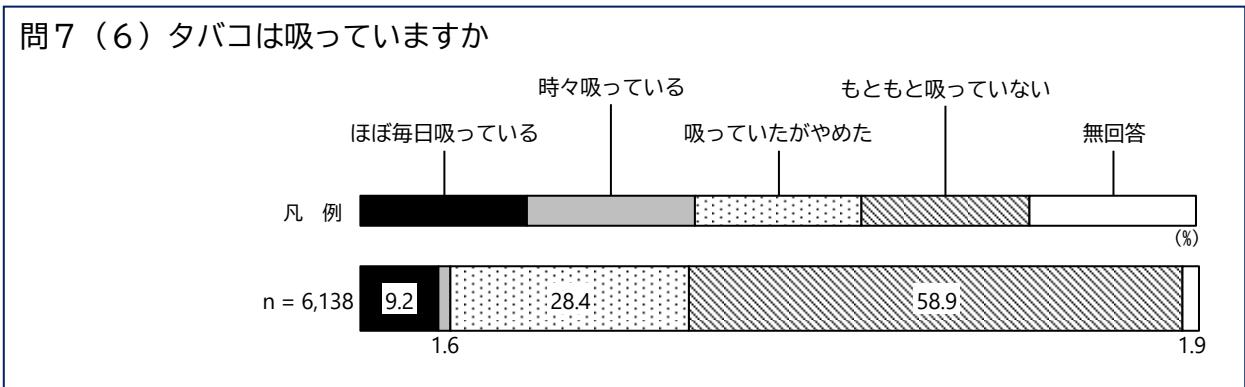


【性別・年齢階層別／飲酒の状況】

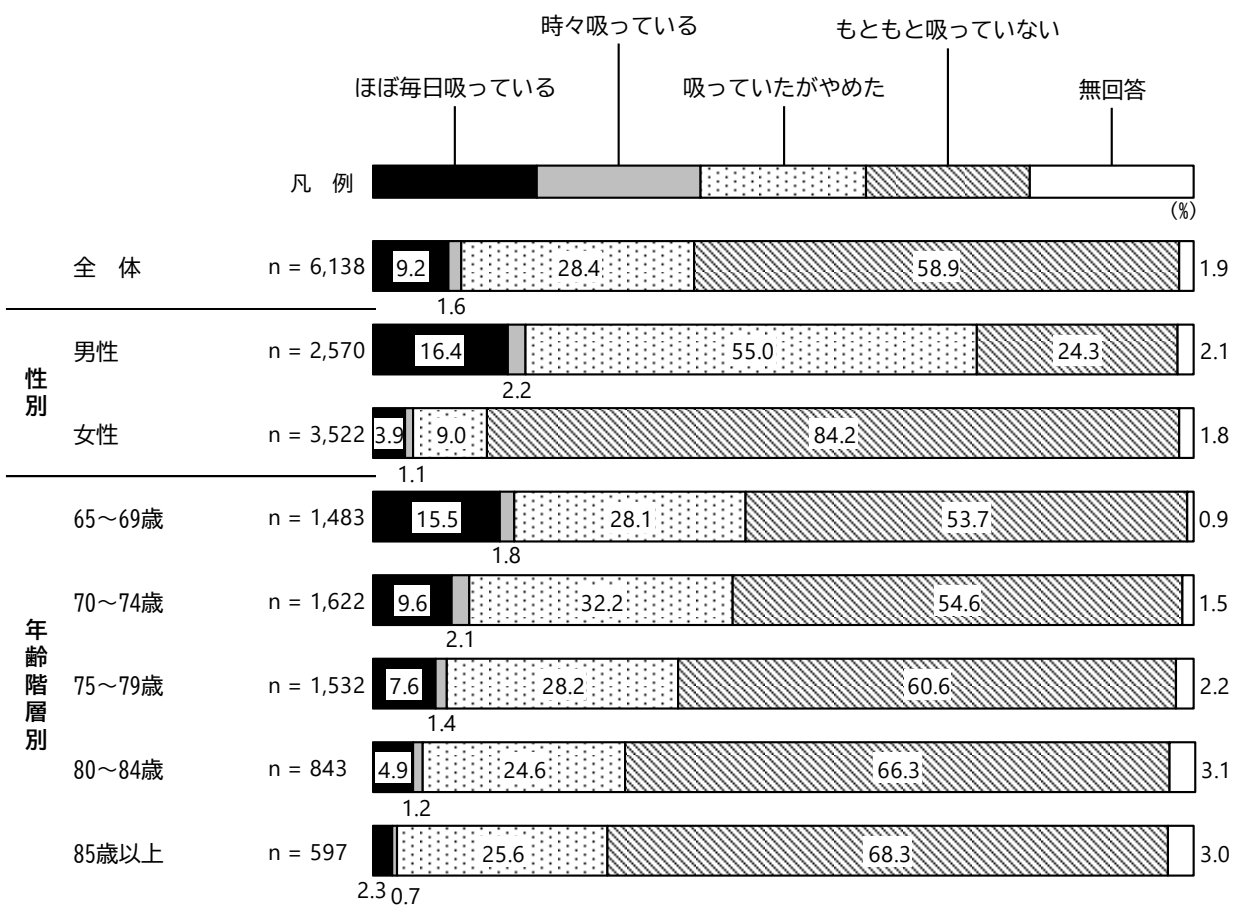


8-6 喫煙の状況

- ▶ 喫煙の状況については、「もともと吸っていない」が58.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(28.4%)、「ほぼ毎日吸っている」(9.2%)となっています。「ほぼ毎日吸っている」(9.2%)と「時々吸っている」(1.6%)を合わせた《喫煙する人》は10.8%となっています。
- ▶ 男性では、「ほぼ毎日吸っている」が16.4%と、女性に比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、《喫煙する人》は年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。



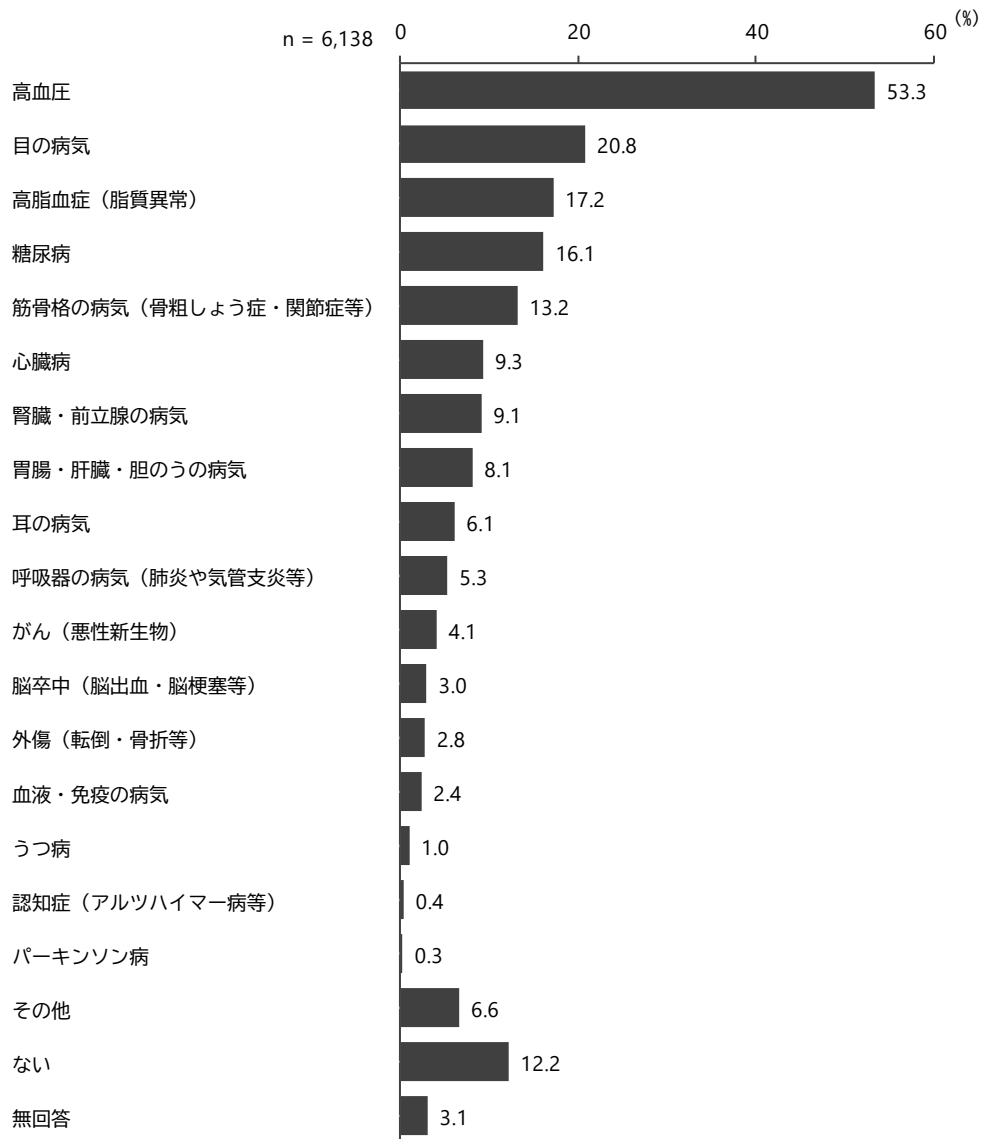
【性別・年齢階層別／喫煙の状況】



8-7 治療中、または後遺症のある病気

- ▶ 治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が53.3%と最も高く、次いで「目の病気」(20.8%)、「高脂血症（脂質異常）」(17.2%)となっています。
- ▶ 男性では、「腎臓・前立腺の病気」が18.4%と、女性に比べ15ポイント以上高く、女性では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が19.4%と、男性に比べ15ポイント以上高くなっています。

問7（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【性別・年齢階層別／治療中、または後遺症のある病気】

		n	高血圧	目の病気	高脂血症（脂質異常）	糖尿病	筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	心臓病	腎臓・前立腺の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	耳の病気	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
全 体		6,138	53.3	20.8	17.2	16.1	13.2	9.3	9.1	8.1	6.1	5.3
性別	男性	2,570	55.8	16.6	14.2	21.9	4.7	13.3	18.4	8.8	6.6	6.3
	女性	3,522	51.5	24.0	19.5	11.9	19.4	6.4	2.3	7.7	5.7	4.5
年齢階層別	65～69歳	1,483	46.4	15.4	22.5	14.9	10.2	5.9	6.2	7.6	3.6	4.7
	70～74歳	1,622	51.8	19.1	18.9	16.6	12.8	8.0	7.6	7.3	4.8	5.5
	75～79歳	1,532	56.7	24.2	16.1	18.5	14.2	10.0	10.4	9.1	6.1	6.1
	80～84歳	843	59.0	24.9	12.9	15.7	16.6	14.2	12.2	10.4	8.5	5.0
	85歳以上	597	58.0	25.6	8.7	12.7	14.2	12.6	12.6	6.2	12.4	5.0

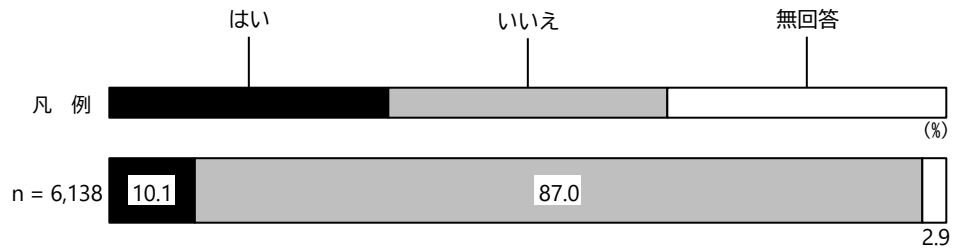
※全体の回答数上位 10 項目を抜粋

9 認知症について

9-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

- ▶ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「いいえ」が87.0%、「はい」が10.1%となっています。

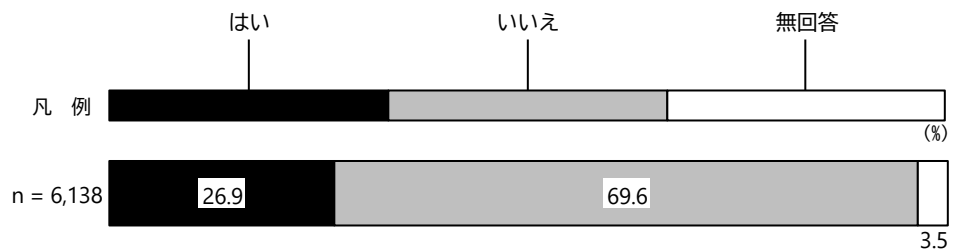
問8（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか



9-2 認知症に関する相談窓口の認知度

- ▶ 認知症に関する相談窓口の認知度については、「いいえ」が69.6%、「はい」が26.9%となっています。

問8（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか

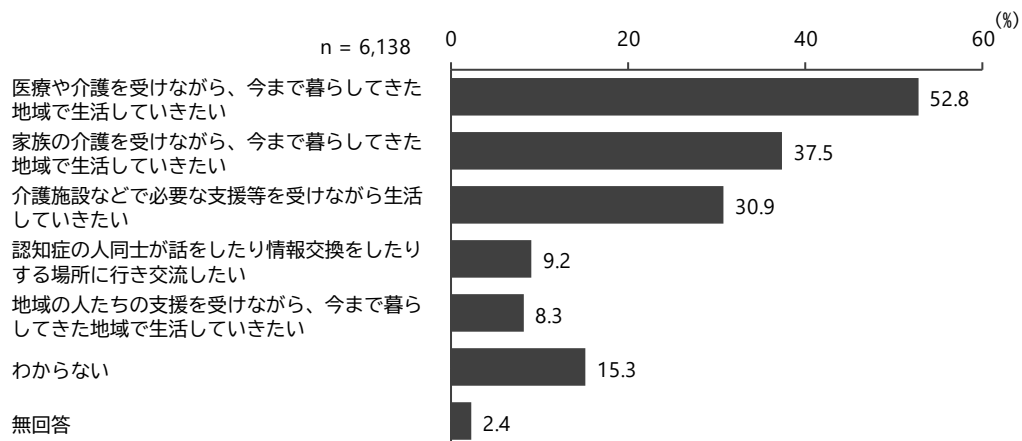


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

9-3 認知症になった際、どのように暮らしたいか

- ▶ 認知症になった際、どのように暮らしたいかについては、「医療や介護を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が52.8%と最も高く、次いで「家族の介護を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」（37.5%）、「介護施設などで必要な支援等を受けながら生活していきたい」（30.9%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、65～84歳では「医療や介護を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」、85歳以上では「家族の介護を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」の割合が最も高くなっています。

問8（3）自分が認知症になったら、どのように暮らしたいですか（いくつでも）



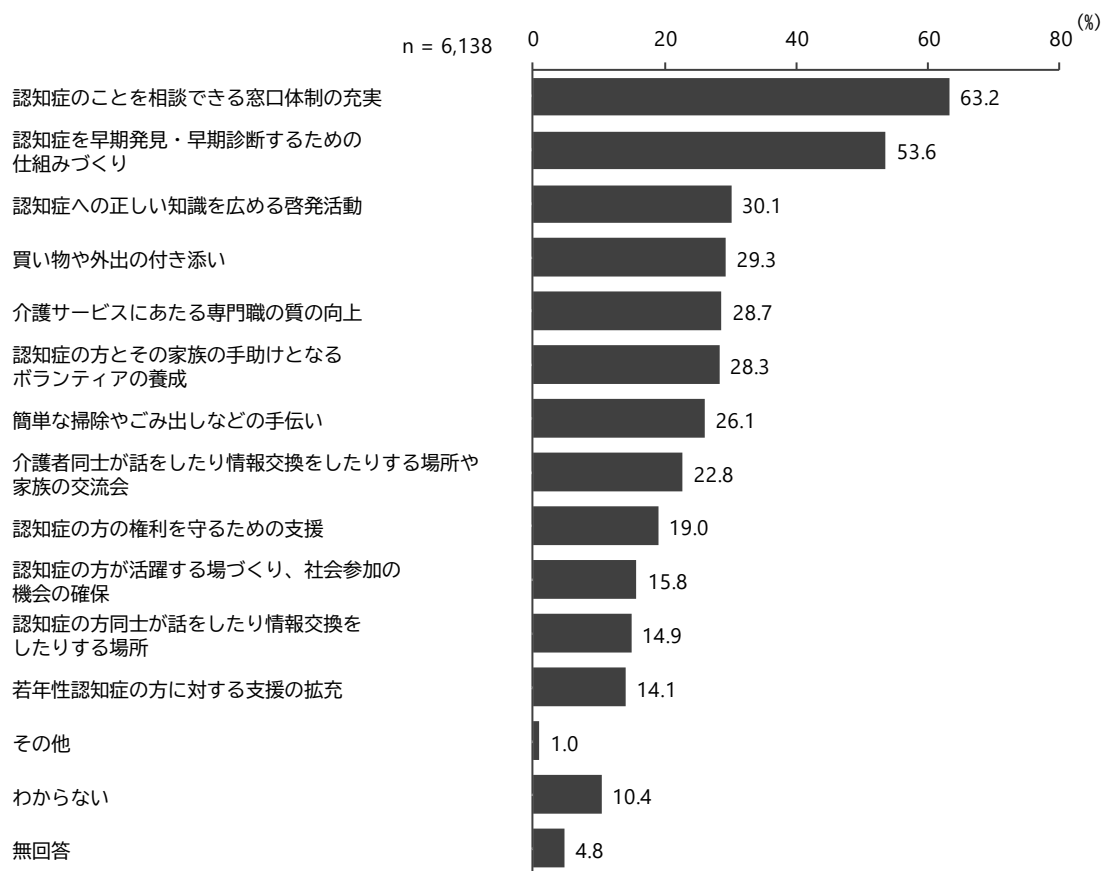
【性別・年齢階層別／認知症になったら、どのように暮らしたいか】

		n	医療や介護を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい (%)	家族の介護を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい (%)	介護施設などで必要な支援等を受けながら生活していきたい (%)	認知症の人の同士が話をしたり情報交換をしたりする場所に行き交流したい (%)	地域の人たちの支援を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		6,138	52.8	37.5	30.9	9.2	8.3	15.3	2.4
性別	男性	2,570	50.9	42.3	28.0	4.7	7.2	16.1	2.4
	女性	3,522	54.2	34.0	33.0	12.5	9.1	14.7	2.3
年齢階層別	65～69歳	1,483	52.0	32.3	34.3	10.3	6.1	16.7	0.9
	70～74歳	1,622	54.2	33.8	32.1	10.2	8.2	15.8	2.1
	75～79歳	1,532	53.9	37.9	29.8	8.8	8.7	15.5	2.3
	80～84歳	843	51.7	43.7	28.7	6.8	10.3	14.2	4.2
	85歳以上	597	50.9	51.4	24.5	7.9	10.2	11.1	3.9

9-4 認知症になった場合に、地域で暮らし続けるために必要だと思うこと

- ▶ 認知症になった場合に、地域で暮らし続けるために必要だと思うことについては、「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」が63.2%と最も高く、次いで「認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり」（53.6%）、「認知症への正しい知識を広める啓発活動」（30.1%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、全ての年齢階層で「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」の割合が最も高くなっています。

問8（4）自分や家族が認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくためにどのようなことが必要だと思いますか（いくつでも）



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【性別・年齢階層別／認知症になった場合に、地域で暮らし続けるために必要だと思うこと】

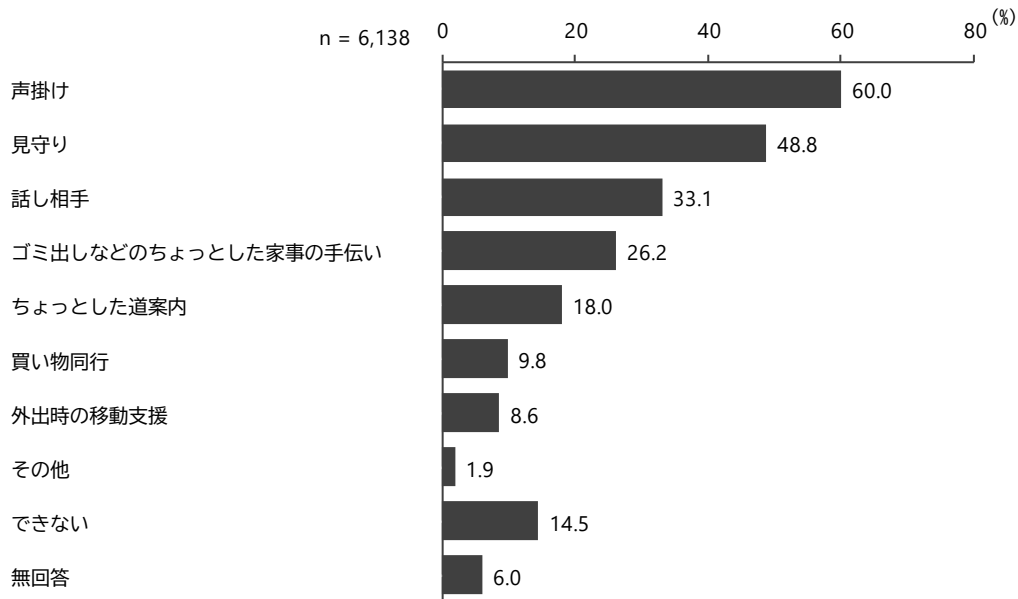
		n	認知症の 窓口体制の 充実	認知症を 早期発見・ 早期診 断するた めの仕組 みづくり	認知症へ の正しい 知識を 広める啓 発活動	買い物や 外出の付 き添い	介護サー ビスにあ たる専門 職の質の 向上	認知症の 方とそれ の家族の 手助けと なるボラ ンティア の育成	簡単な掃 除やごみ 出しなど の手伝い	家族の交 換をしたり する場所 や交流会	介護者同 士が話を したり情 報交換を したりす る場	認知症の 方の権利 を守るた めの支援	認知症の 方が活躍 する場 所の確保
全 体		6,138	63.2	53.6	30.1	29.3	28.7	28.3	26.1	22.8	19.0	15.8	
性別	男性	2,570	61.4	52.5	29.4	25.6	24.3	23.4	23.9	17.0	15.8	12.6	
	女性	3,522	64.7	54.7	30.9	32.0	32.1	31.9	27.7	27.2	21.3	18.0	
年齢階層別	65～69歳	1,483	68.8	56.8	33.8	30.5	33.9	33.2	24.8	26.8	21.4	17.7	
	70～74歳	1,622	67.0	57.8	35.1	28.1	31.3	29.8	24.2	23.3	18.9	17.9	
	75～79歳	1,532	61.3	54.5	28.5	30.1	26.4	27.5	28.5	22.2	19.1	14.9	
	80～84歳	843	56.1	47.4	23.6	29.5	24.2	22.4	27.5	21.1	18.3	14.0	
	85歳以上	597	55.3	42.0	22.1	26.8	22.4	22.9	25.1	15.9	14.6	9.7	

※全体の回答数上位 10 項目を抜粋

9-5 地域で暮らす認知症の方にできる支援

- ▶ 地域で暮らす認知症の方にできる支援については、「声掛け」が60.0%と最も高く、次いで「見守り」（48.8%）、「話し相手」（33.1%）となっています。
- ▶ 女性では、「話し相手」が39.4%と、男性に比べ10ポイント以上高くなっています。

問8（5）自分が地域で暮らす認知症の方にできる(できそうな)支援はありますか
（いくつでも）



【性別・年齢階層別／地域で暮らす認知症の方にできる支援】

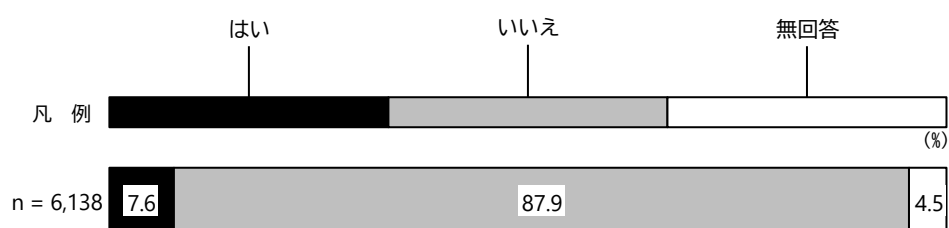
		n	声掛け	見守り	話し相手	たゴミ出しなどのちょっとした家事の手伝い	ちょっとした道案内	買い物同行	外出時の移動支援	できない	その他	無回答
全体		6,138	60.0	48.8	33.1	26.2	18.0	9.8	8.6	14.5	1.9	6.0
性別	男性	2,570	54.2	48.8	24.6	23.5	18.1	8.3	10.2	17.9	1.5	5.6
	女性	3,522	64.2	48.9	39.4	28.2	17.9	10.8	7.4	12.1	2.2	6.2
年齢階層別	65～69歳	1,483	64.6	56.9	29.9	26.4	21.0	10.7	8.6	12.8	1.6	2.2
	70～74歳	1,622	61.5	53.5	30.0	27.7	18.7	10.4	9.1	13.3	1.7	4.9
	75～79歳	1,532	62.7	47.5	36.3	27.7	17.4	9.3	9.7	14.0	2.2	5.9
	80～84歳	843	53.4	39.7	37.7	24.0	15.9	9.0	7.1	14.8	1.8	11.5
	85歳以上	597	47.2	33.7	35.7	20.3	12.6	7.9	6.2	23.3	2.7	9.4

10 人生のしめくりについて

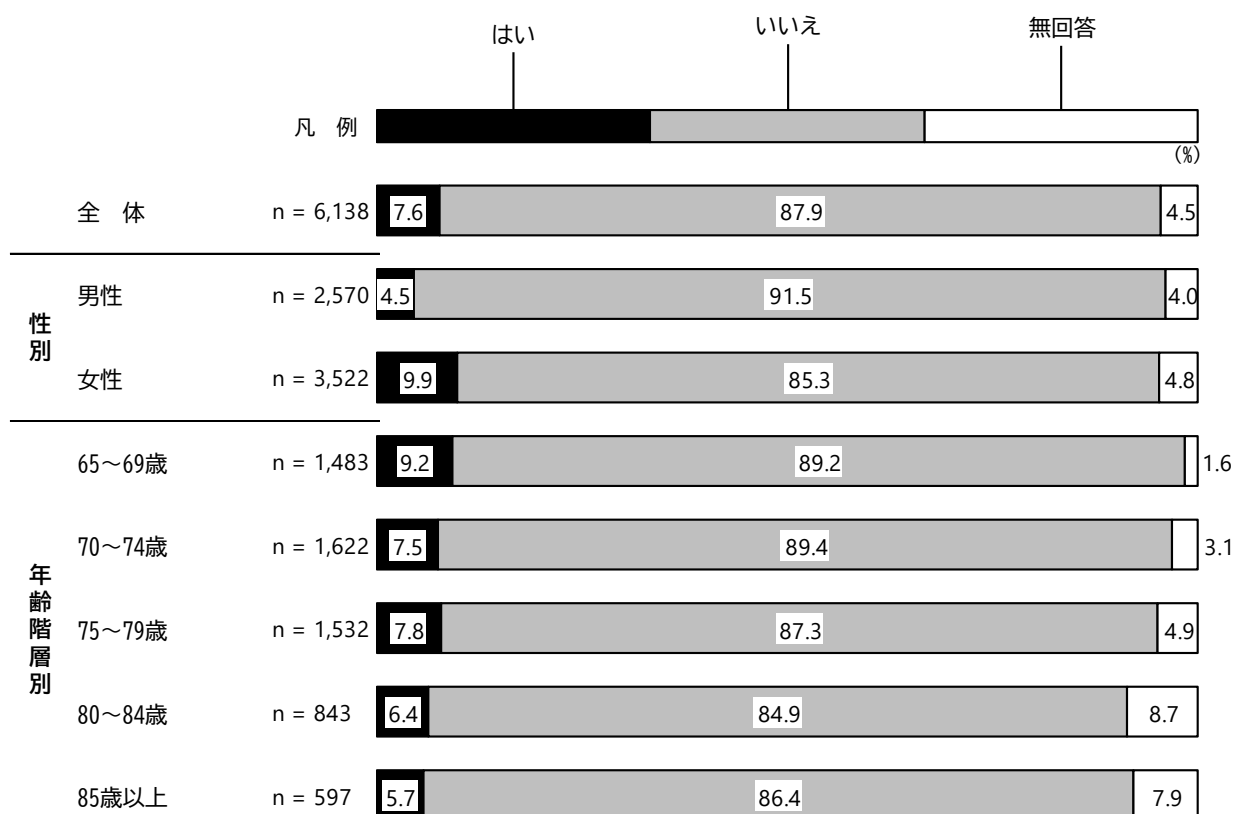
10-1 ACP(人生会議)の認知度

- ▶ ACP(人生会議)の認知度については、「いいえ」が87.9%、「はい」が7.6%となっています。
- ▶ 性別、年齢階層別ともに、「いいえ」の割合が高く、8割以上となっています。

問9（1）ACP(人生会議)という言葉の意味を知っていますか



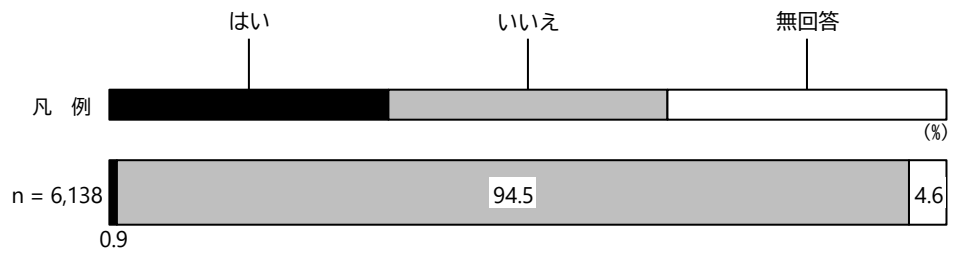
【性別・年齢階層別／ACP(人生会議)の認知度】



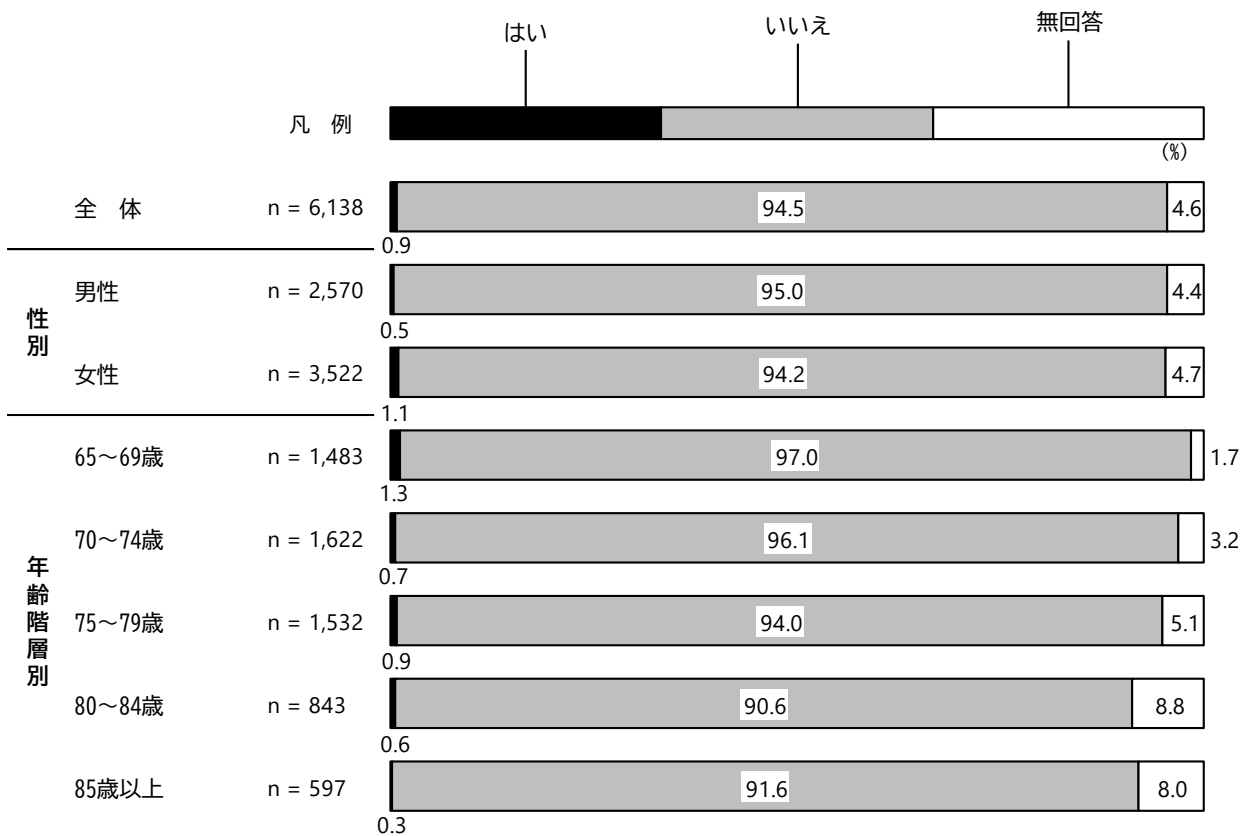
10-2 ACP(人生会議)の実施経験

- ▶ ACP(人生会議)の実施の経験については、「いいえ」が94.5%、「はい」が0.9%となっています。
- ▶ 性別、年齢階層別ともに、「いいえ」の割合が高く、9割以上となっています。

問9（2）ACP(人生会議)を実施したことがありますか



【性別・年齢階層別／ACP(人生会議)の実施経験】

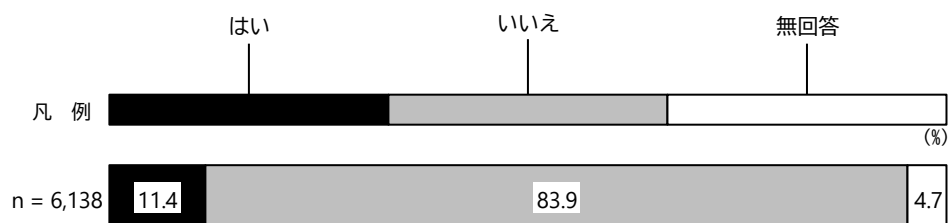


II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

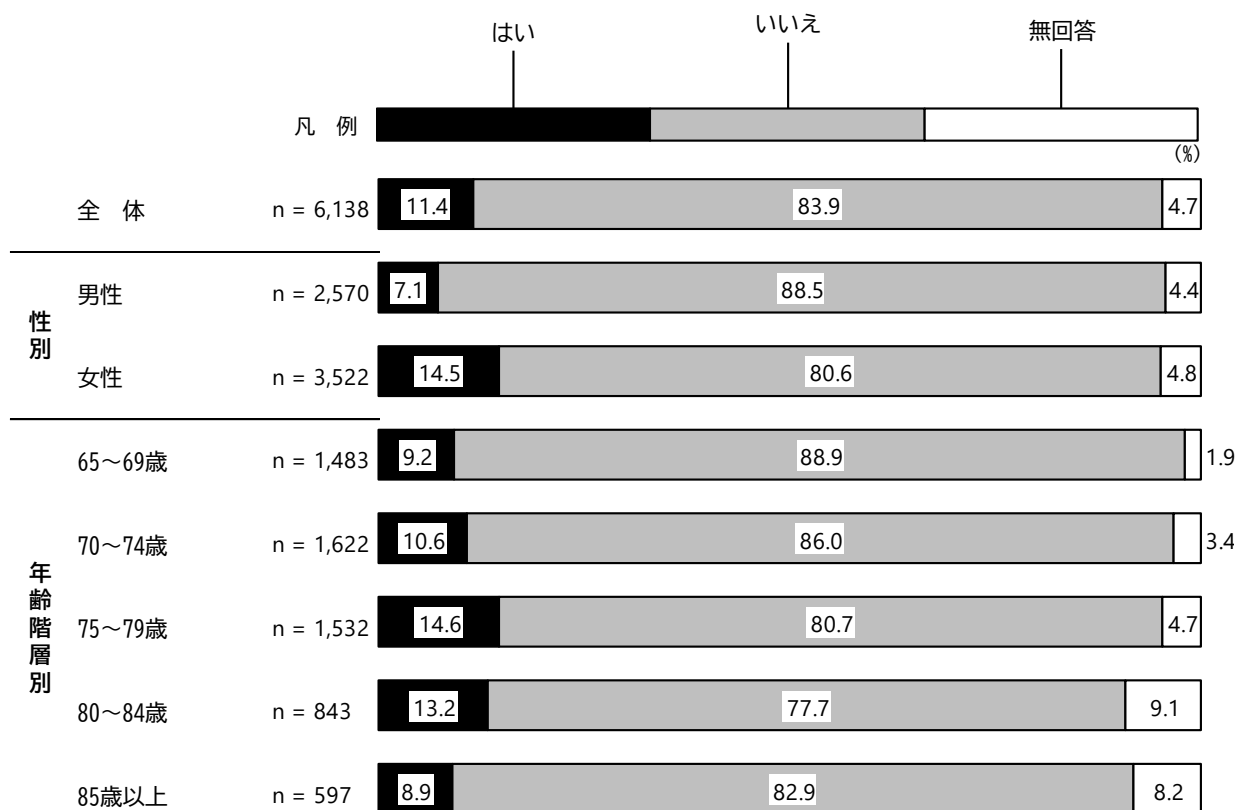
10-3 エンディングノートの準備

- ▶ エンディングノートの準備については、「いいえ」が 83.9%、「はい」が 11.4%となっています。
- ▶ 女性では、「はい」が 14.5%と、男性に比べ高くなっています。

問9（3）エンディングノートの準備はありますか



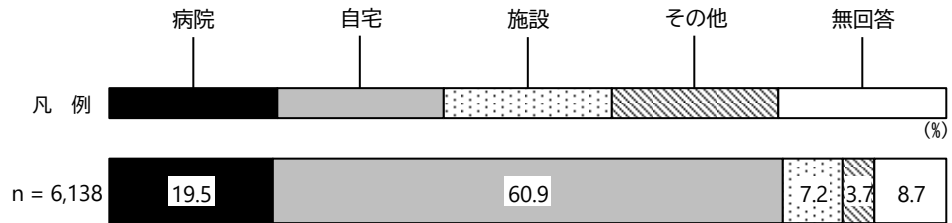
【性別・年齢階層別／エンディングノートの準備】



10-4 終末期、どこで生活したいか

- ▶ 終末期、どこで生活したいかについては、「自宅」が60.9%と最も高く、次いで「病院」（19.5%）、「施設」（7.2%）となっています。

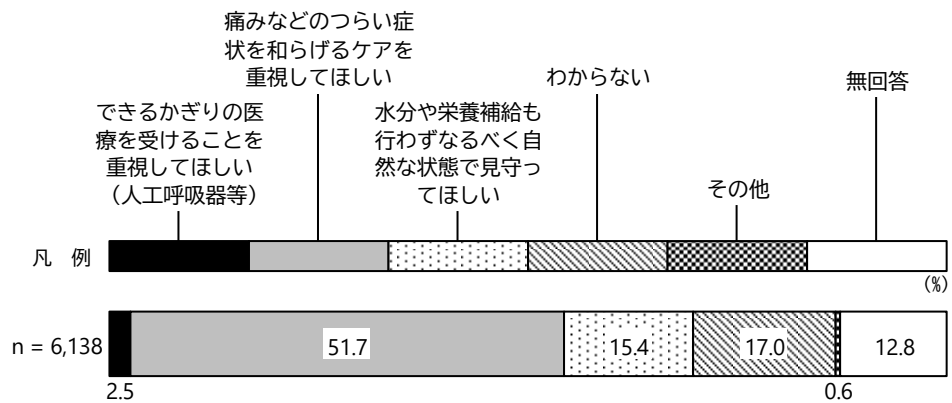
問9（4）人生の最後（お看取りの時期）が近くなったときどこで過ごしたいですか



10-5 終末期の過ごし方

- ▶ 終末期の過ごし方については、「痛みなどのつらい症状を和らげるケアを重視してほしい」が51.7%と最も高く、次いで「水分や栄養補給も行わずなるべく自然な状態で見守ってほしい」（15.4%）、「できるかぎりの医療を受けることを重視してほしい（人工呼吸器等）」（2.5%）となっています。一方、「わからない」は17.0%となっています。

問9（5）人生の最後（お看取りの時期）が近くなったときどう過ごしたいですか

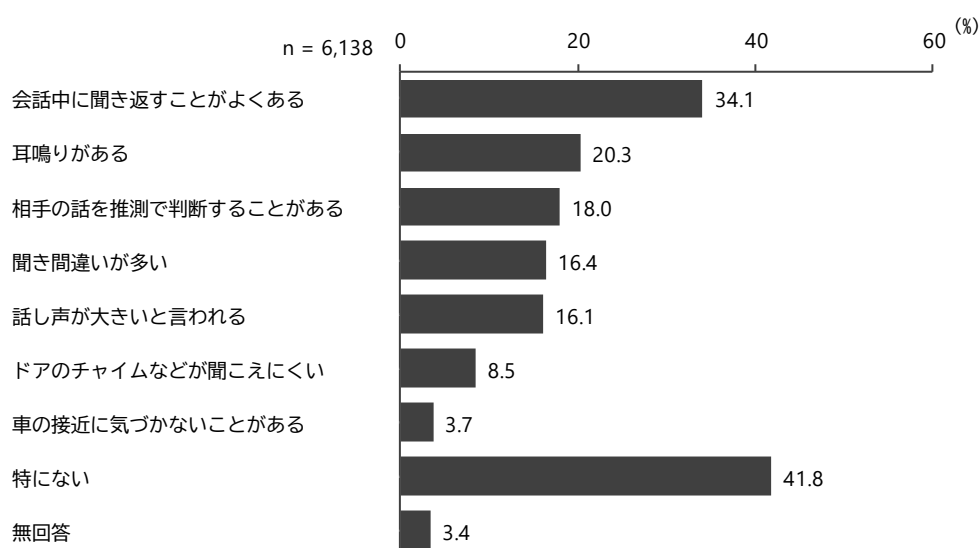


11 耳の聞こえについて

11-1 耳の聞こえの状態

- ▶ 耳の聞こえの状態については、「会話中に聞き返すことがよくある」が34.1%と最も高く、次いで「耳鳴りがある」(20.3%)、「相手の話を推測で判断することがある」(18.0%)となっています。一方、「特にない」は41.8%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「会話中に聞き返すことがよくある」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では52.1%となっています。

問10（1）耳の聞こえについて、あてはまる項目はありますか（いくつでも）



【性別・年齢階層別／耳の聞こえの状態】

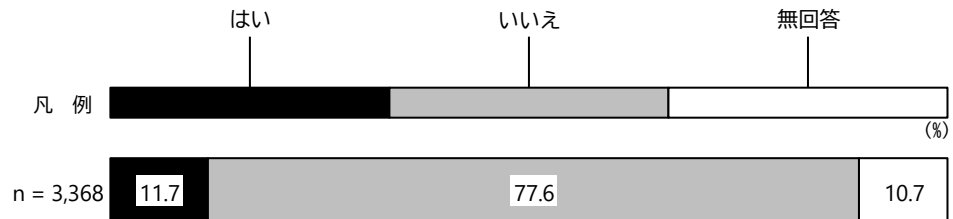
		n	会話中に聞き返すことがよくある	耳鳴りがある	相手の話を推測で判断することがある	聞き間違いが多い	話し声が大きいと言われる	ドアのチャイムなどが聞こえにくい	車の接近に気づかないことがある	特にない	無回答
全体		6,138	34.1	20.3	18.0	16.4	16.1	8.5	3.7	41.8	3.4
性別	男性	2,570	37.2	23.7	21.1	17.6	18.1	8.4	4.0	36.9	3.3
	女性	3,522	31.9	17.8	15.8	15.6	14.6	8.5	3.5	45.5	3.3
年齢階層別	65～69歳	1,483	26.4	19.9	15.5	12.0	12.7	3.8	1.8	51.7	1.3
	70～74歳	1,622	30.2	20.3	15.8	13.5	16.2	5.9	1.9	46.1	2.8
	75～79歳	1,532	34.2	21.5	17.2	16.0	17.2	7.4	3.4	39.9	3.7
	80～84歳	843	42.8	21.2	21.9	21.2	17.2	12.5	5.6	32.1	6.4
	85歳以上	597	52.1	16.9	27.0	29.8	19.9	24.0	11.4	24.3	4.5

11-2 補聴器所有の有無

▶ 補聴器所有の有無については、「いいえ」が77.6%、「はい」が11.7%となっています。

【問10(1)で「特になし」以外を回答した方】

問10(2) 現在、補聴器を持っていますか

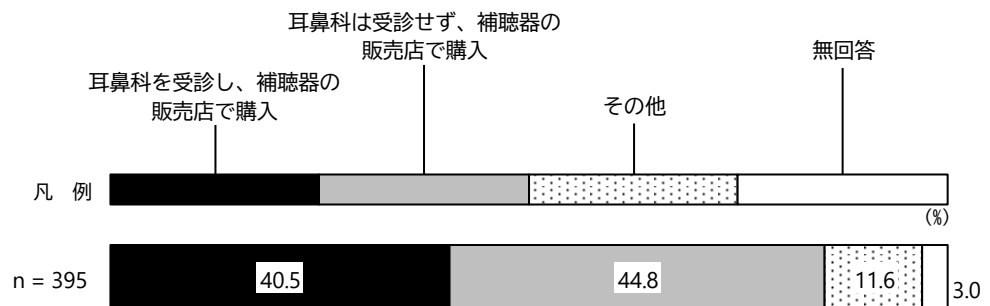


11-3 補聴器の購入方法

▶ 補聴器の購入方法については、「耳鼻科を受診せず、補聴器の販売店で購入」が44.8%、「耳鼻科を受診し、補聴器の販売店で購入」が40.5%となっています。

【問10(2)で「はい」と回答した方】

①補聴器をどのように購入しましたか

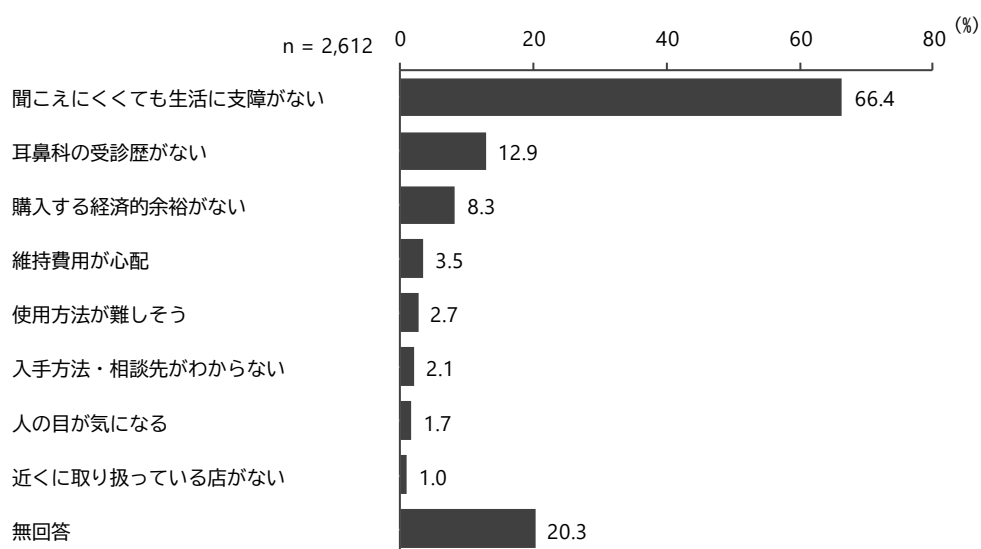


11-4 補聴器を購入しない理由

- ▶ 補聴器を購入しない理由については、「聞こえにくくても生活に支障がない」が 66.4% と最も高く、次いで「耳鼻科の受診歴がない」（12.9%）、「購入する経済的余裕がない」（8.3%）となっています。

【問 10（2）で「いいえ」と回答した方】

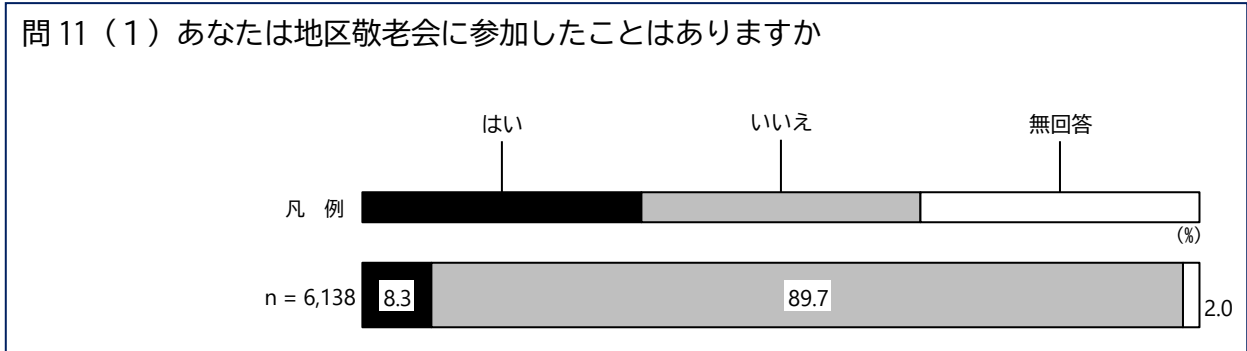
②補聴器を購入していないのはなぜですか（いくつでも）



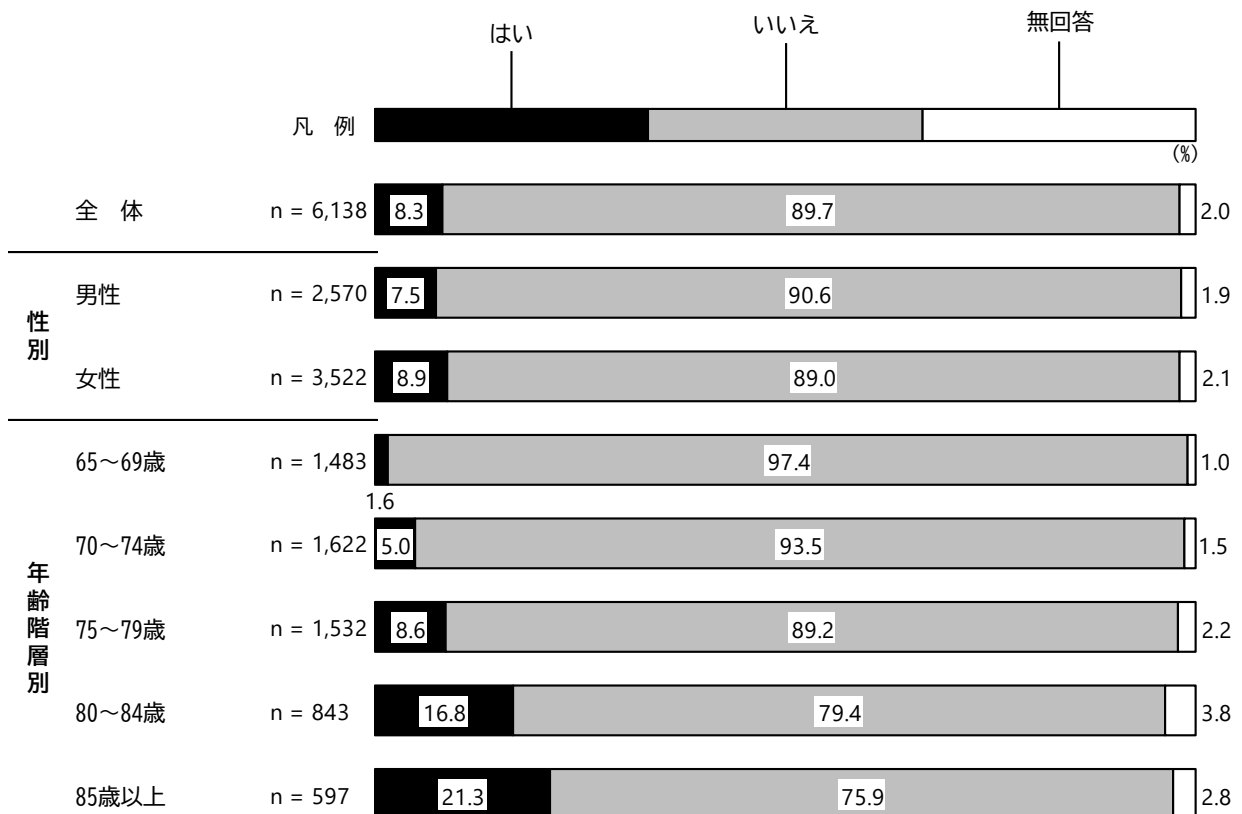
12 いわき市の敬老事業について

12-1 地区敬老会への参加経験の有無

- ▶ 地区敬老会への参加経験の有無については、「いいえ」が89.7%、「はい」が8.3%となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、「はい」の割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、85歳以上では21.3%となっています。

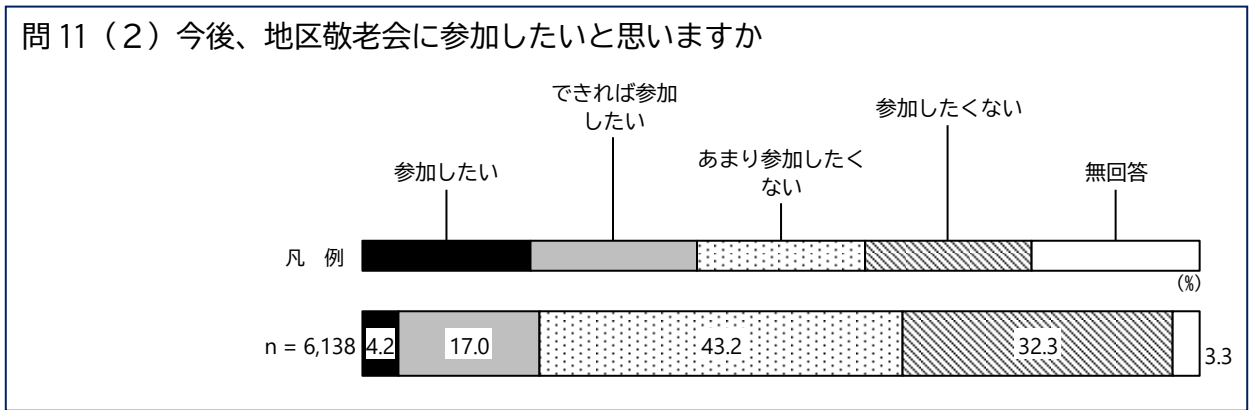


【性別・年齢階層別／地区敬老会への参加経験の有無】



12-2 地区敬老会への参加意向

- ▶ 地区敬老会への参加意向については、「あまり参加したくない」が43.2%と最も高く、次いで「参加したくない」(32.3%)、「できれば参加したい」(17.0%)となっています。
- ▶ 「参加したい」(4.2%)と「できれば参加したい」(17.0%)を合わせた《参加したい》は21.2%となっており、「参加したくない」(32.3%)と「あまり参加したくない」(43.2%)を合わせた《参加したくない》は75.5%となっています。

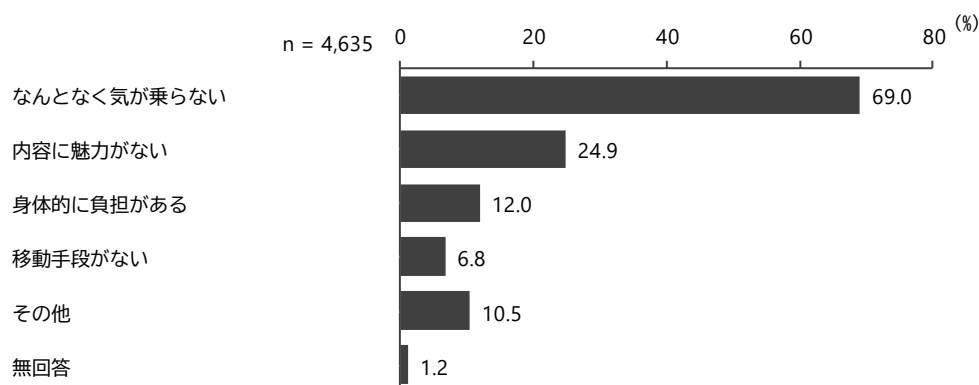


12-3 地区敬老会に参加したくない理由

- ▶ 地区敬老会に参加したくない理由については、「なんとなく気が乗らない」が69.0%と最も高く、次いで「内容に魅力がない」（24.9%）、「身体的に負担がある」（12.0%）となっています。
- ▶ 年齢階層別でみると、85歳以上では「身体的に負担がかかる」が34.0%と他の年代と比べ15ポイント以上高くなっています。

【問11（2）で「あまり参加したくない」または「参加したくない」と回答した方】

①参加したくない理由を教えてください（いくつでも）



【性別・年齢階層別／地区敬老会に参加したくない理由】

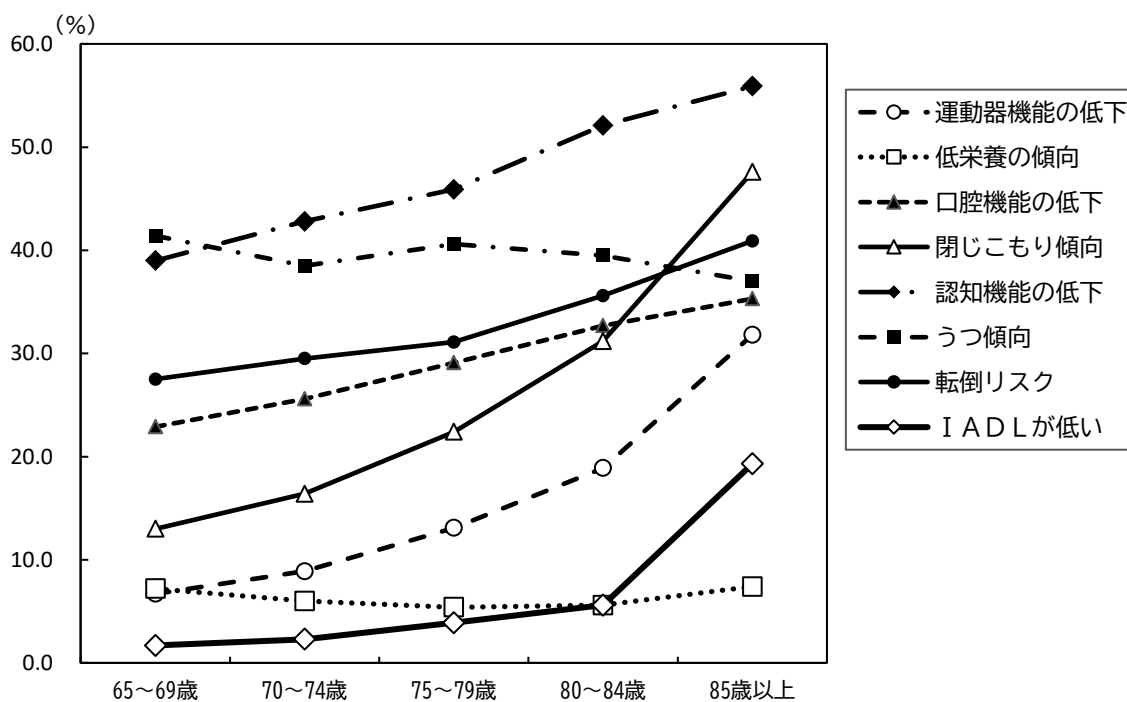
		n	なんとなく気が乗らない	内容に魅力がない	身体的に負担がある	移動手段がない	その他	無回答
全体		4,635	69.0	24.9	12.0	6.8	10.5	1.2
性別	男性	1,992	70.5	27.0	11.6	2.8	8.8	1.6
	女性	2,608	68.0	23.3	12.3	10.0	11.7	0.8
年齢階層別	65～69歳	1,205	65.6	27.9	5.7	1.9	16.2	0.6
	70～74歳	1,271	72.3	28.0	7.7	3.7	10.0	1.3
	75～79歳	1,143	74.3	22.7	11.9	7.6	8.0	0.9
	80～84歳	569	67.1	21.6	18.8	12.5	8.1	2.1
	85歳以上	400	57.5	17.0	34.0	21.5	5.0	2.0

13 要介護リスクについて

- ▶ アンケート結果から、生活機能の評価項目ごとの該当者（リスク者）を算出しています。
- ▶ 年齢階層別で見ると、「うつ傾向」と「低栄養の傾向」以外は年齢が上がるにつれてリスクが高くなっていく傾向があります。

全体・年齢階層別該当者割合 (%)

	全体	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
運動器機能の低下	13.0	6.7	8.9	13.1	18.9	31.8
低栄養の傾向	6.2	7.2	6.0	5.4	5.6	7.4
口腔機能の低下	27.8	22.9	25.6	29.1	32.7	35.3
閉じこもり傾向	22.3	13.0	16.4	22.4	31.2	47.6
認知機能の低下	45.2	39.0	42.8	45.9	52.1	55.9
うつ傾向	39.8	41.4	38.5	40.6	39.5	37.0
転倒リスク	31.4	27.5	29.5	31.1	35.6	40.9
IADLが低い	4.7	1.7	2.3	3.9	5.6	19.3



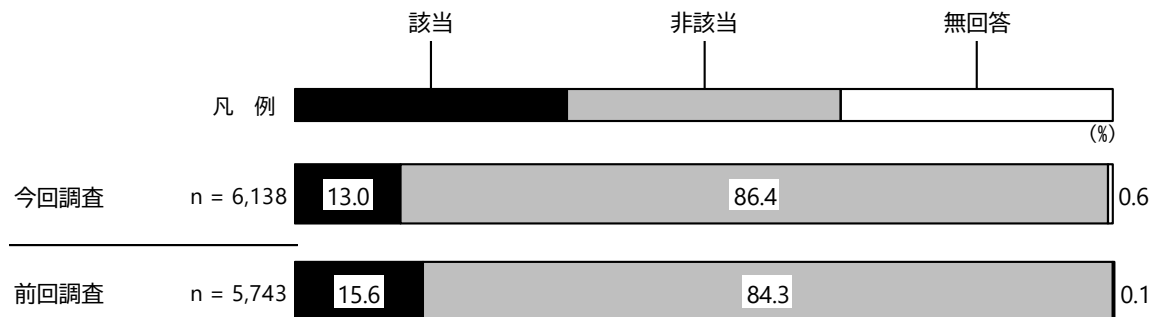
13-1 運動器機能の低下

- ▶ 問2（1）～（5）は運動器の機能低下を問う設問です。国の手引きをもとに、5項目のうち3項目以上で該当する選択肢を回答した人を運動器機能の低下リスク該当者と判定しました。
- ▶ 国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体では13.0%が運動器の機能低下リスク該当者となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、該当者の割合が2.6ポイント低下しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2（1）	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2（2）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2（3）	15分くらい続けて歩いていますか	3. できない
問2（4）	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2（5）	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

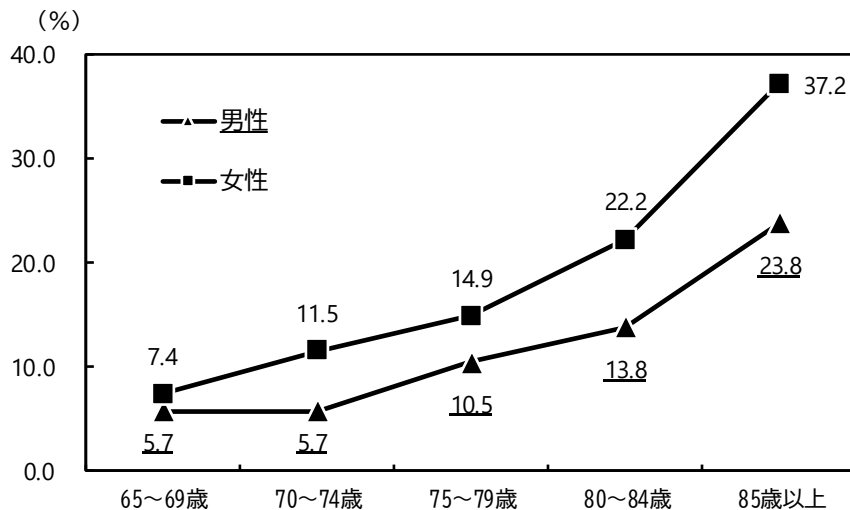
【経年比較／運動器機能の低下リスク該当状況】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【性別・年齢階級別／運動器機能の低下リスク該当状況】

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、女性では、すべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上では37.2%と75～79歳に比べ22.3ポイント高くなっています。一方、男性では、85歳以上で23.8%と75～79歳に比べ13.3ポイント高くなっています。
- ▶ また、女性では75歳以降、男性では80歳以降で全体平均の13.0%を超え、運動器におけるリスクが顕在化しています。

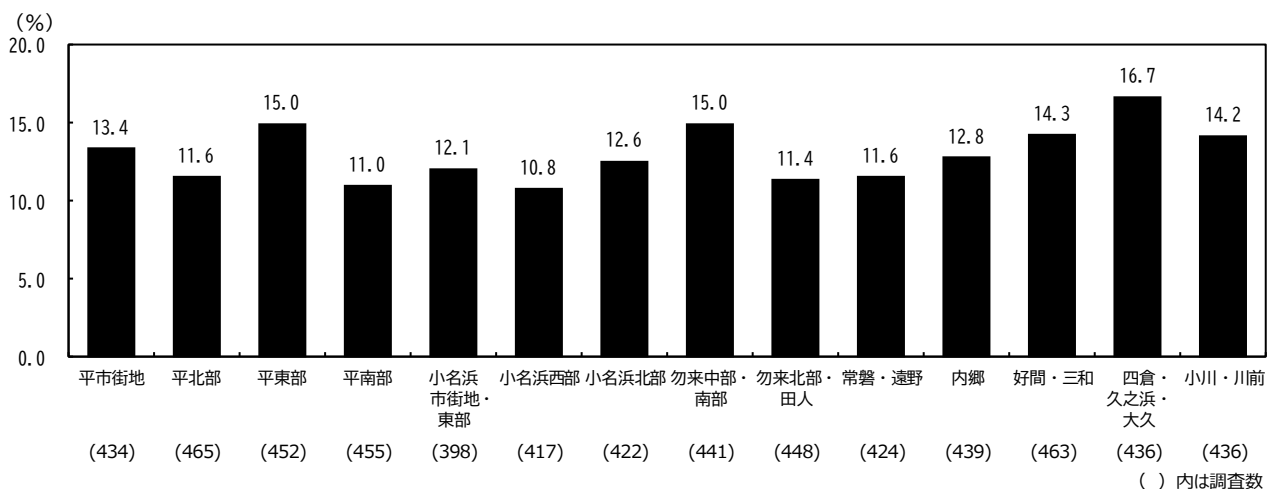


男性	(647)	(719)	(637)	(327)	(235)
女性	(834)	(903)	(891)	(514)	(360)

() 内は調査数

【圏域別／運動器機能の低下リスク該当状況】

- ▶ 圏域別にみると、平市街地、平東部、勿来中部・南部、好間・三和、四倉・久之浜・大久、小川・川前で該当者割合が全体平均の13.0%を超えています。
- ▶ また、最も高い圏域は四倉・久之浜・大久で16.7%、最も低い圏域は小名浜西部で10.8%となっており、5.9ポイントの差となっています。



() 内は調査数

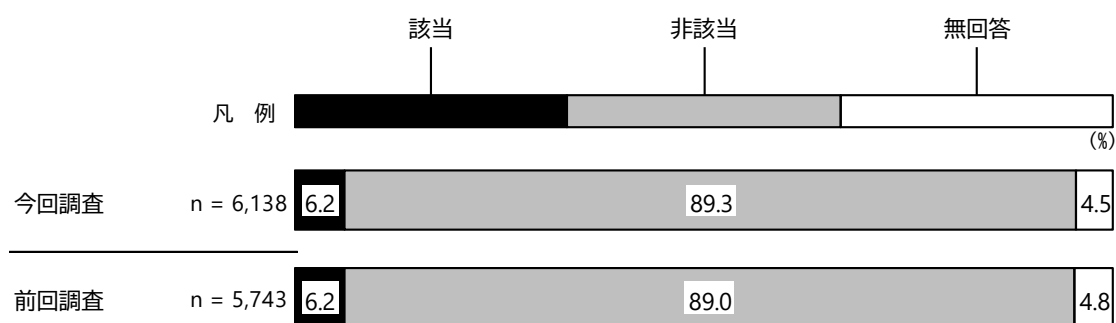
13-2 低栄養の傾向

- ▶ 国の手引きを参考に、身長・体重から算出したBMIが18.5以下の人を低栄養状態のリスク該当者と判定しました。
- ▶ 低栄養状態の評価結果をみると、全体では6.2%が低栄養状態のリスク該当者となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、該当者の割合の増減はありませんでした。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3（1）	身長・体重	BMI 18.5 以下

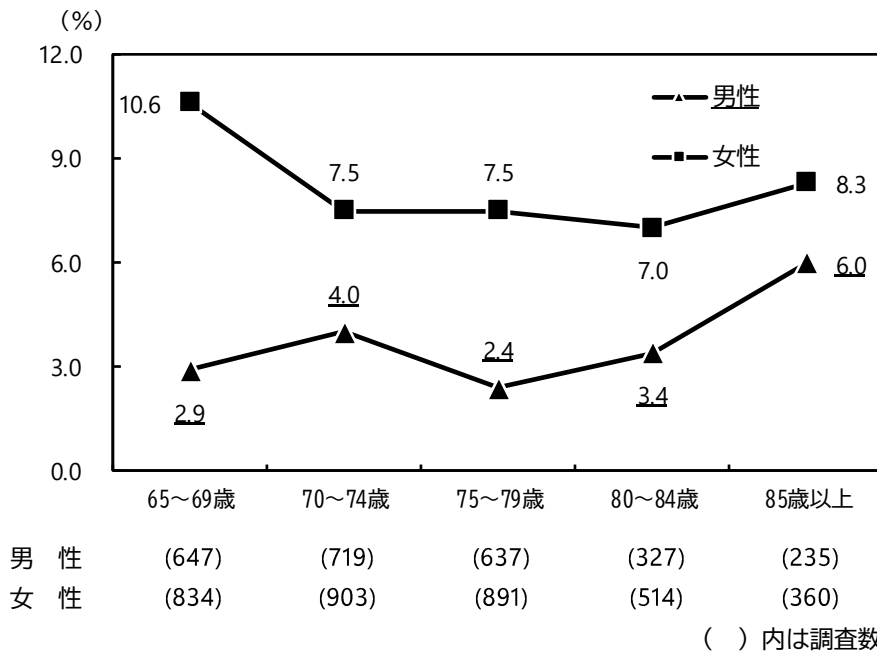
【経年比較／低栄養状態のリスク該当状況】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

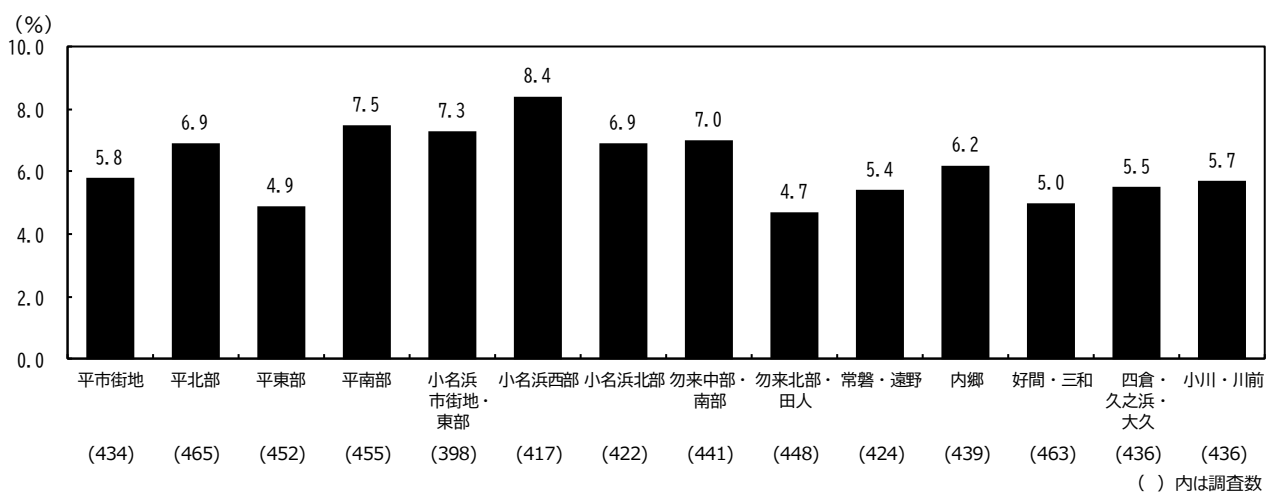
【性別・年齢階級別／低栄養状態のリスク該当状況】

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、すべての年代で女性が男性に比べ該当者割合が高く、最も割合が高い年代は、女性では65～69歳の10.6%、男性では85歳以上の6.0%となっています。



【圏域別／低栄養状態のリスク該当状況】

- ▶ 圏域別にみると、平北部、平南部、小名浜市街地・東部、小名浜西部、小名浜北部、勿来中部・南部で該当者割合が全体平均の6.2%を超えています。
- ▶ また、最も高い圏域は小名浜西部で8.4%、最も低い圏域は勿来北部・田人で4.7%となっており、3.7ポイントの差となっています。



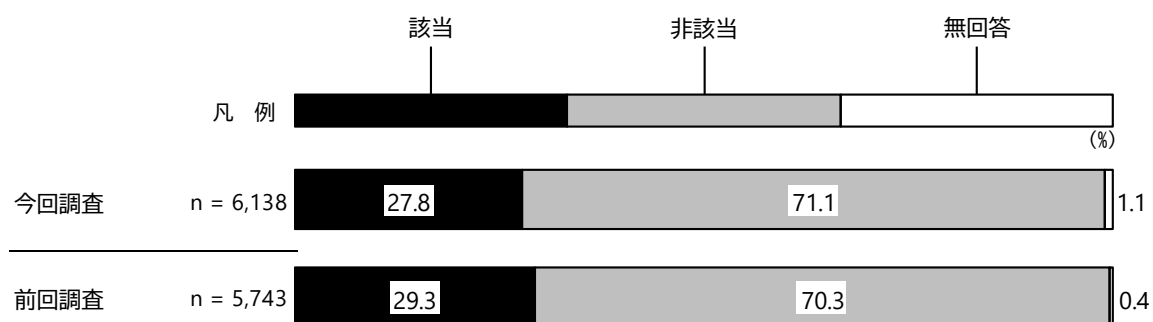
13-3 口腔機能の低下

- ▶ 問3（2）～（4）は口腔機能の低下を問う設問です。国の手引きをもとに、3項目のうち2項目以上で該当する選択肢を回答した人を口腔機能のリスク該当者と判定しました。
- ▶ 国の手引きに基づく口腔機能の評価結果をみると、全体では27.8%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、該当者の割合が1.5ポイント低下しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3（2）	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3（3）	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3（4）	口の渇きが気になりますか	1. はい

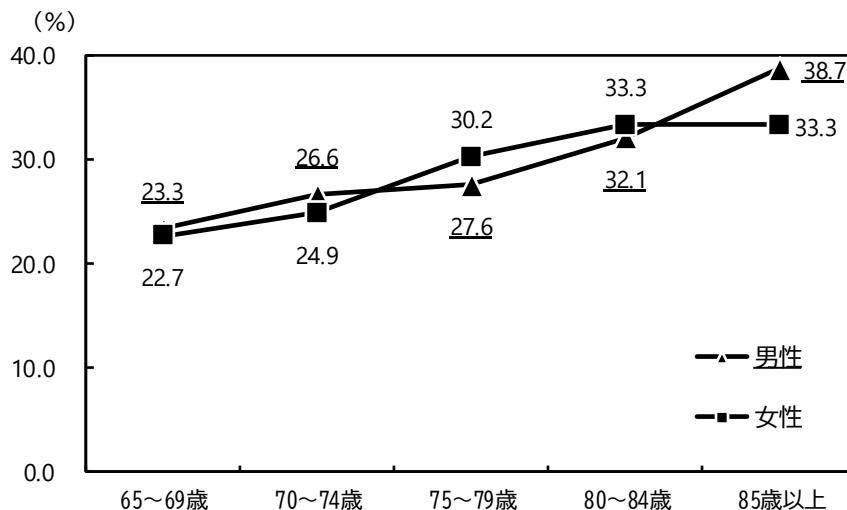
【経年比較／口腔機能の低下該当状況】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【性別・年齢階級別／口腔機能の低下該当状況】

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに年齢が上がるにつれおおむね該当者割合が高くなる傾向があります。男性では、85歳以上で38.7%と80～84歳に比べ6.6ポイント高くなっており、女性では、85歳以上で33.3%と70～74歳に比べ8.4ポイント高くなっています。
- ▶ また、女性では75歳以降、男性では80歳以降で全体平均の27.8%を超え、口腔機能の低下リスクが顕在化しています。

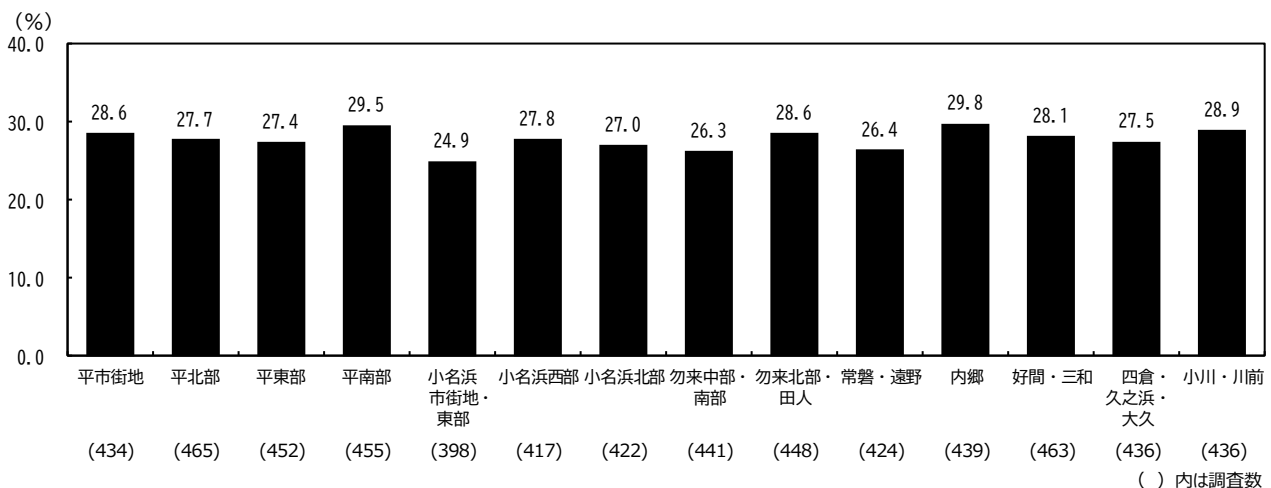


男性	(647)	(719)	(637)	(327)	(235)
女性	(834)	(903)	(891)	(514)	(360)

() 内は調査数

【圏域別／口腔機能の低下該当状況】

- ▶ 圏域別にみると、平市街地、平南部、勿来北部・田人、内郷、好間・三和、小川・川前で該当者割合が全体平均の27.8%を超えています。
- ▶ また、最も高い圏域は内郷で29.8%、最も低い圏域は小名浜市街地・東部で24.9%となっており、4.9ポイントの差となっています。



() 内は調査数

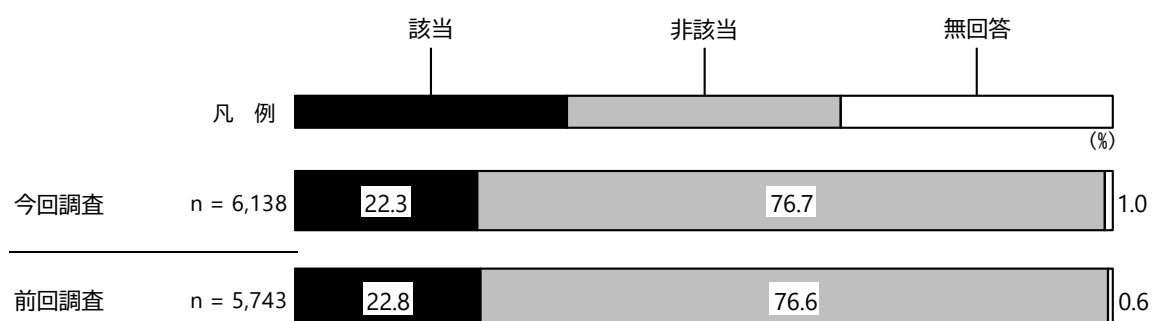
13-4 閉じこもり傾向

- ▶ 問2（6）は閉じこもり傾向を問う設問です。国の手引きをもとに、該当する選択肢を回答した人を閉じこもりリスク該当者と判定しました。
- ▶ 国の手引きに基づく閉じこもり傾向の評価結果をみると、全体では 22.3%が閉じこもりリスク該当者となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、該当者の割合が 0.5 ポイント低下しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2（6）	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

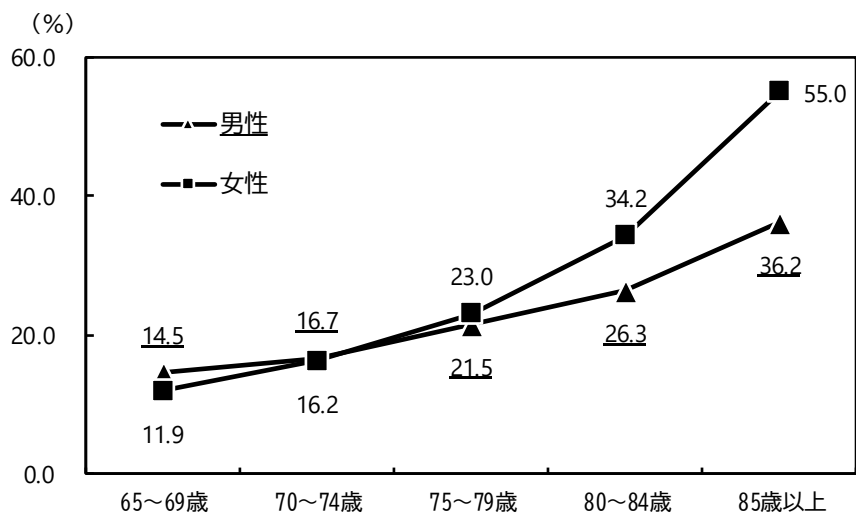
【経年比較／閉じこもりリスク該当状況】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【性別・年齢階級別／閉じこもりリスク該当状況】

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに年齢が上がるにつれ該当者割合が高くなっており、特に女性では、85歳以上で55.0%と急激に該当者割合が増加し、80～84歳に比べ20.8ポイント高くなっています。
- ▶ また、女性では75歳以降、男性では80歳以降で全体平均の22.3%を超え、閉じこもりリスクが顕在化しています。

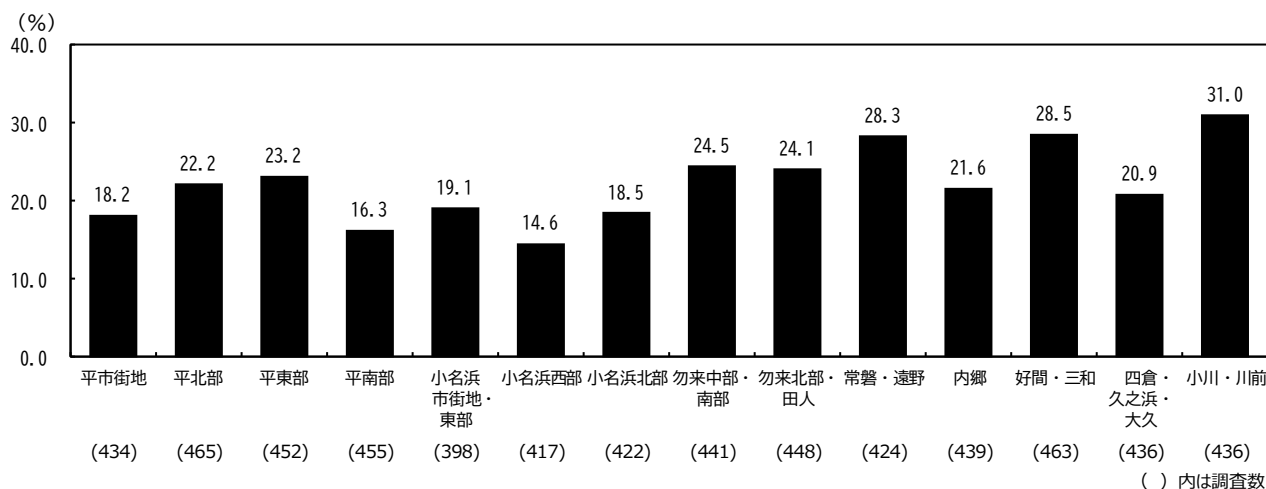


男 性	(647)	(719)	(637)	(327)	(235)
女 性	(834)	(903)	(891)	(514)	(360)

() 内は調査数

【圏域別／閉じこもりリスク該当状況】

- ▶ 圏域別にみると、平東部、勿来中部・南部、勿来北部・田人、常磐・遠野、好間・三和、小川・川前で該当者割合が全体平均の22.3%を超えています。
- ▶ また、最も高い圏域は小川・川前で31.0%、最も低い圏域は小名浜西部で14.6%となっており、16.4ポイントの差となっています。



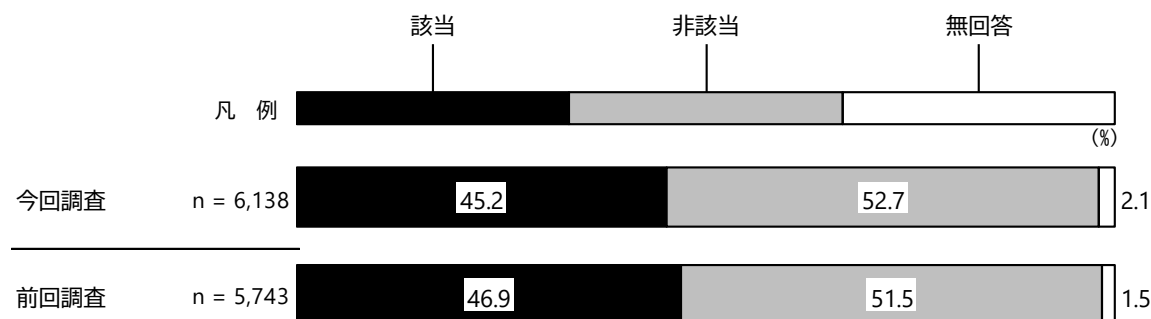
13-5 認知機能の低下

- ▶ 問4（1）は認知機能の低下を問う設問です。国の手引きをもとに、該当する選択肢を回答した人を認知機能低下リスク該当者と判定しました。
- ▶ 国の手引きに基づく認知機能の評価結果をみると、全体では45.2%が認知機能低下リスク該当者となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、該当者の割合は1.7ポイント低下しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（1）	物忘れが多いと感じますか	1. はい

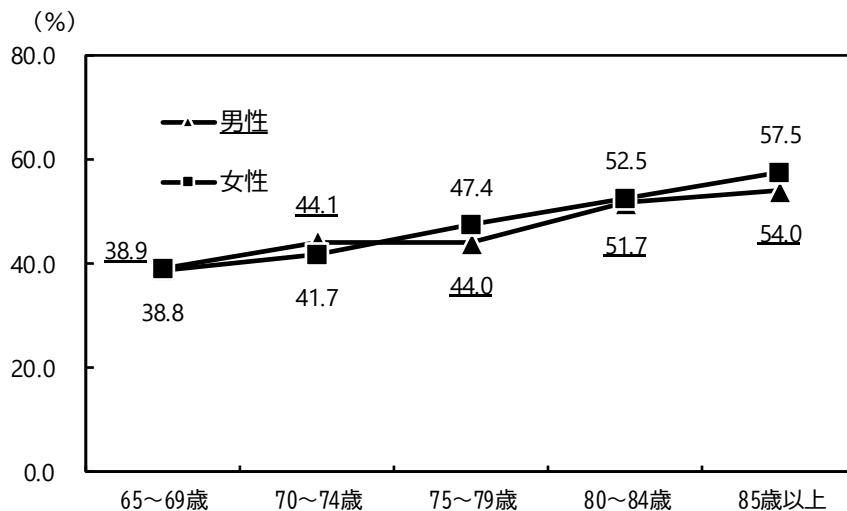
【経年比較／認知機能低下リスク該当状況】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【性別・年齢階級別／認知機能低下リスク該当状況】

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともにおおむね年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなっており、男性では85歳以上で54.0%、女性では85歳以上で57.5%となっています。
- ▶ また、女性では75歳以降、男性では80歳以降で全体平均の45.2%を超え、認知機能におけるリスクが顕在化しています。

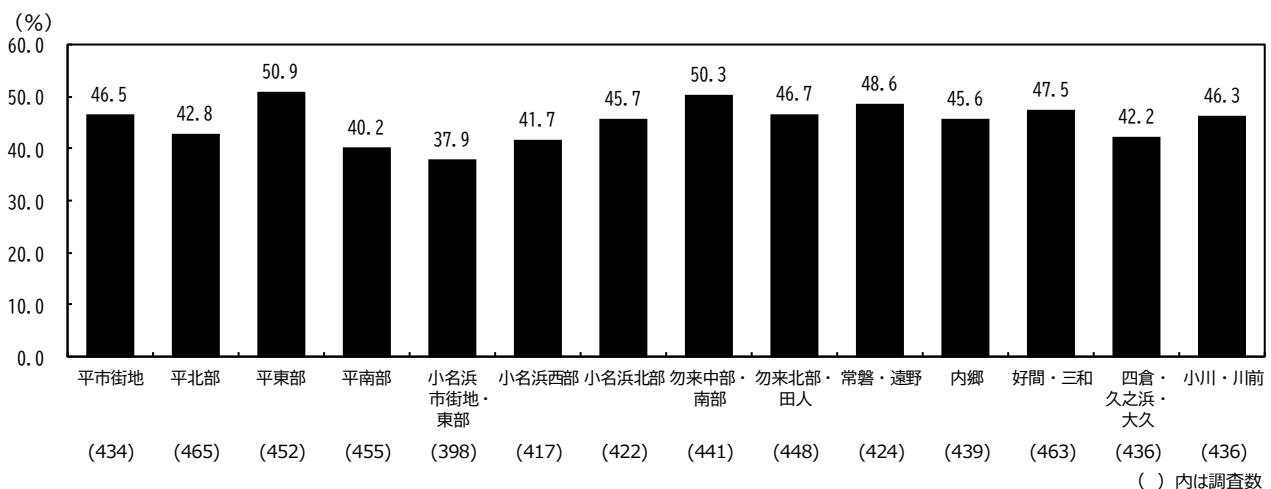


男性	(647)	(719)	(637)	(327)	(235)
女性	(834)	(903)	(891)	(514)	(360)

() 内は調査数

【圏域別／認知機能低下リスク該当状況】

- ▶ 圏域別にみると、平市街地、平東部、小名浜北部、勿来中部・南部、勿来北部・田人、常磐・遠野、内郷、好間・三和、小川・川前が全体平均の45.2%を超えています。
- ▶ また、最も高い圏域は平東部で50.9%、最も低い圏域は小名浜市街地・東部で37.9%となっており、13.0ポイントの差となっています。



() 内は調査数

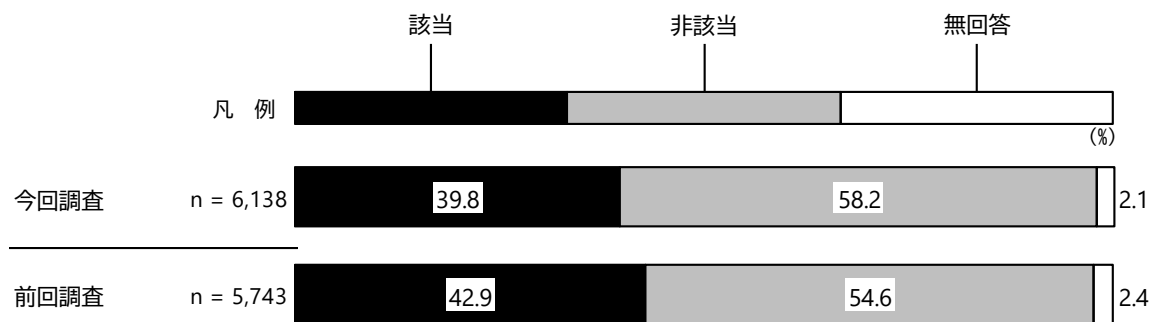
13-6 うつ傾向

- ▶ 問8（3）、（4）はうつ傾向を問う設問です。国の手引きをもとに、以下の2項目のうち2項目ともに該当する人をうつ傾向のリスク該当者と判定しました。
- ▶ 国の手引きに基づくうつ傾向の評価結果をみると、全体では39.8%がうつ傾向のリスク該当者となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、該当者の割合は3.1ポイント低下しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問8（3）	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問8（4）	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

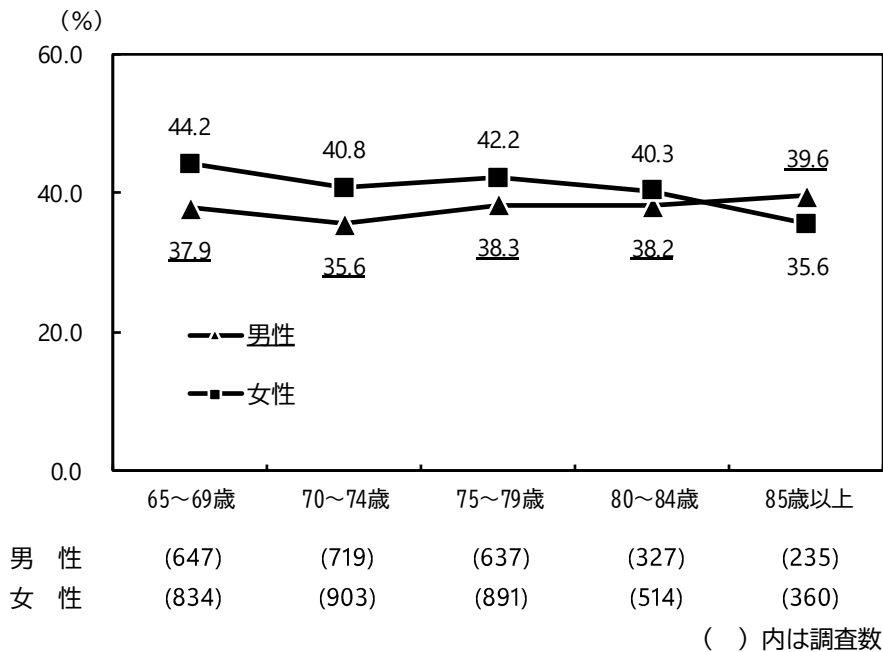
【経年比較／うつ傾向のリスク該当状況】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

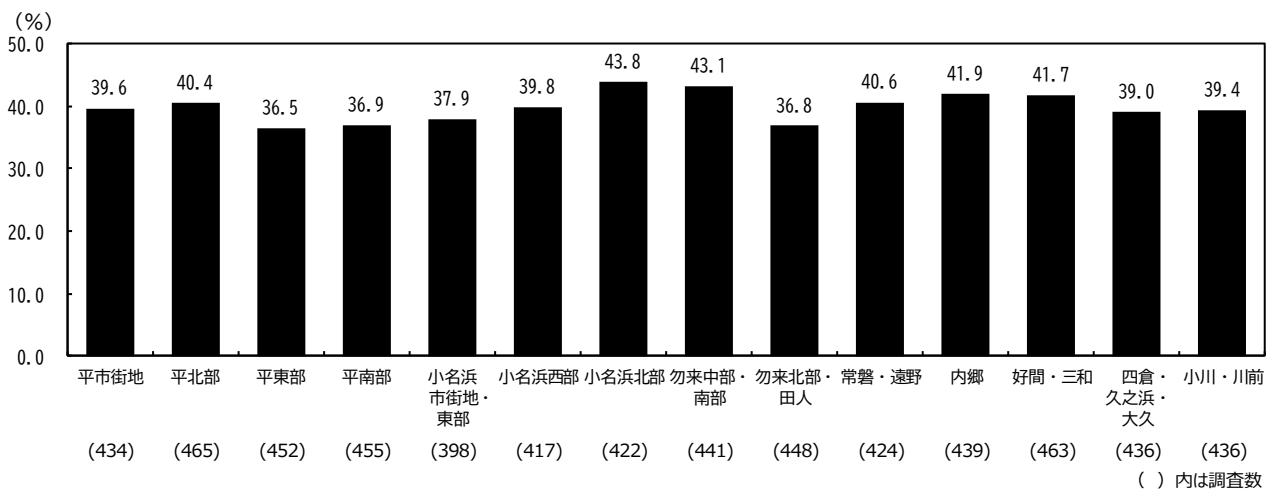
【性別・年齢階級別／うつ傾向のリスク該当状況】

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上を除き男性に比べ該当者割合が高く、最も割合が高い年代は65～69歳で44.2%となっています。一方、男性では、最も割合が高い年代は85歳以上で39.6%となっています。
- ▶ また、女性では85歳以上を除いた年代で全体平均の39.8%を超えています。



【圏域別／うつ傾向のリスク該当状況】

- ▶ 圏域別にみると、平北部、小名浜北部、勿来中部・南部、常磐・遠野、内郷、好間・三和で該当者割合が全体平均の39.8%を超えています。
- ▶ また、最も高い圏域は小名浜北部で43.8%、最も低い圏域は平東部で36.5%となっており、7.3ポイントの差となっています。



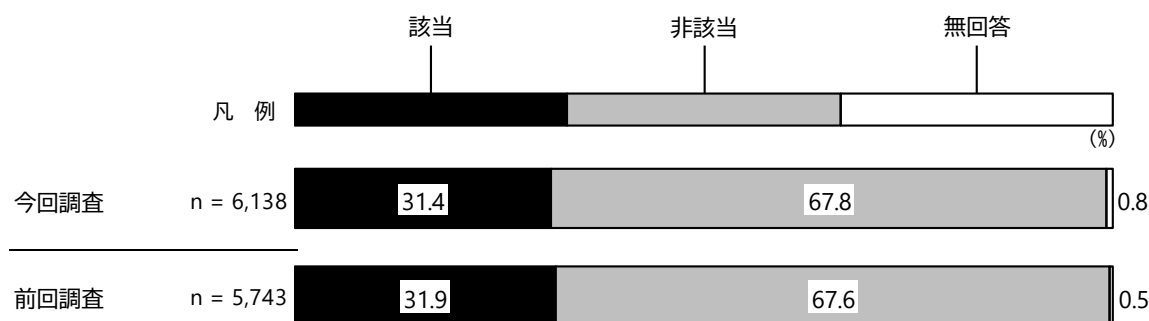
13-7 転倒リスク

- ▶ 問2（4）は転倒リスクを問う設問です。国の手引きをもとに、該当する選択肢を回答した人を転倒リスク該当者と判定しました。
- ▶ 国の手引きに基づく転倒リスクの評価結果をみると、全体では 31.4%が転倒リスク該当者となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、該当者の割合が 0.5 ポイント低下しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2（4）	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

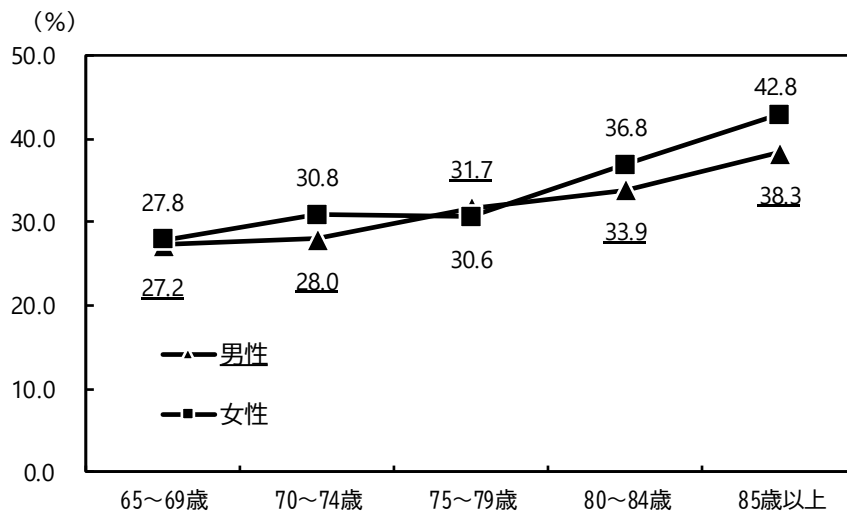
【経年比較／転倒リスク該当状況】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【性別・年齢階級別／転倒リスク該当状況】

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに年齢が上がるにつれおおむね該当者割合が高くなっており、女性では、85歳以上で42.8%と最も高くなっています。一方、男性では、85歳以上で38.3%と最も高くなっています。
- ▶ また、女性では75歳以降、男性では80歳以降で全体平均の31.4%を超え、転倒リスクが顕在化しています。

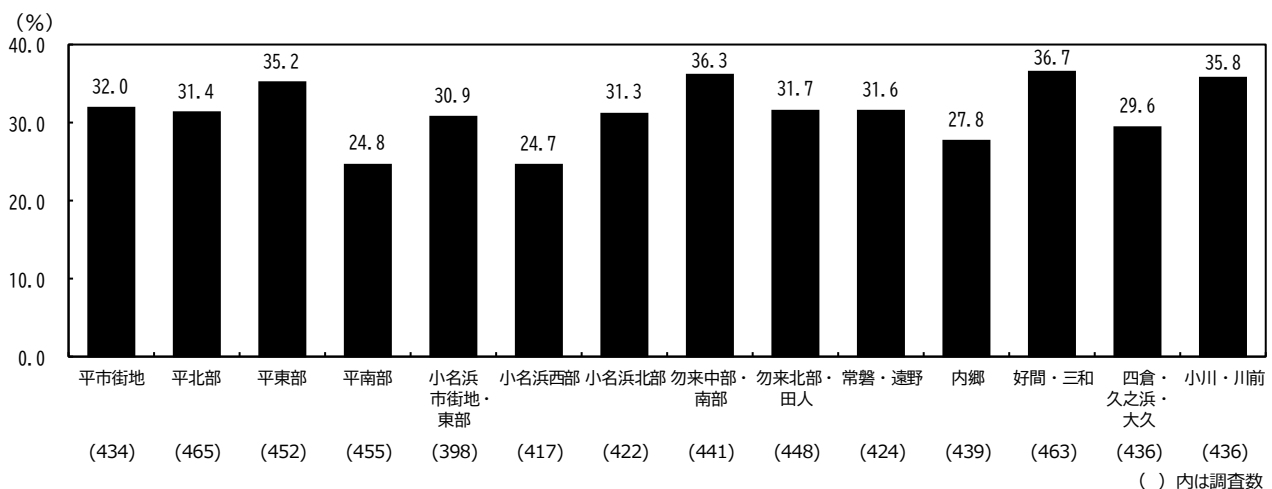


男性	(647)	(719)	(637)	(327)	(235)
女性	(834)	(903)	(891)	(514)	(360)

() 内は調査数

【圏域別／転倒リスク該当状況】

- ▶ 圏域別にみると、平市街地、平東部、勿来中部・南部、勿来北部・田人、常磐・遠野、好間・三和、小川・川前で該当者割合が全体平均の31.4%を超えています。
- ▶ また、最も高い圏域は好間・三和で36.7%、最も低い圏域は小名浜西部で24.7%となっており、12.0ポイントの差となっています。



() 内は調査数

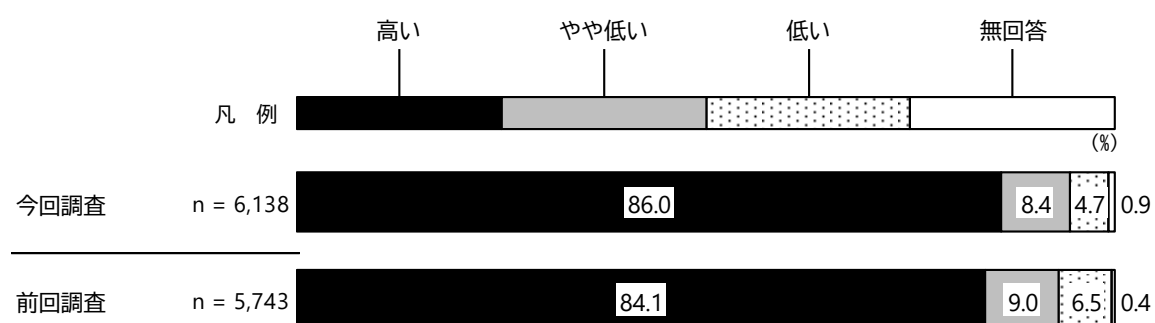
13-8 IADL（手段的自立度）

- ▶ 高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。
- ▶ 評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。
- ▶ 全体平均では手段的自立度が低い割合は4.7%となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、手段的自立度が低い割合は1.8ポイント低下しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（2）	バスや電車を使って1人で外出していますか （自家用車でも可）	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4（3）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4（4）	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4（5）	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4（6）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

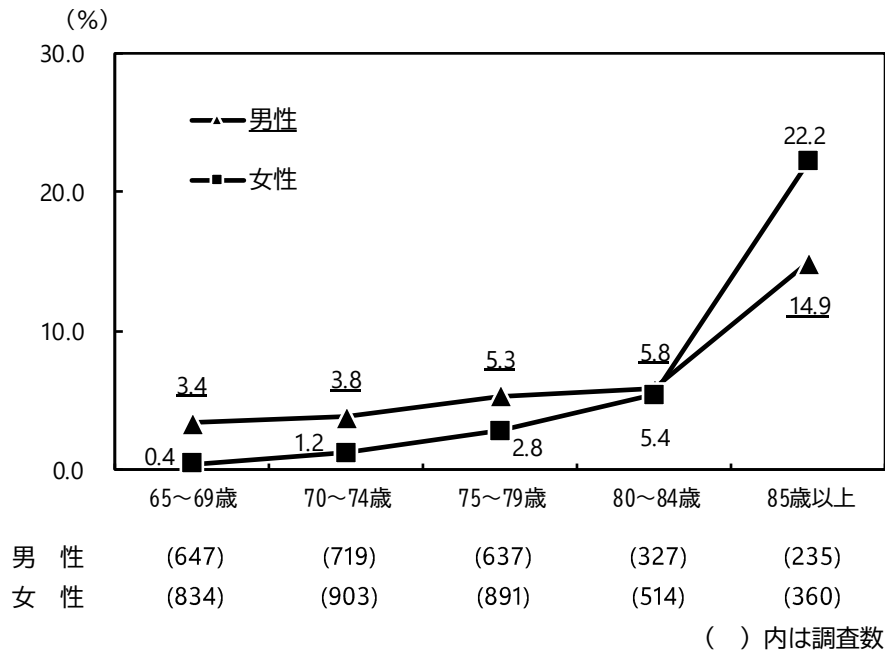
【経年比較／手段的自立度（IADL）】



II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

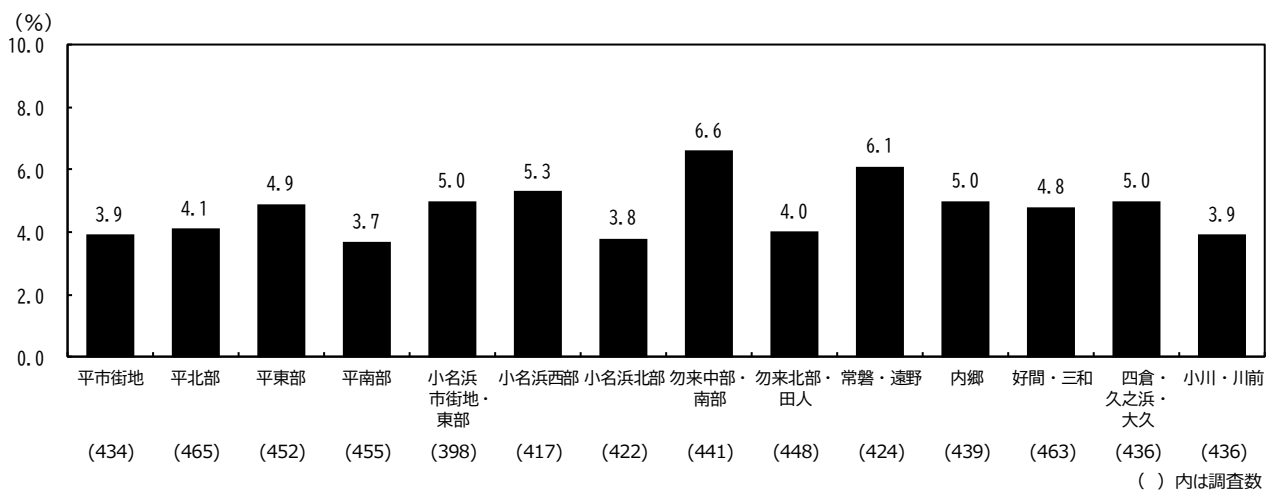
【性別・年齢階級別／手段的自立度（IADL）が低い方の該当状況】

- ▶ 性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに、85歳以上になると手段的自立度（IADL）が低い方の割合が大幅に高くなっています。
- ▶ また、男性では75歳以降、女性では80歳以降で全体平均の4.7%を超えています。



【圏域別／手段的自立度（IADL）が低い方の該当状況】

- ▶ 圏域別にみると、平東部、小名浜市街地・東部、小名浜西部、勿来中部・南部、常磐・遠野、内郷、好間・三和、四倉・久之浜・大久で該当者割合が全体平均の4.7%を超えています。
- ▶ また、最も高い圏域は勿来中部・南部で6.6%、最も低い圏域は平南部で3.7%となっており、2.9ポイントの差となっています。

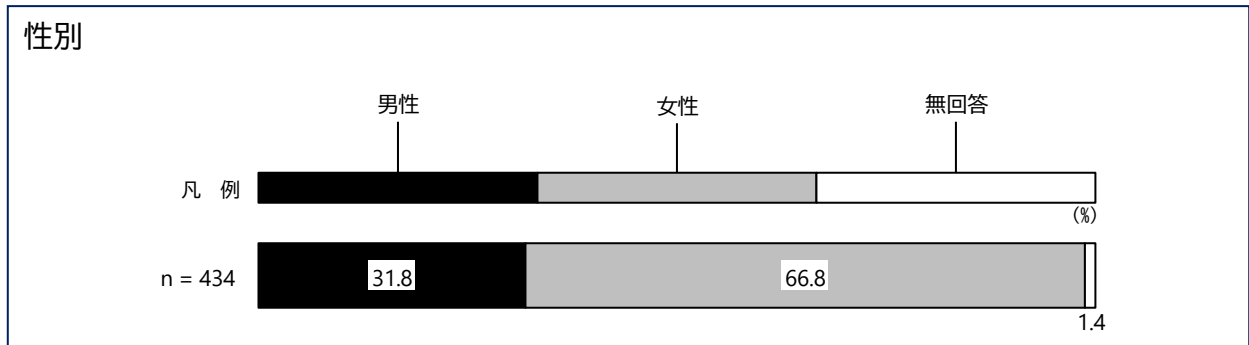


Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

1 対象者の属性

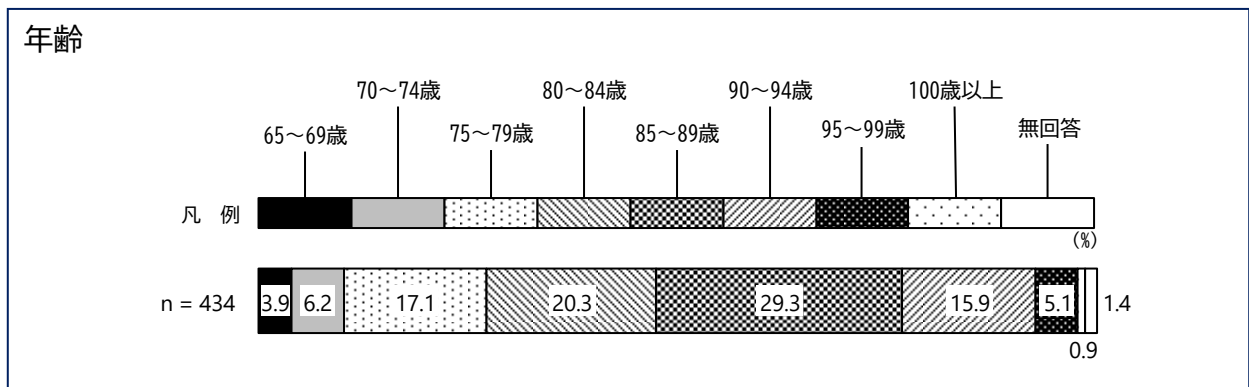
1-1 対象者の性別

▶ 対象者の性別については、「女性」が66.8%、「男性」が31.8%となっています。



1-2 対象者の年齢

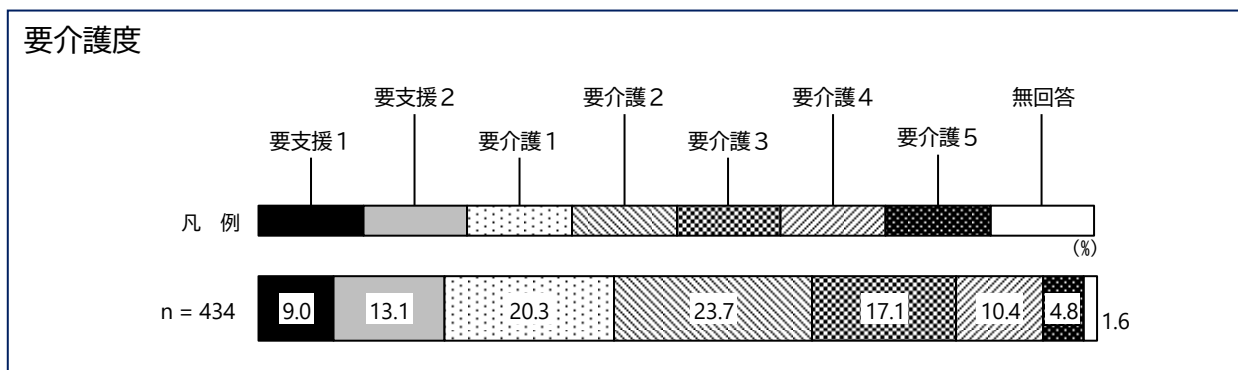
▶ 対象者の年齢については、「85～89歳」が29.3%と最も高く、次いで「80～84歳」(20.3%)、「75～79歳」(17.1%)となっています。



Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

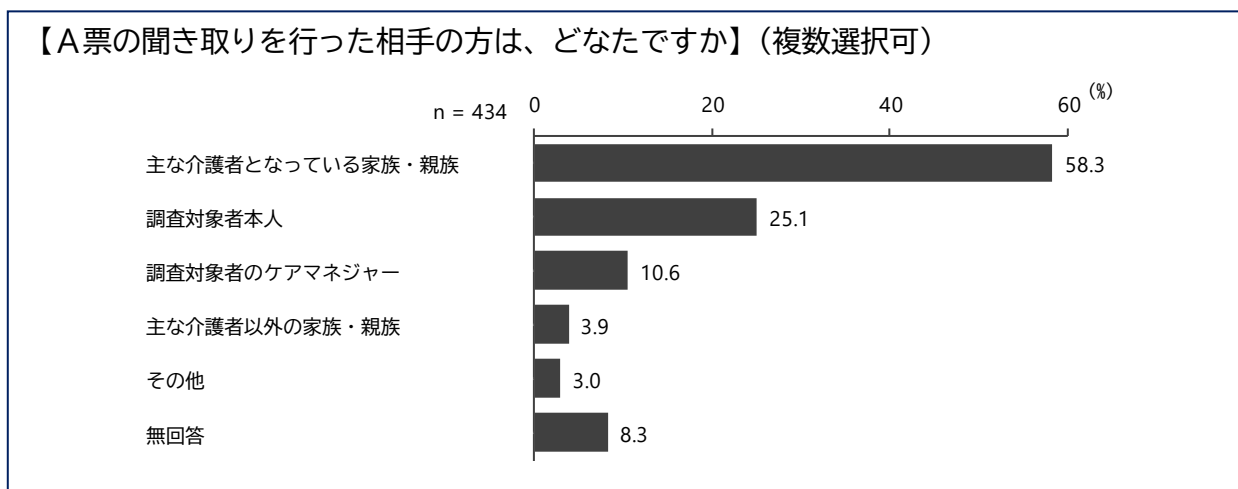
1-3 要介護度

- ▶ 対象者の要介護度については、「要介護2」が23.7%と最も高く、次いで「要介護1」（20.3%）、「要介護3」（17.1%）となっています。



1-4 調査票の回答者

- ▶ 調査票の回答者については、「主な介護者となっている家族・親族」が58.3%と最も高く、次いで「調査対象者本人」（25.1%）、「調査対象者のケアマネジャー」（10.6%）となっています。

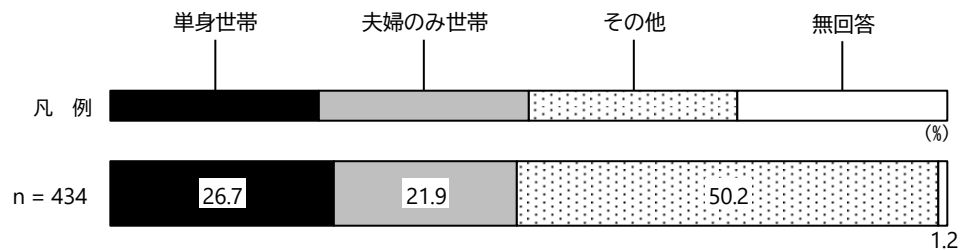


2 基本調査項目（A票）

2-1 世帯類型

- ▶ 世帯類型については、「単身世帯」が26.7%、「夫婦のみ世帯」が21.9%となっています。

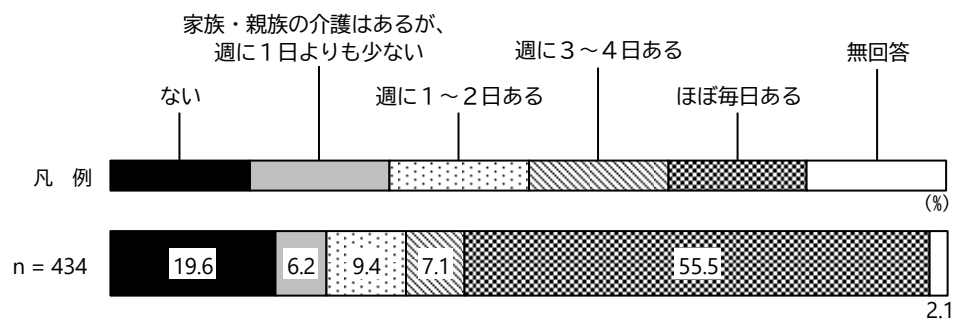
問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



2-2 家族等による介護の頻度

- ▶ 家族等による介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が55.5%と最も高く、次いで「週に1～2日ある」(9.4%)、「週に3～4日ある」(7.1%)となっています。一方、「ない」は19.6%となっています。

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

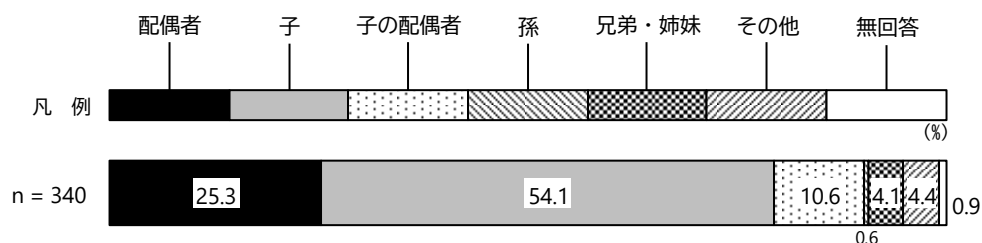


Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

2-3 主な介護者の本人との関係

- ▶ 主な介護者の本人との関係については、「子」が54.1%と最も高く、次いで「配偶者」（25.3%）、「子の配偶者」（10.6%）となっています。

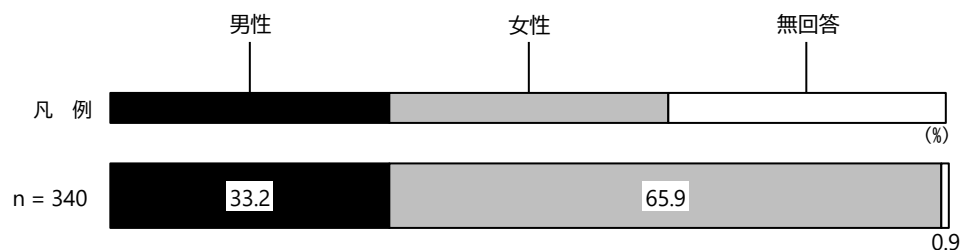
問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）



2-4 主な介護者の性別

- ▶ 主な介護者の性別については、「女性」が65.9%、「男性」が33.2%となっています。

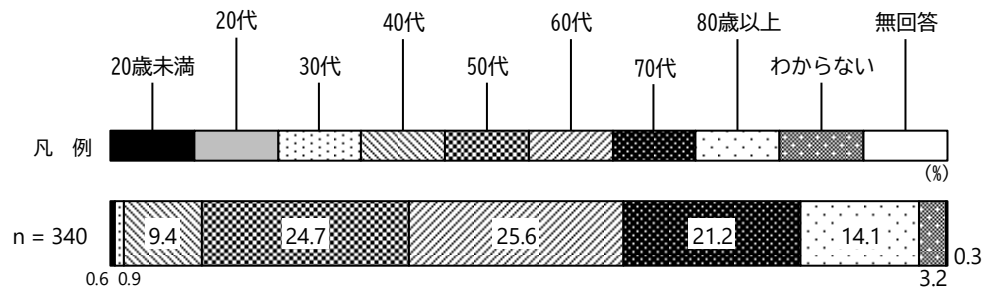
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）



2-5 主な介護者の年齢

- ▶ 主な介護者の年齢については、「60代」が25.6%と最も高く、次いで「50代」（24.7%）、「70代」（21.2%）となっています。

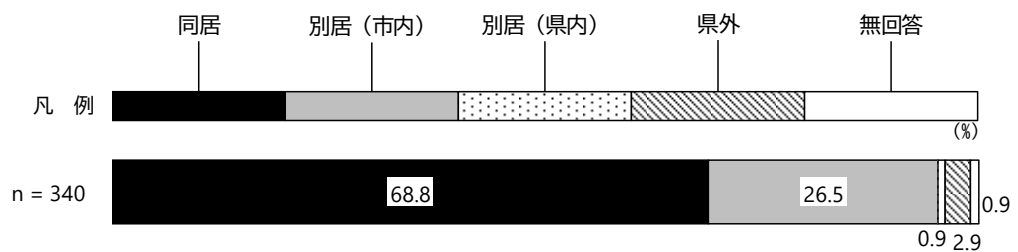
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



2-6 主な介護者の同居、別居

- ▶ 主な介護者の同居、別居については、「同居」が68.8%と最も高く、次いで「別居（市内）」（26.5%）、「県外」（2.9%）となっています。

問6 主な介護者の方の同居・別居について、ご回答ください（1つを選択）

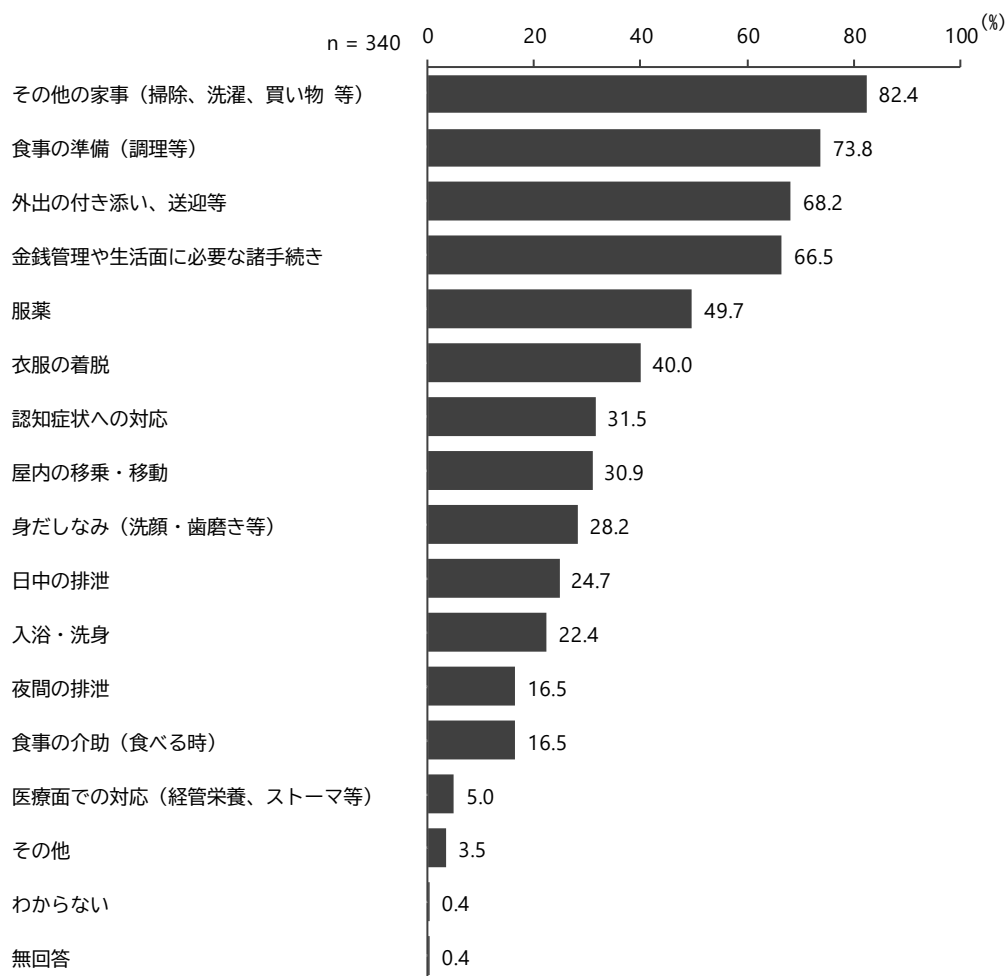


Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

2-7 主な介護者が行っている介護

- ▶ 主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.4%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」（73.8%）、「外出の付き添い、送迎等」（68.2%）となっています。

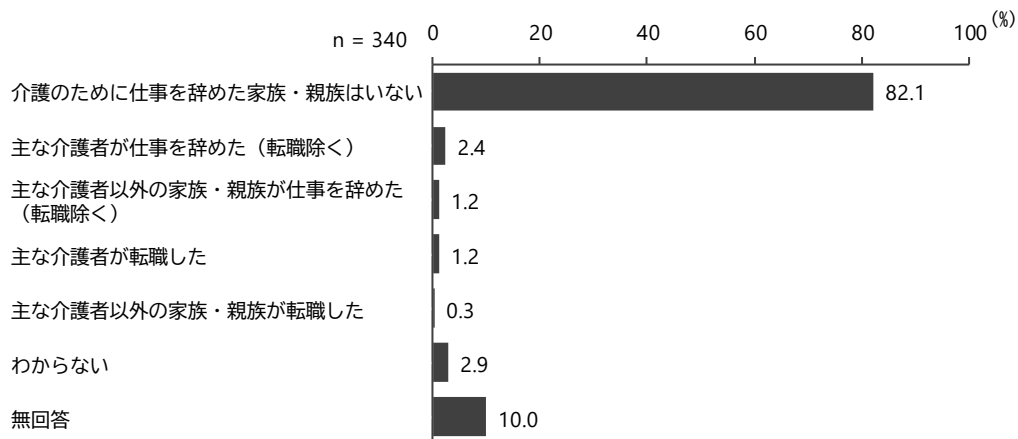
問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）



2-8 介護のための離職の有無

- ▶ 介護のための離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が82.1%と最も高くなっています。「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（2.4%）と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職を除く）」（1.2%）を合わせた《離職した方がいる》は3.6%となっています。

問8 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

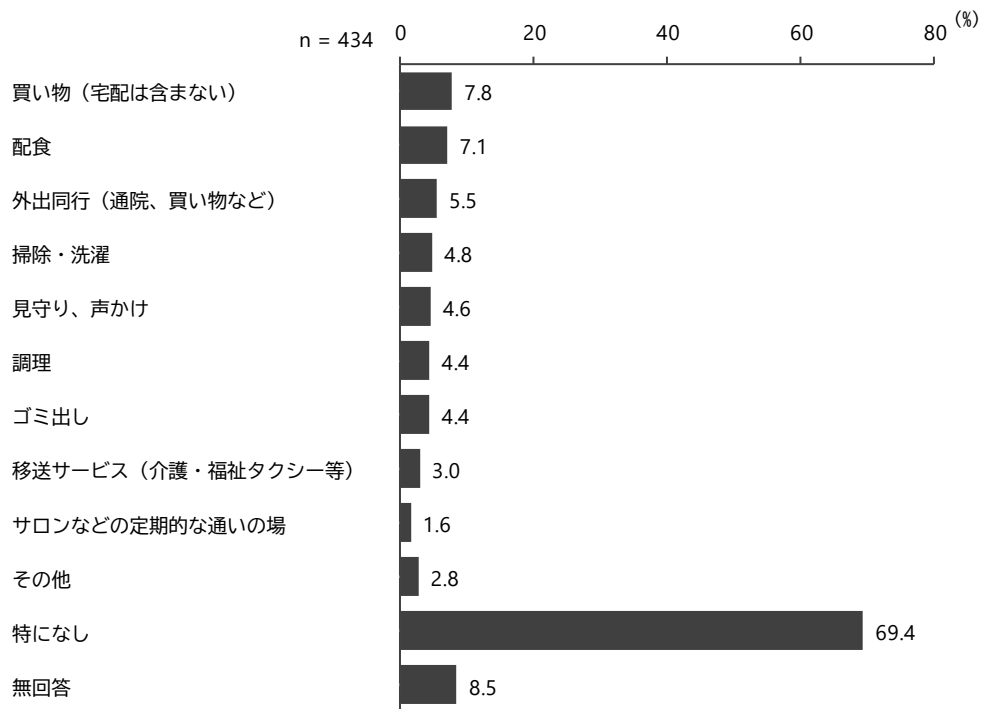


Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

2-9 保険外の支援・サービスの利用状況

- ▶ 保険外の支援・サービスの利用状況については、「買い物（宅配は含まない）」が7.8%と最も高く、次いで「配食」（7.1%）、「外出同行（通院、買い物など）」（5.5%）となっています。一方、「特になし」は69.4%となっています。

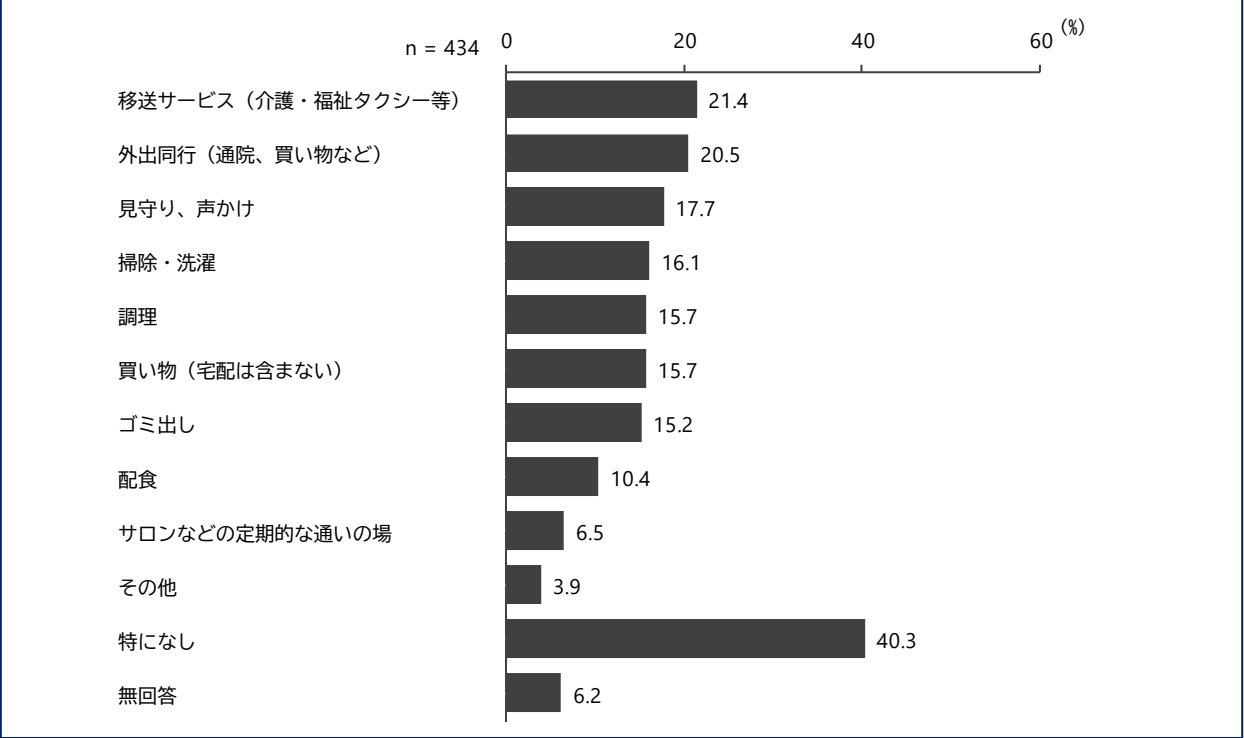
問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）



2-10 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

- ▶ 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.4%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（20.5%）、「見守り、声かけ」（17.7%）となっています。一方、「特になし」は40.3%となっています。
- ▶ 要介護度別でみると、「見守り、声かけ」の割合は要介護度が上がるにつれ高くなる傾向があります。
- ▶ 世帯類型別でみると、単身世帯では「掃除・洗濯」が33.6%と、他の世帯類型と比べ20ポイント以上高くなっています。

問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください
（複数選択可）



【要介護度別・世帯類型別／在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス】

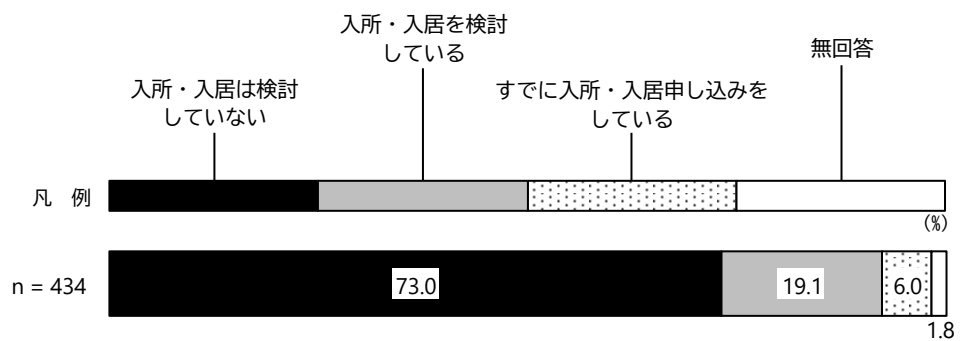
		n	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	外出同行（通院、買い物など）	見守り、声かけ	掃除・洗濯	調理	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	配食	定期的な通いの場の場定	その他	特になし	無回答
全体		434	21.4	20.5	17.7	16.1	15.7	15.7	15.2	10.4	6.5	3.9	40.3	6.2
要介護度別	要支援1・2	96	14.6	13.5	10.4	14.6	10.4	13.5	13.5	6.3	6.3	5.2	49.0	3.1
	要介護1・2	191	23.0	25.7	18.8	18.3	19.4	19.4	17.8	14.1	7.9	3.1	34.6	5.8
	要介護3以上	140	21.4	18.6	21.4	13.6	14.3	12.1	12.1	7.9	4.3	4.3	43.6	8.6
世帯類型別	単身世帯	116	29.3	25.9	21.6	33.6	26.7	25.9	32.8	11.2	5.2	1.7	31.0	9.5
	夫婦のみ世帯	95	24.2	18.9	17.9	9.5	15.8	17.9	17.9	9.5	8.4	7.4	36.8	4.2
	その他	218	15.6	17.9	15.1	10.1	9.2	9.2	4.6	10.1	6.4	3.7	47.7	5.0

Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

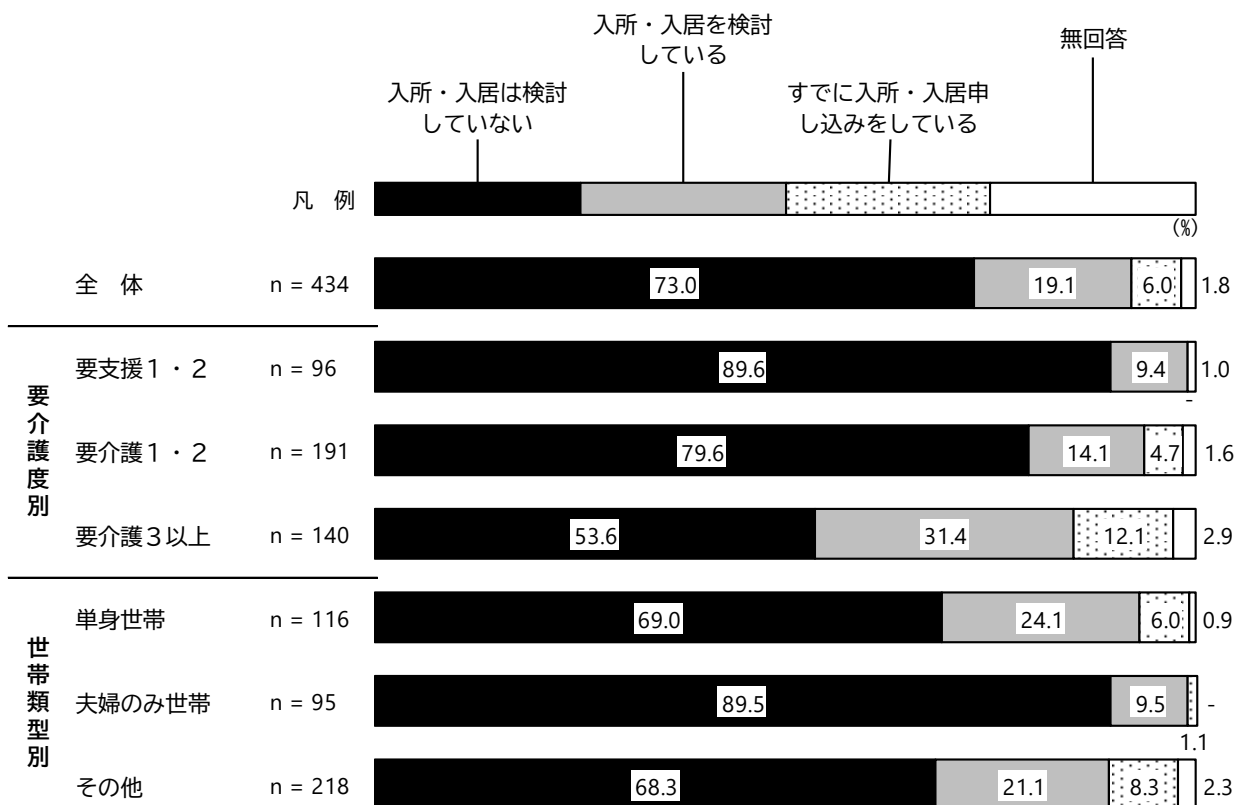
2-11 施設等検討の状況

- ▶ 施設等検討の状況については、「入所・入居は検討していない」が73.0%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(19.1%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(6.0%)となっています。
- ▶ 要介護度別にみると、「入所・入居を検討している」、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は要介護度が上がるにつれ高くなる傾向があります。
- ▶ 世帯類型別でみると、夫婦のみ世帯では「入所・入居は検討していない」が89.5%と、他の世帯類型と比べ20ポイント以上高くなっています。

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

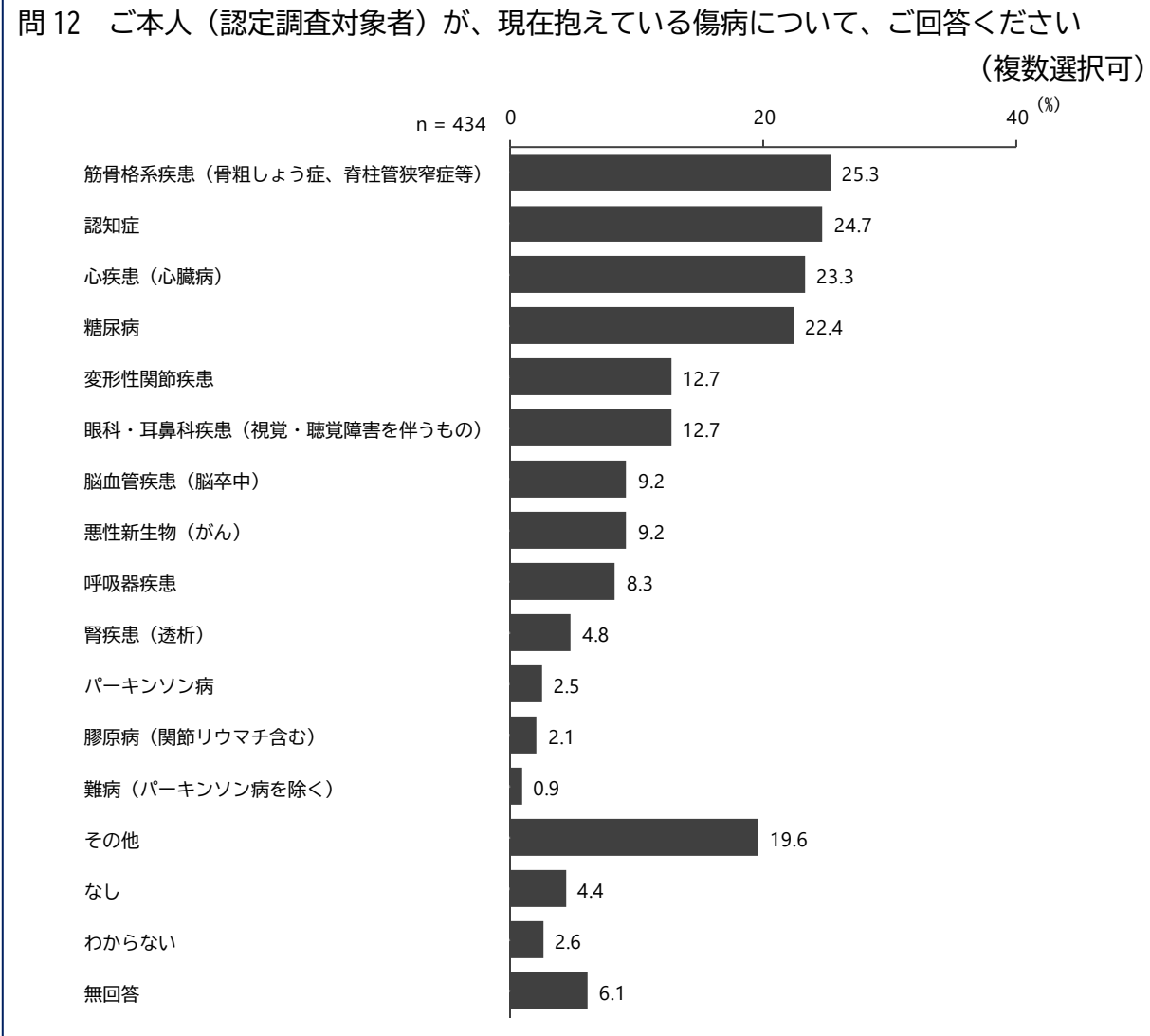


【要介護度別・世帯類型別／施設等検討の状況】



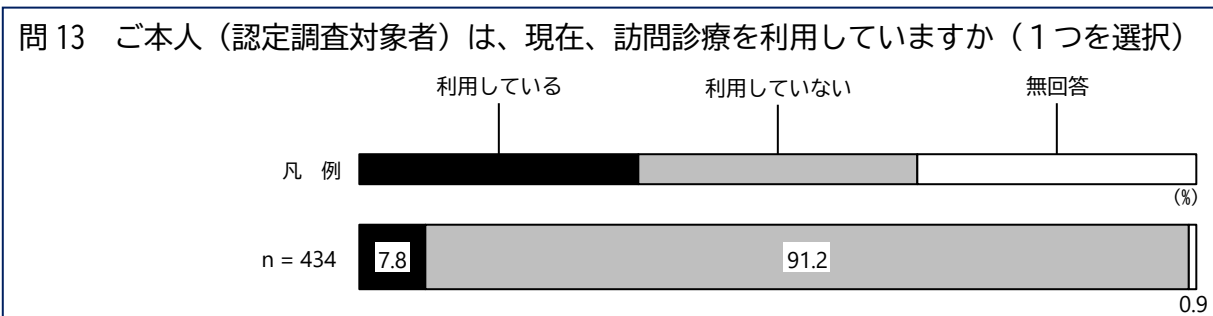
2-12 本人が抱えている傷病

- ▶ 本人が抱えている傷病については、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が25.3%と最も高く、次いで「認知症」（24.7%）、「心疾患（心臓病）」（23.3%）となっています。



2-13 訪問診療の利用の有無

- ▶ 訪問診療の利用の有無については、「利用していない」が91.2%、「利用している」が7.8%となっています。

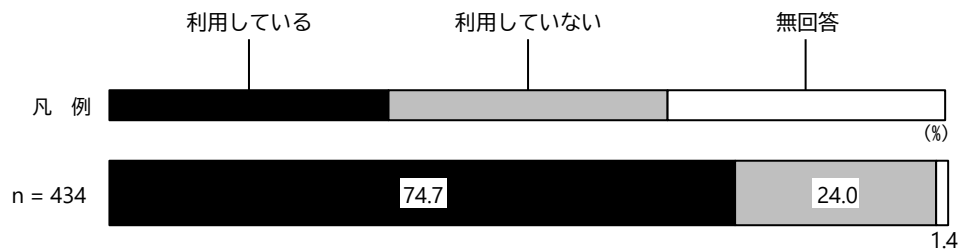


Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

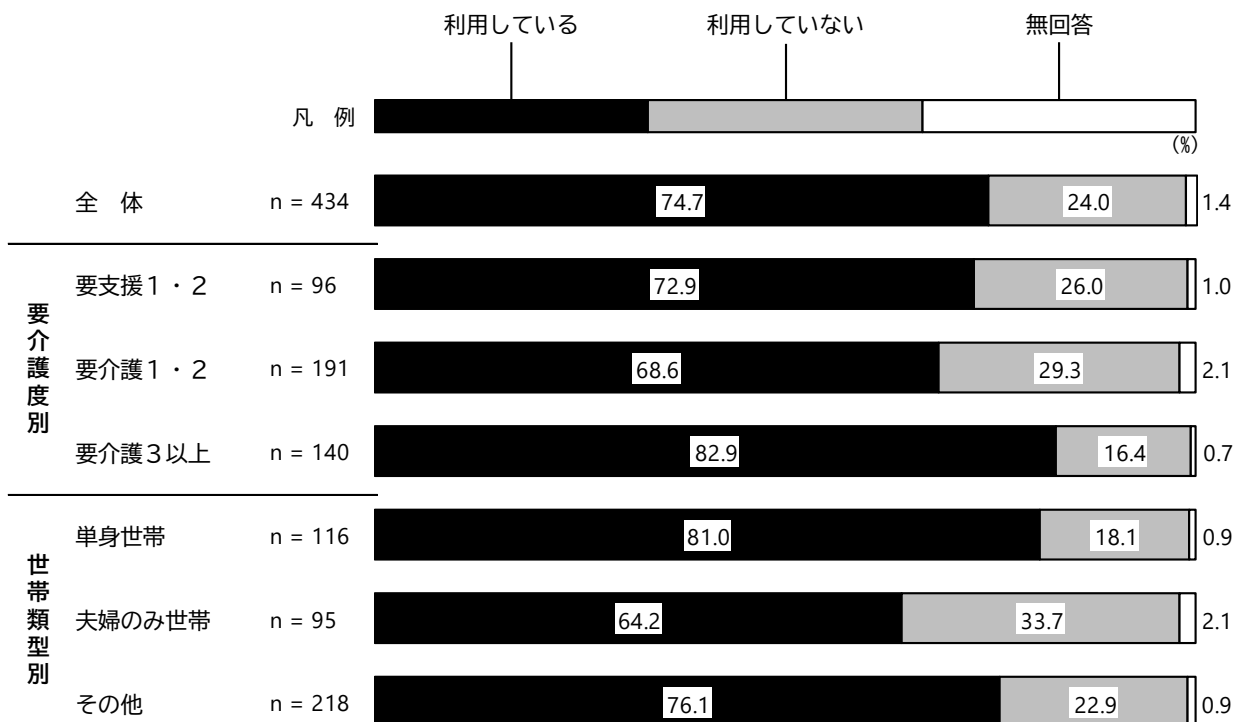
2-14 介護保険サービスの利用の有無

- ▶ 介護保険サービスの利用の有無については、「利用している」が74.7%、「利用していない」が24.0%となっています。
- ▶ 要介護度別にみると、要介護3以上では「利用している」が82.9%と、他の要介護度と比べ10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 世帯類型別でみると、単身世帯では「利用している」が81.0%と、他の世帯類型と比べ高くなっています。

問14 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）



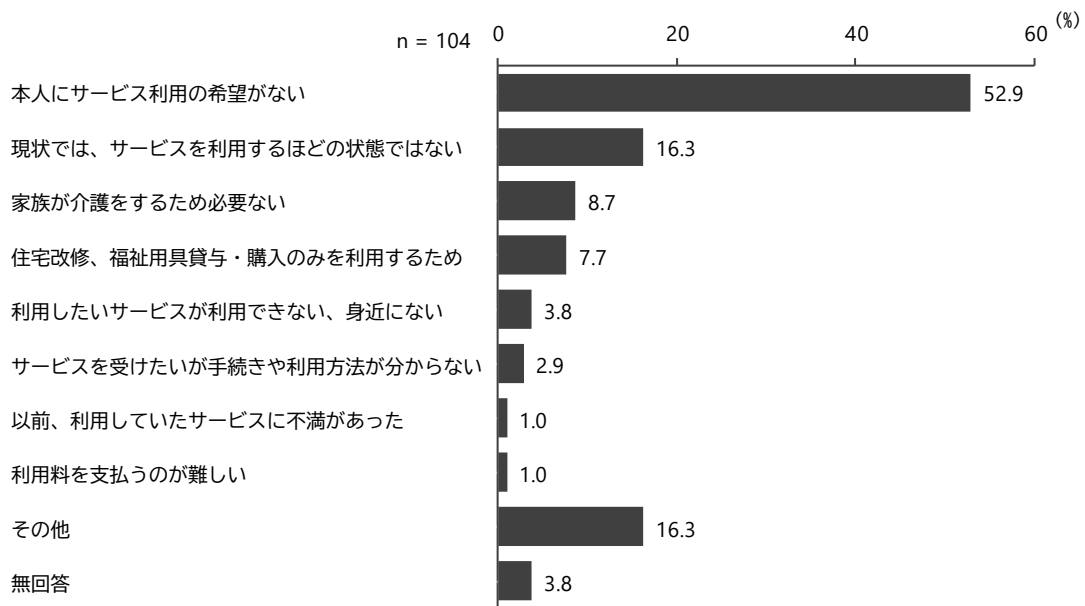
【要介護度別・世帯類型別／介護保険サービスの利用の有無】



2-15 介護保険サービス未利用の理由

- ▶ 介護保険サービス未利用の理由については、「本人にサービス利用の希望がない」が52.9%と最も高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(16.3%)、「家族が介護をするため必要ない」(8.7%)となっています。
- ▶ 要介護度別にみると、「本人にサービス利用の希望がない」の割合は要介護度が上がるにつれ高くなる傾向があります。
- ▶ 対象者年齢別でみると、前期高齢者では、8人中4人が「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(50.0%)となっています。

問 15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）



【要介護度別・対象者年齢別（2区分）／介護保険サービス未利用の理由】

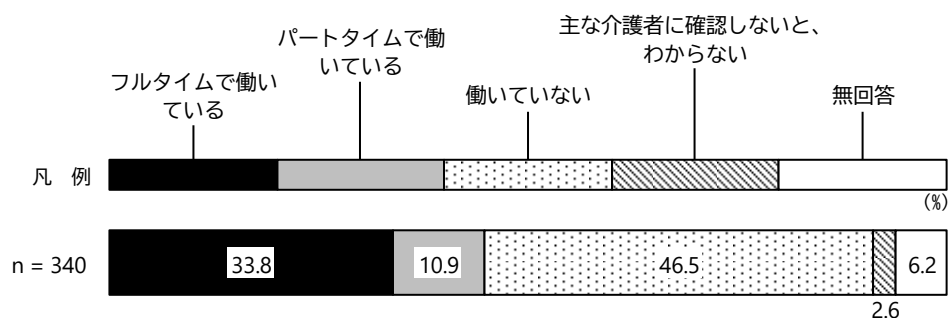
		n	本人にサービス利用の希望がない	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	家族が介護をするため必要ない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	利用したいサービスが利用できない、身近にない	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	その他	無回答
全体		104	52.9	16.3	8.7	7.7	3.8	2.9	1.0	1.0	16.3	3.8
要介護度別	要支援1・2	25	48.0	24.0	-	8.0	12.0	-	4.0	4.0	8.0	4.0
	要介護1・2	56	53.6	14.3	14.3	10.7	1.8	1.8	-	-	16.1	5.4
	要介護3以上	23	56.5	13.0	4.3	-	-	8.7	-	-	26.1	-
対象者年齢別	前期高齢者（65～74歳）	8	37.5	50.0	25.0	12.5	-	-	-	-	25.0	-
	後期高齢者（75歳以上）	96	54.2	13.5	7.3	7.3	4.2	3.1	1.0	1.0	15.6	4.2

3 主な介護者について（B票）

3-1 主な介護者の勤務形態

- ▶ 主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が46.5%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」(33.8%)、「パートタイムで働いている」(10.9%)となっています。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

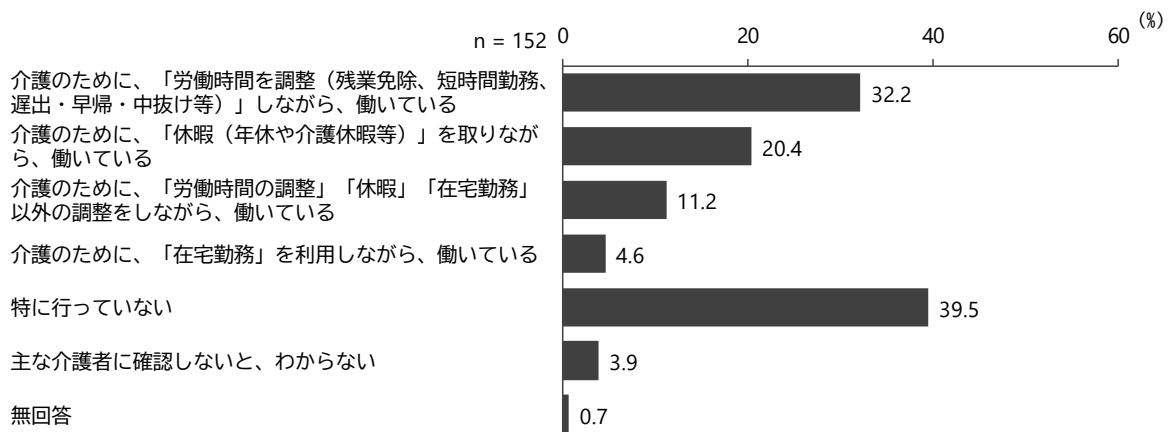


3-2 主な介護者の働き方の調整の状況

- ▶ 主な介護者の働き方の調整の状況については「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が32.2%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（20.4%）、「介護のために、「労働時間の調整」「休暇」「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」（11.2%）となっています。一方、「特に行っていない」は39.5%となっています。
- ▶ 要介護度別でみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合は要介護度が上がるにつれ高くなる傾向があり、要介護3以上では45.5%となっています。

【問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方】

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてい
ますか（複数選択可）



【要介護度別／主な介護者の働き方の調整の状況】

		n	特に行っていない (%)	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている (%)	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている (%)	介護のために、「労働時間の調整」「休暇」「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている (%)	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている (%)	特に行っていない (%)	主な介護者に確認しないと、わからない (%)	無回答 (%)
全 体		152	39.5	32.2	20.4	11.2	4.6	3.9	0.7	
要介護度別	要支援1・2	29	58.6	17.2	17.2	6.9	3.4	3.4	-	
	要介護1・2	77	44.2	28.6	14.3	11.7	2.6	6.5	1.3	
	要介護3以上	44	20.5	45.5	31.8	13.6	9.1	-	-	

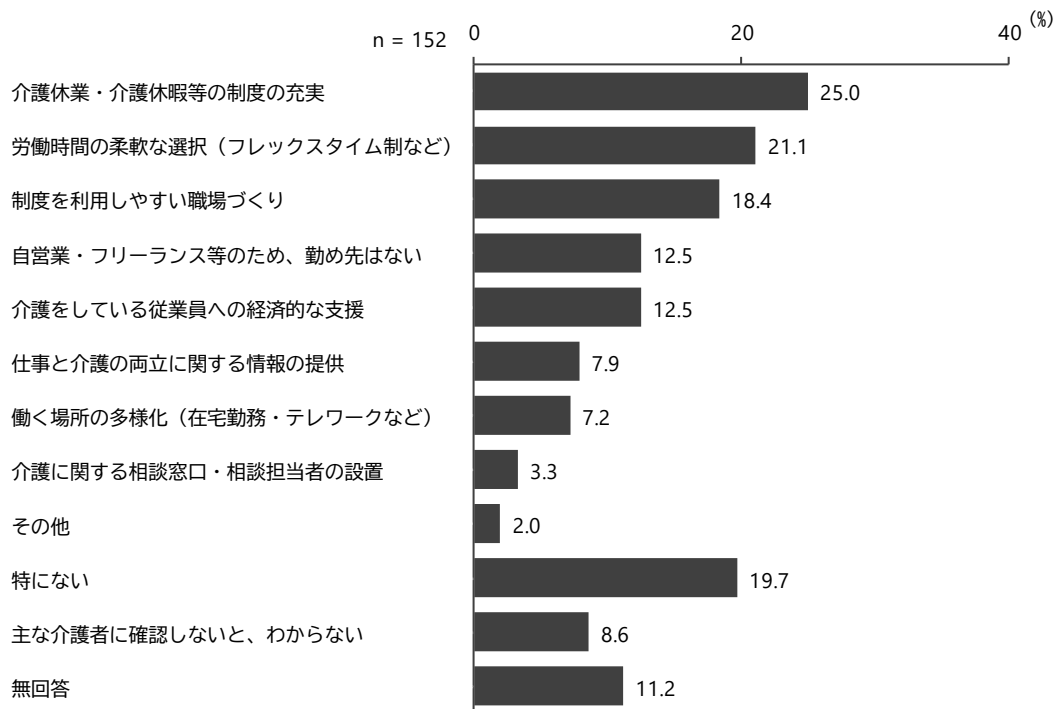
Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

3-3 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

- ▶ 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.0%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（21.1%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（18.4%）となっています。一方、「特にない」は19.7%となっています。
- ▶ 要介護度別でみると、全ての要介護度で「介護休業、休暇制度の充実」の割合は要介護度が上がるにつれ高くなる傾向があります。

【問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方】

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）



【要介護度別／就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援】

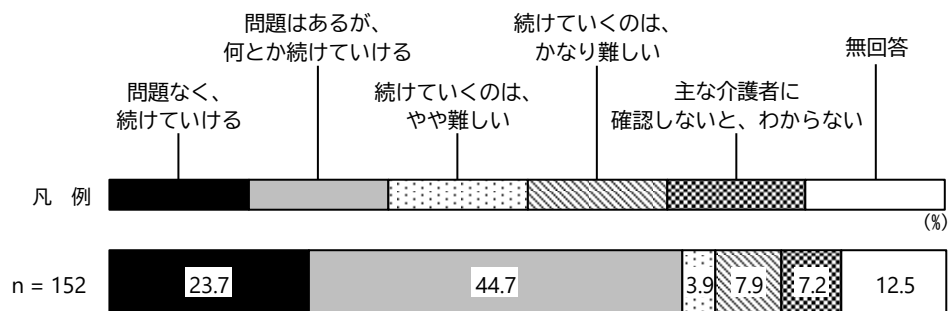
		n	介護休業・介護休暇等の制度の充実	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	制度を利用しやすい職場づくり	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護をしている従業員への経済的な支援	仕事と介護の両立に関する情報の提供	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		152	25.0	21.1	18.4	12.5	12.5	7.9	7.2	3.3	2.0	19.7	8.6	11.2
要介護度別	要支援1・2	29	10.3	10.3	6.9	13.8	6.9	6.9	6.9	3.4	-	27.6	20.7	10.3
	要介護1・2	77	27.3	23.4	19.5	13.0	11.7	6.5	3.9	-	1.3	19.5	9.1	13.0
	要介護3以上	44	31.8	25.0	22.7	9.1	18.2	11.4	11.4	6.8	4.5	15.9	-	9.1

3-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

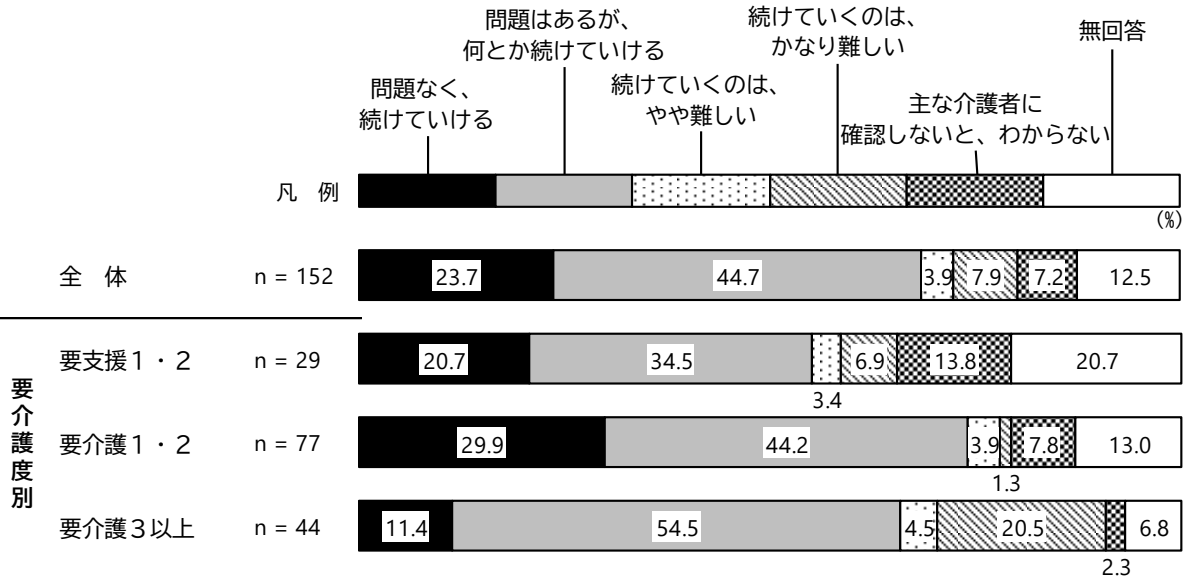
- ▶ 主な介護者の就労継続の可否に係る意識については、「問題はあるが、何とか続けていける」が44.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」(23.7%)、「続けていくのは、かなり難しい」(7.9%)となっています。
- ▶ 要介護度別でみると、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合は要介護度が上がるにつれ高くなっています。また、要介護3以上では「かなり難しい」が20.5%と他の要介護度と比べ10ポイント以上高くなっています。

【問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方】

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



【要介護度別／主な介護者の就労継続の可否に係る意識】

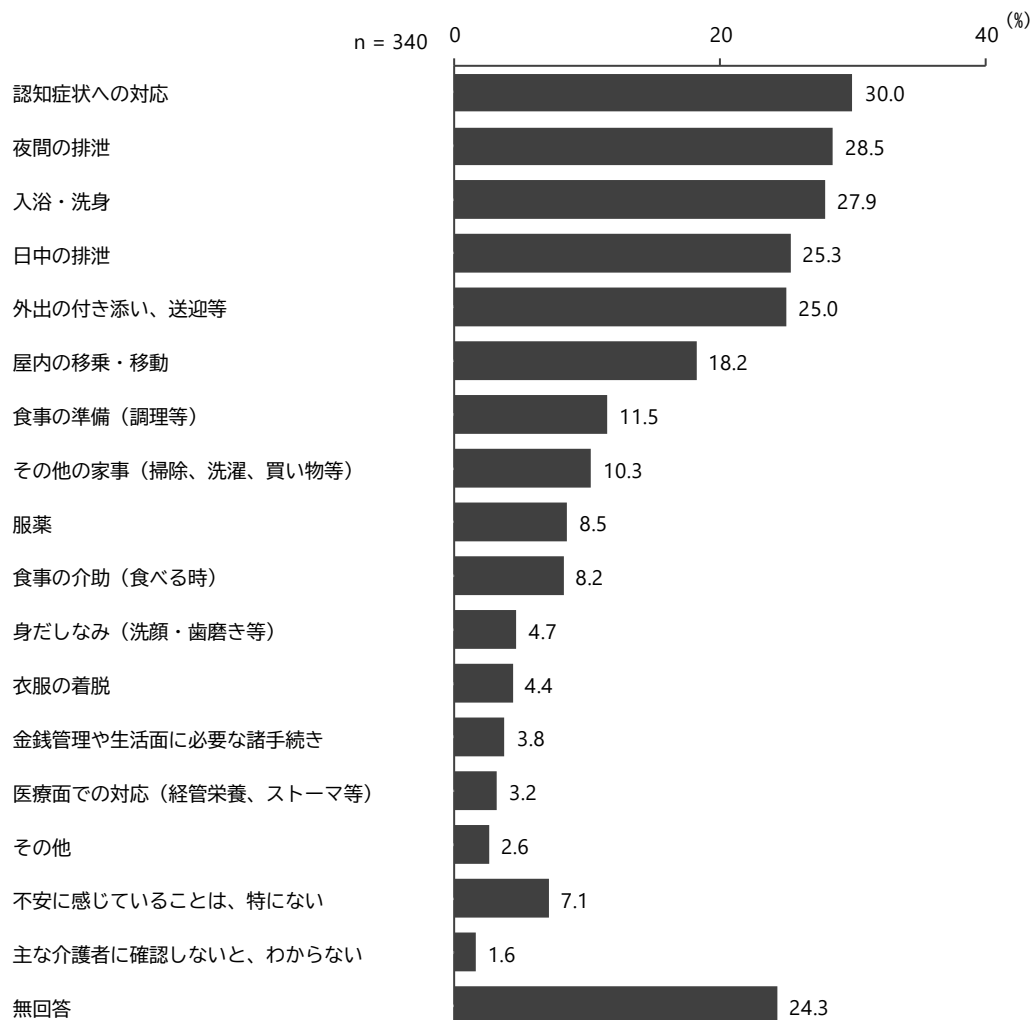


Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

3-5 主な介護者が不安に感じる介護

- ▶ 主な介護者が不安に感じる介護については、「認知症状への対応」が30.0%と最も高く、次いで「夜間の排泄」(28.5%)、「入浴・洗身」(27.9%)となっています。

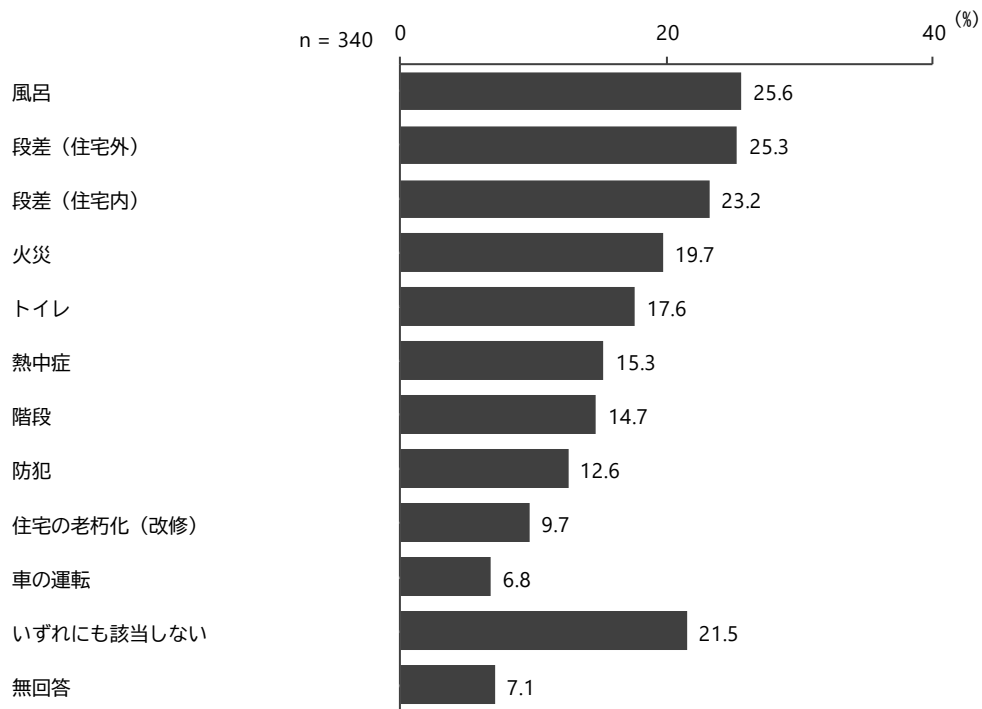
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



3-6 住環境面で不安なこと

▶ 住環境面で不安なことについては、「風呂」が25.6%と最も高く、次いで「段差（住宅外）」（25.3%）、「段差（住宅内）」（23.2%）となっています。一方、「いずれにも該当しない」は21.5%となっています。

問6 本人が現在の生活を継続していくにあたって、住環境面で不安なことはありますか
（複数回答可）

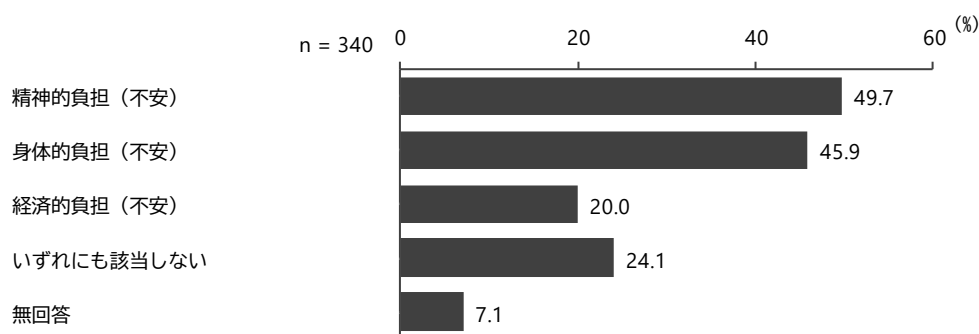


Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

3-7 介護の負担や悩み

- ▶ 介護の負担や悩みについては、「精神的負担（不安）」が49.7%と最も高く、次いで「身体的負担（不安）」（45.9%）、「経済的負担（不安）」（20.0%）となっています。一方、「いずれにも該当しない」は24.1%となっています。
- ▶ 要介護度別でみると、要介護3以上では「身体的負担（不安）」が62.5%と、他の要介護度と比べ20ポイント以上高くなっています。

問7 介護に係る負担や悩みはありますか（複数回答可）



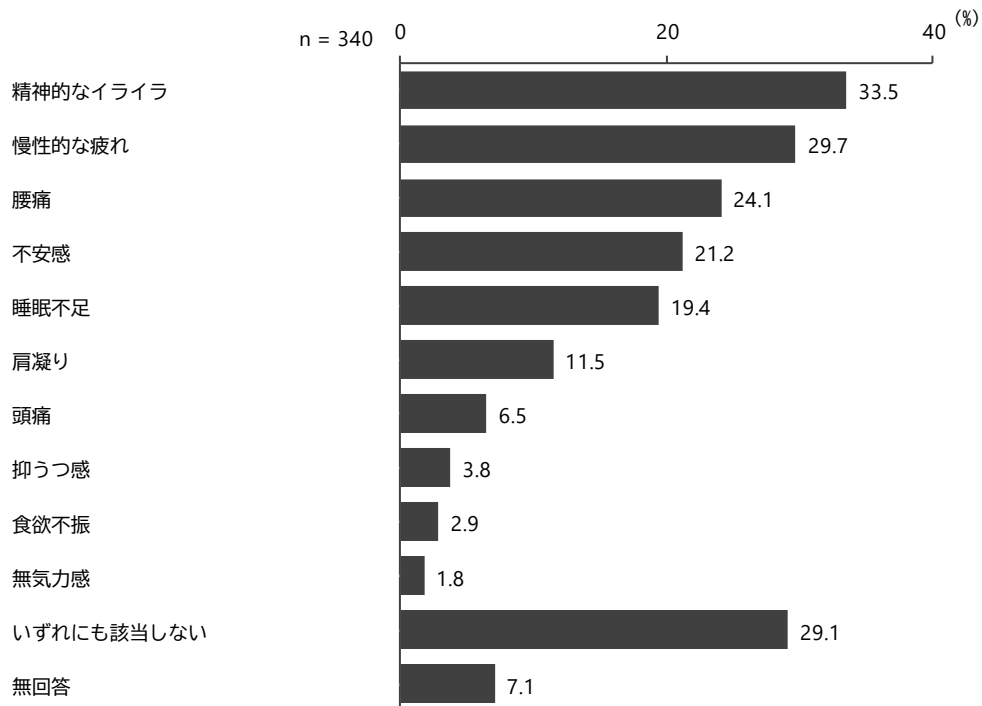
【要介護度別／介護の負担や悩み】

		n	精神的負担（不安）	身体的負担（不安）	経済的負担（不安）	いずれにも該当しない	無回答
全体		340	49.7	45.9	20.0	24.1	7.1
要介護度別	要支援1・2	60	30.0	30.0	13.3	46.7	5.0
	要介護1・2	155	47.1	38.7	19.4	25.2	8.4
	要介護3以上	120	63.3	62.5	24.2	10.8	6.7

3-8 介護による自身への影響

- ▶ 介護による自身への影響については、「精神的なイライラ」が33.5%と最も高く、次いで「慢性的な疲れ」(29.7%)、「腰痛」(24.1%)となっています。一方、「いずれにも該当しない」は29.1%となっています。

問8 介護による自身への影響はありますか（複数回答可）

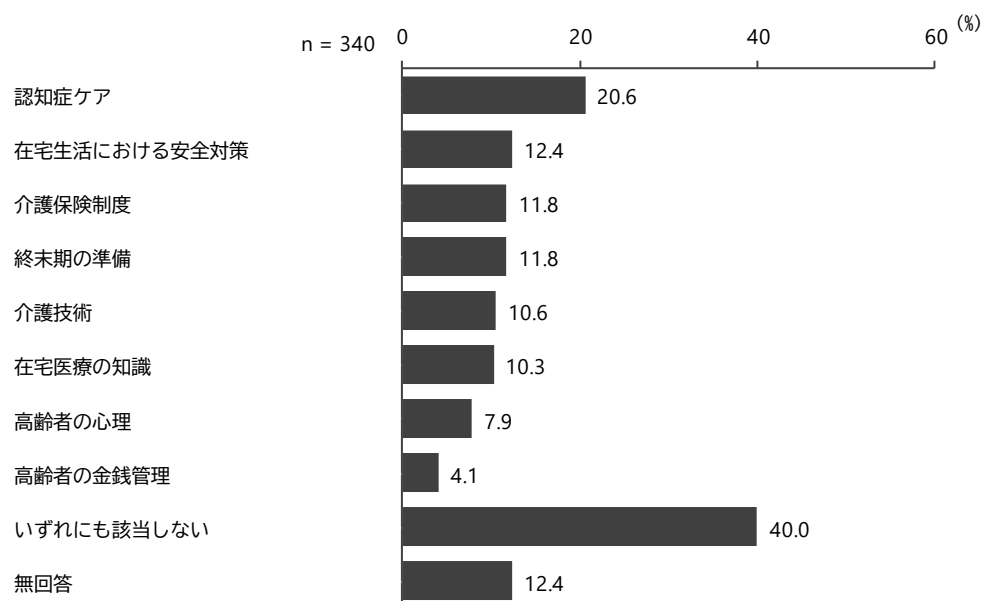


Ⅲ 調査結果（在宅介護実態調査）

3-9 介護に関して学びたいこと

- ▶ 介護に関して学びたいことについては、「認知症ケア」が20.6%と最も高く、次いで「在宅生活における安全対策」(12.4%)、「介護保険制度」「終末期の準備」(ともに11.8%)となっています。一方、「いずれにも該当しない」は40.0%となっています。
- ▶ 要介護度別でみると、要支援1・2では「在宅生活における安全対策」「介護保険制度」の割合が最も高く、要介護度1以上では「認知症ケア」の割合が最も高くなっています。

問9 介護に関して学びたいことはありますか（複数回答可）



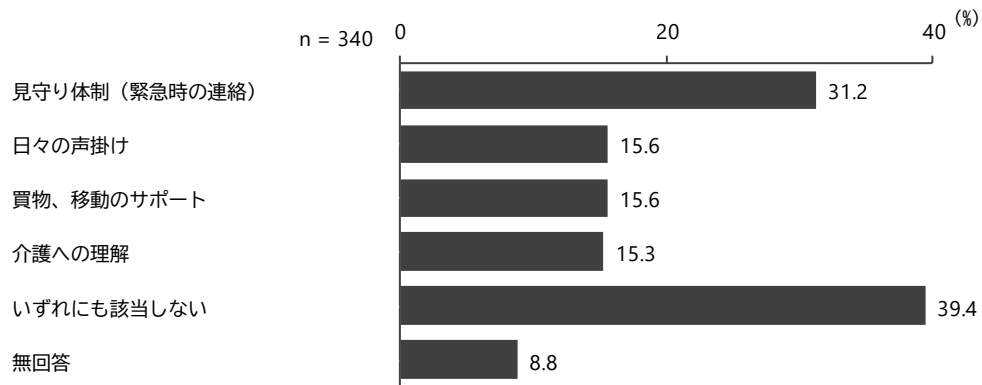
【要介護度別／介護に関して学びたいこと】

		n	認知症ケア	在宅生活における安全対策	介護保険制度	終末期の準備	介護技術	在宅医療の知識	高齢者の心理	高齢者の金銭管理	いずれにも該当しない	無回答
全体		340	20.6	12.4	11.8	11.8	10.6	10.3	7.9	4.1	40.0	12.4
要介護度別	要支援1・2	60	8.3	15.0	15.0	8.3	5.0	5.0	3.3	3.3	51.7	6.7
	要介護1・2	155	21.3	11.0	12.9	9.0	9.7	10.3	5.8	6.5	38.1	14.8
	要介護3以上	120	25.0	12.5	8.3	16.7	14.2	11.7	12.5	0.8	36.7	12.5

3-10 周囲や地域に求めること

- ▶ 周囲や地域に求めることについては、「見守り体制（緊急時の連絡）」が31.2%と最も高く、次いで「日々の声掛け」「買物、移動のサポート」（ともに15.6%）、「介護への理解」（15.3%）となっています。一方、「いずれにも該当しない」は39.4%となっています。

問 10 周囲や地域に対して求めることはありますか（複数回答可）

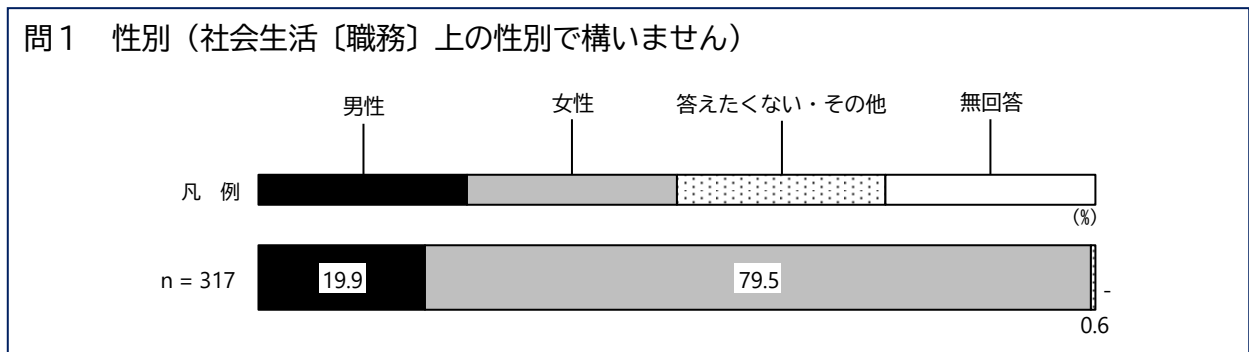


IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

1 回答者の属性

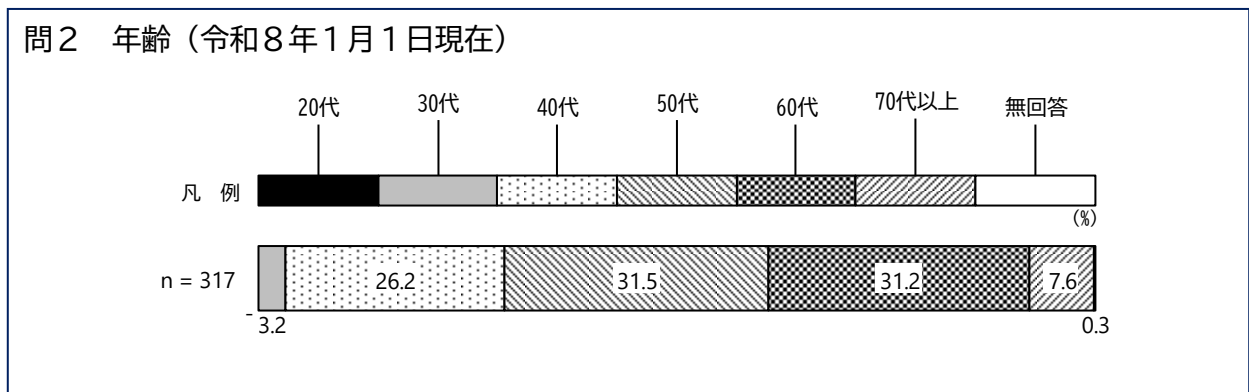
1-1 回答者の性別

- ▶ 回答者の性別については、「女性」が79.5%と最も高く、次いで「男性」（19.9%）、「答えたくない・その他」（0.6%）となっています。



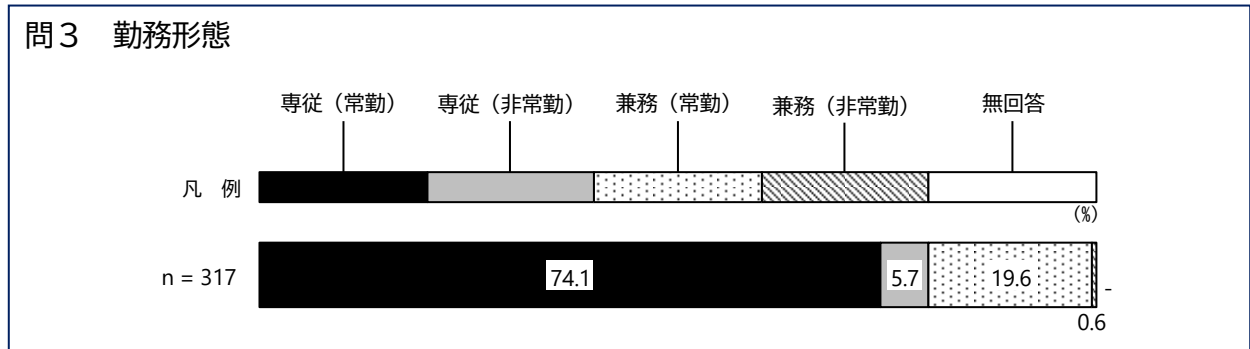
1-2 回答者の年齢

- ▶ 回答者の年齢については、「50代」が31.5%と最も高く、次いで「60代」（31.2%）、「40代」（26.2%）となっています。



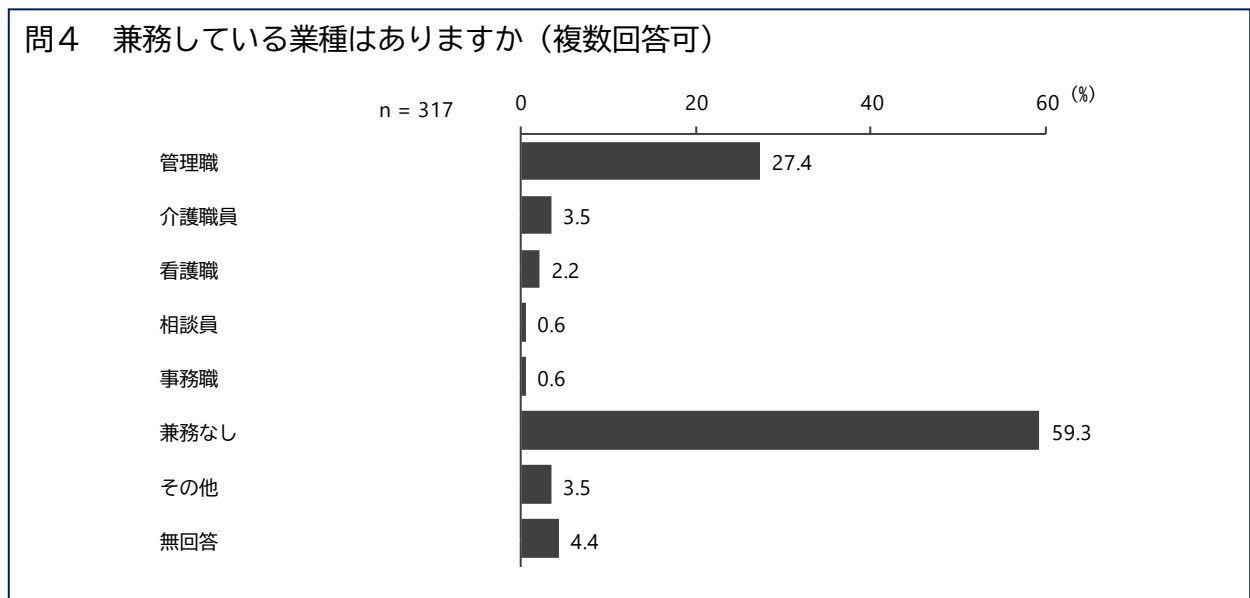
1-3 勤務形態

- ▶ 勤務形態については「専従（常勤）」が74.1%と最も高く、次いで「兼務（常勤）」（19.6%）、「専従（非常勤）」（5.7%）となっています。



1-4 兼務している業種

- ▶ 兼務している業種については、「管理職」が27.4%と最も高く、次いで「介護職員」（3.5%）、「看護職」（2.2%）となっています。一方、「兼務なし」は59.3%となっています。

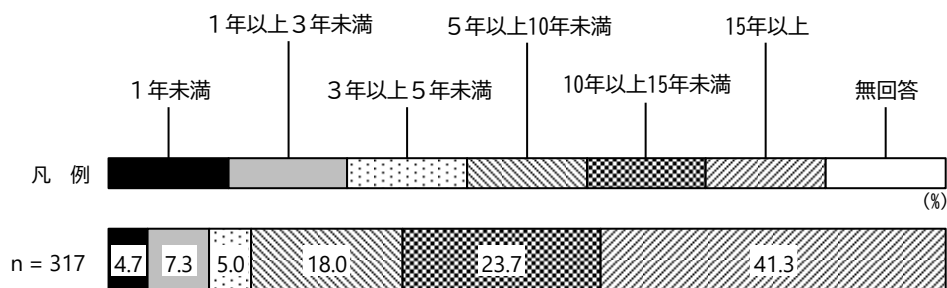


IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

1-5 実務経験年数

- ▶ 実務経験年数については、「15年以上」が41.3%と最も高く、次いで「10年以上15年未満」（23.7%）、「5年以上10年未満」（18.0%）となっています。

問5 実務経験年数（令和8年1月1日現在）



1-6 担当ケアプラン件数

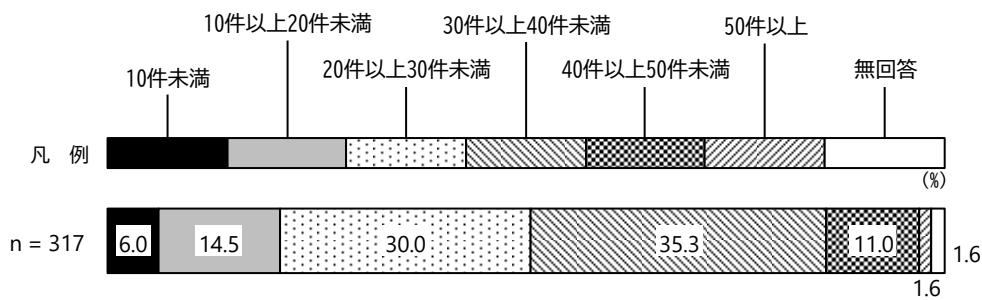
- ▶ ケアプランの担当件数について、「介護」は平均担当件数が 27.96 件で、「30 件以上 40 件未満」が 35.3%と最も高くなっています。「予防（総合事業含む）」は平均担当件数が 7.68 件で、「10 件未満」が 65.3%と最も高くなっています。「合計」は平均担当件数が 35.22 件で、「40 件以上 50 件未満」が 31.9%と最も高くなっています。

問6 担当ケアプラン件数（令和8年1月実績）

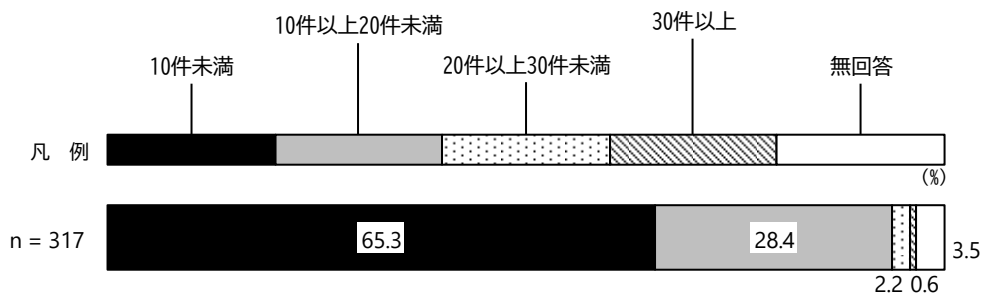
	回答者数	合計件数	平均件数
【介護】	312	8,725	27.96
【予防（総合事業含む）】	306	2,350	7.68
【合計】	314	11,058	35.22

※【合計】については、【介護】と【予防（総合事業含む）】の計との一致が原則ですが、ここでは集計の合計数をそのまま記載しています。

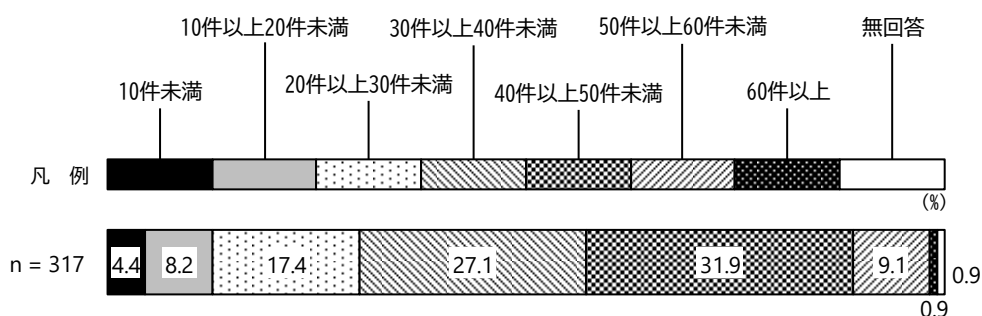
【介護】



【予防（総合事業含む）】



【合計】

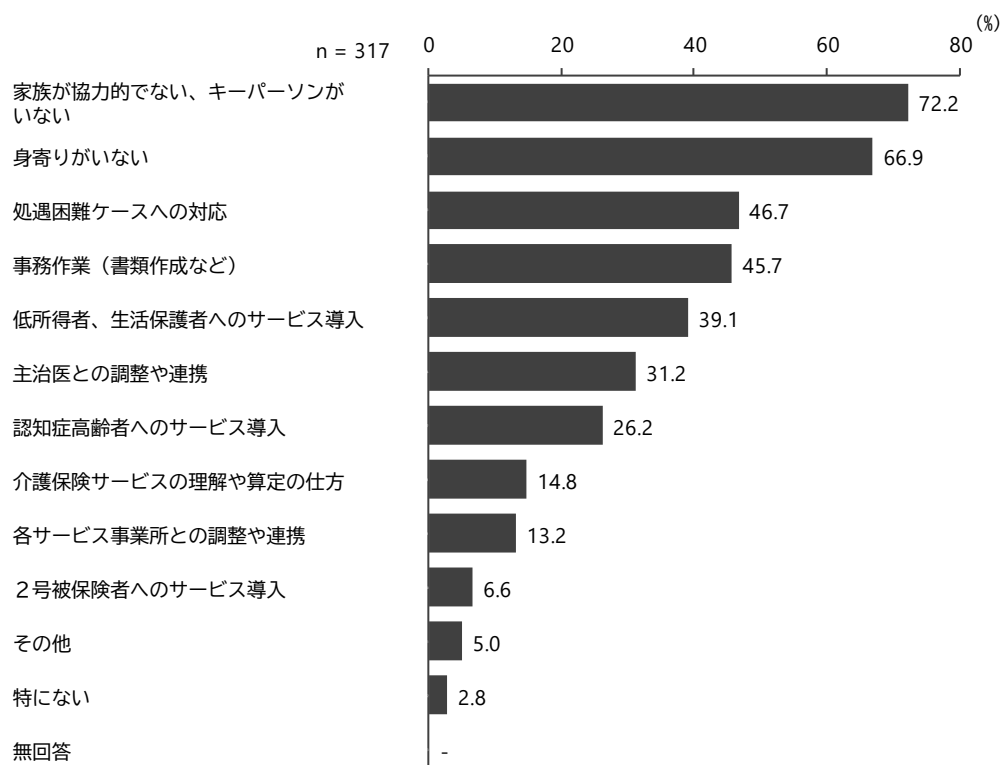


2 業務負担・不安等について

2-1 業務上、困難に感じるケース

- ▶ 業務上、困難に感じるケースについては、「家族が協力的でない、キーパーソンがいない」が72.2%と最も高く、次いで「身寄りがいない」（66.9%）、「処遇困難ケースへの対応」（46.7%）となっています。

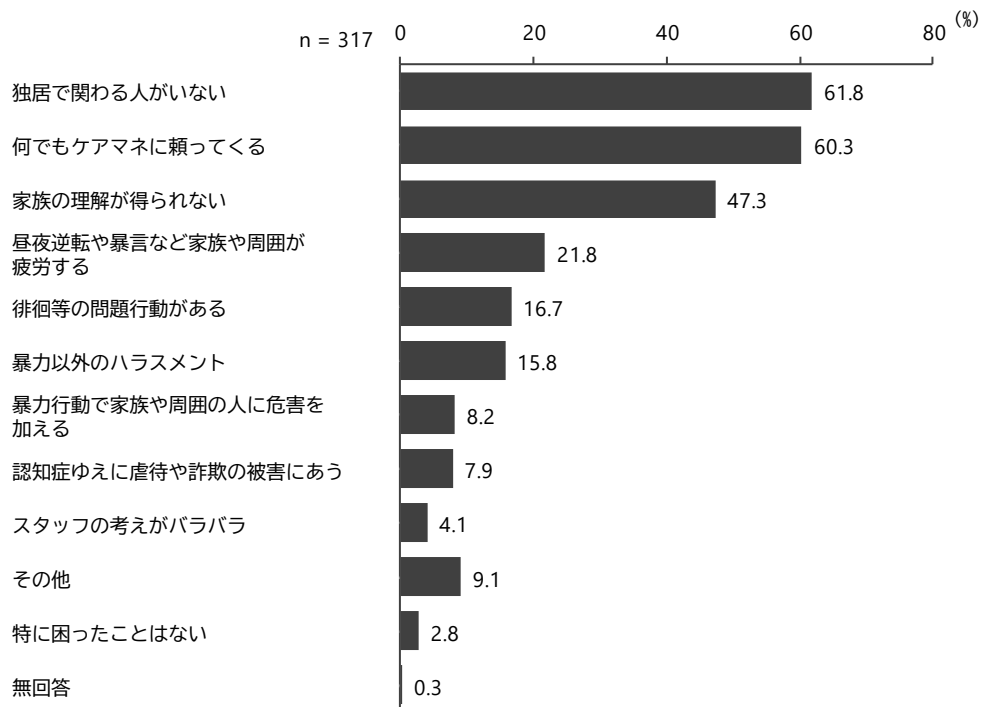
問7 業務を行う上で、困難であると感じることはどのようなことですか（複数回答可）



2-2 担当する高齢者の対応で困難を感じるケース

- ▶ 担当する高齢者の対応で困難を感じるケースについては、「独居で関わる人がいない」が61.8%と最も高く、次いで「何でもケアマネに頼ってくる」（60.3%）、「家族の理解が得られない」（47.3%）となっています。
- ▶ 勤務形態別でみると、兼務（常勤・非常勤）では、「昼夜逆転や暴言など家族や周囲が疲労する」「暴力以外のハラスメント」が、専従（常勤・非常勤）に比べ10ポイント以上高くなっています。

問8 担当する高齢者の対応で困ったケースについて教えてください（複数回答可）



【勤務形態別（2区分）／担当する高齢者の対応で困難を感じるケース】

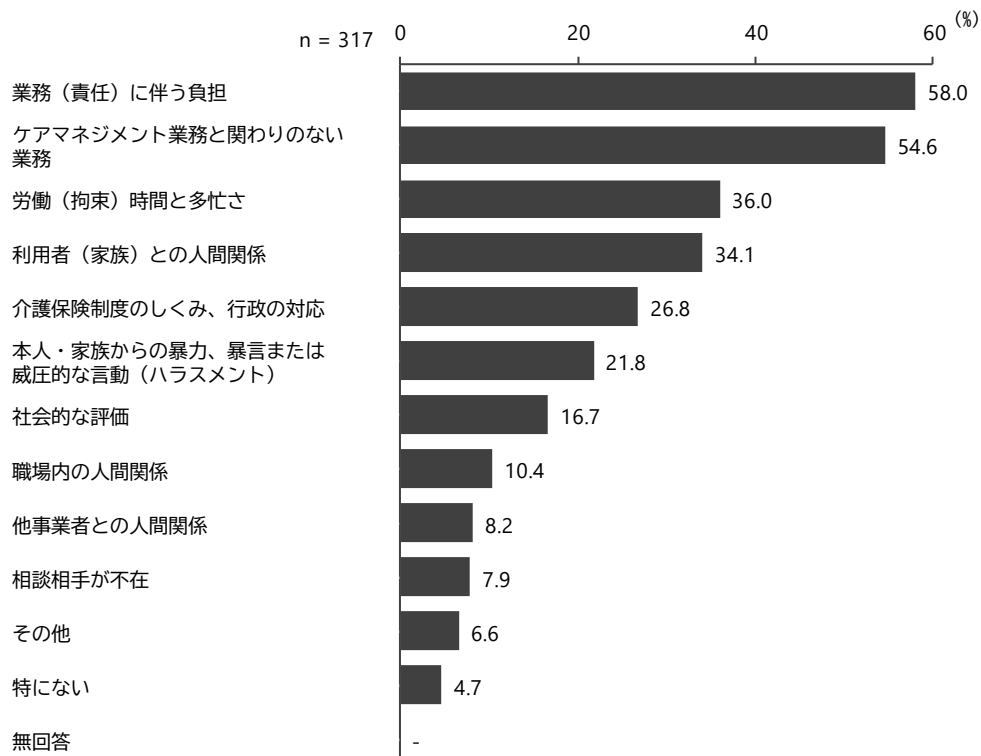
		n	独居で関わる人がいない	何でもケアマネに頼ってくる	家族の理解が得られない	周囲が疲労する 昼夜逆転や暴言など家族や	徘徊等の問題行動がある	暴力以外のハラスメント	暴力行動で家族や周囲の人に危害を加える	認知症ゆえに虐待や詐欺の被害にあう	スタッフの考えがバラバラ	特に困ったことはない	その他	無回答
全体		317	61.8	60.3	47.3	21.8	16.7	15.8	8.2	7.9	4.1	2.8	9.1	0.3
形態別	専従（常勤・非常勤）	253	62.5	61.3	47.8	19.4	15.4	13.4	7.5	7.5	4.7	1.2	9.1	0.4
	兼務（常勤・非常勤）	64	59.4	56.3	45.3	31.3	21.9	25.0	10.9	9.4	1.6	9.4	9.4	-

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

2-3 業務上のストレス

- ▶ 業務上のストレスについては、「業務（責任）に伴う負担」が58.0%と最も高く、次いで「ケアマネジメント業務と関わりのない業務」（54.6%）、「労働（拘束）時間と多忙さ」（36.0%）となっています。
- ▶ 勤務形態別でみると、兼務（常勤・非常勤）では、「業務（責任）に伴う負担」が68.8%と、専従（常勤・非常勤）に比べ10ポイント以上高くなっています。

問9 業務上でストレスを感じていることはありますか（複数回答可）



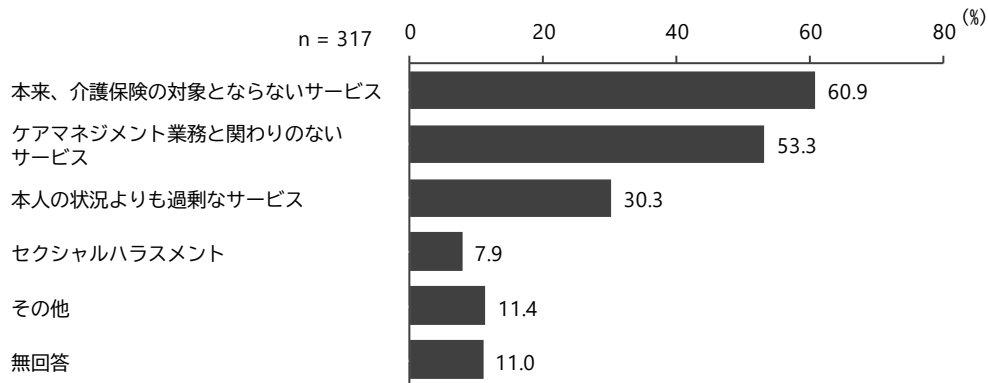
【勤務形態別（2区分）／業務上のストレス】

		n	業務（責任）に伴う負担	ケアマネジメント業務と関わりのない業務	労働（拘束）時間と多忙さ	利用者（家族）との人間関係	介護保険制度のしくみ、行政の対応	社会的な評価	職場内の人間関係	他事業者との人間関係	相談相手が不在	本人・家族からの暴力、暴言または威圧的な言動（ハラスメント）	その他	特にない
全体		317	58.0	54.6	36.0	34.1	26.8	16.7	10.4	8.2	7.9	21.8	6.6	4.7
勤務形態別	専従（常勤・非常勤）	253	55.3	53.4	33.6	36.0	24.9	16.2	9.9	8.7	7.9	21.7	6.7	5.1
	兼務（常勤・非常勤）	64	68.8	59.4	45.3	26.6	34.4	18.8	12.5	6.3	7.8	21.9	6.3	3.1

2-4 本人・家族からの不当な要求経験

- ▶ 本人・家族からの不当な要求経験については、「本来、介護保険の対象とならないサービス」が60.9%と最も高く、次いで「ケアマネジメント業務と関わりのないサービス」（53.3%）、「本人の状況よりも過剰なサービス」（30.3%）となっています。
- ▶ 男性では、「ケアマネジメント業務と関わりのないサービス」が66.7%と、女性に比べ15ポイント以上高くなっています。

問 10 本人・家族との調整の中で、次の不当な要求をされたことがありますか（複数回答可）



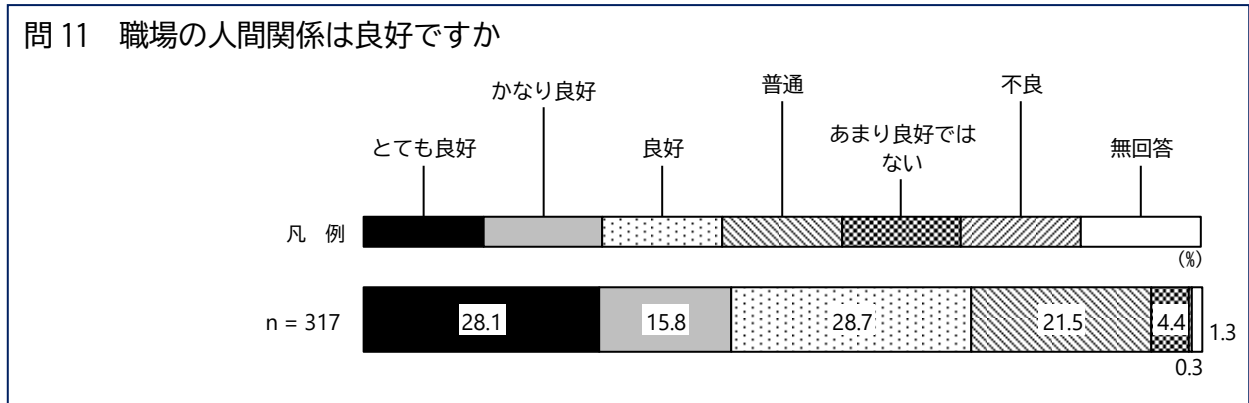
【性別／本人・家族からの不当な要求経験】

		n	本来、介護保険の対象とならないサービス	ケアマネジメント業務と関わりのないサービス	本人の状況よりも過剰なサービス	セクシャルハラスメント	その他	無回答
全 体		317	60.9	53.3	30.3	7.9	11.4	11.0
性別	男性	63	66.7	66.7	42.9	4.8	12.7	3.2
	女性	252	59.1	50.0	27.4	7.9	11.1	13.1
	答えたくない・その他	2	100.0	50.0	-	100.0	-	-

3 職場環境・給与について

3-1 職場の人間関係

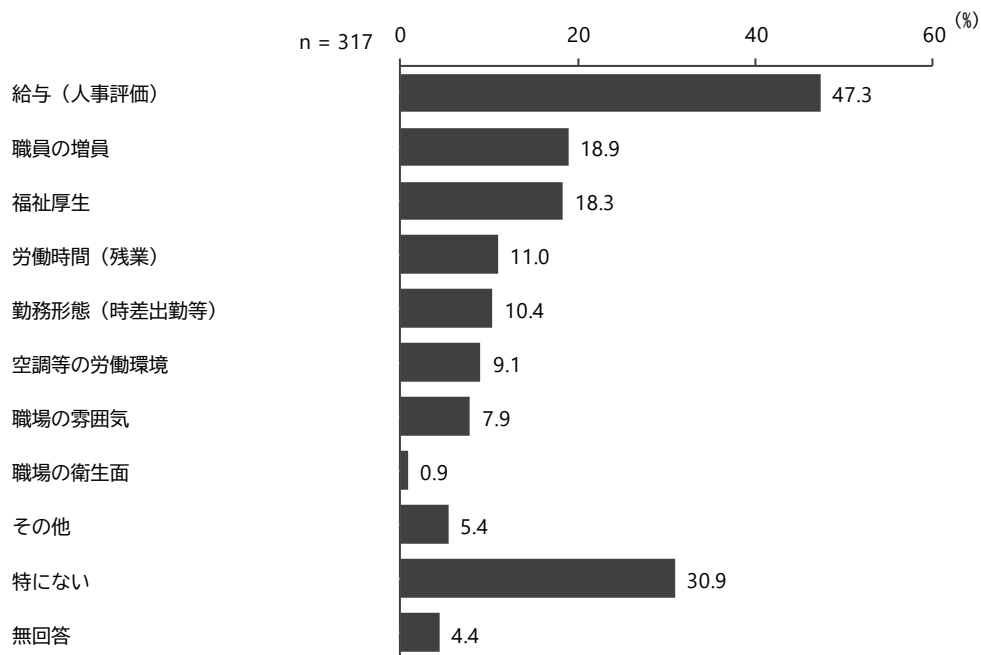
- ▶ 職場の人間関係については、「良好」が 28.7%と最も高く、次いで「とても良好」（28.1%）、「普通」（21.5%）となっています。



3-2 職場で改善してほしいこと

- ▶ 職場で改善してほしいことについては、「給与（人事評価）」が47.3%と最も高く、次いで「職員の増員」（18.9%）、「福祉厚生」（18.3%）となっています。一方、「特にない」は30.9%となっています。
- ▶ 勤務形態別でみると、専従（常勤・非常勤）では、「給与（人事評価）」が49.4%と、兼務（常勤・非常勤）に比べ10ポイント以上高くなっています。

問 12 現在の職場で改善してほしいことはありますか（複数回答可）



【勤務形態別（2区分）／職場で改善してほしいこと】

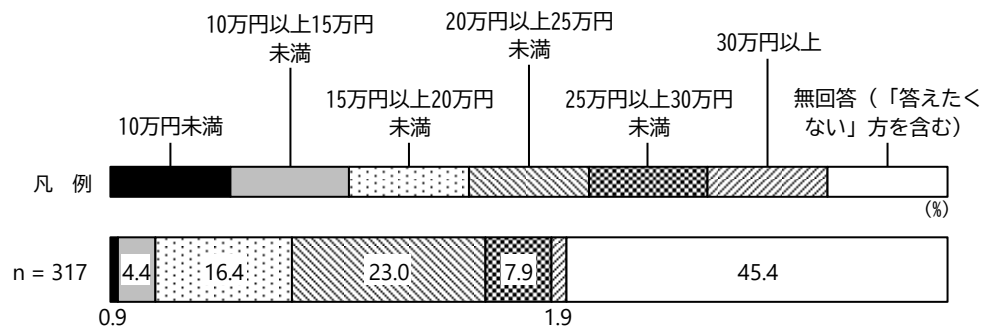
勤務形態別	n	改善してほしいこと (%)										
		給与（人事評価）	職員の増員	福祉厚生	労働時間（残業）	勤務形態（時差出勤等）	空調等の労働環境	職場の雰囲気	職場の衛生面	特にない	その他	無回答
全体	317	47.3	18.9	18.3	11.0	10.4	9.1	7.9	0.9	30.9	5.4	4.4
専従（常勤・非常勤）	253	49.4	18.6	17.8	10.7	10.7	10.3	8.7	1.2	30.0	4.7	5.1
兼務（常勤・非常勤）	64	39.1	20.3	20.3	12.5	9.4	4.7	4.7	-	34.4	7.8	1.6

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

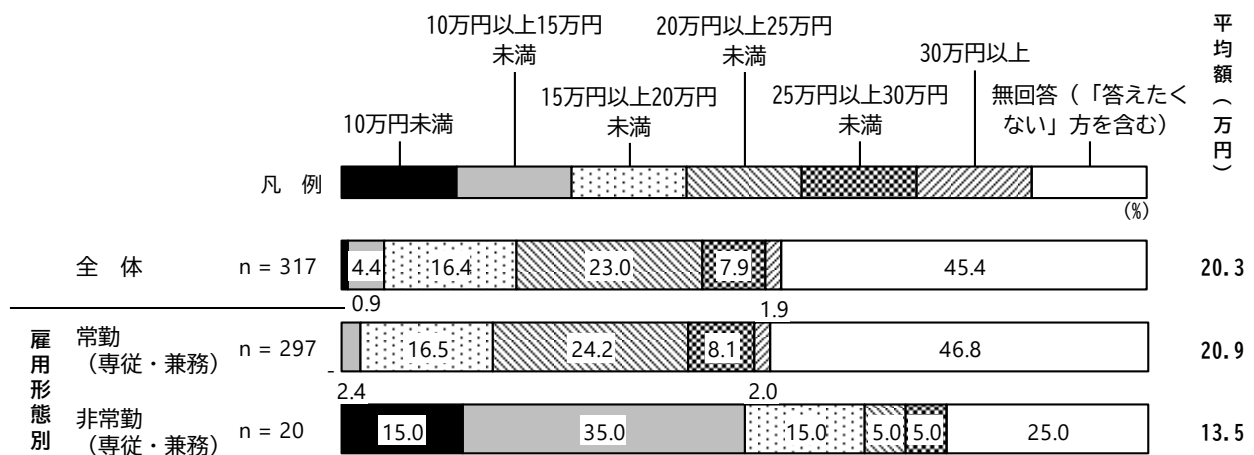
3-3 現在の手取り月額給与額

- ▶ 現在の手取り月額給与額については、「20万円以上25万円未満」が23.0%と最も高く、次いで「15万円以上20万円未満」（16.4%）、「25万円以上30万円未満」（7.9%）となっています。
- ▶ 回答結果より手取り月額給与額の平均を算出したところ、平均額は20.3万円という結果となっています。
- ▶ 雇用形態別で平均額をみると、常勤では20.9万円、非常勤では13.5万円となっています。

問13 現在のおおよその手取りの月額給与額はいくらですか？

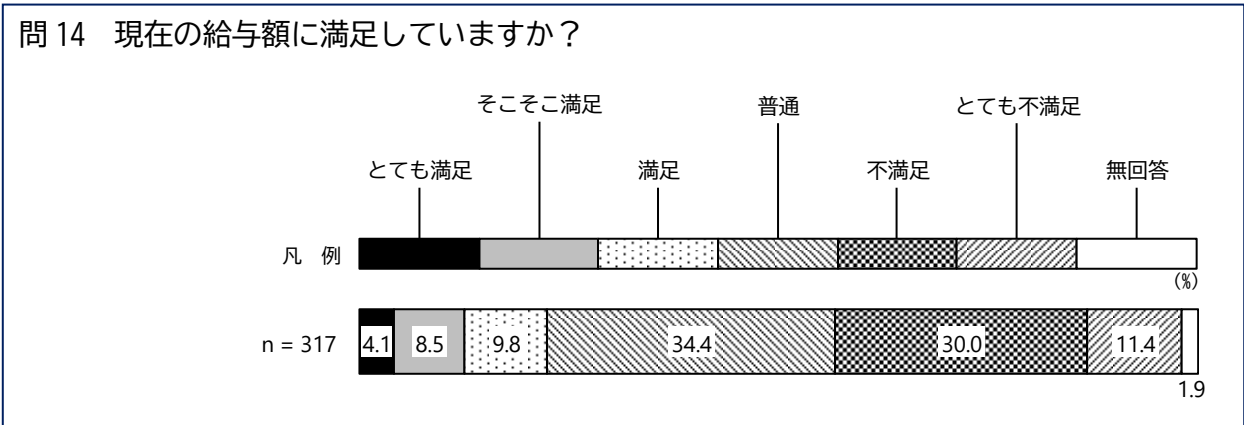


【雇用形態別／現在の手取り月額給与額】

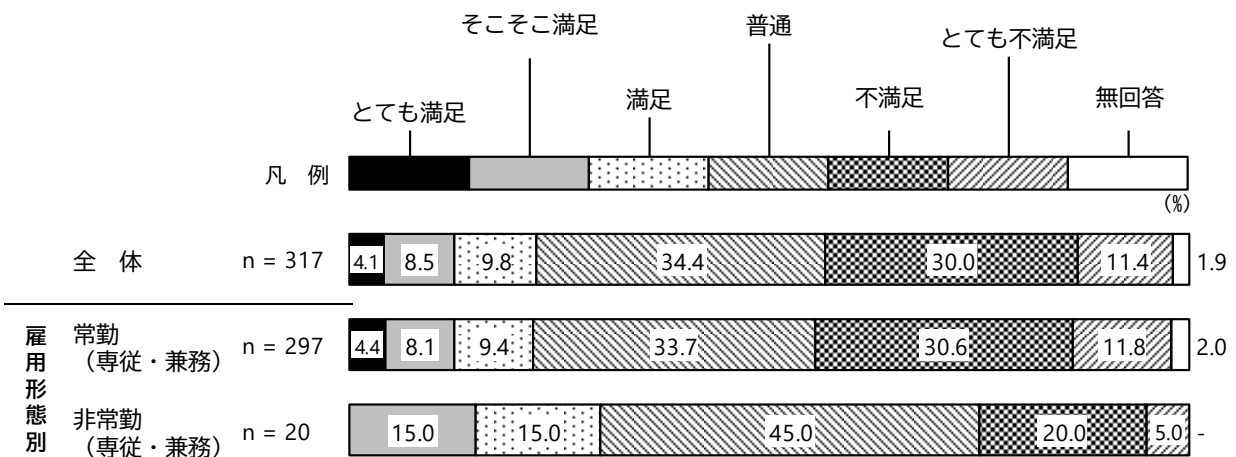


3-4 現在の給与額に満足しているか

- ▶ 現在の給与額に満足しているかについては、「普通」が34.4%と最も高く、次いで「不満足」（30.0%）、「とても不満足」（11.4%）となっています。
- ▶ 雇用形態別で見ると、非常勤では、「普通」が45.0%と、常勤に比べ10ポイント以上高くなっています。



【雇用形態別／現在の給与額に満足しているか】



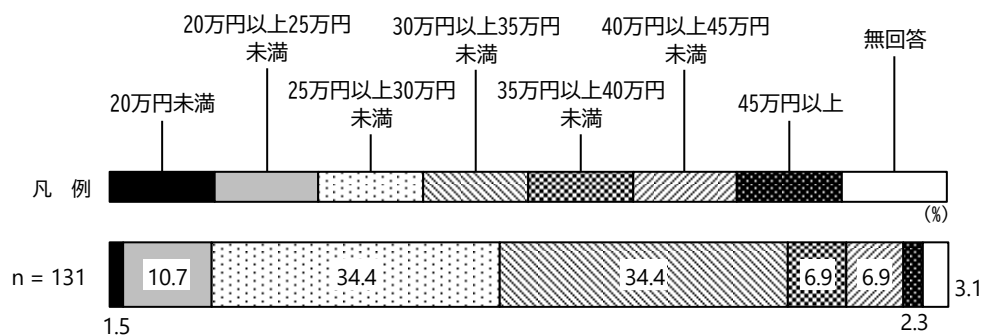
IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

3-5 妥当だと思う手取り月額給与額

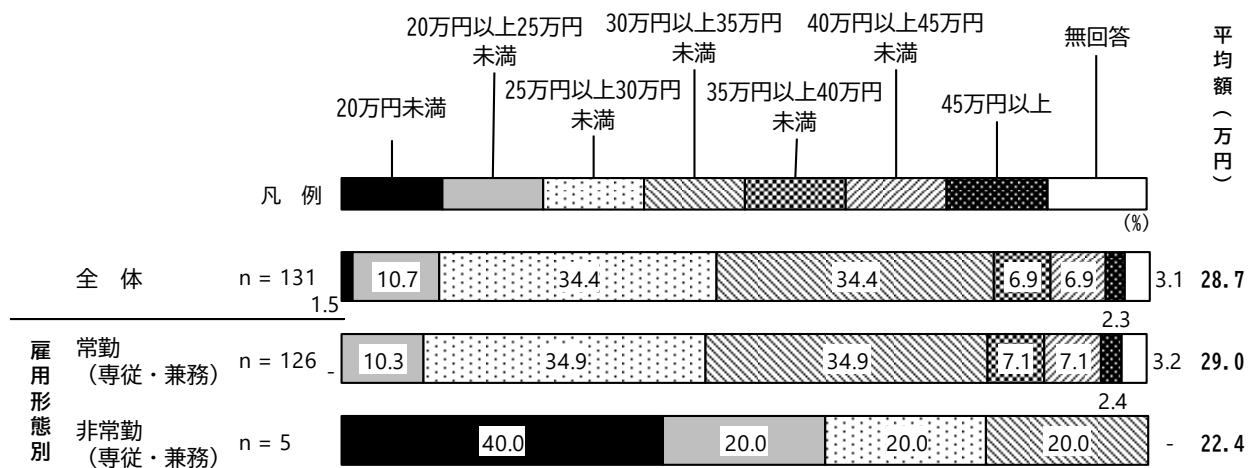
- ▶ 妥当だと思う手取り月額給与額については、「25万円以上30万円未満」「30万円以上35万円未満」がともに34.4%と最も高く、次いで「20万円以上25万円未満」（10.7%）となっています。
- ▶ 回答結果より妥当だと思う手取り月額給与額の平均を算出したところ、平均額は28.7万円という結果となっています。
- ▶ 雇用形態別で平均額をみると、常勤では29.0万円、非常勤では22.4万円となっています。

【問14で「不満足」または「とても不満足」と回答した方】

問15 妥当だと考える手取りの月額給与額はいくらですか？



【雇用形態別／妥当だと思う手取り月額給与額】



4 介護保険サービスについて

4-1 介護保険サービスの需要供給状況について

- ▶ 回答者が主に担当する圏域（2カ所）に対し、各サービスの提供状況のバランスについて5段階評価を依頼しました。
- ▶ 圏域別の回答状況をみると、各介護保険サービスで「需要と供給のバランスが取れている」若しくは「需要を満たしていない」が多くなっています。
- ▶ 特に、『夜間対応型訪問介護』『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』『複合型サービス』はすべての圏域において「全く需要を満たしていない」が最も高い割合となっており、市全体で供給不足となっています。

問16 介護保険サービスの需要について

ご自身が主に担当する圏域（2カ所）について、次ページを参照の上、該当する番号を①欄に記入してください。

また、担当する圏域において、各サービスの提供状況をどのように感じていますか。そのバランスを②欄に5段階で評価して下さい。

1 平市街地 回答者 57名

平、北白土、南白土、谷川瀬、鎌田、明治団地、平成、内郷小島町、小島町

	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
① 訪問介護	1.8	5.3	40.4	45.6	5.3	1.8
② 訪問入浴介護	0.0	1.8	47.4	38.6	5.3	7.0
③ 訪問看護	1.8	26.3	66.7	3.5	0.0	1.8
④ 訪問リハビリテーション	0.0	0.0	54.4	28.1	12.3	5.3
⑤ 通所リハビリテーション	1.8	1.8	50.9	33.3	7.0	5.3
⑥ 通所介護	21.1	21.1	49.1	5.3	0.0	3.5
⑦ 地域密着型通所介護	5.3	15.8	66.7	8.8	0.0	3.5
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	1.8	43.9	43.9	5.3	5.3
⑨ 福祉用具貸与	10.5	19.3	64.9	3.5	0.0	1.8
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	1.8	50.9	36.8	3.5	7.0
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	1.8	61.4	28.1	1.8	7.0
⑫ 認知症対応型通所介護	1.8	1.8	49.1	38.6	1.8	7.0
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	1.8	50.9	31.6	8.8	7.0
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	14.0	17.5	61.4	7.0
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	10.5	19.3	63.2	7.0
⑯ 複合型サービス	0.0	3.5	17.5	19.3	50.9	8.8
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	1.8	31.6	38.6	19.3	8.8
⑱ 介護老人保健施設	0.0	3.5	35.1	43.9	12.3	5.3
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	7.0	40.4	36.8	8.8	7.0

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

2 平北部 回答者 32名

上平窪、中平窪、下平窪、中塩、四ツ波、幕ノ内、鯨岡、大室、赤井、石森

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
① 訪問介護	0.0	3.1	50.0	34.4	9.4	3.1
② 訪問入浴介護	0.0	3.1	40.6	46.9	3.1	6.3
③ 訪問看護	0.0	25.0	62.5	6.3	3.1	3.1
④ 訪問リハビリテーション	0.0	9.4	53.1	25.0	9.4	3.1
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	3.1	56.3	31.3	6.3	3.1
⑥ 通所介護	15.6	12.5	65.6	3.1	0.0	3.1
⑦ 地域密着型通所介護	3.1	9.4	71.9	9.4	0.0	6.3
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	3.1	40.6	43.8	9.4	3.1
⑨ 福祉用具貸与	6.3	18.8	68.8	3.1	0.0	3.1
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	0.0	56.3	25.0	15.6	3.1
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	68.8	18.8	6.3	6.3
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	71.9	25.0	0.0	3.1
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	71.9	21.9	0.0	6.3
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	28.1	6.3	59.4	6.3
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	21.9	15.6	56.3	6.3
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	31.3	25.0	37.5	6.3
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	6.3	43.8	34.4	9.4	6.3
⑱ 介護老人保健施設	0.0	6.3	46.9	34.4	9.4	3.1
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	6.3	43.8	37.5	9.4	3.1

3 平東部 回答者 41名

中山、小泉、上高久、下高久、塩、上神谷、中神谷、下神谷、上片寄、下片寄、豊間、薄磯、沼ノ内、神谷作、上山口、下山口、山崎、菅波、荒田目、上大越、下大越、藤間、泉崎、原高野、馬目、絹谷、北神谷、水品、鶴ヶ井

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
① 訪問介護	2.4	2.4	31.7	51.2	7.3	4.9
② 訪問入浴介護	0.0	0.0	34.1	51.2	9.8	4.9
③ 訪問看護	4.9	19.5	56.1	12.2	4.9	2.4
④ 訪問リハビリテーション	0.0	0.0	39.0	43.9	7.3	9.8
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	0.0	41.5	39.0	14.6	4.9
⑥ 通所介護	12.2	7.3	63.4	14.6	0.0	2.4
⑦ 地域密着型通所介護	4.9	9.8	61.0	17.1	2.4	4.9
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	2.4	43.9	34.1	12.2	7.3
⑨ 福祉用具貸与	7.3	4.9	80.5	2.4	2.4	2.4
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	0.0	43.9	34.1	9.8	12.2
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	41.5	39.0	7.3	12.2
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	2.4	31.7	39.0	14.6	12.2
⑬ 認知症対応型共同生活介護	2.4	0.0	31.7	43.9	12.2	9.8
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	14.6	22.0	53.7	9.8
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	12.2	17.1	61.0	9.8
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	14.6	19.5	51.2	14.6
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	2.4	0.0	29.3	34.1	24.4	9.8
⑱ 介護老人保健施設	2.4	0.0	29.3	41.5	19.5	7.3
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	2.4	0.0	29.3	43.9	14.6	9.8

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

4 平南部 回答者 38名

上荒川、下荒川、吉野谷、自由ヶ丘、郷ヶ丘、中央台、若葉台

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
① 訪問介護	0.0	2.6	44.7	36.8	10.5	5.3
② 訪問入浴介護	0.0	0.0	31.6	50.0	10.5	7.9
③ 訪問看護	2.6	23.7	52.6	13.2	0.0	7.9
④ 訪問リハビリテーション	0.0	2.6	31.6	42.1	13.2	10.5
⑤ 通所リハビリテーション	0.0		44.7	36.8	7.9	10.5
⑥ 通所介護	13.2	13.2	65.8	2.6	2.6	2.6
⑦ 地域密着型通所介護	0.0	18.4	65.8	5.3	2.6	7.9
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	28.9	52.6	10.5	7.9
⑨ 福祉用具貸与	10.5	7.9	76.3	0.0	0.0	5.3
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	0.0	60.5	26.3	2.6	10.5
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	63.2	23.7	2.6	10.5
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	50.0	34.2	7.9	7.9
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	44.7	34.2	10.5	10.5
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	13.2	13.2	60.5	13.2
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	7.9	10.5	68.4	13.2
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	15.8	18.4	52.6	13.2
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	28.9	39.5	21.1	10.5
⑱ 介護老人保健施設	0.0	0.0	26.3	44.7	18.4	10.5
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	34.2	47.4	7.9	10.5

5 小名浜市街地・東部 回答者 68名

江名、折戸、中之作、永崎、小名浜、上神白、下神白、岡小名、南富岡、大原、洋向台、湘南台

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
① 訪問介護	0.0	0.0	41.2	50.0	4.4	4.4
② 訪問入浴介護	0.0	1.5	45.6	35.3	11.8	5.9
③ 訪問看護	2.9	14.7	61.8	13.2	0.0	7.4
④ 訪問リハビリテーション	0.0	1.5	41.2	41.2	8.8	7.4
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	0.0	60.3	30.9	2.9	5.9
⑥ 通所介護	7.4	19.1	60.3	8.8	0.0	4.4
⑦ 地域密着型通所介護	5.9	5.9	63.2	17.6	0.0	7.4
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	47.1	39.7	5.9	7.4
⑨ 福祉用具貸与	2.9	11.8	79.4	1.5	0.0	4.4
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	2.9	61.8	25.0	4.4	5.9
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	52.9	32.4	4.4	10.3
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	30.9	44.1	14.7	10.3
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	47.1	26.5	16.2	10.3
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	1.5	8.8	14.7	60.3	14.7
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	7.4	13.2	64.7	14.7
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	17.6	16.2	52.9	13.2
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	29.4	36.8	25.0	8.8
⑱ 介護老人保健施設	0.0	0.0	35.3	33.8	23.5	7.4
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	36.8	35.3	16.2	11.8

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

6 小名浜西部 回答者 48名

葉山、泉町、本谷、滝尻、下川、黒須野、玉露、泉ヶ丘、泉玉露、泉もえぎ台、中部工業団地、渡辺町

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
① 訪問介護	0.0	0.0	43.8	56.3	0.0	0.0
② 訪問入浴介護	0.0	0.0	33.3	54.2	10.4	2.1
③ 訪問看護	6.3	6.3	64.6	16.7	4.2	2.1
④ 訪問リハビリテーション	0.0	0.0	31.3	60.4	6.3	2.1
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	0.0	50.0	43.8	4.2	2.1
⑥ 通所介護	4.2	20.8	64.6	8.3	0.0	2.1
⑦ 地域密着型通所介護	4.2	6.3	72.9	12.5	2.1	2.1
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	2.1	41.7	50.0	4.2	2.1
⑨ 福祉用具貸与	2.1	16.7	75.0	4.2	0.0	2.1
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	2.1	56.3	35.4	6.3	0.0
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	41.7	47.9	8.3	2.1
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	27.1	52.1	16.7	4.2
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	39.6	47.9	10.4	2.1
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	8.3	20.8	66.7	4.2
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	10.4	16.7	66.7	6.3
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	14.6	29.2	50.0	6.3
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	35.4	47.9	12.5	4.2
⑱ 介護老人保健施設	0.0	0.0	41.7	41.7	14.6	2.1
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	41.7	43.8	12.5	2.1

7 小名浜北部 回答者 25名

相子島、住吉、島、野田、岩出、林城、金成、玉川町、鹿島町

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
① 訪問介護	0.0	4.0	32.0	56.0	4.0	4.0
② 訪問入浴介護	0.0	4.0	32.0	44.0	16.0	4.0
③ 訪問看護	4.0	24.0	48.0	16.0	4.0	4.0
④ 訪問リハビリテーション	0.0	8.0	16.0	44.0	24.0	8.0
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	4.0	28.0	56.0	8.0	4.0
⑥ 通所介護	8.0	4.0	60.0	20.0	4.0	4.0
⑦ 地域密着型通所介護	8.0	0.0	56.0	28.0	4.0	4.0
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	4.0	44.0	40.0	8.0	4.0
⑨ 福祉用具貸与	4.0	12.0	72.0	8.0	0.0	4.0
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	8.0	32.0	48.0	4.0	8.0
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	36.0	36.0	16.0	12.0
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	16.0	40.0	32.0	12.0
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	32.0	28.0	28.0	12.0
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	4.0	28.0	56.0	12.0
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	8.0	20.0	60.0	12.0
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	8.0	20.0	60.0	12.0
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	4.0	20.0	44.0	24.0	8.0
⑱ 介護老人保健施設	0.0	4.0	32.0	32.0	20.0	12.0
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	24.0	44.0	16.0	16.0

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

8 勿来中部・南部 回答者 32名

錦町、勿来町、川部町、沼部町、三沢町、山玉町、瀬戸町、富津町

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
① 訪問介護	3.1	0.0	37.5	50.0	6.3	3.1
② 訪問入浴介護	0.0	3.1	50.0	34.4	6.3	3.1
③ 訪問看護	6.3	9.4	65.6	15.6	0.0	3.1
④ 訪問リハビリテーション	6.3	0.0	40.6	31.3	18.8	3.1
⑤ 通所リハビリテーション	6.3	0.0	59.4	25.0	6.3	3.1
⑥ 通所介護	3.1	18.8	68.8	3.1	3.1	3.1
⑦ 地域密着型通所介護	3.1	15.6	46.9	25.0	6.3	3.1
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	3.1	3.1	21.9	62.5	6.3	3.1
⑨ 福祉用具貸与	9.4	21.9	65.6	0.0	0.0	3.1
⑩ 居宅療養管理指導	9.4	0.0	46.9	28.1	9.4	6.3
⑪ 小規模多機能型居宅介護	6.3	6.3	40.6	37.5	6.3	3.1
⑫ 認知症対応型通所介護	3.1	0.0	28.1	40.6	25.0	3.1
⑬ 認知症対応型共同生活介護	3.1	0.0	43.8	34.4	15.6	3.1
⑭ 夜間対応型訪問介護	3.1	0.0	6.3	9.4	78.1	3.1
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3.1	0.0	6.3	9.4	78.1	3.1
⑯ 複合型サービス	3.1	0.0	12.5	15.6	65.6	3.1
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	3.1	0.0	34.4	31.3	28.1	3.1
⑱ 介護老人保健施設	3.1	3.1	40.6	37.5	12.5	3.1
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	3.1	3.1	28.1	50.0	12.5	3.1

9 勿来北部・田人 回答者 36名

植田町、後田町、仁井田町、高倉町、江畑町、添野町、石塚町、東田町、佐糠町、岩間町、小浜町、山田町、金山町、中岡町、南台、田人地区全域

	(%)					無回答
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	
① 訪問介護	0.0	0.0	27.8	36.1	33.3	2.8
② 訪問入浴介護	0.0	2.8	41.7	25.0	25.0	5.6
③ 訪問看護	0.0	5.6	52.8	25.0	11.1	5.6
④ 訪問リハビリテーション	0.0	0.0	30.6	33.3	27.8	8.3
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	0.0	33.3	38.9	19.4	8.3
⑥ 通所介護	0.0	8.3	47.2	30.6	11.1	2.8
⑦ 地域密着型通所介護	0.0	2.8	36.1	41.7	13.9	5.6
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	41.7	33.3	19.4	5.6
⑨ 福祉用具貸与	2.8	13.9	72.2	0.0	5.6	5.6
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	0.0	33.3	44.4	13.9	8.3
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	2.8	27.8	52.8	11.1	5.6
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	2.8	19.4	41.7	30.6	5.6
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	25.0	44.4	25.0	5.6
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	5.6	11.1	77.8	5.6
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	5.6	13.9	75.0	5.6
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	11.1	22.2	61.1	5.6
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	19.4	47.2	27.8	5.6
⑱ 介護老人保健施設	0.0	2.8	22.2	50.0	19.4	5.6
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	2.8	19.4	52.8	19.4	5.6

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

10 常磐・遠野 回答者 61名

常磐地区全域（若葉台を除く）、遠野地区全域

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
① 訪問介護	0.0	0.0	27.9	52.5	14.8	4.9
② 訪問入浴介護	0.0	0.0	16.4	52.5	14.8	16.4
③ 訪問看護	3.3	9.8	50.8	18.0	4.9	13.1
④ 訪問リハビリテーション	0.0	0.0	31.1	47.5	8.2	13.1
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	0.0	27.9	45.9	14.8	11.5
⑥ 通所介護	4.9	11.5	42.6	24.6	4.9	11.5
⑦ 地域密着型通所介護	0.0	4.9	57.4	23.0	4.9	9.8
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	1.6	27.9	49.2	9.8	11.5
⑨ 福祉用具貸与	9.8	13.1	52.5	11.5	1.6	11.5
⑩ 居宅療養管理指導	1.6	0.0	36.1	42.6	6.6	13.1
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	39.3	32.8	11.5	16.4
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	29.5	37.7	16.4	16.4
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	27.9	41.0	14.8	16.4
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	4.9	13.1	63.9	18.0
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	6.6	11.5	63.9	18.0
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	13.1	18.0	49.2	19.7
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	27.9	37.7	21.3	13.1
⑱ 介護老人保健施設	0.0	0.0	37.7	31.1	18.0	13.1
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	1.6	0.0	31.1	32.8	19.7	14.8

11 内郷 回答者 48名

内郷地区全域（内郷小島町、小島町を除く）

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
① 訪問介護	0.0	2.1	56.3	35.4	6.3	0.0
② 訪問入浴介護	0.0	4.2	41.7	37.5	12.5	4.2
③ 訪問看護	2.1	22.9	56.3	16.7	0.0	2.1
④ 訪問リハビリテーション	0.0	2.1	50.0	33.3	10.4	4.2
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	0.0	47.9	43.8	8.3	0.0
⑥ 通所介護	4.2	25.0	62.5	8.3	0.0	0.0
⑦ 地域密着型通所介護	2.1	12.5	68.8	10.4	4.2	2.1
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	43.8	43.8	8.3	4.2
⑨ 福祉用具貸与	4.2	10.4	81.3	4.2	0.0	0.0
⑩ 居宅療養管理指導	2.1	2.1	39.6	50.0	4.2	2.1
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	39.6	47.9	6.3	6.3
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	27.1	52.1	14.6	6.3
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	35.4	45.8	12.5	6.3
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	6.3	16.7	70.8	6.3
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	4.2	20.8	68.8	6.3
⑯ 複合型サービス	0.0	2.1	18.8	31.3	41.7	6.3
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	22.9	54.2	20.8	2.1
⑱ 介護老人保健施設	0.0	2.1	31.3	52.1	10.4	4.2
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	2.1	4.2	31.3	37.5	18.8	6.3

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

12 好間・三和 回答者 27名

好間地区全域、三和地区全域

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
① 訪問介護	0.0	3.7	37.0	40.7	18.5	0.0
② 訪問入浴介護	0.0	0.0	29.6	48.1	14.8	7.4
③ 訪問看護	3.7	7.4	44.4	37.0	3.7	3.7
④ 訪問リハビリテーション	0.0	3.7	25.9	51.9	11.1	7.4
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	0.0	25.9	51.9	14.8	7.4
⑥ 通所介護	3.7	7.4	44.4	40.7	3.7	0.0
⑦ 地域密着型通所介護	3.7	3.7	37.0	40.7	7.4	7.4
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	25.9	51.9	14.8	7.4
⑨ 福祉用具貸与	0.0	7.4	74.1	11.1	3.7	3.7
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	0.0	33.3	48.1	11.1	7.4
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	48.1	33.3	7.4	11.1
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	25.9	51.9	11.1	11.1
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	29.6	48.1	11.1	11.1
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	7.4	25.9	55.6	11.1
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	7.4	14.8	66.7	11.1
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	18.5	18.5	51.9	11.1
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	0.0	25.9	40.7	22.2	11.1
⑱ 介護老人保健施設	0.0	0.0	29.6	48.1	14.8	7.4
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	37.0	37.0	14.8	11.1

13 四倉・久之浜大久 回答者 33名

四倉地区全域、久之浜・大久地区全域

	(%)					
	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
① 訪問介護	3.0	0.0	9.1	66.7	18.2	3.0
② 訪問入浴介護	0.0	0.0	30.3	42.4	21.2	6.1
③ 訪問看護	0.0	6.1	45.5	39.4	6.1	3.0
④ 訪問リハビリテーション	0.0	0.0	24.2	39.4	33.3	3.0
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	0.0	12.1	51.5	36.4	0.0
⑥ 通所介護	6.1	6.1	51.5	33.3	3.0	0.0
⑦ 地域密着型通所介護	6.1	6.1	48.5	33.3	3.0	3.0
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	3.0	33.3	45.5	18.2	0.0
⑨ 福祉用具貸与	0.0	9.1	78.8	9.1	3.0	0.0
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	0.0	24.2	45.5	21.2	9.1
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	30.3	39.4	24.2	6.1
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	18.2	30.3	48.5	3.0
⑬ 認知症対応型共同生活介護	3.0	0.0	24.2	39.4	27.3	6.1
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	3.0	12.1	75.8	9.1
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	3.0	9.1	78.8	9.1
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	9.1	9.1	72.7	9.1
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	3.0	0.0	24.2	39.4	27.3	6.1
⑱ 介護老人保健施設	3.0	0.0	27.3	30.3	36.4	3.0
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	3.0	0.0	24.2	27.3	36.4	9.1

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

14 小川・川前 回答者 15名

小川地区全域、川前地区全域

	1.供給過多である	2.やや供給過多である	3.需要と供給のバランスが取れている	4.やや需要を満たしていない	5.全く需要を満たしていない	無回答
① 訪問介護	6.7	0.0	6.7	66.7	20.0	0.0
② 訪問入浴介護	0.0	0.0	13.3	40.0	40.0	6.7
③ 訪問看護	0.0	0.0	40.0	33.3	20.0	6.7
④ 訪問リハビリテーション	0.0	0.0	0.0	53.3	40.0	6.7
⑤ 通所リハビリテーション	0.0	6.7	13.3	60.0	13.3	6.7
⑥ 通所介護	0.0		13.3	73.3	13.3	0.0
⑦ 地域密着型通所介護	0.0		20.0	53.3	20.0	6.7
⑧ 短期入所(生活介護・療養介護)	0.0	0.0	0.0	73.3	20.0	6.7
⑨ 福祉用具貸与	0.0	13.3	66.7	13.3	0.0	6.7
⑩ 居宅療養管理指導	0.0	0.0	13.3	40.0	40.0	6.7
⑪ 小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	33.3	40.0	13.3	13.3
⑫ 認知症対応型通所介護	0.0	0.0	20.0	60.0	6.7	13.3
⑬ 認知症対応型共同生活介護	0.0	0.0	33.3	40.0	13.3	13.3
⑭ 夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	13.3	73.3	13.3
⑮ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	0.0	6.7	6.7	73.3	13.3
⑯ 複合型サービス	0.0	0.0	13.3	13.3	60.0	13.3
⑰ 介護老人福祉施設(地密を含む)	0.0	6.7	6.7	46.7	26.7	13.3
⑱ 介護老人保健施設	0.0	6.7	26.7	40.0	13.3	13.3
⑲ 特定施設入居者生活介護(地密を含む)	0.0	0.0	20.0	46.7	20.0	13.3

4-2 訪問介護のサービス調整で、困っていること及びその現在の対応状況

- ▶ 訪問介護のサービス調整で、困っていること及びその現在の対応状況について自由記述で回答を求め、記述内容を分析したところ、「曜日・時間帯の調整困難」、「訪問介護職員（ヘルパー）人材不足」、「受入事業所の不足・空き不足」、「地域差・訪問範囲の制約」、「通院等乗降介助」、「本人・家族との意向調整」、「事業所との連携・情報共有の課題」、「医療的ケア・重度者対応」などを要点とした意見がみられました。

問 17 訪問介護のサービス調整にあたり、困っていること及びその現在の対応状況を記載して下さい。（該当することがあれば記述してください。（自由記述））

No	内容	件数
1	曜日・時間帯の調整困難	95
2	訪問介護職員（ヘルパー）人材不足	71
3	受入事業所の不足・空き不足	15
4	地域差・訪問範囲の制約	12
5	通院等乗降介助	11
6	本人・家族との意向調整	7
7	事業所との連携・情報共有の課題	5
8	医療的ケア・重度者対応	3
9	その他	16
	合計	235

※回答者数：196人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類しています

訪問介護のサービス調整で、困っていること及びその現在の対応状況（代表例抜粋）

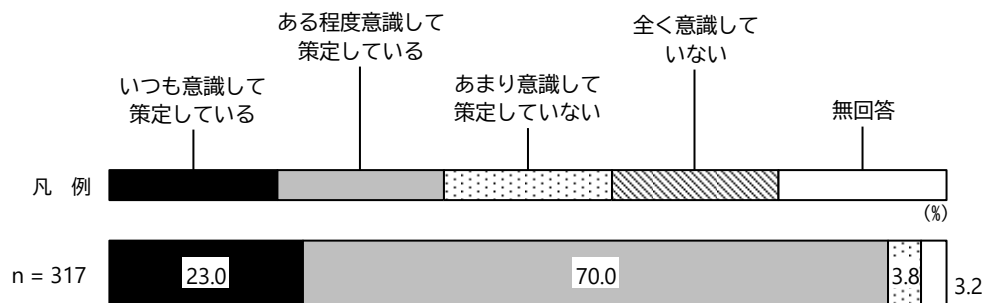
要点	内容
曜日・時間帯の調整困難	土・日の対応が困難。 朝・夕の提供が重なり、時間変更も多い。
訪問介護職員（ヘルパー）人材不足	ヘルパー不足やヘルパーの高齢化で対応困難と断られることが多いため、複数の事業所に依頼している。
受入事業所の不足・空き不足	事業所が不足していて、支援を提供できない。
地域差・訪問範囲の制約	山間部への対応ができない。（特に要支援者）
通院等乗降介助	通院等乗降介助は、「運転手が1人しかいないため対応できない。訪問介護を利用している方のみ対応可能」など制限があり、15事業所に連絡してやっと見つかる状態で、非常に困っています。
本人・家族との意向調整	家族や本人が、ヘルパーに対してできる事とできない事の内容を理解できていない。
事業所との連携・情報共有の課題	いわき市内の介護事業所一覧を見て依頼をかけるが、記述と実際に提供する内容が違っている。
医療的ケア・重度者対応	重度の障がい者に対して入れるヘルパーが少ない。大変なので、避けられる傾向がある。

5 ケアプラン作成について

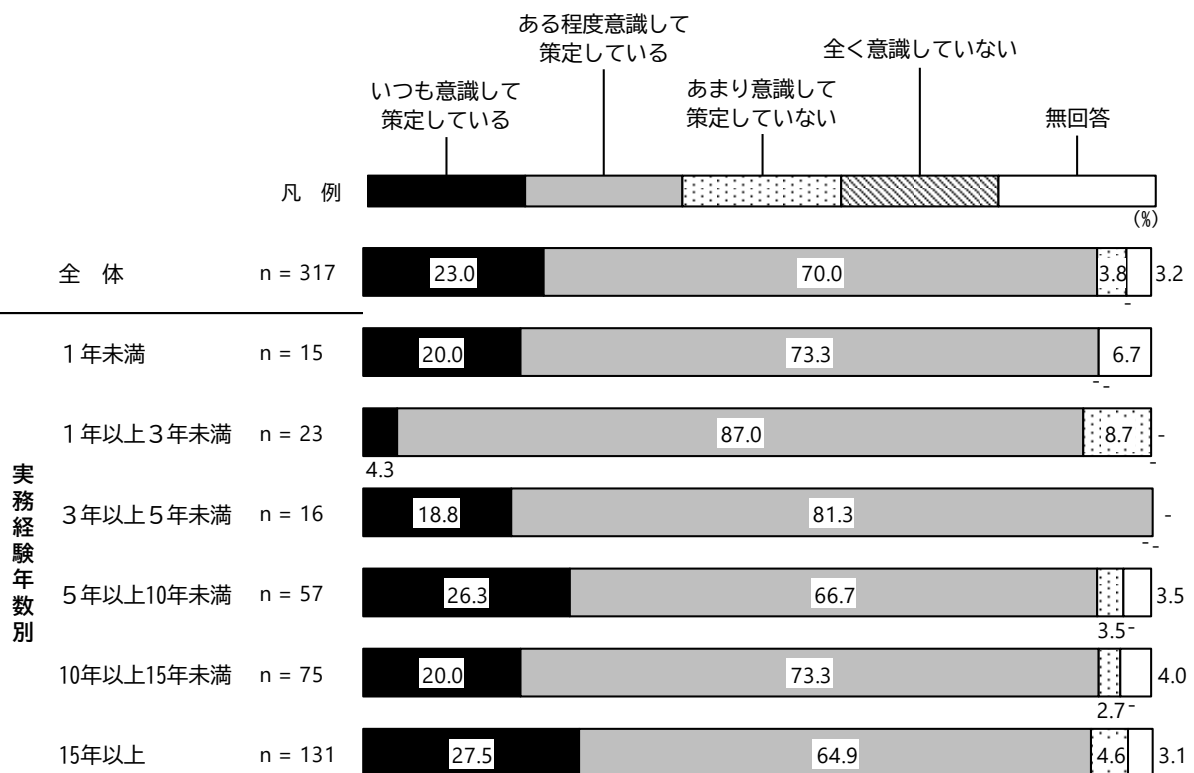
5-1 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプラン作成の意識度

- ▶ 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプラン作成の意識度については、「ある程度意識して策定している」が 70.0%と最も高く、次いで「いつも意識して策定している」(23.0%)、「あまり意識して策定していない」(3.8%)となっています。「いつも意識して策定している」(23.0%)と「ある程度意識して策定している」(70.0%)を合わせた《意識して策定している》は 93.0%となっています。
- ▶ 実務経験年数でみると、経験年数による大きな傾向の差はみられず、全ての経験年数で《意識して策定している》の割合は高くなっています。

問 18 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、日頃の程度意識して策定にあたっていますか



【実務経験年数別／「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプラン作成の意識度】

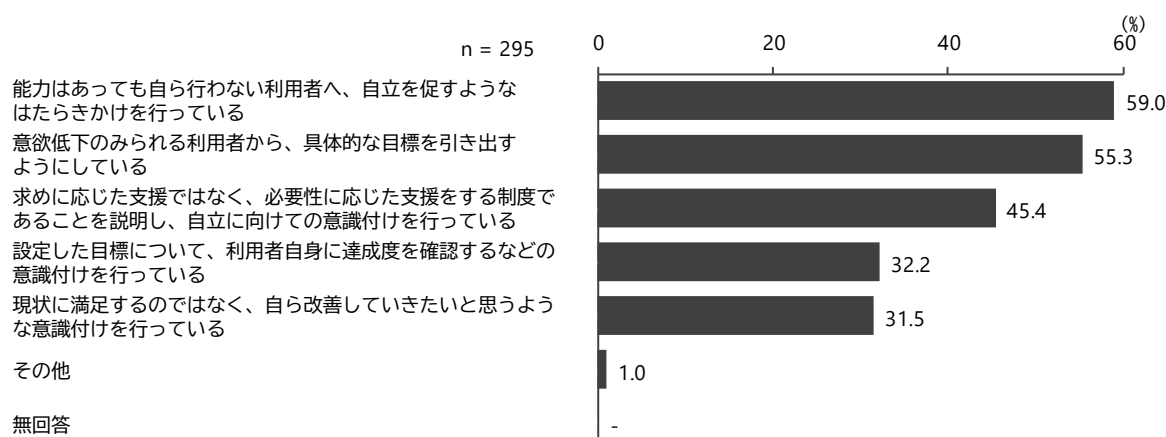


5-2 「自立支援」「重度化防止」に向けて意識していること

- ▶ 「自立支援」「重度化防止」に向けて意識していることについては、「能力はあっても自ら行わない利用者へ、自立を促すようなはたらきかけを行っている」が59.0%と最も高く、次いで「意欲低下のみられる利用者から、具体的な目標を引き出すようにしている」（55.3%）、「求めに応じた支援ではなく、必要性に応じた支援をする制度であることを説明し、自立に向けての意識付けを行っている」（45.4%）となっています。
- ▶ 実務経験年数でみると、「求めに応じた支援ではなく、必要性に応じた支援をする制度であることを説明し、自立に向けての意識付けを行っている」の割合は実務経験年数が高くなるにつれ高くなる傾向があります。

【問18で「いつも意識して策定している」「ある程度意識して策定している」と回答した方】

問19 主にどういったことを意識して「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成を行っていますか（複数回答可）



【実務経験年数別／「自立支援」「重度化防止」に向けて意識していること】

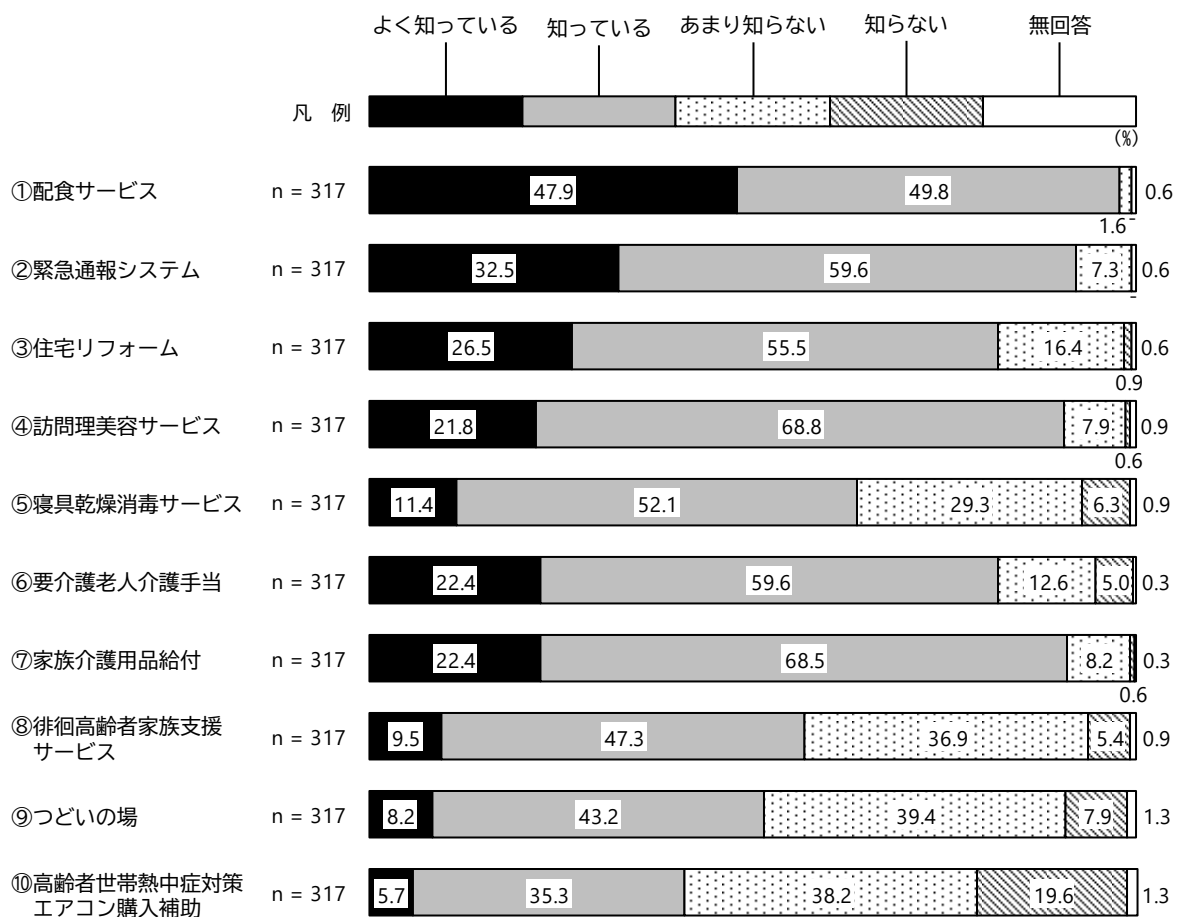
実務経験年数別	n	意識していること						その他
		能力はあっても自ら行わない利用者へ、自立を促すようなはたらきかけを行っている	意欲低下のみられる利用者から、具体的な目標を引き出すようにしている	求めに応じた支援ではなく、必要性に応じた支援をする制度であることを説明し、自立に向けての意識付けを行っている	設定した目標について、利用者自身に達成度を確認するなどの意識付けを行っている	現状に満足するのではなく、自ら改善していきたいと思うような意識付けを行っている	その他	
全体	295	59.0	55.3	45.4	32.2	31.5	1.0	
1年未満	14	35.7	64.3	28.6	50.0	42.9	-	
1年以上3年未満	21	28.6	61.9	19.0	14.3	28.6	-	
3年以上5年未満	16	62.5	62.5	37.5	12.5	25.0	-	
5年以上10年未満	53	58.5	56.6	37.7	35.8	37.7	1.9	
10年以上15年未満	70	57.1	42.9	51.4	24.3	27.1	1.4	
15年以上	121	67.8	58.7	52.9	38.8	31.4	0.8	

6 一般高齢者福祉事業について

6-1 一般高齢者福祉事業の認知度

▶ 一般高齢者福祉事業の認知度について、「よく知っている」と「知っている」を合わせた《知っている》割合では、『①配食サービス』が97.7%と最も高く、次いで『②緊急通報システム』(92.1%)、『⑦家族介護用品給付』(90.9%)となっています。一方、「知らない」と「あまり知らない」を合わせた《知らない》割合では、『⑩高齢者世帯熱中症対策エアコン購入補助』が57.8%と最も高く、次いで『⑨つどいの場』(47.3%)、『⑧徘徊高齢者家族支援サービス』(42.3%)となっています。

問 20 市が実施する一般高齢者福祉事業について、その認知度を記載して下さい。また、各事業について、ご意見があれば記入してください



【一般高齢者福祉事業への意見（代表例抜粋）】（件数は「特になし」などの回答は除いたもの）

1 配食サービス：79件

- ・事業所によって、レベル、味に差があるように思う。利用者にも指摘されたことがある。
- ・新規参入された事業所等の知らせが欲しい。
- ・市の福祉事業ですが、ケアマネが書類を準備し申請している状況となっており負担が大きいと感じています。
- ・配達員による安否確認をしてもらえるので良いサービスだと思います。
- ・利用の枠を広げて欲しい。

2 緊急通報システム：54件

- ・市内に協力者が2名いないと使えない。固定電話がないと使えない。不便さがある。
- ・貸与されていても、活用できていない方が多いため、使い勝手を良くして欲しい。
- ・最近は、携帯の方も多いので、利用する必要が少なくなりました。
- ・協力者がいない場合等の対応について、具体的に知りたい。代行してくれるサービスなどがあればよい。

3 在宅リフォーム（介護保険の住宅改修でない）：31件

- ・許可が出るまで時間がかかるため、必要な時にすぐにお願ひできない。
- ・手続きを簡素化してほしい。
- ・住宅改修との違いをなかなか理解いただけない。

4 訪問理美容サービス：31件

- ・本人やケアマネから申請する方式ではなく、自動的に適用してもらいたい。
- ・資料が古くて使いづらい。理美容の方々があまりサービスについて理解していない。
- ・自宅に訪問して貰えるのは良い。

5 寝具乾燥消毒サービス：9件

- ・3ヶ月に1回など、利用頻度を増やして欲しい。
- ・在宅を定期的に利用される家族から、衛生面で助かりますと話されてくる方が増えてきています。
- ・いわき市の資料にはあるが、あまり知られていない。利用するにも業者が少ない。

6 要介護老人介護手当：20件

- ・手当の額が少ないと思う。
- ・条件が厳しく当てはまらない世帯がある。
- ・手当申請時の要件が多い。

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

7 家族介護用品給付（おむつなど）：35件

- ・受給の条件を見直してほしい。介護度は条件から外してもよいと思う。軽度者でも必要な人はいると思う。
- ・非課税所得者のみならず、貧困状態の方も対象になるといい。
- ・家族に対して支給されるため、独居では該当せず近くに住んで介護している家族が大変な思いをしていた人がいた。要介護4・5でも独居の人がいる事も分かって欲しい。

8 徘徊高齢者家族支援サービス：14件

- ・何処に相談すればいいのかわからない。
- ・GPSを忍ばせるところや充電頻度について課題があり繋がれなかった。
- ・実際に使用した場合の料金が意外に高く、家族が利用に躊躇する。

9 つどいの場：9件

- ・利用した事がなく、どのような位置づけのものかわからない。周知していただき利用できれば、喜ばれる方もいると思います。
- ・移動手段がない方でも、活用できるようになると良い。
- ・家族からの情報で認識した。場所や担当者が変わると内容も変わり参加しなくなったと聞く。

10 高齢者世帯熱中症対策エアコン購入補助：26件

- ・補助の金額が少なく購入に至らない。
- ・件数が少ないので増やしてほしい。
- ・高齢者はエアコンがあっても使わない人が多い。

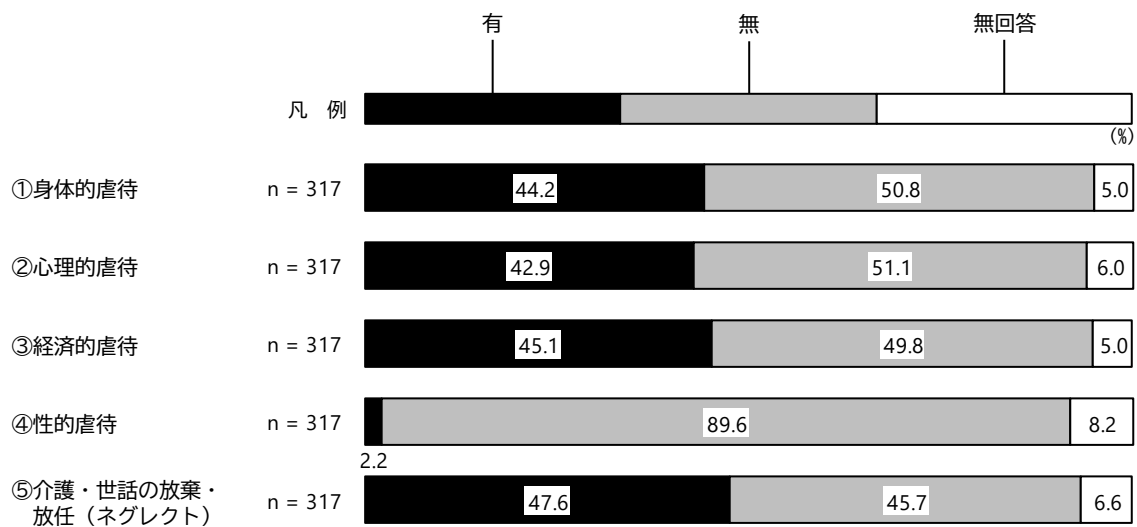
7 担当した高齢者や家族について

7-1 高齢者虐待の疑いのあるケースの経験有無

- ▶ 高齢者虐待の疑いのあるケースの経験有無については、「有」と回答した割合が高い順に、『⑤介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）』（47.6%）、『③経済的虐待』（45.1%）、『①身体的虐待』（44.2%）、『②心理的虐待』（42.9%）、『④性的虐待』（2.2%）となっています。

問 21 高齢者虐待について、これまで（現在を含む）関わってきたケースの中に、虐待を受けていると疑われる事例はありましたか

次の5つの分類ごとに、「有・無」のいずれかに○をつけてください



IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

7-2 成年後見制度を活用していくために必要だと思うこと

- ▶ 成年後見制度を活用していくために必要だと思うことについて自由記述で回答を求め、記述内容を分析したところ、「制度・手続きの改善（簡素化など）」、「制度の広報・周知」、「市役所やセンター等の連携」、「本人・家族への説明支援と理解形成」「費用負担の軽減・報酬助成の充実」などを要点とした意見がみられました。

問 22 身寄りのない高齢者に対して、成年後見制度が適切に運用されていくために必要だと思うことがあればご記入下さい（自由記述）

No	内容	件数
1	制度・手続きの改善（簡素化など）	44
2	制度の広報・周知	29
3	市役所やセンター等の連携	28
4	本人・家族への説明支援と理解形成	23
5	費用負担の軽減・報酬助成の充実	21
6	制度や対応・利用方法に関する関係者への研修など	16
7	相談窓口の充実	7
8	その他	11
合計		179

※回答者数：137人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類しています

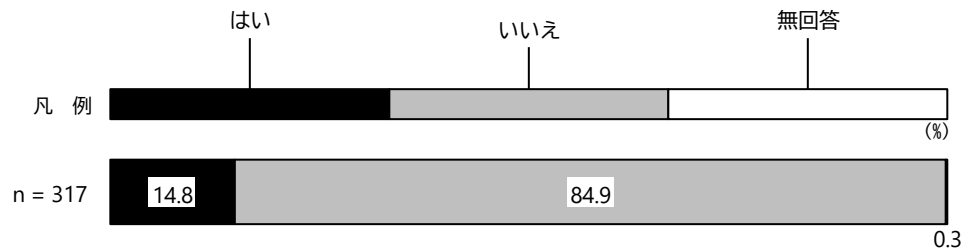
成年後見制度を活用していくために必要だと思うこと（代表例抜粋）

要点	内容
制度・手続きの改善（簡素化など）	成年後見制度を利用するにあたり、必要な書類を揃えなければいけないためハードルが高い。また、公正役場まで行かなければいけないことも負担になっている。
制度の広報・周知	成年後見制度について知らない高齢者が多いので、もう少し分かりやすい周知活動が必要ではないかと思います。
市役所やセンター等の連携	ケアマネ1人だけでなく、他にもう1人支援者がいれば助かります。
本人・家族への説明支援と理解形成	身寄りのない高齢者に対して、ケアマネ以外で成年後見制度について直接説明等を行ってくださる方が必要。
費用負担の軽減・報酬助成の充実	説明はするが、費用面が賄えない方や利用に躊躇する人も多い。同席して相談や申請に関わっているが、なかなか決められない方も多い。
制度や対応・利用方法に関する関係者への研修など	自分のケースでの利用は今のところありませんが、自分は今でももっと学びたいと思っていますので、成年後見制度を学ぶ機会を作ってほしいです。
相談窓口の充実	ワンストップ窓口の設置。

7-3 担当したケースでのヤングケアラーの有無

- ▶ 担当したケースでのヤングケアラーの有無については、「いいえ」が84.9%、「はい」が14.8%となっています。

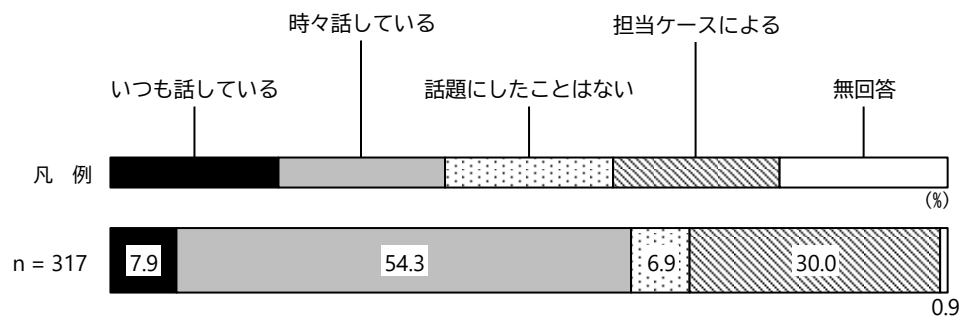
問 23 担当したケースにヤングケアラーと思われる子どもがいたことはありますか



7-4 終末期の準備についての話し合い（高齢者本人と）

- ▶ 終末期の準備についての話し合い（高齢者本人と）については、「時々話している」が54.3%と最も高く、次いで「担当ケースによる」(30.0%)、「いつも話している」(7.9%)となっています。

問 24 担当する高齢者本人と終末期の準備（どこでどのように過ごしたいか）について、話をすることはありますか。いずれかに○をつけてください

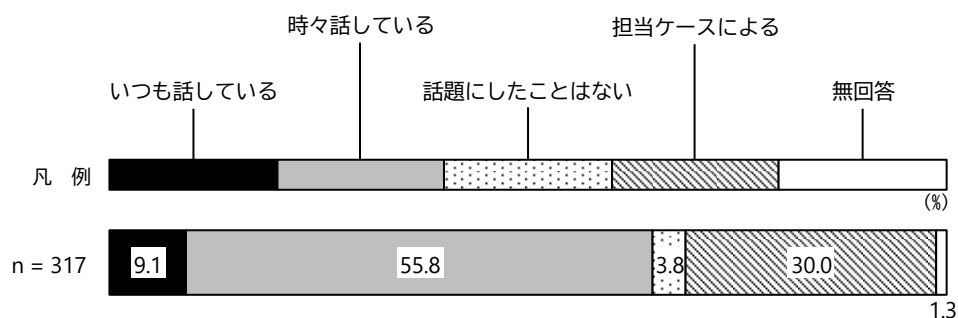


IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

7-5 終末期の準備についての話し合い（高齢者家族と）

- ▶ 終末期の準備についての話し合い（高齢者家族と）については、「時々話している」が55.8%と最も高く、次いで「担当ケースによる」(30.0%)、「いつも話している」(9.1%)となっています。

問 25 担当する高齢者家族と終末期の準備（どこでどのように過ごしたいか）について、話をすることはありますか。いずれかに○をつけてください

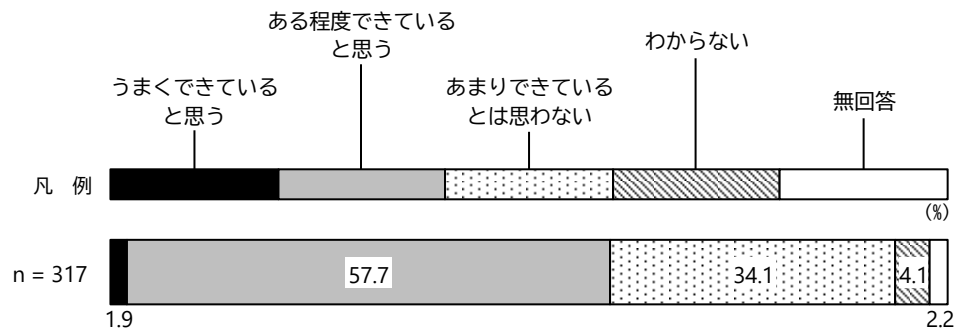


8 ケアマネージャーとして感じること

8-1 地域の福祉資源と医療資源の連携状況

- ▶ 地域の福祉資源と医療資源の連携状況については、「ある程度できていると思う」が57.7%と最も高く、次いで「あまりできているとは思わない」(34.1%)、「うまくできていると思う」(1.9%)となっています。一方、「わからない」は4.1%となっています。

問 26 地域包括ケアの推進には地域の福祉（介護）と医療との連携が欠かせませんが、地域の福祉資源と医療資源との連携はうまくできていると思いますか。考えに最も近いものひとつに○をつけてください

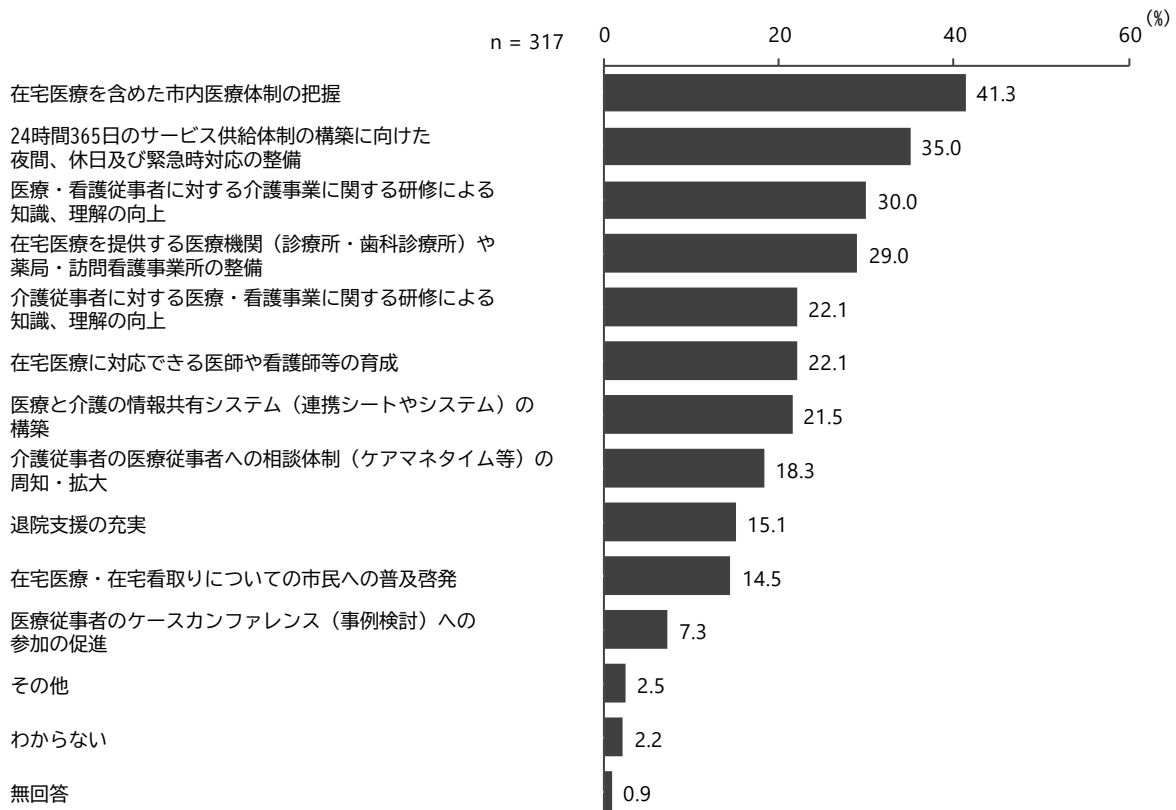


IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

8-2 地域の福祉資源と医療資源の連携に必要なこと

- ▶ 地域の福祉資源と医療資源の連携に必要なことについては、「在宅医療を含めた市内医療体制の把握」が41.3%と最も高く、次いで「24時間365日のサービス供給体制の構築に向けた夜間、休日及び緊急時対応の整備」(35.0%)、「医療・看護従事者に対する介護事業に関する研修による知識、理解の向上」(30.0%)となっています。

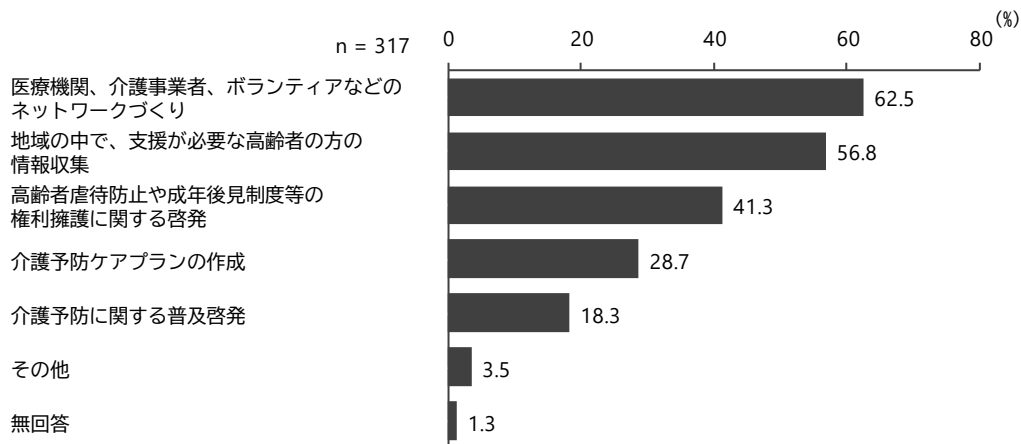
問27 地域の福祉資源（介護）と医療資源の連携を図るためには、特に何が必要だと思いますか。考えに最も近いものに○をつけてください（3つまで）



8-3 地域包括支援センターの活動において充実すべきこと

- ▶ 地域包括支援センターの活動において充実すべきことについては、「医療機関、介護事業者、ボランティアなどのネットワークづくり」が62.5%と最も高く、次いで「地域の中で、支援が必要な高齢者の方の情報収集」（56.8%）、「高齢者虐待防止や成年後見制度等の権利擁護に関する啓発」（41.3%）となっています。

問 28 地域包括支援センターの活動について、今後に向けて充実していくべきだと思うことに○をつけてください（複数回答可）



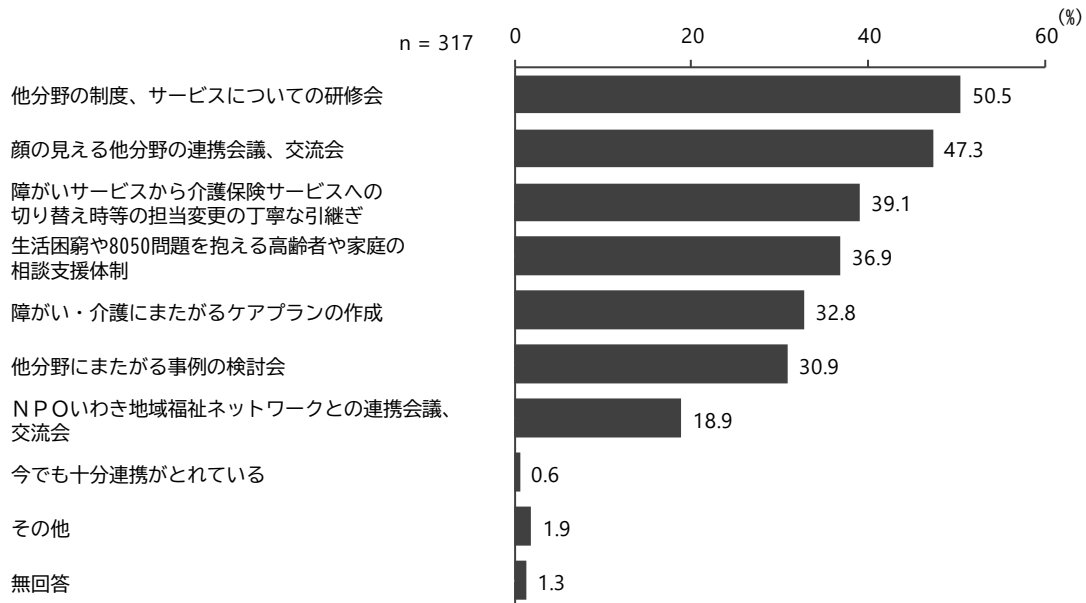
IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

8-4 他分野（障がい等）との連携に必要なこと

- ▶ 他分野（介護・障がい等）との連携に必要なことについては、「他分野の制度、サービスについての研修会」が50.5%と最も高く、次いで「顔の見える他分野の連携会議、交流会」（47.3%）、「障がいサービスから介護保険サービスへの切り替え時等の担当変更の丁寧な引継ぎ」（39.1%）となっています。

問 29 他分野（障がい等）との連携をより深めるには特に何が必要だと思いますか

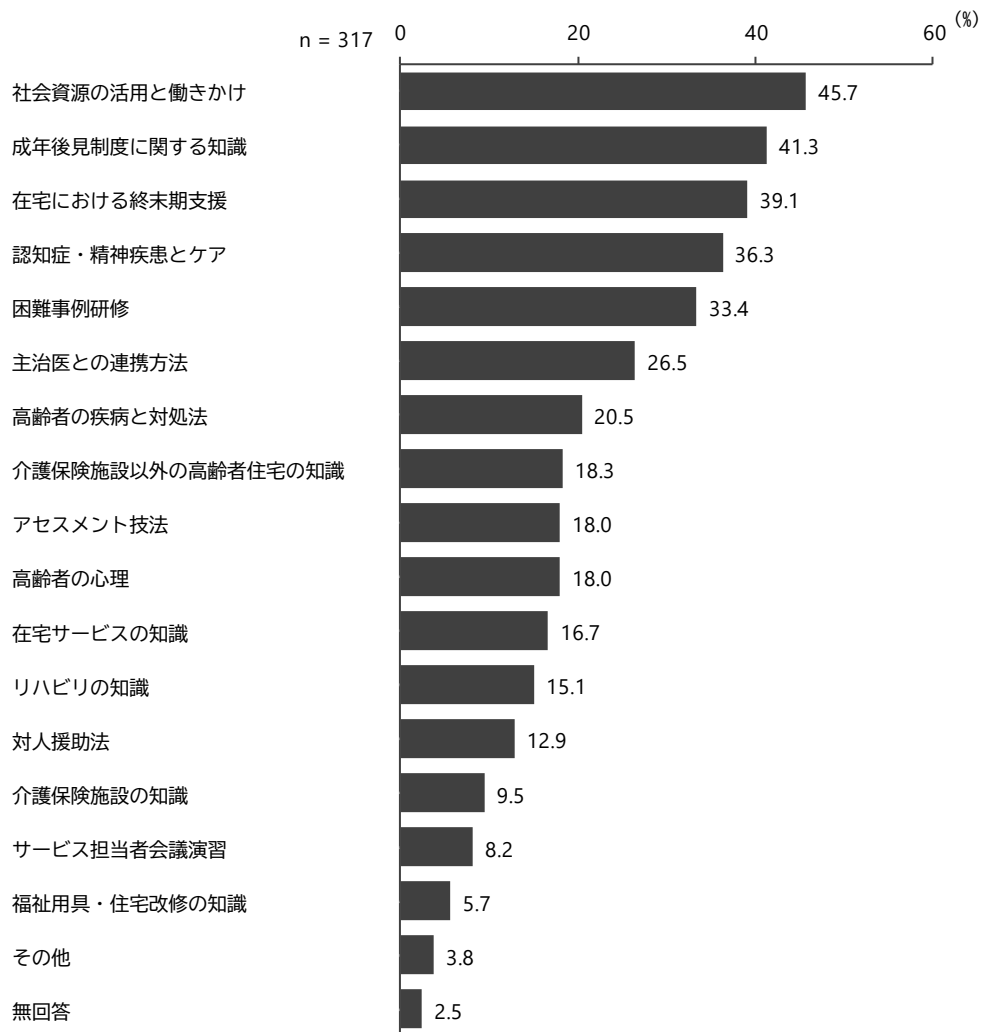
（複数回答可）



8-5 ケアマネージャーとして学びたい知識やスキル

- ▶ ケアマネージャーとして学びたい知識やスキルについては、「社会資源の活用と働きかけ」が45.7%と最も高く、次いで「成年後見制度に関する知識」（41.3%）、「在宅における終末期支援」（39.1%）となっています。
- ▶ 年齢別でみると、30代では「アセスメント技法」が50.0%と、他の年齢と比べ25ポイント以上高くなっています。
- ▶ 実務経験年数別にみると、1年未満では「介護保険施設以外の高齢者住宅の知識」が40.0%と、他の実務経験年数と比べ15ポイント以上高くなっています。

問30 ケアマネージャーとして今後、学びたい知識やスキルはありますか（複数回答可）



IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

【年齢別・実務経験年数別／ケアマネージャーとして学びたい知識やスキル】

(%)

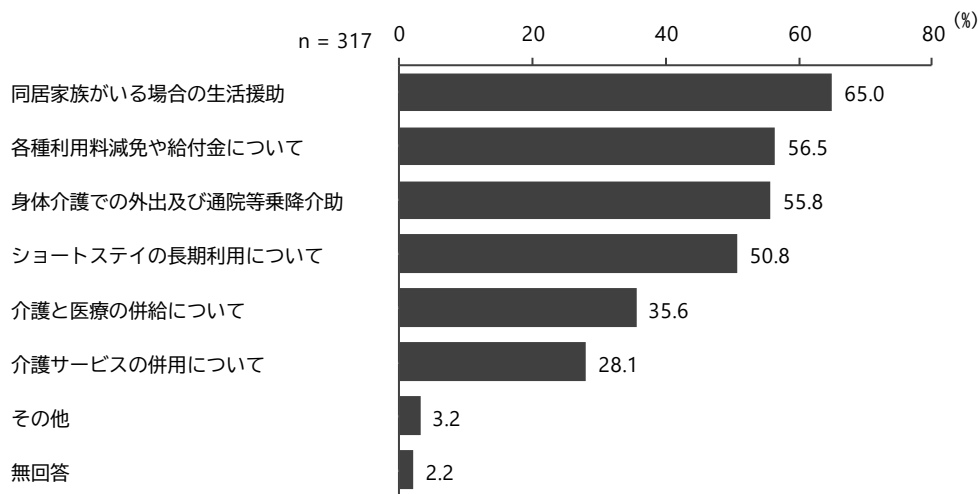
		n	社会資源の活用と働きかけ	成年後見制度に関する知識	在宅における終末期支援	認知症・精神疾患とケア	困難事例研修	主治医との連携方法	高齢者の疾病と対処法	介護保険施設以外の高齢者住宅の知識	介護保険施設以外の高齢者	アセスメント技法	高齢者の心理
全 体		317	45.7	41.3	39.1	36.3	33.4	26.5	20.5	18.3	18.0	18.0	
年 齢 別	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30代	10	50.0	40.0	30.0	30.0	10.0	30.0	20.0	20.0	50.0	30.0	
	40代	83	42.2	43.4	38.6	42.2	39.8	25.3	27.7	26.5	14.5	21.7	
	50代	100	48.0	46.0	39.0	35.0	30.0	27.0	16.0	13.0	17.0	17.0	
	60代	99	46.5	38.4	40.4	32.3	38.4	29.3	19.2	15.2	21.2	13.1	
	70代以上	24	45.8	29.2	41.7	41.7	16.7	16.7	20.8	25.0	8.3	25.0	
実 務 経 験 年 数 別	1年未満	15	53.3	66.7	33.3	26.7	46.7	33.3	20.0	40.0	33.3	20.0	
	1年以上3年未満	23	47.8	43.5	47.8	39.1	43.5	21.7	17.4	13.0	34.8	13.0	
	3年以上5年未満	16	50.0	62.5	37.5	31.3	25.0	43.8	31.3	12.5	31.3	12.5	
	5年以上10年未満	57	43.9	40.4	43.9	40.4	45.6	31.6	28.1	17.5	21.1	17.5	
	10年以上15年未満	75	46.7	41.3	42.7	36.0	32.0	32.0	17.3	21.3	17.3	13.3	
	15年以上	131	44.3	35.9	34.4	35.9	26.7	19.1	18.3	16.0	10.7	22.1	

※全体の回答数上位 10 項目を抜粋

8-6 作成して欲しいマニュアル等

- ▶ 作成して欲しいマニュアル等については、「同居家族がいる場合の生活援助」が65.0%と最も高く、次いで「各種利用料減免や給付金について」（56.5%）、「身体介護での外出及び通院等乗降介助」（55.8%）となっています。
- ▶ 年齢別でみると、「同居家族がいる場合の生活援助」の割合は、年齢が上がるにつれ低くなる傾向があります。
- ▶ 実務経験年数別にみると、5年以上10年未満では「各種利用料減免や給付金について」が70.2%と、他の実務経験年数と比べ10ポイント以上高くなっています。

問 31 福祉サービスに関わる市の取扱いで、マニュアル等を作成してほしいと思うテーマはありますか（複数回答可）



【年齢別・実務経験年数別／作成して欲しいマニュアル等】

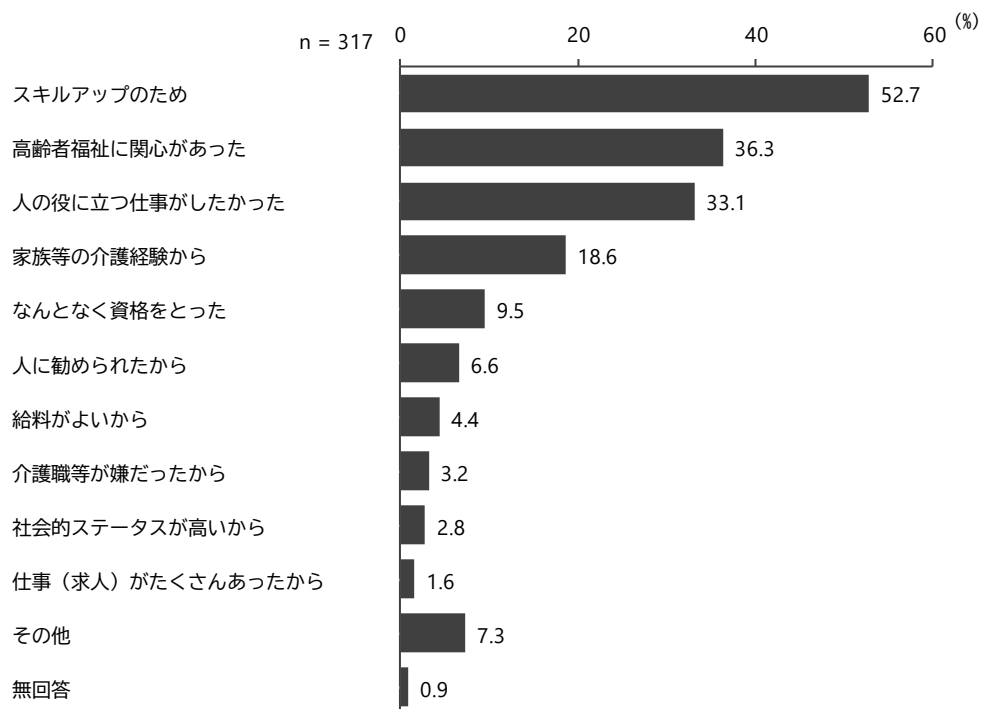
	n	作成して欲しいマニュアル等 (%)								
		同居家族がいる場合の生活が援助	各種利用料減免や給付金について	身体介護での外出及び通院等乗降介助	ショートステイの長期利用について	介護と医療の併給について	介護サービスの併用について	その他	無回答	
全体	317	65.0	56.5	55.8	50.8	35.6	28.1	3.2	2.2	
年齢別	20代	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30代	10	70.0	60.0	70.0	60.0	50.0	50.0	-	
	40代	83	69.9	60.2	56.6	59.0	42.2	36.1	3.6	
	50代	100	66.0	47.0	66.0	60.0	38.0	28.0	3.0	
	60代	99	64.6	64.6	52.5	42.4	33.3	23.2	4.0	
	70代以上	24	45.8	50.0	20.8	16.7	8.3	12.5	-	
実務経験年数別	1年未満	15	53.3	46.7	46.7	40.0	40.0	33.3	6.7	
	1年以上3年未満	23	65.2	56.5	65.2	47.8	43.5	34.8	4.3	
	3年以上5年未満	16	75.0	56.3	50.0	56.3	43.8	25.0	-	
	5年以上10年未満	57	64.9	70.2	59.6	56.1	47.4	36.8	5.3	
	10年以上15年未満	75	64.0	48.0	52.0	46.7	37.3	34.7	1.3	
	15年以上	131	65.6	56.5	56.5	51.9	26.7	19.1	3.1	

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

8-7 ケアマネージャーを目指したきっかけ

- ▶ ケアマネージャーを目指したきっかけについては、「スキルアップのため」が52.7%と最も高く、次いで「高齢者福祉に関心があった」（36.3%）、「人の役に立つ仕事をしたかった」（33.1%）となっています。

問 32 あなたがケアマネージャーを目指したきっかけを教えてください。（複数回答可）



8-8 ケアマネージャーを増やすために必要なこと

- ▶ ケアマネージャーを増やすために必要なことについて自由記述で回答を求め、記述内容を分析したところ、「給与・処遇の改善」、「業務内容改善等による業務負担の軽減」、「資格取得の支援・資格更新や研修負担の負担軽減」、「職場環境の改善・ワークライフバランス」、「ケアマネージャーのイメージアップ（PR等）」、「新人育成・OJT・相談体制の充実」などを要点とした意見がみられました。

問 33 ケアマネージャーを目指す方が少なくなっていますが、ケアマネージャーを目指す方を増やすには何が必要だと思いますか。（自由記述）

No	内容	件数
1	給与・処遇の改善	154
2	業務内容改善等による業務負担の軽減	104
3	資格取得の支援・資格更新や研修負担の負担軽減	84
4	職場環境の改善・ワークライフバランス	69
5	ケアマネージャーのイメージアップ（PR等）	25
6	新人育成・OJT・相談体制の充実	13
7	その他	8
合計		457

※回答者数：243人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類しています

ケアマネージャーを増やすために必要なこと（代表例抜粋）

要点	内容
給与・処遇の改善	業務量に見合った報酬、処遇改善。
業務内容改善等による業務負担の軽減	ケアマネに求められる事が多く、業務範囲が越えている対応もあり、業務の明確化が必要だと思う。
資格取得の支援・資格更新や研修負担の負担軽減	研修に関する負担が大きい（更新毎）。
職場環境の改善・ワークライフバランス	ケアマネの業務が多岐にわたり、またシャドーワークが多く明確な役割分担が必要（休日にプライベートの時間がない）。
ケアマネージャーのイメージアップ（PR等）	社会の中でケアマネージャーという職業が理解されていない。何をしている人が理解を得られていないために、大変な仕事なのかなとイメージがつけられてしまう。
新人育成・OJT・相談体制の充実	未経験のケアマネに付きっきりで一から指導してくれる指導者がほしい。

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

8-9 介護職を増やすために必要なこと

- ▶ 介護職を増やすために必要なことについて自由記述で回答を求め、記述内容を分析したところ、「給与・処遇の改善」、「職場環境の改善・ワークライフバランス」、「介護職のイメージアップ（PR等）」、「業務内容改善等による業務負担の軽減」などを要点とした意見がみられました。

問 34 同じく、介護職等を目指す方も少なくなっていますが、介護職等を目指す方を増やすには何が必要だと思いますか。（自由記載）

No	内容	件数
1	給与・処遇の改善	151
2	職場環境の改善・ワークライフバランス	54
3	介護職のイメージアップ（PR等）	25
4	業務内容改善等による業務負担の軽減	14
5	介護技術等に関する研修	10
6	資格取得の支援・資格更新の改善	6
7	介護ロボット・ICT機器等の導入による業務負担の軽減	2
8	その他	35
合計		297

※回答者数：206人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類しています

介護職を増やすために必要なこと（代表例抜粋）

要点	内容
給与・処遇の改善	介護報酬のアップと賃金のアップ。
職場環境の改善・ワークライフバランス	労働時間、働きやすい体制。女性の場合、子供をあずかってくれる施設の確保。子供が病気になった時もすぐに対処できる環境。
介護職のイメージアップ（PR等）	体力や精神的に負担が大きいのが、社会的評価が低く賃金が安いというイメージの改善。
業務内容改善等による業務負担の軽減	各施設の介護スタッフの増員で1人当たりの介護負担量を減らす。
介護技術等に関する研修	介護職の研修体系の確立。
資格取得の支援・資格更新の改善	更新研修のやり方の見直し。
介護ロボット・ICT機器等の導入による業務負担の軽減	介護ロボットの導入。

8-10 いわき市の保健・福祉施策等に対する意見・要望

- ▶ いわき市の保健・福祉施策等に対する要望について、多い順に分類しました。要望の一番多かった項目は、利用者への支援方法に関すること（19件）、次いで連携体制に関すること（14件）でした。
- ▶ いわき市の保健・福祉施策等に対する意見について、多い順に分類しました。意見の一番多かった項目は、連携体制に関すること（20件）、次いで利用者への支援方法に関すること（19件）でした。

問 35 その他、いわき市の保健・福祉施策等に対するご意見・ご要望等を、以下の欄にご自由にお書きください

	No	内容	件数
要望	1	利用者への支援方法（全般・送迎）	19
	2	連携体制（全般・医療）	14
	3	ケアマネジメント業務について	12
	4	認定調査の方法	6
	5	マニュアル整備等	4
意見	6	連携体制（全般・医療）	20
	7	利用者への支援方法（全般・家族・送迎）	19
	8	ケアマネジメント業務について	18
	9	認定調査の方法	4
その他	10	その他	8
合計			124

※回答者数：103人（「特になし」などの回答は除く）

※1人の回答内容が複数の項目に該当する場合は、それぞれの項目に分類しています

<いわき市の保健・福祉施策等に対する要望 代表例抜粋>

要望内容		実務経験年数
要点	要望内容（原文）	
利用者への支援方法	高齢者サービスを今の時代のニーズにあった内容にしてほしい。 デイサービス等へ行くことよりも、買い物や通院・役所などの日々の生活に必要なサービスが必要と思われる。	15年以上
	負担割合証について早めに発行してほしい。	10年以上 15年未満
	限られた財政なのはわかるが、対象範囲をもう少し柔軟に考えてほしい。家庭環境や病状によって、必要な支援であっても一律に「非課税世帯」や配食サービス（現行のサービス）のようにされてしまうと利用する事が困難な人もいる。市民の生活背景もある程度考慮した政策をお願いしたい。	5年以上 10年未満

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

		要望内容	実務経験年数
要点		要望内容（原文）	
利用者への支援方法	全般	介護保険証と負担割合証が同じ緑色ですが、本当に別の色にしてほしいと強く思います。負担割合証が届いたというので確認すると、それは介護保険証ですね、ということが多々あります。違う色なら分かりやすいので、本当にお願ひします。	10年以上 15年未満
		70代夫、60代妻の夫婦の利用ですが、妻が就労されており、課税世帯になるためショート入居の限度額申請ができず、収入もやや苦しいようです。このような若い世代でも少し助成をいただけるような取り組みを検討お願ひします。	5年以上 10年未満
		生活が貧困な方への支援。	15年以上
	送迎	通院手段の確保（通院等乗降介助）。 受診時の院内付きそい支援の確保。 自費対応は料金が高額になってしまう。	15年以上
		社会資源の拡充（通院、買い物時の交通手段）。	5年以上 10年未満
		高齢ドライバーの事故をニュースで耳にします。運転免許を返納しても不便にならないような施策があると良いのですが。最近見かけますが、巡回バスが増えれば良いかもしれません。	15年以上
	連携体制	全般	行政の窓口対応が冷たく感じる。丁寧な対応を望んでいる。何も知らないから相談に行くのでその点を考え対応して欲しい。
訪問介護でできること、できないことがあり、詳細に不明点があれば確認するが、定期的に公表してもらえると参考になるので、お願ひしたいです。			15年以上
困難ケース、精神疾患がある方の支援にしっかり関わって欲しい。相談できる職員がいない。			5年以上 10年未満

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

要望内容		実務経験年数	
要点	要望内容（原文）		
連携体制	全般	何でもケアマネにやらせようとする行政の方の考え方を改めてほしいです。昨年の配食サービス変更の書類などすべてケアマネ負担でした。ヒアリングシートも大変負担です。書類が多い上、制度上の何か変わるたびに提出物が増えていると思います。	15年以上
	医療	在宅診療を担っていただける医師を増やしてほしい。医療依存度が高いまま退院し在宅生活となる利用者が増えている。	15年以上
		医師だけで、ケアマネだけで、など職種毎にいくら研修をしても、全く関係性が深まらない。(医療と介護の連携をしていくと言いつけてもほとんど変わっていない)。多職種の集まりをもっと増やしていく。いわき市の問題テーマについて話し合う会を多職種で定期的に行ってはどうか。病院の医師や看護師・行政も入るなど。	15年以上
		介護保険認定や更新時の医師の意見書作成期間を厳密化して欲しい。認定が出ず、請求ができない事は生活に関わる。	15年以上
ケアマネジメント業務について		申請等での文書をネットで受け取りできる体制づくり（窓口まで行かなくて良いようにしてほしい）。	1年以上 3年未満
		介護の現場は疲弊しています。なんとかこの苦しい状況を改善してほしいです。	10年以上 15年未満
		書類を電子化してほしいです。	1年未満
		介護従事者が少なくなっている事は肌で感じるようになりました。少しでも高齢者、障害者の方々が安心して暮らせるように、介護従事者の処遇改善をお願いいたします。	5年以上 10年未満
		身寄りのない独居高齢者への対応では、ケアマネが本来業務の枠を超えた支援をせざるを得ず、時間的・精神的な負担が増えています。介護保険外サービスを担う専門職や窓口の整備を進めて頂きたいです。	15年以上

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

要望内容		実務経験年数
要点	要望内容（原文）	
認定調査の方法	介護認定では、介護の手間の総量で推計しているが、独居生活をしている方は、どのような生活をしていても、認定が低くでしてしまう。十分なサービスが利用できない方々が多くいる。認定調査の基準を検討してほしい。	10年以上 15年未満
	「承認」の書類が届くまでは、期間長く、順次処理を望む。Grafferで審査会日程確認電話が特殊なケースを除いてないのであれば介護保険サービスに精通した職員で対応して欲しい。	15年以上
	いわきでも「がん」の診断がでていいる方は要介護2以上の認定がおりる様にしてほしい。書類を5年間保存でなく国と同じく2年間にしてほしい。	5年以上 10年未満
マニュアル整備等	ケアプランデータ連携システムが複雑で分かりにくい。全ての事業者が無理なく加入・活用できるよう、分かりやすい仕組みと支援体制の整備を望みます。	15年以上
	医療と介護の連携において、いわき市独自の診療情報提供シートがあるが、居宅介護支援事業所とサービス事業所との情報提供で、いわき市独自の統一した基本情報、アセスメント様式があると良いと思います。事業所事に差があり過ぎます。	10年以上 15年未満
	昨年の配食サービスの切り替えの時も感じたが、無駄な業務が多すぎて大変苦労した。同じ書類の再提出。各部署できちんと管理をして、こちらに丸投げすることはやめて欲しい。	15年以上
	制度上のことで、「市役所に確認したらやらなくてよいと言われたからやっていない」などと他のケアマネから言われて困ったことがある。統一して欲しい。	10年以上 15年未満

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

<いわき市の保健・福祉施策等に対する意見 代表例抜粋>

意見内容		実務経験年数	
要点	意見内容（原文）		
連携体制	全般	各地区によって考えや方針の違いあり、提出書類が違うこともある。	3年以上 5年未満
		地域包括ケアを目指し共に働く人として、もう少し歩み寄って欲しいと感じる時もあります。	5年以上 10年未満
		とりあえずケアマネージャーという意識が、本人や家族のみならず、行政（認定調査員等）や医療関係者もある。	5年以上 10年未満
		生活保護受給者が増えている中で、保護課との連携を密にしたいが、自宅訪問もなく、担当者も不明。 介護保険を利用するうえで関わりを強化していきたい。	15年未満
		わからないことがあると、私はよくいわき市の関係部署にTELをしてアドバイスをお願いしていますが、よくアドバイスをいただき大変助かっています。これからも相談のできる市役所であってほしいです。	10年以上 15年未満
	医療	高齢者を緊急時に受け入れてくれる病院が少ない。	15年以上
		医師（個人医院）と連携が図りにくい。介護保険の理解が不足しており説明がむずかしい。	15年以上
		主治医とケアマネの関係構築がむずかしい。	10年以上 15年未満
	利用者への支援方法	全般	3割負担の利用者がサービス利用回数を増やす事に抵抗があり、サービスにつなげられない。
制度の内容を知らない状態で暮らしている方々が多い。			5年以上 10年未満
ゴミ出しができずに困っている方が多い。集積所が遠いことや、体力がないこと、ヘルパーさんの手配がつかないことなど理由は様々。社協のゴミ出しボランティアも断られる場合が多い。高齢者が自宅での生活を諦めないためにも支援が必要だと思う。			15年以上
利用に対しての手続き、制限が多い。			15年以上

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

意見内容		実務経験年数		
要点	意見内容（原文）			
利用者への支援方法	全般	要介護者はケアマネージャーにより、多方面の支援を受ける事ができるが、独居、高齢者が介護支援を受ける方法をどこに相談したらいいのかが広く認知されていない。	15年以上	
		介護申請する日、例えば1日は窓口が混み合う。急いでいるのに、配食サービスの決定に時間がかかる。	15年以上	
	家族	GH、特老に入所している家族から「認知が進行しているので、認知に詳しい施設を探して下さい」と言われ、どうしたら良いかわからないと相談を受ける事が多くなっている。	15年以上	
	送迎	1人暮らし高齢者の受診、買い物の交通手段やゴミ捨てに対応できるサービスが必要。介護タクシーは費用が高いと思います。	1年以上 3年未満	
		高齢者が病院に行く際の負担が大きい。	10年以上 15年未満	
		現在、小名浜で巡回バスの試行運転をしているが、乗車している人が少ないと利用者さんの家族からありました。他の利用者さんに聞いたところ、家の近くまで来れば利用できるが、バス停まで行くのも大変との声がありました。もう少し細かく寄ってくると利用できるのにとっていました。	1年以上 3年未満	
		シルリハ等に参加したくても自分の足で行けない。送迎サービスがあるといい。	10年以上 15年未満	
			買い物や通院、所用を済ませるにも高齢者が不安なく使える交通機関が乏しい。	10年以上 15年未満
	ケアマネジメント業務について	ケアマネの仕事はやってもやっても終わりません。ケアマネへのバックアップ体制の整備が必要だと思います。	10年以上 15年未満	
		各々の事業所、通常業務でいっぱいいっぱいだと思います。人相手のケアマネの業務では、特に急なサービスの調整が必要な中、担当者会議や議事録。本当に時間がありません。利用者からは話を聞いてほしいと言われますが、本当に難しいです。	3年以上 5年未満	

IV 調査結果（介護支援専門員アンケート）

意見内容		実務経験年数
要点	意見内容（原文）	
ケアマネジメント 業務について	市から福祉関係や災害関係の調査などを依頼される事があるがとても負担です。介護保険を利用している方で付随しているからとケアマネに依頼するのは違うと思います。こういった介護保険以外の仕事が業務を圧迫していると思います。	15年以上
	ヒアリングシートを年間計画で公表し、事前にケアマネへ周知する事で、不適切なケアプランを予防できるのではないのでしょうか。	10年以上 15年未満
	記録、書類整備が多すぎる。	15年以上
	介護職・ケアマネージャー不足が深刻であり、サービスの継続にも影響が出ています。	15年以上
	業務が増えるばかりでありながら、実地指導の連絡に怯えている毎日。ほんとに大変であるケアマネの業務を知ってほしい。	15年以上
認定調査の方法	要介護認定照会がネット上でできるようになり業務がスムーズになったが、認定結果について審査会で決定時に入力されるような、もう少しタイムリーな運用が良い。	10年以上 15年未満
	担当地区や窓口対応をされる方によって対応にばらつきがある。お互いに市民のために行動すべきなのに、話をよく聞かない窓口対応は精神的に大きな負担になる。	15年以上

V 資料編

1 介護予防・日常生活圏域二一ス調査 調査票

第 10 期

介護予防・日常生活圏域二一ス調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、
2 月 20 日（金） までに投函してください。

記入日	令和	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。				
○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄：)				
3. その他				

いわき市 保健福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係



この調査票は、郵送に代えてWeb上で回答することもできます。
左のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると専用のWebサイトに移動します。
入力の際は、左下のID番号を入力の際は、
設問にお答えください。

ID: _____

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

問4 毎日の生活について		
(1) 物忘れが多いと感じますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(4) 自分で食事の用意をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(7) 自分でゴミ出しはできますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 趣味はありますか 「趣味あり」の方は()内に趣味を記入ください		
1. 趣味あり → ()		
2. 思いつかない		
(9) 生きがいがありますか 「生きがいあり」の方は()内に生きがいを記入ください		
1. 生きがいあり → ()		
2. 思いつかない		
(10) 現在、働いていますか		
1. 働いている(正規雇用・非正規雇用・シルバー人材センター)		
2. 働いていない ⇒ (11)の質問にもお答えください		
【(10)で「2.働いていない」の方のみ】		
(11) 仕事をする機会があったら、働きたいと思えますか		
1. フルタイムで働きたい	2. パートタイムで働きたい	
3. (日雇い)アルバイトで働きたい	4. 身体的にまたは環境的に働けない	
5. 働きたくない		

問5 地域での活動について						
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに回答してください						
	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (つどいの場など) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたは、その活動に参加者として参加してみたいと思いますか						
1. ぜひ参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたは、その活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか						
1. ぜひ参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						

問6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします	
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人は いない
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人は いない
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人は いない
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人(いくつでも)	1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他() 8. そのような人は いない

<p>(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手をお教えてください (いくつでも)</p>	<p>1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 7. そのような人はいない</p>
<p>(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか</p>	<p>1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない</p>
<p>(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (同じ人には何度会っても1人と数えることとします)</p>	<p>1. 0人(いない) 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上</p>
<p>(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか(いくつでも)</p>	<p>1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない</p>

<p>問7 健康について</p>	
<p>(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか</p>	<p>1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない</p>
<p>(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)</p>	<p>とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ</p>
<p>(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか</p>	<p>1. はい 2. いいえ</p>
<p>(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか</p>	<p>1. はい 2. いいえ</p>
<p>(5) お酒は飲みますか</p>	<p>1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない</p>
<p>(6) タバコは吸っていますか</p>	<p>1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない</p>

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ()

問8 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい
2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい
2. いいえ

(3) 自分が認知症になったら、どのように暮らしたいですか (いくつでも)

1. 医療や介護を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
2. 家族の介護を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
3. 地域の人たちの支援を受けながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
4. 介護施設などで必要な支援を受けながら生活していきたい
5. 認知症の同士が話をしたり情報交換をしたりする場所に行き交流したい
6. わからない

(4) 自分や家族が認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくためにどのようなことが必要だと思いますか (いくつでも)

1. 認知症のことを相談できる窓口体制の充実
2. 認知症への正しい知識を広める啓発活動
3. 認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり
4. 認知症の方とその家族の手助けとなるボランティアの養成
5. 買い物や外出の付き添い
6. 簡単な掃除やごみ出しなどの手伝い
7. 介護者同士が話をしたり情報交換をしたりする場所や家族の交流会
8. 認知症の方同士が話をしたり情報交換をしたりする場所
9. 介護サービスにあたる専門職の質の向上
10. 認知症の方が活躍する場づくり、社会参加の機会の確保
11. 若年性認知症の方に対する支援の拡充
12. 認知症の方の権利を守るための支援
13. わからない
14. その他 ()

(5) 自分が地域で暮らす認知症の方にできる(できそうな)支援はありますか (いくつでも)

1. 見守り
2. 声掛け
3. ちよっとした道案内
4. 話し相手
5. ゴミ出しなどのちよっとした家事の手伝い
6. 買い物同行
7. 外出時の移動支援
8. できない
9. その他 ()

<p>問9 人生のしめくくりについて</p> <p>(1) ACP(人生会議)という言葉の意味を知っていますか 1. はい 2. いいえ</p> <p>(2) ACP(人生会議)を実施したことがありますか 1. はい 2. いいえ</p> <p>(3) エンディングノートの準備はありますか 1. はい 2. いいえ</p> <p>(4) 人生の最後(お看取りの時期)が近くなったときどこで過ごしたいですか 1. 病院 2. 自宅 3. 施設 4. その他 ()</p> <p>(5) 人生の最後(お看取りの時期)が近くなったときどう過ごしたいですか 1. できるかぎりの医療を受けることを重視してほしい(人工呼吸器等) 2. 痛みなどのつらい症状を和らげるケアを重視してほしい 3. 水分や栄養補給も行わずなるべく自然な状態で見守ってほしい 4. わからない 5. その他 ()</p>	<p>【(1)で「8. 特にならない」以外の方のみ】</p> <p>(2) 現在、補聴器を持っていますか 1. はい 2. いいえ</p> <p>【(2)で「1. はい」の方のみ】</p> <p>① 補聴器をどのように購入しましたか 1. 耳鼻科を受診し、補聴器の販売店で購入 2. 耳鼻科を受診せず、補聴器の販売店で購入 3. その他 ()</p> <p>【(2)で「2. いいえ」の方のみ】</p> <p>② 補聴器を購入していないのはなぜですか(いくつでも) 1. 購入する経済的余裕がない 2. 使用方法が難しそう 3. 入手方法・相談先がわからない 4. 近くに取り扱いがある店がない 5. 耳鼻科の受診歴がない 6. 維持費用が心配 7. 人の目が気になる 8. 聞こえにくくても生活に支障がない</p>
<p>問11 敬老事業について</p>	
<p>(1) あなたは地区敬老会に参加したことはありますか 1. はい 2. いいえ</p> <p>(2) 今後、地区敬老会に参加したいと思いませんか 1. 参加したい 2. できれば参加したい 3. あまり参加したくない 4. 参加したくない</p> <p>【(2)で「3. あまり参加したくない」または「4. 参加したくない」の方のみ】</p> <p>① 参加したくない理由を教えてください(いくつでも) 1. 移動手段がない 2. 身体的に負担がある 3. 内容に魅力がない 4. などなく気が乗らない 5. その他 ()</p>	
<p>■■■■ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ■■■■</p>	

2 在宅介護実態調査 調査票

令和7年度在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号 [_____]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. 調査対象者のケアマネジャー
- 5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか

（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

- 1. ない
- 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
- 3. 週に1～2日ある
- 4. 週に3～4日ある
- 5. ほぼ毎日ある

問9(裏面)へ
問3～問14へ

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- 1. 男性
- 2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- 1. 20歳未満
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代
- 8. 80歳以上
- 9. わからない

問6 主な介護者の方の同居・別居について、ご回答ください（1つを選択）

- 1. 同居
- 2. 別居(市内)
- 3. 別居(県内)
- 4. 県外(県外)

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

【身体介護】

- 1. 日中の排泄
- 2. 夜間の排泄
- 3. 食事の介助（食べる時）
- 4. 入浴・洗身
- 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
- 6. 衣服の着脱
- 7. 屋内の移乗・移動
- 8. 外出の付き添い、送迎等
- 9. 服薬
- 10. 認知症状への対応

【生活援助】

- 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
- 12. 食事の準備（調理等）
- 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
- 14. 金銭管理や生活面に必要な請手続き

【その他】

- 15. その他
- 16. わからない

問8 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

- 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
- 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
- 3. 主な介護者が転職した
- 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- 6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

- 1. 配食
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物（宅配は含まない）
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行（通院、買い物など）
- 7. 移送サービス（介護・福祉カ/等）
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他
- 11. 特になし

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

- 1. 配食
- 2. 調理
- 3. 掃除・洗濯
- 4. 買い物（宅配は含まない）
- 5. ゴミ出し
- 6. 外出同行（通院、買い物など）
- 7. 移送サービス（介護・福祉カ/等）
- 8. 見守り、声かけ
- 9. サロンなどの定期的な通いの場
- 10. その他
- 11. 特になし

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください (1つを選択)

1. 入所・入居を検討していない
 2. 入所・入居を検討している
 3. すでに入所・入居申し込みをしている
- ※ 「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問12 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください (複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中)
2. 心疾患(心臓病)
3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患(透析)
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病(関節リウマチ含む)
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病(パーキンソン病を除く)
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)
14. その他
15. なし
16. わからない

問13 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか (1つを選択)

1. 利用している
 2. 利用していない
- ※ 訪問虚科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

問14 現在、(在宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか (1つを選択)

1. 利用している
2. 利用していない

問14で「2.」を回答した場合は、問15も調査してください。

問15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

- 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にB票へのご回答・ご記入をお願いします。(ご本人にご回答・ご記入をお願いしますことが困難な場合は、無回答で結構です)。

B票 主な介護者様、またはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※ 主な介護者様、またはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願いします。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください (1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」、「アルバイト」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか (複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか (3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい、職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特になし

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けたいですか (1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全頁の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません) (3つまで選択可)

[身体介護]

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応

11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)

[生活援助]

12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

[その他]

15. その他
16. 不安に感じていることは、特になし
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。

問6 本人が現在の生活を継続していくにあたって、住環境面で不安なことはありませんか (複数回答可)

1. 住宅の老朽化(改修)
2. 階段
3. 風呂
4. トイレ
5. 段差(住宅内)
6. 段差(住宅外)
7. 車の運転
8. 火災
9. 防犯
10. 熱中症
11. いずれにも該当しない

問7 介護に係る負担や悩みはありますか (複数回答可)

1. 身体的負担(不安)
2. 精神的負担(不安)
3. 経済的負担(不安)
4. いずれにも該当しない

問8 介護による自身への影響はありますか (複数回答可)

1. 腰痛
2. 頭痛
3. 肩凝り
4. 慢性的な疲れ
5. 睡眠不足
6. 精神的なイライラ
7. 食欲不振
8. 不安感
9. 抑うつ感
10. 無気力感
11. いずれにも該当しない

問9 介護に関して学びたいことはありますか (複数回答可)

1. 介護技術
2. 介護保険制度
3. 認知症ケア
4. 高齢者の心理
5. 在宅医療の知識
6. 終末期の準備
7. 高齢者の金銭管理
8. 在宅生活における安全対策
9. いずれにも該当しない

問10 周囲や地域に対して求めることはありますか (複数回答可)

1. 介護への理解
2. 見守り体制(緊急時の連絡)
3. 日々の声掛け
4. 買物、移動のサポート
5. いずれにも該当しない

問7 業務を行う上で、困難であると感じることとはどのようなことですか。(複数回答可)

1. 介護保険サービスの理解や算定の仕方
2. 各サービス事業所との調整や連携
3. 主治医との調整や連携
4. 処遇困難ケースへの対応
5. 低所得者、生活保護者へのサービス導入
6. 2号被保険者へのサービス導入
7. 認知症高齢者へのサービス導入
8. 事務作業(書類作成など)
9. 家族が協力的でない、キーパーソンがいない
10. 身寄りがいない
11. 特にない
12. その他(自由記述:)

問8 担当する高齢者の対応で困ったケースについて教えてください。(複数回答可)

1. 家族の理解が得られない
2. スタッフの考えがバラバラ
3. 徘徊等の問題行動がある
4. 昼夜逆転や暴言など家族や周囲が疲労する
5. 暴力行動で家族や周囲の人に危害を加える
6. 暴力以外のハラスメント
7. 独居で関わる人がいない
8. 認知症ゆえに虐待や詐欺の被害に合う
9. 何でもケアマネに頼ってくる
10. 特に困ったことはない
11. その他(自由記述:)

問9 業務上でストレスを感じていることはありますか。(複数回答可)

1. 業務(責任)に伴う負担
2. 介護保険制度のしくみ、行政の対応
3. 労働(拘束)時間と多忙さ
4. 利用者(家族)との人間関係
5. 他事業者との人間関係
6. 職場内の人間関係
7. 相談相手が不在
8. 社会的な評価
9. ケアマネジメント業務と関わりのない業務
10. 本人・家族からの暴力、暴言または威圧的な言動(ハラスメント)
11. その他(自由記述:)
12. 特にない

問10 本人・家族との調整の中で、次の不当な要求をされたことがありますか。(複数回答可)

1. 本来、介護保険の対象とならないサービス
2. 本人の状況よりも過剰なサービス
3. ケアマネジメント業務と関わりのないサービス
4. セクシャルハラスメント
5. その他(自由記述:)

問11 職場の人間関係は良好ですか

1. とても良好
2. かなり良好
3. 良好
4. 普通
5. あまり良好ではない
6. 不良

問12 現在の職場で改善してほしいことはありますか。(複数回答可)

1. 労働時間(残業)
2. 給与(人事評価)
3. 福祉厚生
4. 職場の雰囲気
5. 職員の増員
6. 空調等の労働環境
7. 勤務形態(時差出勤等)
8. 職場の衛生面
9. 特にない
10. その他(自由記述:)

問13 現在のおおよその手取りの月額給与額はいくらかですか?

万円 ・ 答えたくない

問14 現在の給与額に満足していますか?

1. とても満足
2. そこそこ満足
3. 満足
4. 普通
5. 不満足
6. とても不満足

問15 (この質問は、前問で5又は6とお答えになった方のみ回答してください。)

妥当だと考える手取りの月額給与額はいくらかですか?

万円

問16 介護保険サービス需要について
 ご自身が主に担当する圏域（2カ所）について、次ページを参照の上、該当する番号を
 ①欄に記入してください
 また、担当する圏域において、各サービスの提供状況をどのように感じていますか。
 そのバランスを②欄に5段階で評価して下さい。

【評価基準】

- 1. 供給過多である
- 2. やや供給過多である
- 3. 需要と供給のバランスが取れている
- 4. やや需要を満たしていない
- 5. 全く需要を満たしていない

	サービスマ名	①		②	
		圏域(その1) 番号:	圏域(その2) 番号:		
1	訪問介護				
2	訪問入浴介護				
3	訪問看護				
4	訪問リハビリテーション				
5	通所リハビリテーション				
6	通所介護				
7	地域密着型通所介護				
8	短期入所(生活介護・療養介護)				
9	福祉用具貸与				
10	居宅療養管理指導				
11	小規模多機能型居宅介護				
12	認知症対応型通所介護				
13	認知症対応型共同生活介護				
14	夜間対応型訪問介護				
15	定期巡回・随時対応型訪問介護看護				
16	複合型サービス				
17	介護老人福祉施設(地密を含む)				
18	介護老人保健施設				
19	特定施設入居者生活介護(地密を含む)				

<参考：いわき市の日常生活圏域>

番号	地域名	地区・町名など
1	平市街地	平、北白土、南白土、谷川瀬、鎌田、明治田地、平成、内郷小島町、小島町、
2	平北部	上平窪、中平窪、下平窪、中塩、四ツ波、幕ノ内、鯨岡、大室、赤井、石森
3	平東部	中山、小泉、上高久、下高久、塩、上神谷、中神谷、下神谷、上片寄、下片寄、豊間、薄磯、沼ノ内、神谷作、上山口、下山口、山崎、菅波、荒田目、上大越、下大越、藤間、泉崎、原高野、馬目、絹谷、北神谷、水品、鶴ヶ井
4	平南部	上荒川、下荒川、吉野谷、自由ヶ丘、郷ヶ丘、中央台、若葉台、
5	小名浜市街地・東部	江名、折戸、中之作、永崎、小名浜、上神白、下神白、岡小名、南富岡、大原、洋向台、湘南台
6	小名浜西部	葉山、泉町、本谷、滝尻、下川、黒須野、玉露、泉ヶ丘、泉玉露、泉もえぎ台、中部工業団地、渡辺町
7	小名浜北部	相子島、住吉、島、野田、岩出、林城、金成、玉川町、鹿島町
8	勿来中部・南部	錦町、勿来町、川部町、沼部町、三沢町、山玉町、瀬戸町、富津町
9	勿来北部・田人	植田町、後田町、仁井田町、高倉町、江畑町、添野町、石塚町、東田町、佐糠町、岩間町、小浜町、山田町、金山町、中岡町、南台、田人地区全域
10	常磐・遠野	常磐地区全域（若葉台を除く）、遠野地区全域
11	内郷	内郷地区全域（内郷小島町、小島町を除く）
12	好間・三和	好間地区全域、三和地区全域
13	四倉・久之浜・大久	四倉地区全域、久之浜、大久地区全域
14	小川・川前	小川地区全域、川前地区全域

問 17 訪問介護のサービス調整にあたり、困っていること及びその現在の対応状況を記載して下さい。(該当することがあれば記述して下さい。(自由記述))

問 18 「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成について、日頃どの程度意識して策定にあたっていますか

1. いつも意識して策定している 2. ある程度意識して策定している

3. あまり意識して策定していない 4. 全く意識していない

問 18で 1、2 に「O」をつけた方にかかいます

問 19 主にどういったことを意識して「自立支援」「重度化防止」に向けたケアプランの作成を行っていますか。(複数回答可)

1. 意欲低下のみられる利用者から、具体的な目標を引き出すようにしている

2. 現状に満足するのではなく、自ら改善していきたいと思うような意識付けを行っている

3. 能力はあっても自ら行わない利用者へ、自立を促すようなはたらきかけを行っている

4. 設定した目標について、利用者自身に達成度を確認するなどの意識付けを行っている

5. 求めに応じた支援ではなく、必要性に応じた支援をする制度であることを説明し、自立に向けての意識付けを行っている

6. その他 (自由記述:)

問 26 地域包括ケアの推進には地域の福祉（介護）と医療との連携が欠かせませんが、地域の福祉資源と医療資源との連携はうまくできていると思いますか。考えに最も近いものをひとつに○をつけてください

1. うまくできていると思う
2. ある程度できていると思う
3. あまりできていないと思わない
4. わからない

問 27 地域の福祉資源（介護）と医療資源の連携を図るためには、特に何が重要だと思いますか。考えに最も近いものに○をつけてください（3つまで）

1. 在宅医療を含めた市内医療体制の把握
2. 医療・看護従事者に対する介護事業に関する研修による知識、理解の向上
3. 介護従事者に対する医療・看護事業に関する研修による知識、理解の向上
4. 在宅医療を提供する医療機関（診療所・歯科診療所）や薬局・訪問看護事業所の整備
5. 24時間365日のサービス供給体制の構築に向けた夜間、休日及び緊急時対応の整備
6. 在宅医療に対応できる医師や看護師等の育成
7. 介護従事者の医療従事者への相談体制（ケアマネタイム等）の周知・拡大
8. 医療従事者のケースカンファレンス（事例検討）への参加の促進
9. 医療と介護の情報共有システム（連携シートやシステム）の構築
10. 在宅医療・在宅看取りについての市民への普及啓発
11. 現院支援の充実
12. その他（自由記述：)
13. わからない

問 28 地域包括支援センターの活動について、今後に向けて充実していくべきだと思うことに○をつけてください（複数回答可）

1. 医療機関、介護事業者、ボランティアなどのネットワークづくり
2. 地域の中で、支援が必要な高齢者の方の情報収集
3. 介護予防に関する普及啓発
4. 高齢者虐待防止や成年後見制度等の権利擁護に関する啓発
5. 介護予防ケアプランの作成
6. その他（自由記述：)

問 29 他分野（障がい等）との連携をより深めるには特に何が重要だと思いますか（複数回答可）

1. 顔の見える他分野の連携会議、交流会
2. 他分野にまたがる事例の検討会
3. 障がい・介護にまたがるケアプランの作成
4. 他分野の制度、サービスについての研修会
5. 障がいサービスから介護保険サービスへの切り替え時等の担当変更の丁寧な引継ぎ
6. 生活困窮や8050問題を抱える高齢者や家庭の相談支援体制
7. NPOいわき地域福祉ネットワークとの連携会議、交流会
8. 今でも十分連携がとれている
9. その他（自由記述：)

問 30 ケアマネージャーとして今後、学びたい知識やスキルはありますか。(複数回答可)

1. 在宅サービスの知識
2. 介護保険施設の知識
3. 介護保険施設以外の高齢者住宅の知識
4. 主治医との連携方法
5. 福祉用具・住宅改修の知識
6. 高齢者の疾病と対処法
7. リハビリの知識
8. 認知症・精神疾患とケア
9. 社会資源の活用と働きかけ
10. アセスメント技法
11. 対人援助法
12. サービス担当者会議演習
13. 困難事例研修
14. 成年後見制度に関する知識
15. 高齢者の心理
16. 在宅における終末期支援
17. その他(自由記述:)

問 31 福祉サービスに関わる市の取扱いで、マニュアル等を作成してほしいと思うテーマはありますか。(複数回答可)

1. 同居家族がいる場合の生活援助
2. 身体介護での外出及び通院等乗降介助
3. ショートステイの長期利用について
4. 介護サービスの併用について
5. 介護と医療の併給について
6. 各種利用料減免や給付金について
7. その他(自由記述:)

問 32 あなたがケアマネージャーを目指したきっかけを教えてください。(複数回答可)

1. 高齢者福祉に関心があった
2. 家族等の介護経験から
3. スキルアップのため
4. 人に勧められたから
5. 人の役に立つ仕事があったから
6. 介護職等が嫌だったから
7. 社会的ステータスが高いから
8. 仕事(求人)がたくさんあったから
9. 給料がよいから
10. などなく資格をとった
11. その他(自由記述:)

問 33 ケアマネージャーを目指す方が少なくなっていますが、ケアマネージャーを目指す方を増やすには何が重要だと思いますか。(自由記述)

問 34 同じく、介護職等を目指す方も少なくなっていますが、介護職等を目指す方を増やすには何が重要だと思いますか。(自由記述)

問 35 その他、いわき市の保健・福祉施策等に対してのご意見・ご要望等を、以下の欄にご自由にお書きください

(例) いわき市の保健・福祉施策に対する意見・要望について
介護保険サービスで日頃感じている課題について
利用者から多く寄せられる不満や苦情について 等

ご協力ありがとうございました。

令和8年2月20日(金)までに、「本調査票」を同封の封筒によりご返送ください。

いわき市高齢者保健福祉計画策定に関するアンケート調査 －調査結果報告書－

発行年月：令和8年3月

発行：いわき市 保健福祉部 介護保険課 長寿支援係

〒970-8686 福島県いわき市平字梅本 21 番地

電話 0246-22-7448(直通) FAX 0246-22-7570

調査委託：株式会社サーベイリサーチセンター